

令和 5 年 度

行 政 報 告 書

岡 谷 市

令和5年度行政報告書 目次

総 説																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					</

総

説

総 説

令和５年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが５類感染症へ移行したことに伴う個人消費の持ち直しや、円安との相乗効果によるインバウンド需要の回復などにより、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調が続いた。その一方で、物価の上昇をはじめ、世界的な金融引締めの影響や中国経済の先行き懸念等による海外経済の後退などにより、不透明感が続く状況となった。

本市の基幹産業である製造業においては、慢性的な人材不足、需要の変動やサプライチェーン問題に伴う生産調整による受注への影響のほか、円安や世界経済の減退などから厳しい経営状況が続いた。また、エネルギー・原材料価格の高騰によるコストの上昇は、価格転嫁対策が講じられたものの、引き続き企業収益を圧迫した。このほか、物価上昇や人材確保などへの対策を踏まえ、賃上げに向けた動きが見られた。

こうした中、令和５年度は「第５次岡谷市総合計画前期基本計画」の最終年となることから、前期５年間の総仕上げとして、計画に掲げる目標達成に向けた取組を着実に進め、誰もが安心して夢と希望をもって暮らすことができるまち、いつまでも住み続けたい、住んでみたいと思える魅力あるまちづくりを推進するため、「未来を見据えた躍動の年」と位置づけるとともに、「活力と彩りの創造」、「未来に輝くひとづくり」、「穏やかで美しい日常の実現」の３つを重点施策に掲げ、前年度補正予算と令和５年度当初予算を一体とした「１４か月予算」を編成し、各種施策・事業を積極的に展開した。

また、社会経済情勢の変化や新たな行政課題に的確に対応するとともに、令和６年度以降の本市のまちづくりの方向性を示すため、第５次岡谷市総合計画基本構想の見直し及び後期基本計画の策定を行った。

１ 活力と彩りの創造

工業の振興では、新技術・新製品の創出や新規受注開拓の支援を行ったほか、市内企業のＤＸ・ＧＸへの取組を後押しすることで、業務効率化、企業競争力の強化と併せて、市内企業におけるゼロカーボンの推進を図った。

また、現岡谷市工業活性化計画の最終年度であったことから、効果検証及び総括を行い、新たな課題の解決に向け、令和６年度からの５年間を計画期間とする、新たな岡谷市工業活性化計画を策定した。

商業の振興では、商業者意識や消費者動向に関する調査を実施し、アフターコロナを踏ま

えた商業活性化に資する施策等を推進するため、第2次岡谷市商業活性化計画を策定した。

移住・定住の促進、交流・関係人口の創出・拡大に向けた取組では、新たに、40歳未満の移住者を対象として、定住の基盤となる住宅の取得費用等に対する支援を行ったほか、地域おこし協力隊の活用によるシティプロモーションの強化により、移住・定住のさらなる促進を図った。

このほか、諏訪湖サイクリングロード整備事業、諏訪湖スマートインターチェンジ整備事業の推進により、諏訪湖周における観光振興や快適な交通環境の整備を行った。

2 未来に輝くひとづくり

子育て支援では、妊娠期から出産・子育てまでの様々なニーズに対応した伴走型支援による相談体制の充実に加え、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、出産・子育て応援給付金を給付した。また、聴覚障害の早期発見・早期療育を図るため、新生児聴覚検査に要する費用を助成した。

教育環境の充実では、川岸小学校と岡谷西部中学校の小中一貫校（義務教育学校）への移行及び周辺保育園の統合により幼保連携型認定こども園を併設する「川岸学園構想」の実現に向け、「川岸学園設立準備室」を設け、施設整備等にかかる計画を策定した。

また、施設整備では、岡谷田中小学校においてエレベーター及び身障者対応多目的トイレの整備によるバリアフリー化を図ったほか、小井川小学校の経年劣化した昇降口屋根等の防水工事を行い、安全・安心で、快適な学習環境の整備に努めた。

3 穏やかで美しい日常の実現

激甚化・頻発化する自然災害に対する地域の防災力・減災力への強化を図るため、各区自主防災組織及び消防団などの防災関係機関との連携を深めるとともに、新たに、緊急時の情報発信機能の強化を図る防災行政無線のデジタル化及び防災気象情報システムの構築に着手した。このほか、災害に対する事前の備えとして、人命の保護を最優先としながら、安定的な社会経済活動を継続できるよう本市の地域特性に応じた施策を推進するため、岡谷市国土強靱化地域計画（第2期）を策定した。

また、安全対策の推進では、安全・安心で強靱な地域づくりとして、河川の護岸や河床の破損箇所の改修のほか、降雨時の道路排水の溢水対策として雨水渠整備を行った。

地球温暖化対策では、ゼロカーボンシティの実現に向けて各種啓発事業に取り組むとともに、公共施設等における照明のLED化、公用車両へのEV導入、市役所敷地内への

E V 充電施設の整備など、温室効果ガスの削減と省エネによるコスト削減に努めた。

このほか、本市における再生可能エネルギー導入の可能性等を調査した。

4 原油価格・物価高騰への対応

事業者支援では、原油価格・物価高騰の影響を受ける市内福祉事業所等への緊急支援として、光熱費・食材費・ガソリン代における高騰分の一部を助成し、安定的なサービス提供を支援した。

生活支援では、50%のプレミアム付き商品券及びオカヤペイギフトカードを販売するとともに、食材価格が高騰する中、学校給食の質と量を維持しつつ保護者負担の軽減を図るため、給食費の値上げ相当分を公費で負担したほか、低所得世帯や子育て世帯に対し特別給付金を給付するなど、物価高騰下における市民の経済的負担の軽減を図った。

5 歳入面

令和５年度の一般会計歳入決算額は 23,846,014,380 円 で、前年度決算額に比べ 669,636,071 円、2.9%の増となった。

一般会計 歳入決算額款別比較表

款	令和５年度(A)	令和４年度(B)	(A)／(B)
1 市税	円 6,969,529,656	円 6,818,284,959	% 102.2
2 地方譲与税	160,273,000	141,085,000	113.6
3 利子割交付金	2,151,000	2,704,000	79.5
4 配当割交付金	39,432,000	32,556,000	121.1
5 株式等譲渡所得割交付金	39,224,000	23,391,000	167.7
6 法人事業税交付金	120,792,000	115,340,000	104.7
7 地方消費税交付金	1,271,824,000	1,269,360,000	100.2
8 ゴルフ場利用税交付金	9,956,283	10,534,813	94.5
9 環境性能割交付金	12,753,000	9,519,000	134.0
10 地方特例交付金	89,538,000	64,284,000	139.3
11 地方交付税	5,145,878,000	5,186,909,000	99.2
12 交通安全対策特別交付金	7,739,000	8,251,000	93.8
13 分担金及び負担金	128,064,576	141,683,274	90.4
14 使用料及び手数料	432,173,082	421,068,873	102.6
15 国庫支出金	(424,968,000) 3,321,146,512	(718,806,627) 3,802,203,328	87.3
16 県支出金	(1,465,000) 1,069,276,997	(64,567,992) 1,162,244,673	92.0
17 財産収入	97,744,936	138,678,440	70.5
18 寄附金	120,196,000	143,277,849	83.9
19 繰入金	73,790,700	90,336,222	81.7
20 繰越金	(93,187,000) 853,602,525	(198,320,000) 967,829,268	88.2
21 諸収入	1,010,751,113	1,021,085,610	99.0
22 市債	(283,600,000) 2,870,178,000	(453,700,000) 1,605,752,000	178.7
合 計	(803,220,000) 23,846,014,380	(1,435,394,619) 23,176,378,309	102.9

※（ ）書の数値は内書きであり、前年度から繰り越された財源である。

6 歳出面

令和5年度の一般会計歳出決算額は23,110,735,406円で、前年度決算額に比べ787,959,622円、3.5%の増となった。

一般会計 歳出決算額款別比較表

款	令和5年度(A)	令和4年度(B)	(A)／(B)
	円	円	%
1 議会費	183,059,875	187,347,952	97.7
2 総務費	(12,107,583) 2,694,304,478	(58,901,981) 3,179,096,845	84.8
3 民生費	7,545,441,820	(104,208,771) 7,280,763,317	103.6
4 衛生費	1,979,765,391	2,054,578,120	96.4
5 労働費	85,446,782	85,897,555	99.5
6 農林水産業費	(21,756,000) 175,119,485	(73,862,492) 244,524,591	71.6
7 商工費	(3,737,000) 1,841,829,139	(66,089,857) 1,969,326,345	93.5
8 土木費	(461,664,500) 2,343,767,395	(516,345,500) 2,162,359,672	108.4
9 消防費	597,740,828	640,886,307	93.3
10 教育費	(87,338,000) 1,825,808,145	(24,292,418) 1,798,666,560	101.5
11 公債費	3,575,213,066	2,185,420,264	163.6
12 予備費	0	0	—
13 災害復旧費	(263,239,002) 263,239,002	(524,987,256) 533,908,256	49.3
合 計	(849,842,085) 23,110,735,406	(1,368,688,275) 22,322,775,784	103.5

※ () 書の数値は内書きであり、前年度から繰り越された経費の歳出である。

議

会

第1 概説

4月23日投票日の市議会議員一般選挙において、立候補者が定数（18人）を超えなかったため無投票により17人全員が当選した。改選後、初議会となる臨時会が5月16日から17日に開催され、正副議長の選挙等を行った。また、9月24日に市議会議員欠員1人の再選挙が行われ、定数どおり18人となった。

5年度は、定例会4回（会期日数87日、うち開議日数23日）、臨時会2回（会期日数及び開議日数3日）が開催され、144件の議案等が審議された。特に第5次岡谷市総合計画の基本構想を審査するため、「基本構想特別委員会」を設置し、9回にわたり委員会が開催された。

議会基本条例に基づく議会改革の取り組みとして、市民への情報発信の充実を図るため、議会広報広聴委員会において市議会だより「議会のひろば」を年4回発行したほか、議会報告会を開催し、3常任委員会の活動状況の報告及びテーマに沿って意見交換を行うとともに、市民3団体との懇談会のほか、子育て支援学級、いちい学級の受講生を招き、議場等の見学や懇談会を開催した。

さらに、初の試みとなる「傍聴キャンペーン」や「議場コンサート」を開催し、市民により身近に感じていただく取り組みを行った。

また、姉妹都市議会議員交流として富岡市との議員交流研修会を本市にて開催し、市政の課題、議会運営等について意見交換を行った。

第2 実績総括

主な事務事業	内	容	
議会運営事務	議席の指定		
	1 番 今井 康善	2 番 秋山 良治	3 番 土橋 学
	4 番 花岡健一郎	5 番 山崎 仁	6 番 小松 壮
	7 番 藤森 弘	8 番 宇野 香二	9 番 田村みどり
	1 0 番 酒井 和彦	1 1 番 上田 澄子	1 2 番 早出すみ子
	1 3 番 今井 浩一	1 4 番 渡辺 太郎	1 5 番 吉田 浩
	1 6 番 中島 秀明	1 7 番 笠原征三郎	1 8 番 丸山 善行
	議長、副議長		
	議 長	今井 康善（令和 5 年 5 月 1 6 日選挙）	
	副議長	小松 壮（ ” ” ）	
	監査委員		
	監査委員	中島 秀明（令和 5 年 5 月 1 7 日同意）	

※◎委員長 ○副委員長

【常任委員会委員の構成】

(令和5年5月17日選任・正副委員長互選)

総務委員会(6人)

◎吉田 浩 ○早出すみ子 今井 康善 花岡健一郎
宇野 香二 今井 浩一

社会委員会(6人)

◎山崎 仁 ○秋山 良治 土橋 学 小松 壮
田村みどり 上田 澄子

産業建設委員会(6人)

◎渡辺 太郎 ○藤森 弘 酒井 和彦 中島 秀明
笠原征三郎
丸山 善行(※令和5年9月24日選任)

【議会運営委員会委員の構成】

(令和5年5月17日選任・正副委員長互選)

議会運営委員会(7人)

◎笠原征三郎 ○花岡健一郎 山崎 仁 宇野 香二
上田 澄子 渡辺 太郎 吉田 浩

【組合議会議員等の構成】

(令和5年5月17日選挙)

諏訪広域連合議会議員(5人)

今井 康善 小松 壮 宇野 香二 早出すみ子
今井 浩一

湖北行政事務組合議会議員(9人)

今井 康善 秋山 良治 山崎 仁 小松 壮
田村みどり 酒井 和彦 上田 澄子 渡辺 太郎
吉田 浩

湖周行政事務組合議会議員(4人)

今井 康善 花岡健一郎 小松 壮 笠原征三郎

諏訪広域公立大学事務組合議会議員(3人)

今井 康善 土橋 学 藤森 弘

【基本構想特別委員会の設置(正副議長を除く全議員)】

(令和5年6月22日設置・正副委員長互選)

◎宇野 香二 ○上田 澄子

【決算特別委員会委員の構成】

(令和5年10月13日設置、正副委員長互選)

一般・特別会計(8人)

◎今井 浩一 ○上田 澄子 笠原征三郎 秋山 良治
宇野 香二 渡辺 太郎 山崎 仁 酒井 和彦

企業会計(8人)

◎花岡健一郎 ○土橋 学 藤森 弘 吉田 浩
早出すみ子 田村みどり 丸山 善行 小松 壮

【会派の構成】

おかや未来研究室（８人）

吉田 浩 中島 秀明 渡辺 太郎 宇野 香二
藤森 弘 今井 浩一 秋山 良治 土橋 学

日本共産党岡谷市議団（３人）

笠原征三郎 早出すみ子 上田 澄子

やまびこ（２人）

山崎 仁 花岡健一郎

無会派（３人）

田村みどり 酒井 和彦 丸山 善行

【選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙】

（令和５年１２月１４日選挙）

委員

高林あつ子 花岡 浩臣 濱 道夫 松下 正樹

補充員

（第１順位）花岡 則秀 （第２順位）小口 恭子

（第３順位）林 恒夫 （第４順位）濱 和男

【議会をテーマに行った市民講座】

輝く子育て支援学級（カルチャーセンター）

日 時 ７月２１日（金）

場 所 全員協議会室ほか

参加者 ７人

内 容 「親子で～お出かけ！」
～議会見学会＆議員さんと座談会～

いちい学級（長地公民館）

日 時 ７月７日（金）

場 所 全員協議会室ほか

参加者 ４０人

内 容 「議場見学へ出かけよう！」

いちい学級（川岸公民館）

日 時 ９月２０日（水）

場 所 全員協議会室ほか

参加者 ２５人

内 容 「市議会を見学して、議員さんと語ろう」

議会報告会

「夢と希望がもてるまちづくり」

日 時 １月２３日（火）

場 所 イルフプラザカルチャーセンター

参加者 ２１人

内 容 議会報告及び座談会

総務委員会

「駅前はどうなるの？公共施設は」

社会委員会

「子育て支援はどうなっているの」

産業建設委員会

「空き家等対策は」

（12,314,101 円）

姉妹都市親善友好事業	富岡市との議員交流研修会 日 時 7月10日（月） 場 所 岡谷市役所 参加者 34人（岡谷市17人、富岡市17人） 内 容 地域役員の担い手不足、 地域団体の会員数の減少について 市民とともに進めるまちの活性化について 福祉タクシーについて 福祉施策について 岡谷市工業活性化計画について 世界遺産を活用した産業（商業、観光） 活性化の取り組みについて （347,876 円）

第3 主要な統計、行政資料等

1 議 案

議案番号	件 名	提 出 月 日	付 託 委 員 会	議 決 月 日	審 議 結 果
議案第38号	岡谷市監査委員の選任について	5.17		5.17	同意
議案第39号	岡谷市監査委員の選任について	5.17		5.17	同意
議案第40号	岡谷市教育委員会教育長の任命について	5.17		5.17	同意
※	閉会中の継続審査申し出について	5.17	（議）	5.17	決定
議案第41号	岡谷市固定資産評価審査委員会委員の選任について	6.9		6.9	同意
議案第42号	岡谷市農業委員会委員の任命について	6.9		6.9	同意
議案第43号	岡谷市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	6.9	総務	6.22	原案可決
議案第44号	岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	6.9	社会	6.22	原案可決
議案第45号	岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	6.9	社会	6.22	原案可決
議案第46号	岡谷市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例	6.9	社会	6.22	原案可決
議案第47号	岡谷市病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	6.9	社会	6.22	原案可決
議案第48号	令和5年度岡谷市一般会計補正予算（第2号）	6.9	3 常任	6.22	原案可決
議案第49号	令和5年度岡谷市下水道事業会計補正予算（第1号）	6.9	産業建設	6.22	原案可決
議案第50号	令和5年度岡谷市一般会計補正予算（第3号）	6.19	3 常任	6.22	原案可決

議案第 51 号 ※	義務教育費国庫負担制度の堅持・ 拡充を求める意見書	6. 22	(総)	6. 22	原案可決
議案第 52 号 ※	さらなる少人数学級推進と、教育 予算の増額を求める意見書	6. 22	(総)	6. 22	原案可決
議案第 53 号 ※	へき地教育振興法に鑑み、へき地 手当等支給率を近隣県並みの水準 に戻すことを求める意見書	6. 22	(総)	6. 22	原案可決
議案第 54 号 ※	改悪された出入国管理及び難民認 定法の施行中止と撤回を求める意 見書	6. 22	(共)	6. 22	否決
※	岡谷市基本構想特別委員会の設置 について	6. 22	(議)	6. 22	決定
議案第 55 号	令和 4 年度岡谷市一般会計歳入歳 出決算認定について	10. 13	決算特別	11. 10	認定
議案第 56 号	令和 4 年度岡谷市国民健康保険事 業特別会計歳入歳出決算認定につ いて	10. 13	決算特別	11. 10	認定
議案第 57 号	令和 4 年度岡谷市地域開発事業特 別会計歳入歳出決算認定について	10. 13	決算特別	11. 10	認定
議案第 58 号	令和 4 年度岡谷市分収造林事業特 別会計歳入歳出決算認定について	10. 13	決算特別	11. 10	認定
議案第 59 号	令和 4 年度岡谷市霊園事業特別会 計歳入歳出決算認定について	10. 13	決算特別	11. 10	認定
議案第 60 号	令和 4 年度岡谷市温泉事業特別会 計歳入歳出決算認定について	10. 13	決算特別	11. 10	認定
議案第 61 号	令和 4 年度岡谷市後期高齢者医療 事業特別会計歳入歳出決算認定に ついて	10. 13	決算特別	11. 10	認定
議案第 62 号	令和 4 年度岡谷市湊財産区一般会 計歳入歳出決算認定について	10. 13	決算特別	11. 10	認定
議案第 63 号	令和 4 年度岡谷市水道事業会計の 決算認定について	10. 13	決算特別	11. 10	認定
議案第 64 号	令和 4 年度岡谷市下水道事業会計 の決算認定について	10. 13	決算特別	11. 10	認定
議案第 65 号	令和 4 年度岡谷市病院事業会計の 決算認定について	10. 13	決算特別	11. 10	認定
議案第 66 号	岡谷市印鑑の登録及び証明に関す る条例の一部を改正する条例	10. 17	社会	11. 10	原案可決
議案第 67 号	岡谷市特定教育・保育施設及び特 定地域型保育事業の運営に関する 基準を定める条例の一部を改正す る条例	10. 17	社会	11. 10	原案可決
議案第 68 号	市道路線の認定について	10. 17	産業建設	11. 10	原案可決
議案第 69 号	令和 5 年度岡谷市一般会計補正予 算 (第 9 号)	10. 17	総務 産業建設	10. 17	原案可決
議案第 70 号	令和 5 年度岡谷市一般会計補正予 算 (第 10 号)	10. 17	総務 産業建設	11. 10	原案可決
議案第 71 号	令和 5 年度岡谷市病院事業会計補 正予算 (第 1 号)	10. 17	社会	11. 10	原案可決

議案第 72 号	岡谷市教育委員会委員の選任について	11.10		11.10	同意
議案第 73 号 ※	主要地方道下諏訪辰野線拡幅改良を求める意見書	11.10	産業建設	11.10	原案可決
議案第 74 号 ※	新型コロナウイルスワクチン接種後の情報提供とフォロー体制を求める意見書	11.10	(超)	11.10	原案可決
議案第 75 号 ※	トリガー条項の凍結解除など燃料油価格の高騰への対処を求める意見書	11.10	(議)	11.10	原案可決
議案第 76 号 ※	現行の健康保険証廃止の延期を求める意見書	11.10	(超)	11.10	否決
議案第 77 号	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	11.30	総務	11.30	原案可決
議案第 78 号	岡谷市職員の給与に関する条例及び岡谷市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	11.30	総務	11.30	原案可決
議案第 79 号	令和 5 年度岡谷市一般会計補正予算（第 1 1 号）	11.30	3 常任	11.30	原案可決
議案第 80 号	令和 5 年度岡谷市病院事業会計補正予算（第 2 号）	11.30	社会	11.30	原案可決
議案第 81 号 ※	岡谷市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	11.30		11.30	原案可決
議案第 82 号	令和 5 年度岡谷市一般会計補正予算（第 1 2 号）	11.30		11.30	原案可決
議案第 83 号	岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	11.30	社会	12.14	原案可決
議案第 84 号	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	11.30	社会	12.14	原案可決
議案第 85 号	岡谷市空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例	11.30	産業建設	12.14	原案可決
議案第 86 号	財産の貸付について	11.30	総務	12.14	原案可決
議案第 87 号	岡谷市スポーツ施設の指定管理者の指定について	11.30	総務	12.14	原案可決
議案第 88 号	岡谷市健康福祉施設の指定管理者の指定について	11.30	社会	12.14	原案可決
議案第 89 号	損害賠償の額の決定について	11.30	社会	12.14	原案可決
議案第 90 号	令和 5 年度岡谷市一般会計補正予算（第 1 3 号）	11.30	3 常任	12.14	原案可決
議案第 91 号	令和 5 年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	11.30	社会	12.14	原案可決
議案第 92 号	令和 5 年度岡谷市病院事業会計補正予算（第 3 号）	11.30	社会	12.14	原案可決
議案第 93 号	令和 5 年度岡谷市一般会計補正予算（第 1 4 号）	12.8	総務 社会	12.14	原案可決

議案第 94 号	令和 5 年度岡谷市水道事業会計補正予算（第 1 号）	12. 8	産業建設	12. 14	原案可決
議案第 95 号	令和 5 年度岡谷市病院事業会計補正予算（第 4 号）	12. 8	社会	12. 14	原案可決
議案第 1 号	第 5 次岡谷市総合計画基本構想について	1. 19	基本構想 特別	1. 19	継続審査
議案第 1 号	第 5 次岡谷市総合計画基本構想について	1. 19	基本構想 特別	2. 20	原案可決
議案第 2 号	岡谷市等公平委員会委員の選任について	2. 20		2. 20	同意
議案第 3 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	2. 20		2. 20	同意
議案第 4 号	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例	2. 20	社会	2. 20	原案可決
議案第 5 号	岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	2. 20	社会	2. 20	原案可決
議案第 6 号	令和 5 年度岡谷市一般会計補正予算（第 1 6 号）	2. 20	3 常任	2. 20	原案可決
議案第 7 号	令和 5 年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	2. 20	社会	2. 20	原案可決
議案第 8 号	令和 5 年度岡谷市下水道事業会計補正予算（第 2 号）	2. 20	産業建設	2. 20	原案可決
議案第 9 号	令和 5 年度岡谷市病院事業会計補正予算（第 5 号）	2. 20	社会	2. 20	原案可決
議案第 10 号	岡谷市監査委員に関する条例等の一部を改正する条例	2. 20	総務	3. 19	原案可決
議案第 11 号	岡谷市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例	2. 20	総務	3. 19	原案可決
議案第 12 号	岡谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	2. 20	総務	3. 19	原案可決
議案第 13 号	岡谷市まち・ひと・しごと創生基金条例を廃止する条例	2. 20	産業建設	3. 19	原案可決
議案第 14 号	督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例	2. 20	3 常任	3. 19	原案可決
議案第 15 号	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例	2. 20	産業建設	3. 19	原案可決
議案第 16 号	岡谷市育英基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	2. 20	総務	3. 19	原案可決
議案第 17 号	岡谷市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例	2. 20	社会	3. 19	原案可決
議案第 18 号	岡谷市犯罪被害者等支援条例	2. 20	社会	3. 19	原案可決
議案第 19 号	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	2. 20	社会	3. 19	原案可決
議案第 20 号	岡谷市営住宅条例の一部を改正する条例	2. 20	産業建設	3. 19	原案可決

議案第 21 号	岡谷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	2.20	総務	3.19	原案可決
議案第 22 号	岡谷市水道事業給水条例の一部を改正する条例	2.20	産業建設	3.19	原案可決
議案第 23 号	諏訪広域連合規約の一部変更について	2.20	総務	3.19	原案可決
議案第 24 号	令和 6 年度岡谷市一般会計予算	2.20	3 常任	3.19	原案可決
議案第 25 号	令和 6 年度岡谷市国民健康保険事業特別会計予算	2.20	社会	3.19	原案可決
議案第 26 号	令和 6 年度岡谷市地域開発事業特別会計予算	2.20	産業建設	3.19	原案可決
議案第 27 号	令和 6 年度岡谷市分収造林事業特別会計予算	2.20	産業建設	3.19	原案可決
議案第 28 号	令和 6 年度岡谷市霊園事業特別会計予算	2.20	社会	3.19	原案可決
議案第 29 号	令和 6 年度岡谷市温泉事業特別会計予算	2.20	産業建設	3.19	原案可決
議案第 30 号	令和 6 年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計予算	2.20	社会	3.19	原案可決
議案第 31 号	令和 6 年度岡谷市湊財産区一般会計予算	2.20	総務	3.19	原案可決
議案第 32 号	令和 6 年度岡谷市水道事業会計予算	2.20	産業建設	3.19	原案可決
議案第 33 号	令和 6 年度岡谷市下水道事業会計予算	2.20	産業建設	3.19	原案可決
議案第 34 号	令和 6 年度岡谷市病院事業会計予算	2.20	社会	3.19	原案可決
議案第 35 号	岡谷市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	3.19	総務	3.19	原案可決
議案第 36 号	令和 5 年度岡谷市一般会計補正予算（第 17 号）	3.19	総務 社会	3.19	原案可決
議案第 37 号	岡谷市副市長の選任について	3.19		3.19	同意
議案第 38 号 ※	刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書	3.19	（総）	3.19	原案可決
議案第 39 号 ※	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	3.19	（議）	3.19	原案可決
議案第 40 号 ※	特別支援学級等への教員等の適切な配置を求める意見書	3.19	（議）	3.19	原案可決
議案第 41 号 ※	現行の健康保険証の存続を求める意見書	3.19	（共）	3.19	否決
議案第 42 号 ※	ガザ地区における戦闘休止及び人質の即時解放に向けた取り組みを求める意見書	3.19	（超）	3.19	否決
議案第 43 号 ※	家族法制見直しの慎重かつ丁寧な議論及び検討に関する意見書	3.19	（超）	3.19	否決
議案第 44 号 ※	令和 6 年度岡谷市一般会計予算に対する決議	3.19	（お）	3.19	原案可決

- 注 ・議案番号欄の※印は議員提出議案を示す。
 ・付託委員会欄の（ ）書は議案提出者の所属委員会等を示す。

2 報 告

報告番号	件 名	提 出 月 日	付 託 委 員 会	議 決 月 日	審 議 結 果
報告第 5 号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）	5. 17		5. 17	報告
報告第 6 号	専決処分の承認を求めることについて（岡谷市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例）	5. 17		5. 17	承認
報告第 7 号	専決処分の承認を求めることについて（岡谷市市税条例の一部を改正する条例）	5. 17		5. 17	承認
報告第 8 号	専決処分の承認を求めることについて（岡谷市都市計画税条例の一部を改正する条例）	5. 17		5. 17	承認
報告第 9 号	専決処分の承認を求めることについて（岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	5. 17		5. 17	承認
報告第 10 号	専決処分の承認を求めることについて（令和 4 年度岡谷市一般会計補正予算（第 1 6 号））	5. 17		5. 17	承認
報告第 11 号	専決処分の承認を求めることについて（令和 4 年度岡谷市病院事業会計補正予算（第 6 号））	5. 17		5. 17	承認
報告第 12 号	専決処分の承認を求めることについて（令和 5 年度岡谷市一般会計補正予算（第 1 号））	5. 17		5. 17	承認
報告第 13 号	令和 4 年度岡谷市一般会計繰越明許費繰越計算書について	6. 9		6. 9	報告
報告第 14 号	令和 4 年度岡谷市一般会計事故繰越し繰越計算書について	6. 9		6. 9	報告
報告第 15 号	令和 4 年度岡谷市水道事業会計予算繰越計算書について	6. 9		6. 9	報告
報告第 16 号	令和 4 年度岡谷市下水道事業会計予算繰越計算書について	6. 9		6. 9	報告
報告第 17 号	令和 4 年度岡谷市病院事業会計予算繰越計算書について	6. 9		6. 9	報告
報告第 18 号	専決処分の承認を求めることについて（岡谷市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例）	10. 13		10. 13	承認
報告第 19 号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）	10. 13		10. 13	報告

報告第 20 号	専決処分の報告について (令和 5 年度岡谷市一般会計補正 予算 (第 4 号))	10. 13		10. 13	報告
報告第 21 号	専決処分の報告について (和解及び損害賠償の額の決定に ついて)	10. 13		10. 13	報告
報告第 22 号	専決処分の報告について (令和 5 年度岡谷市一般会計補正 予算 (第 5 号))	10. 13		10. 13	報告
報告第 23 号	専決処分の承認を求めることにつ いて (令和 5 年度岡谷市一般会計 補正予算 (第 6 号))	10. 13		10. 13	承認
報告第 24 号	専決処分の報告について (和解及び損害賠償の額の決定に ついて)	10. 13		10. 13	報告
報告第 25 号	専決処分の報告について (令和 5 年度岡谷市一般会計補正 予算 (第 7 号))	10. 13		10. 13	報告
報告第 26 号	専決処分の報告について (和解及び損害賠償の額の決定に ついて)	10. 13		10. 13	報告
報告第 27 号	専決処分の報告について (令和 5 年度岡谷市一般会計補正 予算 (第 8 号))	10. 13		10. 13	報告
報告第 28 号	専決処分の報告について (和解及び損害賠償の額の決定に ついて)	11. 30		11. 30	報告
報告第 1 号	専決処分の報告について (和解及 び損害賠償の額の決定について)	1. 19		1. 19	報告
報告第 2 号	専決処分の報告について (和解及 び損害賠償の額の決定について)	1. 19		1. 19	報告
報告第 3 号	専決処分の報告について (和解及 び損害賠償の額の決定について)	2. 20		2. 20	報告
報告第 4 号	専決処分の報告について (令和 5 年度岡谷市一般会計補正予算 (第 1 5 号))	2. 20		2. 20	報告

3 選挙・選任

選挙・選任 番 号	件 名	提出月日	選挙・選任 月 日
選挙第 1 号	議長の選挙	5. 16	5. 16
選挙第 2 号	副議長の選挙	5. 16	5. 16
選任第 1 号	常任委員会委員の選任	5. 17	5. 17
選任第 2 号	議会運営委員会委員の選任	5. 17	5. 17
選挙第 3 号	諏訪広域連合議会議員の選挙	5. 17	5. 17
選挙第 4 号	湖北行政事務組合議会議員の選挙	5. 17	5. 17
選挙第 5 号	湖周行政事務組合議会議員の選挙	5. 17	5. 17
選挙第 6 号	諏訪広域公立大学事務組合議会議員の選挙	5. 17	5. 17
選挙第 7 号	岡谷市選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙	12. 14	12. 14

4 請 願

請願番号	件 名	提 出 月 日	付 託 委 員 会	議 決 月 日	審 議 結 果
請願第 1 号	岡谷市小中学校の給食費無料化を求める請願	2. 20	総務	3. 19	趣旨採択
請願第 2 号	インボイス制度の中止を求める意見書を政府と国会に送付することを求める請願	2. 20	総務	3. 19	不 採 択

5 本会議の状況

(単位：件)

会 期	会 期 日 数	開 議 日 数	提 出 議 案 等								議 決 結 果												意 見 書・決 議	
			市 長 提 出				議 員 出 提 出		選 挙・選 任	請 願(内継続分)	計	原 案 可 決	否 決	同 意	認 定	報 告 認 定	決 定	選 挙・選 任	継 続 審 査	不 採 択	趣 旨 採 択			
			条 例	予 算・決 算	そ の 他	報 告(内専決)	条 例	そ の 他																
R5 第 2 回臨時会 5.16～5.17	2	2			3	8 (8)		1	8		20			3		1	7	1	8					
第 3 回定例会 6.9～6.22	14	5	5	3	2	5 (0)		5			20	11	1	2		5		1						4
第 4 回定例会 10.13～11.10	29	6	3	14	1	10 (10)		4			32	9	1	1	11	8	2							4
第 5 回定例会 11.30～12.14	15	5	5	9	4	1 (1)	1		1		21	19				1			1					
R6 第 1 回臨時会 1.19～1.19	1	1			1	2 (2)					3					2				1				
第 2 回定例会 2.20～3.19	29	7	16	16	5	2 (2)		7		2	48	38	3	3		2					1	1	7	

定 例 (4)	87	23	29	42	12	18 (13)	1	16	1	2	121	77	5	6	11	16	2	1	1		1	1	15
臨 時 (2)	3	3			4	10 (10)		1	8		23			3		3	7	1	8	1			

計 (6)	90	26	29	42	16	28 (23)	1	17	9	2	144	77	5	9	11	19	9	2	9	1	1	1	15

6 委員会・全員協議会等開催状況

委 員 会 名		回 数	
総 務	委 員 会	1 0	1 1
	委 員 協 議 会	1	
社 会	委 員 会	1 0	1 1
	委 員 協 議 会	1	
産 業 建 設	委 員 会	1 0	1 2
	委 員 協 議 会	2	
決 算 特 別 委 員 会	一 般 ・ 特 別	3	
	企 業	3	
議 会 運 営 委 員 会		1 6	
岡 谷 市 基 本 構 想 特 別 委 員 会		9	
全 員 協 議 会		1 5	
議 会 改 革 検 討 委 員 会		8	
議 会 広 報 広 聴 委 員 会		1 7	

注 各委員会とも行政視察を除く。

7 行政視察先

委員会名及び視察期日	視察市町村	視 察 内 容
総 務 委 員 会 (11/14～11/16)	三重県 桑名市 三重県 津 市 大阪府 大東市	・ ICT を活用した教育について ・ 公民連携の庁内推進体制について ・ 全国初の官民連携による市営住宅の 建替え・再開発プロジェクト「morineki プロジェクト」 ・ 「ala まち元気プロジェクト」について
	岐阜県 可児市	
社 会 委 員 会 (11/14～11/16)	栃木県 小山市 栃木県 真岡市 茨城県 水戸市 茨城県 日立市	・ 社会福祉法人「パステル」 ・ WinGraffiti(株)「わらくや」 ・ 水戸市清掃工場 えこみっと ・ Hi タッチらんど ハレニコ
産 業 建 設 委 員 会 (11/14～11/16)	愛知県 名古屋市 愛知県 豊田市	・ トヨタ産業技術記念館 ・ 鞍ヶ池公園民間活力導入事業 (Park-PFI)
	静岡県 浜松市	・ (公財) 浜松・浜名湖ツーリズム ビューロー
	静岡県 静岡市	・ Park-PFI 事業 城北公園

8 行政視察受入

団 体 名	人 員	期 日	視 察 内 容	担 当 課
富 山 県 氷 見 市 議 会	7	8. 9	政策提言・提案について	議会事務局
山 形 県 長 井 市 議 会	8	10. 4	電子マネーOkayaPay について	商業観光課 岡谷商工会議所
合 計	15 人	2 日		

市 長 部 局

企 画 政 策 部

企 画 課

第1 概説

企画課では、「第5次岡谷市総合計画前期基本計画」に基づく各種施策の総合調整のほか、まちづくりにおける重要課題の検討のための庁内調整を行った。

また、令和6年度を初年度とする「第5次岡谷市総合計画後期基本計画」について、岡谷市基本構想審議会及び岡谷市基本構想特別委員会での審議を経て策定・決定した。

このほか、広域行政、行政改革、公共施設整備の進行管理、自治体DX、統計調査などの業務を執行した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
企画事務	1 庁内調整 (1) 行政管理委員会 市長の意思決定を補完する内部機関として庁内の意思決定を行うため、25回開催した。 (2) 庁内会議 各種施策の推進に向けて庁内調整を行うため、33回開催した。 2 実施計画の策定 「第5次岡谷市総合計画」を推進するための実行計画として、令和6年度から令和8年度までの3年間に実施を予定している重点施策等について、事業内容と財源を明らかにした。 3 主要施策の進行管理 令和5年度に予算化された事業のうち、特に重要な15事業を指定事務事業として選定し、行政管理委員会へ定期的に執行状況を報告した。 4 陳情・請願の処理 ・受陳情：23件（企画政策部5件、総務部1件、市民環境部1件、健康福祉部7件、産業振興部3件、建設水道部3件、教育部3件） ・発陳情：3件（建設水道部3件） 5 総合教育会議の運営 市長と教育委員会により構成する岡谷市総合教育会議を開催し、教育行政に関する重要な事項などについて協議を行った。 ・構成員：市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員4名（計7名） ・会 議：1回開催（令和6年2月6日（火）） (1,819,130円)

総合計画推進事業	「第5次岡谷市総合計画後期基本計画（令和6年度～令和10年度）」の策定に向け、市民意見の募集を行ったほか、岡谷市基本構想審議会及び岡谷市基本構想特別委員会を開催した。 また、市民や関係機関への周知等のため、冊子及び概要版を作成した。 ・パブリックコメント 期 間：11月2日（木）～11月30日（木） 提出意見：8件 ・岡谷市総合計画策定推進本部会議 期 間：10月16日（月）～3月1日（金） 開催回数：3回 ・岡谷市基本構想審議会 期 間：5月15日（月）～12月18日（月） 開催回数：8回 ・岡谷市基本構想特別委員会 期 間：6月22日（木）～1月29日（月） 開催回数：9回 ・第5次岡谷市総合計画後期基本計画策定支援委託業務 委 託 先：株式会社サーベイリサーチセンター静岡事務所 期 間：4月13日（木）～3月31日（日） 金 額：1,034,000円 (2,015,604円)
旧岡谷市役所庁舎保全事業	旧岡谷市役所庁舎を後世に継承するため、老朽度調査の結果をもとに、耐震補強等工事の実施設計を行った。 また、施設の認知度・知名度の向上を図るため、ホームページやパンフレット、ペーパークラフトの作成・配布等によるPRに努めた。 加えて、シルクフェアや旧岡谷市役所庁舎で撮影された映画の公開に併せて、施設の見学会を実施した。 (3,824,700円)
広域行政事業	1 諏訪広域連合 広域連合規約で定められた事業及び広域連合で決定された事業を実施した。 ・諏訪広域連合負担金：26,280,340円 2 諏訪広域公立大学事務組合 諏訪広域公立大学事務組合等の各種会議に出席し、公立諏訪東京理科大学の運営等について協議を行った。 ・諏訪広域公立大学事務組合負担金：411,536円 3 市町村担当者会議 長野県と市町村及び広域連合が連携し、諏訪湖創生ビジョンの推進に係る会議等に参加した。 (26,696,001円)
岡谷駅前公共用地権利取得事業	ラオカヤの市以外の権利者に対して権利取得交渉を進め、了解が得られた権利者から順次契約を行い、全権利者の土地及び建物の所有権移転登記が完了した。 ・全契約者数 37名（権利者26名、借家人11名） 令和5年度取得 権利者 1名 (12,107,583円)

岡谷駅前再開発ビル管理事業	岡谷駅前再開発ビルの施設管理を行った。 令和6年3月22日をもってC棟を閉鎖し、令和4年12月に閉鎖済みのAB棟と併せて完全閉鎖した。 (8,725,395円)
行政改革推進事務	1 「行財政改革プログラム」の推進及び「第2次岡谷市行財政改革プログラム（令和6年度～令和10年度）」の策定 （1）「行財政改革プログラム」の進行管理 令和4年度の取組状況の総括・公表及び令和5年度の各課等の行動計画の取りまとめなど進行管理を行った。 ・令和4年度の達成率：72.7% （2）行政改革審議会 「行財政改革プログラム」の取組状況や行動計画の報告のほか、「第2次岡谷市行財政改革プログラム（案）」について、諮問及び答申を行った。 期 間：7月18日（火）～1月17日（水） 開催回数：5回 （3）審議会委員の選任 審議会委員の任期満了に伴い新たに委員13名を選任した。 （任期：令和5年8月1日～令和7年7月31日） 2 行政評価の実施 効果的、効率的な市民サービスに資する新たな企画立案や事業の優先順位付けを目的とし、令和4年度の施策評価を実施した。 3 指定管理者制度 （1）モニタリングの実施 公の施設指定管理者選定等審議会において、第三者の視点によるモニタリングを実施し、指定管理事業者及び施設担当課等へのヒアリングや現地視察により業務改善や改革への提言を行うとともに、モニタリング報告書の手交を受けた。 ・実 施 日：6月30日（金）・8月3日（木） ・開催回数：2回 ・対象施設：岡谷市文化会館、日本童画美術館 岡谷市都市公園 （2）指定管理者再選定 令和6年3月末で指定管理期間が満了となる指定管理施設について再選定を行うため、公の施設指定管理者選定等審議会に対し諮問し、審査、答申を行った。 ・期 間：8月3日（木）～9月12日（火） ・開催回数：3回 ・対象施設：岡谷健康福祉施設、岡谷市スポーツ施設（6施設） （3）審議会委員の選任 審議会委員の任期満了に伴い新たに委員5名を選任した。 （任期：令和5年10月1日～令和7年9月30日） （4）指定管理者支援 物価高騰の影響により指定管理施設の管理運営に支障が生じることから、「岡谷市指定管理者制度に関するガイドライン」に基づき指定管理者への支援を行った。

	4 組織定員管理 「第5次岡谷市総合計画」を推進するため、課等の現状調査及びヒアリングの実施により課題等を把握しながら、組織体制の構築及び定数配置を行った。 (1) 組織管理（令和5年4月組織改正） ・ゼロカーボンを推進するため、環境課「環境保全」担当を「環境政策・ゼロカーボン推進」担当へ改称した。 ・国の方針に基づき「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を「新型コロナウイルス感染症対策室」へ改称した。 ・幼保小中の一体的な育ちと新たな環境基盤を創出するため、教育部に「川岸学園設立準備室」を設置した。 ・市の歴史を後世に伝える岡谷市史を編さんするため、教育部に「岡谷市史編さん準備室」を設置した。 (2) 定数管理 「第7次岡谷市定員適正化計画」に基づき、喫緊の行政課題や重点事業に対応した定数配置とし、一般会計等の予算定数を414名とした。 (3) 定員適正化計画の策定 人口減少や社会情勢の変化、多様化する市民ニーズに対応した職員定数の適正化を図るため、「第8次岡谷市定員適正化計画（令和6年度～令和10年度）」を策定した。 (396,809円)
行政報告書作成事務	令和4年度行政報告書を作成し、市立図書館、県立図書館、国立国会図書館、市情報公開コーナーに閲覧用冊子を設置した。 (384,450円)
公共施設総合管理推進事務	1 公共施設等総合管理計画の推進 「公共施設等総合管理計画」及び「公共施設個別施設計画」に基づき、対象施設の方向性決定に向けた協議や、施設長寿命化を図るための改修工事など計画的な進捗管理を行った。 2 公共施設白書 各施設の老朽化の状況や運営、利用の状況を客観的な指標により評価を行った公共施設白書（2022年度版）を発行した。 (34,201円)
広域情報化推進事業	1 総合行政ネットワーク 国と地方自治体を結ぶ総合行政ネットワーク（LGWAN）に支障がないよう機器の保守点検業務などを実施した。 2 諏訪地域行政情報化推進委員会 諏訪地域で共同利用している各種行政情報システムについて、法令改正に伴う改修や、機器更改などの検討を行った。 また、国の「自治体DX推進計画」に基づく、「情報システムの標準化・共通化」に向けた検討を行った。 3 長野県電子申請届出システム (1) 長野県電子申請届出システム 長野県市町村自治振興組合が運営し、県及び市町村参加による長野県電子申請届出システムのサービス利用に係る経費を負担した。 ・長野県電子申請届出システム負担金：341,335円

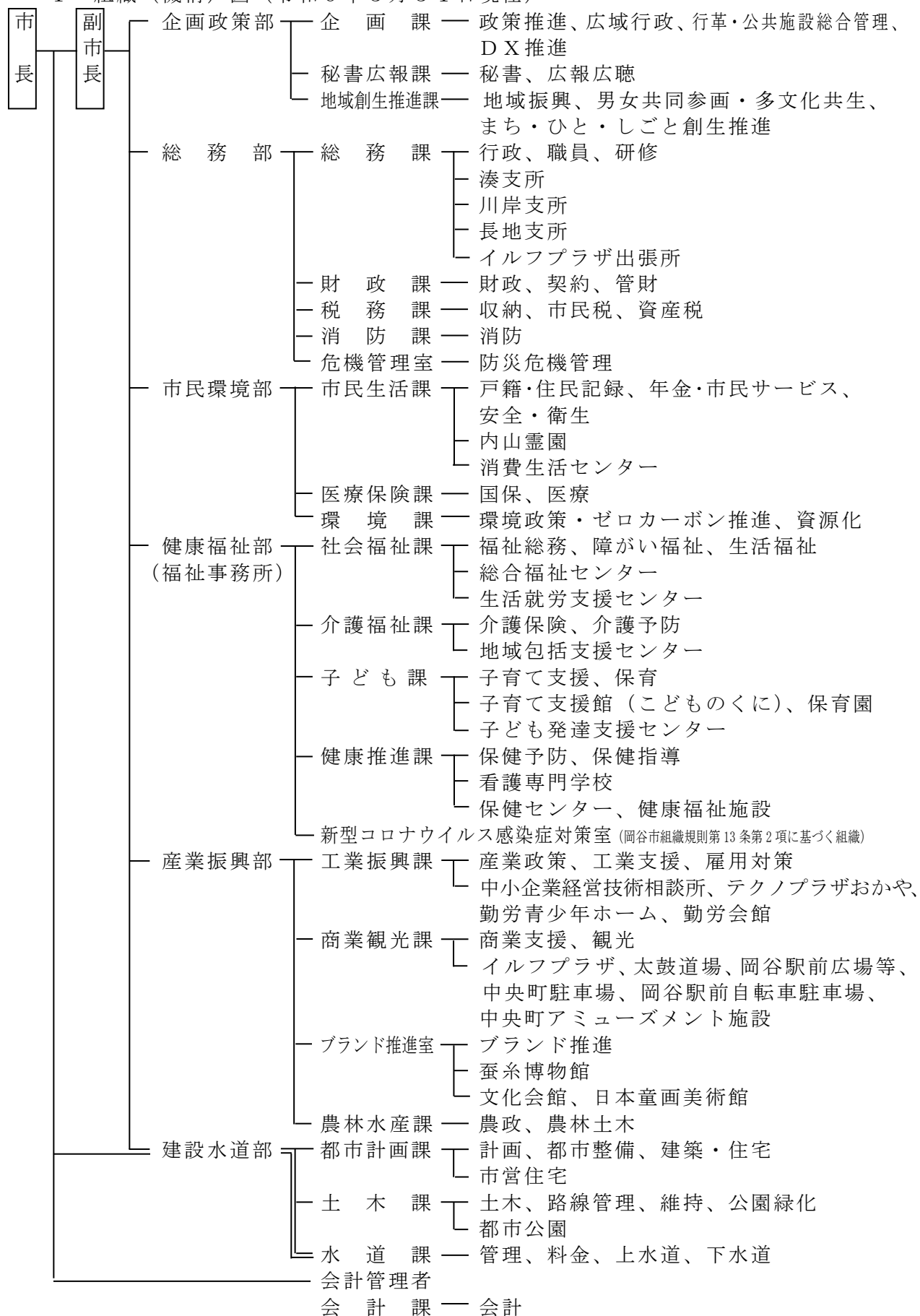
	(2) システムを利用した行政手続の状況 ・ 手続項目： 147項目 (前年度148項目) ・ 申請件数： 2,073件 (前年度2,287件) 4 長野県高速情報通信ネットワーク 県と市町村を光ファイバーで接続する「長野県高速情報通信ネットワーク (情報ブロードウェイなの)」の諏訪広域6市町村代表接続利用に伴う経費を負担した。なお、諏訪広域6市町村負担分は歳入に計上した。 長野県高速情報通信ネットワーク負担金：1,029,336円 5 電子自治体推進事業 長野県市町村自治振興組合が運営する「電子自治体推進事業」に係る経費を負担した。 電子自治体推進事業負担金：198,665円 6 長野県先端技術活用推進協議会 県と市町村等による「長野県先端技術活用推進協議会」の下に設置された、自治体DXの推進や、個別の行政分野におけるDX推進に関わるワーキンググループ等に参画し、積極的な情報収集を行った。 (3,460,896円)
地域情報化推進事業	1 国等の情報収集 インターネットを活用した官庁速報 (iJAMP) の利用等により、国及び地方自治体の各種施策や行財政情報を迅速に収集し、地域情報化の推進に努めた。 2 オープンデータ 公共データの活用促進を図るため、「岡谷市オープンデータサイト」及び「岡谷市GIS版オープンデータサイト」を一般公開し、データ提供を行った。 3 地域情報化支援業務 地域情報化の推進を図るとともに、専門化・高度化する情報通信技術分野に対応するため、(株)諏訪広域総合情報センタより情報技術員の派遣を受けた。 地域情報化支援業務負担金：5,028,540円 (5,539,840円)
情報システム管理事業	1 情報システムの管理 住民行政、財務会計、コミュニケーション系、ホームページなど各種情報システムの安定稼働を確保するための運用管理を行い、効率的な行政事務の執行やセキュリティ強化に努めた。 ・ eラーニングセキュリティ研修等、情報セキュリティ保護のための職員研修、内部点検等を実施した。 2 自治体の情報システムの標準化・共通化 国の「自治体DX推進計画」に基づき、令和7年度末までにガバメントクラウド上で機能する標準準拠システムへ移行するにあたり、国が定める統一された文字情報を利用するため、国の令和5年度デジタル基盤改革支援補助金 (標準化・共通化に係る事業) を活用し、システム改修を行った。 事業費：1,980,000円 交付金額：1,980,000円 3 番号制度中間サーバー 社会保障・税番号制度の情報連携を行うための、地方公共団体情報システム機構が運営している自治体中間サーバーに係る

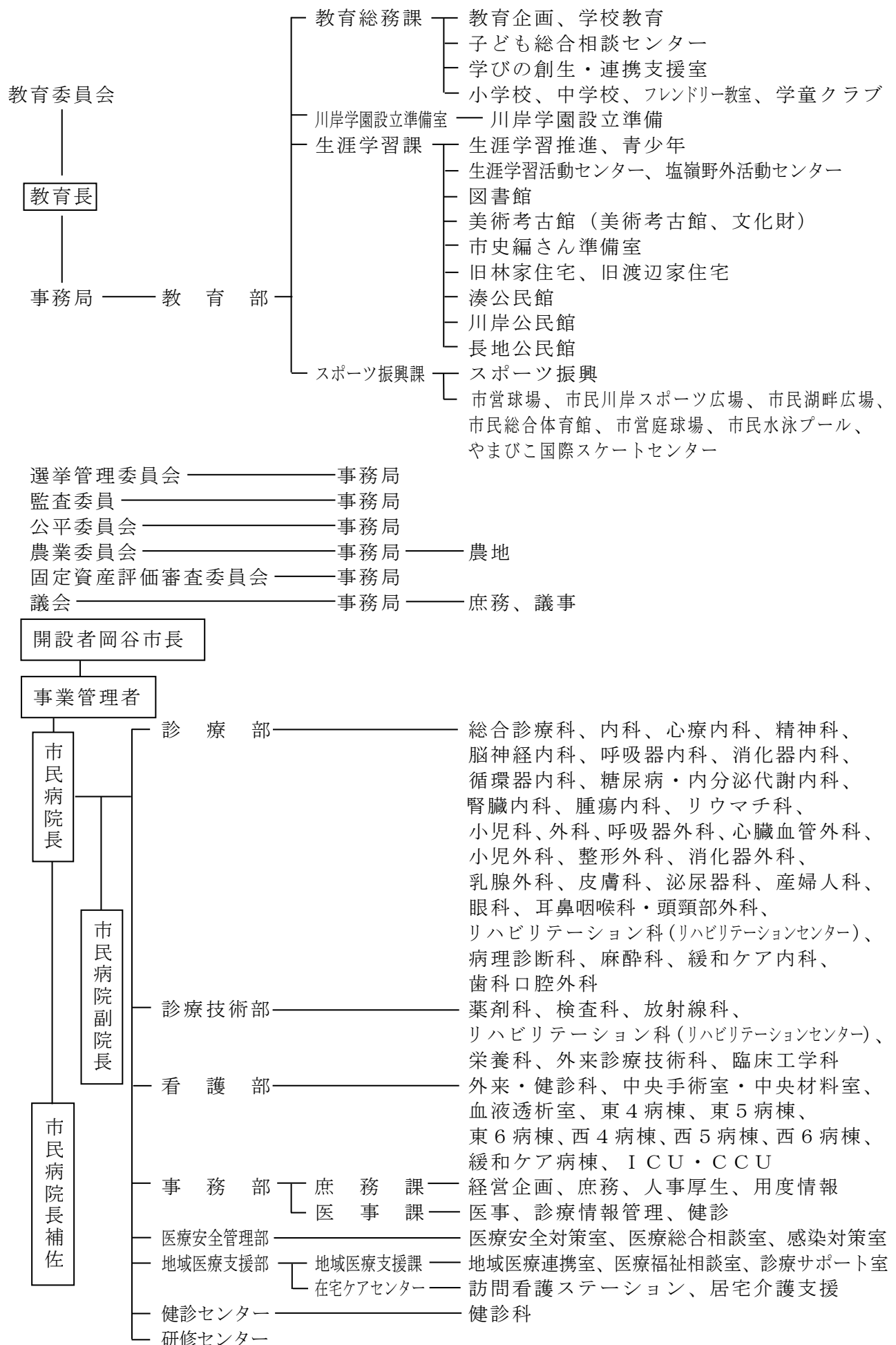
	経費を負担した。 番号制度中間サーバー負担金：3,101,000円 4 自治体情報セキュリティクラウド セキュリティ強化のため、県内自治体のインターネット接続口を県で一本化する自治体情報セキュリティクラウドに係る経費を負担した。 自治体情報セキュリティクラウド負担金：3,526,380円 5 会議録等作成支援システム事業 AIを活用した会議録等作成の音声反訳システムについて、庁内的な活用を図り、業務の効率化に努めた。 6 「岡谷市DX推進計画（令和6年度～令和10年度）」の策定 業務の効率化や市民サービスの向上などを行うため、現行の「岡谷市ICT利活用推進ビジョン」を改訂し、「岡谷市DX推進計画」を策定した。 (204,716,639円)
統合型GIS整備事業	1 庁内利用 共有データの整備、紙媒体の電子化などを実施したほか、庁内利用の促進を図るため、職員に対して周知・啓発を行った。 2 一般公開 市ホームページで一般公開している「くらしマップおかや」（岡谷市地理情報システム）において、40種類の地図情報を公開し利便性の向上を図った。 (3,476,412円)
統計調査事務	1 統計調査員の表彰 統計調査関係者の各種表彰推薦事務を実施した。 2 統計グラフコンクール 統計知識の普及と表現技術の研鑽を図る目的で、第54回岡谷市統計グラフコンクールを実施した。 ・審査会 8月25日（金） ・出品点数 25点 出品人員 26人 ・入賞点数 13点 入賞人員 14人 3 結果報告書の作成 統計調査結果の報告書等を作成し公表した。 (1) 冊子として発刊 ・「諏訪地方統計要覧」（令和4年度版） (2) ホームページへの掲載 ・「岡谷市の学校現況」（令和5年度学校基本調査結果） ・「岡谷市の人口」（令和5年毎月人口異動調査結果） ・「岡谷の工業」（令和3年経済センサスー活動調査結果） ・「岡谷の工業」（2022年経済構造実態調査結果） ・「統計月報おかや」（毎月発行） 4 毎月人口異動調査 長野県が行う「毎月人口異動調査」について、自然動態及び社会動態に関する各月の数値を報告した。 (392,471円)

学校基本調査事務	統計法に基づく基幹統計調査として、文部科学省が毎年実施する「学校基本調査」及びこれに併せて長野県が行う「学校関係県単独統計調査（卒業後の状況調査）」を実施した。 1 学校基本調査 ・調査基準日 5月1日 ・調査対象 小学校、中学校、教育委員会、幼稚園、幼保連携型認定こども園、専修学校、各種学校 2 学校関係県単独統計調査（卒業後の状況調査） ・調査基準日 5月1日 ・調査対象 令和5年3月の中学校卒業生 (9,066 円)
統計調査員確保対策事業	各種統計調査に従事する統計調査員の新規確保と、登録統計調査員の資質向上を図るため、「統計調査通信」を発行した。 (22,100 円)
住宅・土地統計調査事務	統計法に基づく基幹統計調査として、総務省が5年ごとに行う「令和5年住宅・土地統計調査」を実施した。 ・調査基準日 10月1日 ・調査対象 指定された調査区の中から抽出した住宅及び住宅以外で人が居住する建物並びにこれらに居住している世帯 (3,452,418 円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 組織（機構）図（令和6年3月31日現在）





2 人口報告

世帯数と人口

(令和6年3月1日現在)

区分	世帯数	人 口			年間動態(増減)		前年度比	
		総数	男	女	世帯数	人口	世帯数	人口
総 数	世帯 19,171	人 45,764	人 22,274	人 23,490	世帯 △9	人 △657	% 99.95	% 98.58

・毎月人口異動調査結果による。

3 学校基本調査結果

(令和5年5月1日現在)

学校種別	学校数				教員数 本務者	職員数	児童生徒		学級数 ()は特 支学級※	児童生徒	
	総 数	県 立	市 立	私 立			総数	うち男		1学級 当たり	教員1人 当たり
幼稚園	4	-	-	4	人 13	人 6	人 134	人 65	10	人 13.4	人 10.3
幼保連携型 認定こども園	1	-	-	1	18	3	128	72	9	14.2	7.1
小学校	7	-	7	-	150	13	2,022	1,048	98 (21)	20.6	13.5
中学校	4	-	4	-	105	7	1,155	564	51 (14)	22.6	11.0
専修学校	3	-	1	2	13	5	47	10	-	-	-
各種学校	2	-	-	2	4	1	78	38	-	-	-

※特支学級:特別支援学級。学校教育法第81条第2項各号に該当する児童・生徒で構成。

4 製造業に関する報告

産業中分類	事業所数	従 業 者 数	製造品出荷額等	令和３年経済センサスー活動調査との比		
				事業所数	従業者数	製造品出荷額等
	事業所	人	万円	%	%	%
総数	367	8,598	18,769,333	141.2	106.5	119.0
０９食料	17	127	163,472	154.5	111.4	103.4
１０飲料	2	22	X	100.0	115.8	X
１１繊維	7	68	66,668	140.0	94.4	108.7
１２木材	2	3	X	皆増	皆増	X
１３家具	4	25	19,126	200.0	108.7	X
１４紙・パルプ	2	24	X	100.0	100.0	X
１５印刷	11	117	111,674	220.0	115.8	99.6
１６化学	2	17	X	200.0	121.4	X
１８プラスチック	11	178	263,327	157.1	119.5	135.4
１９ゴム	1	43	X	100.0	119.4	X
２１窯業	6	45	109,228	200.0	121.6	142.8
２２鉄鋼	6	57	70,419	150.0	98.3	118.0
２３非鉄	13	384	1,545,008	260.0	140.7	168.1
２４金属	63	1,678	2,579,095	134.0	98.8	96.0
２５はん用機械	30	1,502	3,535,867	142.9	102.2	123.0
２６生産用機械	91	2,019	5,847,296	151.7	109.3	124.7
２７業務用機械	26	627	1,312,848	104.0	91.9	101.4
２８電子	14	520	457,980	127.3	109.7	53.4
２９電気	20	609	1,320,988	125.0	129.9	175.5
３０情報	11	128	235,048	157.1	173.0	190.8
３１輸送	21	347	791,034	105.0	90.4	126.8
３２その他	7	58	104,170	140.0	109.4	125.3

- ・２０２２年経済構造実態調査結果による。
- ・Xは数値が推測されるため秘匿している。
- ・売上高（製造品出荷額等）等の経理事項は令和３年１年間、経理事項以外の項目は令和４年６月１日現在の数値。
- ・２０２２年経済構造実態調査と令和３年経済センサスー活動調査等では集計範囲等が異なるため、過去の数値と単純比較することができない。

課 報 広 書 秘

第1 概説

秘書広報課では、儀式表彰、渉外活動、姉妹都市交流等のほか、地域コミュニティ、広報広聴、シルキーチャンネル等の業務を執行した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
秘書事務	1 市長交際費の公開 市長交際費の毎月の執行状況を、市のホームページ等へ公開した。 2 市長資産公開 「政治倫理の確立のための岡谷市長の資産等の公開に関する条例」に基づき、資産等報告書等を公開した。 3 理事者等公務日程の調整 市長・副市長の職務が円滑に執行できるよう日程調整を行うとともに、秘書業務の充実に努めた。 4 市長会関係 (1) 長野県市長会 4月20日(木) 総会(長野市) 6月 6日(火) 定例会(東京都) 7月 7日(金) 副市長・総務担当部長会議(茅野市) 8月24日(木) 総会(諏訪市) 11月21日(火) 定例会(長野市) 1月26日(金) 副市長・総務担当部長会議(長野市) 2月 1日(木) 定例会(長野市) (2) 北信越市長会 5月11日(木)～12日(金) 第182回総会 (福井県福井市) 10月 5日(木)～ 6日(金) 第183回総会 (千曲市) (3) 全国市長会 6月 7日(水) 第93回総会(東京都)
儀式表彰事務	1 市制施行87周年記念式典並びに市政功労者等表彰式 日 時 4月1日(土) 午前10時00分から 場 所 市役所9階大会議室 功労表彰受賞者 4名 有功表彰受賞者 33名 褒賞受賞者 26名・24団体 国家表彰受章者 5名 記念講演 講師 宇宙航空研究開発機構 国際宇宙探査センター MMXプロジェクトチーム ファンクションマネージャ 澤田 弘 崇 氏 演題 「「はやぶさ2」6年間の軌跡と将来の サンプルリターンミッション」

(4,209,760円)

	2 年度始めの式 日 時 4月3日（月）午後1時30分から 場 所 市役所9階大会議室 職員功労表彰受賞者 3名 職員有功表彰受賞者 9名 3 岩本博行教育長退任式 日 時 5月31日（水）午後0時25分から 場 所 市役所9階大会議室 終了後、1階ロビーにて見送り 4 宮坂享教育長就任式 日 時 6月1日（木）午後0時40分から 場 所 市役所9階大会議室 5 今井竜五市長退任式 日 時 9月28日（木）午後0時30分から 場 所 市役所9階大会議室 終了後、1階ロビーにて見送り 6 早出一真市長初登庁式 日 時 9月29日（金）午前8時30分から 場 所 市役所9階大会議室 7 仕事納めの式 日 時 12月28日（木）午後5時30分から 場 所 市役所9階大会議室 8 仕事始めの式 日 時 1月4日（木）午前8時30分から 場 所 市役所9階大会議室 9 新年祝賀式（新年祝賀式実行委員会） 日 時 1月4日（木）午前11時00分から 場 所 カノラホール 申込者 911名 参加者 465名 終了後、小ホールにて歓談 10 小口道生副市長退任式 日 時 3月29日（金）午後0時25分から 場 所 市役所9階大会議室 終了後、1階ロビーにて見送り (1,849,233円)
コミュニティ事業	1 区長会 行政事務の円滑な遂行や市民との協働によるまちづくりを推進するため、新たに区役員に就任した方を行政事務嘱託員として委嘱した。 区長会（7回開催）へ参加し、市と区長会の連絡調整や各課からの各種依頼、情報提供等を通じて地域コミュニティとの連携を図った。 2 行政事務交付金 地域コミュニティ活動、市政遂行のため必要な連絡調整、行政機関が発行する文書の配布等に必要な活動に対する支援として、市内21区及び樋沢地区に対し行政事務交付金を交付した。 3 コミュニティ助成事業助成金 区のコミュニティ活動を推進し、施設整備や付帯設備等の充実を図るため、自治総合センター及び長野県市町村振興協会が実施する助成金制度の採択を受けた5区に対し、コミュニティ助成事業助成金及び地域活動助成事業助成金を交付した。

	4 公会所等建設事業補助金 地域住民の利用及び公共の用に供することを目的とした公会所並びに集会所のゼロカーボンを促進するため、照明設備のLED化に対する補助金を交付した。 9区 2,976,000円 (今井区、間下区、下浜区、小井川区、西堀区、鮎沢区、橋原区、東堀区、中屋区) (51,691,161円)
広報広聴事業	1 「広報おかや」の発行 (株)中央企画への作成委託を継続して行った。毎月編集会議を開催し、記事の管理やわかりやすい紙面作りに努めた。 発行：月1回(前月25日発行)計12回 配布：市内各戸、市内官公署、事業所及び各自治体等 配置：市内金融機関、コンビニエンスストアの店内 ・市ホームページに毎号全ページを掲載 ・広報誌アプリ「マチイロ」に「広報おかや」を毎号掲載 ・事業等の周知広報 市の予算・決算及び財政状況、環境、健康、イベント講座情報、事業案内など ・特集記事 新年度予算と事業、おかやシェアオフィス、多くの人に選ばれるまち、防災減災、蚕糸公園リニューアル、市立岡谷美術考古館のお宝紹介、子育て支援、川岸駅開業100周年、ストップ!電話でお金詐欺、めざせゼロカーボン!、岡谷市公共施設13施設の行方、故郷ではたらく・故郷をつくる、地域のつながり 2 市勢現況記録写真等の撮影及び保存 市勢現況を保存するため、イベント等記録写真の撮影・収集管理を行った。 3 定例記者会見 市長による会見を実施し、報道機関を通じて市民への情報提供に努めた。 4 報道機関を活用した行政情報の発信 LCV-FMや地元メディアを活用して市のイベント情報などを発信した。 5 F a c e b o o k の運用 情報発信のツールとして岡谷市の魅力を発信した。 6 市政懇談会 市民との対話を大切にし、市民本位の市政を推進するため、市政懇談会を開催した。 期日：2月15日(木)～2月23日(金・祝) 会場：市内5会場 内容：新年度の重点施策他 参加者：300人 シルキーチャンネル放送：3月1日(金)～15日(金) 7 市民意見収集事業 ・市民提案ボックス(市長への手紙)：52件 ・ホームページからの意見、要望、質問：288件 内訳：市長Eメール 23件 各課宛 265件 (12,903,600円)

シルキーチャンネル事業	担当課職員によるイベント情報など市民に行政を身近に感じていただけるような番組制作を行った。 ・主な自主制作番組 ゼロカーボンシティの実現に向けて スポーツタイムおかや わが家のアイドル 研修農園！サポートファーム ぼくもわたしもおかやっ子 忘れまじ豪雨災害 世界にタッチ英語に触れよう事業 電話でお金詐欺～発生傾向と対策 シルクスweet体験事業～収穫体験～ エコでお得なバス通勤 令和6年二十歳を祝う会 ものづくりフェア2024 成長樹（期）子育てポイント おかやっ子給食 しるくっきんぐ イベント情報など ・特別番組 市制施行87周年記念式典記念講演会 岡谷市民病院市民公開講座 令和5年度岡谷市介護予防のための学習会 第54回岡谷太鼓まつり 食育講演会 地球温暖化防止セミナー 令和5年度市政懇談会 など 放送番組総数 140本 制作番組総数 101本 ・議会放送 岡谷市議会の一般質問を生放送及び録画放送にて放送した。 ・災害関連情報等の発信 岡谷市災害対策本部からの情報を発信した。 (11,731,631円)
姉妹都市交流事業	群馬県富岡市、岡山県玉野市、静岡県東伊豆町を招待し交流を図った。 8月13日（日）～14日（月） 岡谷太鼓まつり また、姉妹都市から招待を受け、交流を図った。 9月30日（土） 静岡県東伊豆町どんつく祭り (285,567円)

地 域 創 生 推 進 課

第1 概説

地域創生推進課では、市民総参加のまちづくり、ふるさと寄附、男女共同参画、国際交流、移住・定住の促進に向けた各種事業を実施したほか、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用した事業の実施に向けた調整を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
市民総参加のまちづくり推進事業	市民総参加のまちづくり基本条例の推進に向けた取組を行った。 1 高校生まちづくり会議 市内3高等学校の有志による高校生まちづくり会議を開催し、高校生発案によるまちづくりに取り組んだ。 ・実施回数：18回 ・実施内容：フォトスポット制作、他団体との交流 等 ・参加者数：延べ113人 2 岡谷市民憲章推進協議会 岡谷市民憲章の普及を目的として各種啓発活動を実施した。 ・花の球根、花鉢を配布…市内小学校の1年生 ・市民憲章グッズを配布…市内中学校の1年生 ・市民憲章文入ポケットティッシュを配布…新入社員激励会等 ・市民憲章推進協議会補助金：60,000円 3 その他 ・岡谷市連合壮年会補助金：45,000円 ・岡谷市連合婦人会補助金：90,000円 (444,724円)
ふるさと寄附促進事業	1 ふるさと納税 8月より、民間事業者へ中間業務委託を行い、事業の促進を図るとともに、本市の特色あるまちづくりのPRと地域産業の活性化を推進した。 - 寄附件数：3,195件 - 寄附金額：90,032,000円 2 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）に係る寄附 充当事業：人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷事業 - 寄附件数：1件 - 寄附金額：1,000,000円 (47,336,701円)
大学等進学資金利子補給事業	地方創生の推進に向けた諏訪信用金庫との連携協定に基づき市民が大学等へ進学する際の初年度納付金の借り入れに対する利子について一部補給を行った。 ・補給実績 人数：23名、補給額：134,092円 (134,092円)
男女共同参画推進事業	1 男女共同参画おかやプランⅥの推進 「男女共同参画おかやプランⅥ（令和2年度～令和6年度）」に基づき、庁内の進捗管理を行った。 ・審議会等における女性委員の登用率 令和6年3月31日現在 35.2%（目標値40.0%） ・男女共同参画審議会（委員14名） 2回開催 ・男女共同参画推進協議会幹事会及び専門部会 1回開催

- 2 男女共同参画に関する市民アンケート調査
「男女共同参画おかやプランⅦ（令和７年度～令和１１年度）」の策定に向け、市民の男女共同参画に対する考え方の傾向を把握することを目的として実施した。
 - ・調査期間：８月１８日（金）～９月２０日（水）
 - ・対 象：市内在住の満１８歳以上の男女１，０００人
 - ・回 答 数：４７５人（回答率４７．５％）
- 3 男女共同参画おかや市民のつどい
男女共同参画社会の実現に向けて、市民との協働による意識啓発を行うため、実行委員会の企画立案・運営により、講演会等を実施した。
 - ・開 催 日：令和６年２月３日（土）
 - ・開催場所：カノラホール小ホール等
 - ・参加人数：約１００人
 - ・講 演：「アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）ってなんだろう？」
～一人ひとりがイキイキと活躍するために～
講師 杉本 美晴さん
（アンコンシャスバイアス研究所 理事）
 - ・そ の 他：男女共同参画社会づくりポスターコンクール入賞作品展、団体の活動内容・作品展示
- 4 男女共同参画出張フォーラム
各種団体等を対象に、男女共同参画に関する講演会や学習会に講師を派遣した。
 - ・実施団体：５団体 １６３人
- 5 男女共同参画社会づくりポスターコンクール
小中学生に男女共同参画社会への理解と関心を深めてもらうため、男女共同参画社会づくりをテーマとするポスターコンクールと応募作品の展示を行った。
 - ・応 募 数：４３点（小学生４１点、中学生２点）
 - ・審査結果：最優秀賞 各１点、優秀賞 ４点、入選 ５点
 - ・展示期間：１１月１７日（金）～３０日（木）
 - ・展示場所：カルチャーセンターロビー
- 6 まんが冊子「わたしらしく あなたらしく」の配布
男女共同参画についてマンガでわかりやすく説明した冊子を小学５年生に配布した。
- 7 「男女共同参画推進市民の会」の運営支援
市民団体との協働により、男女共同参画事業を推進した。
 - ・男女共同参画週間パネル展、啓発ポケットティッシュ配布
実 施 日：６月２２日（木）～６月２９日（木）
実施場所：イルフプラザ１階中央通路
 - ・男女共同参画地域づくり懇談会の開催
開 催 日：１１月３０日（木）
開催場所：カルチャーセンター第１，２多目的ホール
参加人数：４７人
- 8 女性団体連絡協議会
女性問題に関心のある市内団体の連携を深めるため、理事会・研修会等を実施した。 ２回開催
 - ・加盟団体：９団体

(1,381,294円)

女性相談事業	女性が抱えている様々な悩みに対応するため、女性相談員による女性のための相談窓口を開設した。 ・開設日数：１２日 ・利用者：延べ２２名 (164,650円)
国際交流事業	国際理解や多文化共生等の各種事業を推進するため、国際交流センターへ業務委託を行った。 ・公益財団法人おかや文化振興事業団（国際交流センター）業務委託料：１５，８１０，０００円 １ 国際交流員の設置 国際交流事業の企画・立案・実施、市民等への国際理解に向けた支援などを行うため、国際交流員１名を配置した。 ・国際交流員：キャロライン・スペース（アメリカ） ２ マウント・プレザント市との交流 両市の市民レベルでの交流を深めるため、高校生５名、引率者１名を受け入れ、一般家庭にホームステイして日本の生活や文化を体験した。 ・受入期間：８月３日（木）～８月１４日（月） (15,829,402円)
移住・交流推進事業	１ 移住・交流施策の庁内調整 移住・交流施策の推進に向けた庁内調整を行うため、関係課等による連絡会議を行った。 ・移住交流推進庁内連絡会 ４回開催 ２ 就業・創業移住支援事業 東京圏（埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県）、愛知県、大阪府から岡谷市へ転入し、長野県の求人情報サイト掲載企業に就職した場合等に移住支援金を支給し就業及び移住の促進に努めた。 件数：６件 補助額：６，１００，０００円 ３ おかやの魅力体験事業 移住のための生活体験、市内での住居探し、仕事探しに要する経費を助成し移住促進に努めた。 ・交通費補助 件数：１６件 補助額：１３９，０１３円 ・宿泊費補助 件数：１３件 補助額：１３３，３４１円 ・移住体験住宅家賃補助 件数：５件 補助額：２００，０００円 ４ 若者おかや暮らし応援事業 ３０歳未満の単身勤労者等に対して民間賃貸住宅の賃料を助成することで、若者の市内への移住の促進に努めた。 件数：２６件 補助額：３，８０５，７５０円 ５ 若者移住者住まいの支援事業 ４０歳未満の世帯に対して住宅取得費の一部を助成することで、若者の市内への移住定住の促進に努めた。 件数：３件 補助額：２，１００，０００円 ６ 「おかやでスタート！」結婚新生活支援事業 結婚に伴う経済的不安を解消することを目的として、住居費及び引越費用の一部補助を行った。 件数：４件 補助額：１，１９５，０００円 ７ 恋つむぐ岡谷 出会いの場創出事業 結婚へと繋がる出会いの場を創出するため、市の特徴や魅力を体感できるイベントを、委託業者の企画・運営により２回開催した。また、各回とも事前にブラッシュアップセミナーをオンラインにて実施した。

(1) ナチュラル婚活 森と自然と、レイクビューに包まれて。

・ブラッシュアップセミナー

実施日：9月22日(金)、9月23日(土)

参加者：男性15名、女性8名

・イベント

実施日：9月30日(土)

参加者：男性12名 女性12名 合計24名

マッチング成立 6組

(2) ナチュラル婚活 湖の街で、心ほぐれるホットなひととき。

・ブラッシュアップセミナー

実施日：2月2日(金)、2月3日(土)

参加者：男性25名、女性7名

・イベント

実施日：2月17日(土)

参加者：男性12名 女性12名 合計24名

マッチング成立 5組

8 地域おこし協力隊移住定住促進事業

岡谷市の知名度向上及び移住定住の促進を図るため、岡谷市の魅力・特徴・暮らしの様子を SNS (インスタグラム) を活用して情報発信に努めた。

・シティープロモーションとして、諏訪湖サービスエリア下り線内に岡谷市 PR 用の看板を作成及び設置をした。

・岡谷市の魅力等を SNS にて積極的に発信し、インスタグラムでは、1,000人近くのリフォロワーを獲得した。

9 移住・交流出張相談等の開催

首都圏等で本市の魅力を PR し移住相談を行った。

4月15日(土) 地域おこし協力隊募集相談会及び移住相談会(東京都)

5月13日(土) 地域おこし協力隊募集相談会及び移住相談会(東京都)

7月22日(土) 信州で暮らす、働くフェア(東京都)

7月22日(土) いなか暮らしフェア(大阪府)

7月28日(金) オンライン移住相談会(岡谷市)

8月6日(日) 移住・定住 PR イベント(東京都)

8月19日(土) オンライン移住相談会(岡谷市)

9月2日(土) Nagano Local Match(東京都)

9月17日(日) ふるさと回帰フェア(東京都)

10月15日(日) ふるさと暮らしセミナー(東京都)

1月7日(日) 楽園信州移住セミナー(東京都)

1月14日(日) JOIN 移住交流&地域おこしフェア(東京都)

3月9日(土) 楽園信州移住セミナー(東京都)

10 デジタル田園都市国家構想交付金の活用

【地方創生推進タイプ】

・「岡谷へ行こう」関係人口等創出・拡大事業

交付額：2,445,300円

・「日本唯一のシルクのまち」岡谷シルク推進事業

交付額：4,627,558円

(24,349,271円)

総 務 部

総 務 課

第1 概説

総務課では、職員の任免、配置、給与、勤務条件、福利厚生、研修、市議会議案関係、庁中の維持管理、例規の審査、文書の管理等の業務を執行した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容			
特別職の就任	5. 5. 17	監査委員（議会選出）	中島	秀明
	5. 6. 1	監査委員	竹花	直子
	5. 6. 1	教育長	宮坂	享
	5. 6. 20	固定資産評価審査委員	濱	幹雄
	5. 7. 1	〃	水岸	佳代
	5. 7. 1	人権擁護委員	小林	照宏
	5. 7. 1	〃	梅垣	つね
	5. 7. 30	農業委員	今井	久夫
	5. 7. 30	〃	清水	江身子
	5. 7. 30	〃	濱	由美子
	5. 7. 30	〃	山岡	啓助
	5. 7. 30	〃	宮澤	淑
	5. 7. 30	〃	高林	敬子
	5. 7. 30	〃	山田	和男
	5. 7. 30	〃	早出	澄雄
	5. 9. 29	市長	早出	一真
	5. 12. 1	教育委員	轟	美緒
	6. 2. 8	選挙管理委員	高林	あつ子
	6. 2. 8	〃	花岡	浩臣
	6. 2. 8	〃	濱	道夫
	6. 2. 8	〃	松下	正樹
	6. 2. 8	〃 補充員	花岡	則秀
	6. 2. 8	〃 〃	小口	恭子
	6. 2. 8	〃 〃	林	恒夫
	6. 2. 8	〃 〃	濱	和男
特別職の退任	5. 4. 30	監査委員（議会選出）	藤森	博文
	5. 5. 31	監査委員	宮坂	正志
	5. 5. 31	教育長	岩本	博行
	5. 6. 19	固定資産評価審査委員	濱	幹雄
	5. 6. 30	〃	河西	信子
	5. 6. 30	人権擁護委員	林	幸夫
	5. 6. 30	〃	杉村	千加子
	5. 7. 29	農業委員	今井	久夫
	5. 7. 29	〃	清水	江身子
	5. 7. 29	〃	花岡	比佐志
	5. 7. 29	〃	山岡	啓助
	5. 7. 29	〃	宮澤	淑
	5. 7. 29	〃	高林	敬子
	5. 7. 29	〃	井上	昌輝
	5. 7. 29	〃	渡邊	兼男
	5. 9. 28	市長	今井	竜五
	5. 11. 30	教育委員	高木	千奈美

	6. 2. 7 選挙管理委員 中島 弘雄 6. 2. 7 " 小口 啓子 6. 2. 7 " 山田 一彦 6. 2. 7 " 小口 喜視 6. 2. 7 " 補充員 松下 正樹 6. 2. 7 " " 濱 道夫 6. 2. 7 " " 高林 あつ子 6. 2. 7 " " 小坂 勝樹 6. 3.31 副市長 小口 道生 6. 3.31 公平委員 宮坂 大吾
人事管理事務	5. 4. 1 新規採用職員の配置 13人 (一般職関係 9人) (保育園関係 4人) 5. 4. 1 再任用職員の配置 15人 5. 4. 1 職員の一部配置替 107人 (一般職関係 83人) (保育園・学校関係 24人) 5. 4. 1 職員の昇任・昇格 38人 5. 4.24 職員の一部配置替 1人 5. 7. 1 新規採用職員の配置 2人 5. 7. 1 職員の一部配置替 2人 (一般職関係 1人) (保育園関係 1人) 5.10. 1 職員の昇任・昇格 5人 (873,475 円)
給与管理事務	1 市長等の給料の減額 市の厳しい財政状況を勘案し、引き続き市長等の給料月額を減額することとした。 ・市長100分の10、副市長100分の7、 教育長100分の3 ・期間 令和元年9月29日から令和5年9月28日まで 2 給与改定 【特別職】 特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律（令和5年法律第74号）の公布を受け、岡谷市特別職の職員の給与に関する条例を改正し、令和5年4月1日から適用した。 ・期末手当 0.10月分引上げ（支給月数3.30月→3.40月） （令和4年度 6月・12月：各1.650月 →令和5年度 6月・12月：各1.700月） 【一般職】 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律（令和5年法律第73号）の公布を受け、岡谷市職員の給与に関する条例を改正し、令和5年4月1日から適用した。 ・改定内容（一般職） （1）給料 ・給料表の改定（給料月額の引上げ） ・平均改定率1.49%、平均引上額3,482円 ・1級の初任給引上げ （大卒程度11,000円、高卒程度12,000円）

	(2) 期末勤勉手当 0.10月分引上げ (期末・勤勉手当年間支給月数 4.40月→4.50月) (令和4年度 6月・12月:各2.20月 →令和5年度 6月・12月:各2.25月) ・改定内容(再任用職員) (1) 期末勤勉手当 0.05月分引上げ (期末・勤勉手当年間支給月数 2.30月→2.35月) (令和5年度 6月・12月:各1.150月 →令和5年度 6月・12月:各1.175月) (5,393,790円)
職員福利厚生事務	1 職員福利厚生事務 ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い職員互助会事業である研修旅行等を再開し、職員の福利厚生に努めた。 ・人間ドック受診給付等の福利厚生事務を行った。 ・福利厚生等に係る情報、職員の接遇や服務等に関する意識啓発を掲載した庁内広報等を発行した。 ・庁内広報 18回発行 ・スキルアップ情報 17回発行 ・健康ニュース 12回発行 2 職員安全衛生管理事務 ・職員の健康管理と疾病の早期発見のため、健康診断を実施した。 ・産業医による健康相談や専門のアドバイザーによるメンタルヘルス相談事業を実施した。 ・庁内広報等により、労働安全衛生推進の啓発を行い、健康管理や明るい職場づくりなどに努めた。 ・労働安全衛生法に基づき、全職員にストレスチェックを実施した。 (11,095,951円)
職員研修事務	岡谷市職員人材育成基本方針に基づき、人材育成を推進した。 1 職員研修事務 令和5年度職員研修計画に基づき、計画的に各種研修を実施し、職員の資質向上と意識改革等を図った。 研修の開催にあたっては、集合研修の他にオンライン形式での研修を積極的に取り入れるなど職員の負担軽減や経費の節減に努め、職員の少数精鋭化のなか、各階層に必要な能力を早期に身につけさせ、組織力の向上に努めた。 (1) 自主研修 ・公募実務研修(財務会計事務) 13人 1日間 (2) 職場研修 ・OJT実践研修 各職場 通年 ・職場ニーズに応じた研修 48回 ・新規採用職員職場指導員研修 13人 1日間 ・新規採用職員等研修 各職場 通年 (3) 職場外研修 ア 階層別研修 ・新規採用職員研修(岡谷市の歴史) 13人 1日間 ・接遇研修(新規採用職員) 5人 3日間 ・新規採用職員合宿事前研修 8人 1日間 ・新規採用職員等合宿研修 14名 2日間

	・インフォメーション準備研修（新規採用職員）	7人	1日間
	・インフォメーション研修（新規採用職員）	7人	1年間
	・新規採用職員前期研修	県 12人	2日間
	・養蚕体験研修（新規採用職員）	7人	2日間
	・メンタルヘルス研修	13人	1日間
	・旧庁舎清掃研修（新規採用職員）	12人	1日間
	・初任者研修	17人	2日間
	・初任者研修の効果測定	16人	1日間
	・新規採用職員後期研修	県 12人	2日間
	・産業振興研修（ものづくりフェア）	13名	1日間
	・プレゼンテーション研修（新規採用職員）	8人	1日間
	・新規採用職員事前研修	23人	2日間
	・主事（公務員倫理）研修	11人	1日間
	・防災研修（主事）	11人	1日間
	・一般職員研修（主事・主任）	県 6人	2日間
	・玉野市との姉妹都市交流研修（主任）	2人	3日間
	・東伊豆町との姉妹都市交流研修（主任）	1人	2日間
	・中堅職員研修（主査）	県 5人	1日間
	・次世代リーダー研修（主査）	広域 6人	1日間
	・女性職員研修（主査）	広域 5人	1日間
	・主査OJT実践研修	7人	1日間
	・主査（公務員倫理）研修	9人	1日間
	・新任主幹研修	10人	1日間
	・文章力向上研修（主幹）	12人	1日間
	・係長研修（主幹）	県 6人	1日間
	・主幹OJT実践研修	10人	1日間
	・課長補佐研修（統括主幹）	県 8人	1日間
	・新任課長研修	1人	1日間
	・ハラスメント防止研修（課長）	広域 3人	1日間
	・部課長研修（課長）	県 1名	1日間
	・管理監督者研修（主幹、統括主幹、課長、部長）	93人	1日間
	・会計年度任用職員研修	31人	2日間
イ	専門研修		
	・基礎計量教習等	13研修 13人	1～13日間
	・諏訪広域連合研修	3研修 8人	1～2日間
	・県市町村職員研修センター専門研修	20研修 36人	1～2日間
ウ	派遣研修		
	・職員派遣研修		
	長野県庁 派遣 主任 1人	2年間（2年目）	
	中小企業庁 派遣 主任 1人	2年間（2年目）	
	・職員交流研修（下諏訪町）		
	派遣 主査 1人	2年間（1年目）	
	主査（保育士） 1人	1年間	
	受入 主査 1人	2年間（1年目）	
	主査（保育士） 1人	1年間	
エ	一般知識研修（特別研修）		
	・シートベルト着用点検指導	指導者 8人	3日間

	・接遇研修（窓口接客とクレーム対応） 16人 1日間 ・eラーニングによる情報セキュリティ研修 523人 5月間 ・普通救命講習 23人 2日間 ・接遇研修（さわやかあいさつ指導） 全職員 4日間 ・職員交通安全研修 188人 1日間 ・メンタルヘルス研修会 47人 2日間 ・ゲートキーパー養成講座研修 44人 1日間 2 人事評価 職員自らが能力を向上させながら意欲を持って業務に取り組むため、人事評価制度を活用した意識改革や人材育成を図った。 3 職員提案事務 全職員を対象に自由な発想に基づく職員提案を募集した。 ・職員提案件数 56件 (2,758,729円)
総務一般管理事務	1 議会関係事務 ・議会招集回数 定例会 4回 臨時会 2回 ・提出議案件数 報告：28件 議案：85件 2 岡谷市固定資産評価審査委員会事務 岡谷市固定資産評価審査委員会に、固定資産課税台帳縦覧の結果や固定資産税の課税状況のほか、令和6年度の固定資産評価替えについて報告した。 ・会議：2回 委員：3名 (13,367,513円)
市役所庁舎管理事務	1 主な改修工事 ・市役所庁舎等自動火災報知設備更新工事 36,894,000円 ・市役所庁舎照明設備LED化等更新工事 74,800,000円 ・市役所庁舎等空調設備更新工事 19,800,000円 ・冷却塔モーター緊急修繕工事 794,090円 ・庁舎避難ハッチ修繕工事 544,500円 ・庁舎8階全員協議会室照明制御修繕工事 550,000円 2 岡谷市役所環境保全の率先実行計画 令和3年度から令和7年度までを計画期間とする「岡谷市役所環境保全の率先実行計画VI」に基づき、本市の事務事業から排出される温室効果ガスの排出抑制など環境への負荷の低減を図るとともに、リデュース、リユース、リサイクルの一層の推進に努めた。 (240,738,112円)
文書管理事務	1 文書管理 文書の収受、集配業務を実施したほか、全庁における文書管理の適正化及び情報公開等への対応を図るため、文書の保管及び廃棄など各課のファイリングシステムの維持管理指導を行った。 ・ファイリングシステム保守管理 委託先：インダストリーネットワーク（株） ・ファイリング実地指導：12月19日（火）～12月21日（木）（3日間） 全組織対象（一部学校及び保育園を除く。） ・機密文書処理（単価契約 8円/kg）：8,510kg 委託先：（有）成山商店 2 情報公開等 市が保有する情報（個人情報を含む。）の適正管理及び保護並びに各課等に対する情報公開請求等への総合的な対応を行った。

	・ 情報公開請求等 42件（うち個人情報の開示請求等 4件） （内訳）全部開示 8件、部分開示 31件 文書不存在による不開示 4件 （部分開示1件と不開示1件は、同一の請求） ・ 個人情報の目的外利用及び外部提供 4件 (10, 102, 521 円)
法律関係相談事務	1 例規整備及び法律相談 市の事業の適法かつ適正な実施を確保するため、例規整備及び法令等の適切な解釈の支援並びに法律相談等を行った。 ・ 条例、規則及び要綱等の制定並びに改廃の支援 条例改正等の件数 「第3 主要な統計、行政資料等」に記載 ・ 例規審査委員会 会議4回 委員14名 幹事15名 審査件数24件 2 訴訟 令和3年8月大雨災害に係る損害賠償請求訴訟が提起されたため、訴訟に伴う対応を行った。 (7, 269, 162 円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 条例及び規則

区 分	新 設	改 正	廃 止
条 例	1 件	31 件	1 件
規 則	6 件	29 件	0 件

(1) 条例

公布 番号	公布年月日	条 例 名
18	R5. 6. 23	岡谷市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
19	R5. 6. 23	岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
20	R5. 6. 23	岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
21	R5. 6. 23	岡谷市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例
22	R5. 6. 23	岡谷市病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
23	R5. 7. 7	岡谷市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
24	R5. 11. 13	岡谷市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
25	R5. 11. 13	岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
26	R5. 11. 30	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
27	R5. 11. 30	岡谷市職員の給与に関する条例及び岡谷市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例
28	R5. 11. 30	岡谷市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
29	R5. 12. 15	岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

30	R5. 12. 15	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
31	R5. 12. 15	岡谷市空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例
1	R6. 2. 21	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例
2	R6. 2. 21	岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
3	R6. 3. 21	岡谷市監査委員に関する条例等の一部を改正する条例
4	R6. 3. 21	岡谷市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例
5	R6. 3. 21	岡谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例
6	R6. 3. 21	岡谷市まち・ひと・しごと創生基金条例を廃止する条例
7	R6. 3. 21	督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例
8	R6. 3. 21	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例
9	R6. 3. 21	岡谷市育英基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例
10	R6. 3. 21	岡谷市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例
11	R6. 3. 21	岡谷市犯罪被害者等支援条例
12	R6. 3. 21	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
13	R6. 3. 21	岡谷市営住宅条例の一部を改正する条例
14	R6. 3. 21	岡谷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
15	R6. 3. 21	岡谷市水道事業給水条例の一部を改正する条例
16	R6. 3. 25	岡谷市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
17	R6. 3. 30	岡谷市市税条例の一部を改正する条例
18	R6. 3. 30	岡谷市都市計画税条例の一部を改正する条例
19	R6. 3. 30	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

(2) 規則

公布 番号	公布年月日	規 則 名
13	R5. 4. 1	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則
14	R5. 4. 1	岡谷市管理監督職勤務上限年齢による降任等に関する規則
15	R5. 4. 1	岡谷市定年退職者等の暫定再任用に関する規則
16	R5. 4. 1	岡谷市年齢60年以上退職者の定年前再任用に関する規則
17	R5. 4. 1	岡谷市年齢60年に達する職員等に対する情報の提供及び勤務の意思の確認に関する規則
18	R5. 4. 1	岡谷市職員の給与に関する条例附則第10項の規定による給料月額に関する規則
19	R5. 4. 1	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の施行に伴う給料の支給の特例に関する規則

20	R5. 4. 1	岡谷市空き家等の適正管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則
21	R5. 6. 23	岡谷市職員の給与に関する条例施行規則の一部を改正する規則
22	R5. 9. 22	岡谷市障害者地域生活支援事業に関する規則の一部を改正する規則
23	R5. 9. 26	おかや総合福祉センター条例施行規則等の一部を改正する規則
24	R5. 9. 29	岡谷市役所車両管理規則の一部を改正する規則
25	R5. 12. 19	岡谷市情報通信技術活用推進に関する規則の一部を改正する規則
1	R6. 2. 29	岡谷市職員の勤務時間及び休暇等に関する規則の一部を改正する規則
2	R6. 2. 29	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する規則の一部を改正する規則
3	R6. 2. 29	岡谷市財務規則の一部を改正する規則
4	R6. 2. 29	岡谷市非常勤消防団員等に係る損害補償の支給等に関する規則の一部を改正する規則
5	R6. 3. 8	岡谷市組織規則及び岡谷市出納員等設置規則の一部を改正する規則
6	R6. 3. 8	教育事務の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する規則
7	R6. 3. 8	岡谷市文書管理規則の一部を改正する規則
8	R6. 3. 8	岡谷市個人情報の保護に関する文書の様式を定める規則の一部を改正する規則
9	R6. 3. 8	岡谷市定年退職者等の暫定再任用に関する規則及び岡谷市年齢60年以上退職者の定年前再任用に関する規則の一部を改正する規則
10	R6. 3. 8	岡谷市育英基金の設置、管理及び処分に関する条例施行規則の一部を改正する規則
11	R6. 3. 21	岡谷市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例施行規則の一部を改正する規則
12	R6. 3. 21	岡谷市保育所条例施行規則の一部を改正する規則
13	R6. 3. 21	岡谷市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則
14	R6. 3. 27	岡谷市組織規則の一部を改正する規則
15	R6. 3. 27	岡谷市狂犬病予防法施行細則の一部を改正する規則
16	R6. 3. 27	督促手数料の廃止に伴う関係規則の整備に関する規則
17	R6. 3. 27	岡谷市廃棄物処理及び清掃に関する条例施行規則の一部を改正する規則
18	R6. 3. 27	岡谷市国民健康保険税に関する規則の一部を改正する規則
19	R6. 3. 28	岡谷市商工業振興条例施行規則の一部を改正する規則
20	R6. 3. 29	岡谷市財務規則の一部を改正する規則
21	R6. 3. 29	岡谷市税等の収納事務の委託に関する規則の一部を改正する規則
22	R6. 3. 30	岡谷市市税に関する規則の一部を改正する規則

2 公示文書及び令達文書

公示文書		令達文書	
告 示	公 告	訓 令	指 令
112 件	94 件	12 件	882 件

3 一般職職員数

(令和6年3月31日現在)

部局等区分	行政職	企業職	病院企業職				計
			(1)	(2)	(3)	(4)	
市長	人 334	人 —	人 —	人 —	人 —	人 —	人 334
議会	5	—	—	—	—	—	5
教育委員会	43	—	—	—	—	—	43
選挙管理委員会	3	—	—	—	—	—	3
監査委員	2	—	—	—	—	—	2
農業委員会	2	—	—	—	—	—	2
上水道事業	—	14	—	—	—	—	14
下水道事業	—	10	—	—	—	—	10
病院事業	—	—	38	117	253	36	444
計	389	24	38	117	253	36	857

(注) 3月31日付退職者を含む。

支
イルフプラザ出張所

第1 概説

市の出先機関として、地域住民に直結した業務（戸籍、住民登録、印鑑登録、諸証明等の受付、交付、現金の出納事務など）及び湊財産区管理業務を執行した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容																		
湊支所運営事務	岡谷市役所支所設置条例に基づき、市の出先機関として地域住民に直結した業務（戸籍、住民登録、印鑑登録、諸証明等の受付・交付、現金の出納事務など）及び湊財産区管理業務を行った。 (2,213,442円)																		
川岸支所運営事務	岡谷市役所支所設置条例に基づき、市の出先機関として地域住民に直結した業務（戸籍、住民登録、印鑑登録、諸証明等の受付・交付、現金の出納事務など）を行った。 (2,772,680円)																		
長地支所運営事務	岡谷市役所支所設置条例に基づき、市の出先機関として地域住民に直結した業務（戸籍、住民登録、印鑑登録、諸証明等の受付・交付、現金の出納事務など）を行った。 (2,144,272円)																		
湊財産区管理運営事業（湊支所）	1 沢入団地 森林経営委託（0予算） ・契約対象森林面積 162.34ha 契約期間：令和5年4月23日～令和10年4月22日 受託者：株式会社 飯森林業 <table><tr><td>主伐（更新伐）</td><td>4.13ha</td><td>58林班</td></tr><tr><td>地拵え</td><td>4.13ha</td><td>58林班</td></tr><tr><td>植 林</td><td>2.90ha</td><td>58林班</td></tr><tr><td>下刈り</td><td>6.01ha</td><td>58林班</td></tr><tr><td>搬出間伐</td><td>16.99ha</td><td>63林班</td></tr><tr><td>路網開設</td><td>1,260m</td><td>63林班</td></tr></table> 2 森林の里親事業（0予算） ・京セラの森林活動 植林、除伐、枝打ち等 ・春：33人参加（カラマツ植林） ・秋：40人参加（ヒノキ枝打） 3 湊財産区管理委員会 管理委員会：12回開催、管理委員作業：10回	主伐（更新伐）	4.13ha	58林班	地拵え	4.13ha	58林班	植 林	2.90ha	58林班	下刈り	6.01ha	58林班	搬出間伐	16.99ha	63林班	路網開設	1,260m	63林班
主伐（更新伐）	4.13ha	58林班																	
地拵え	4.13ha	58林班																	
植 林	2.90ha	58林班																	
下刈り	6.01ha	58林班																	
搬出間伐	16.99ha	63林班																	
路網開設	1,260m	63林班																	
イルフプラザ出張所運営事務	岡谷市役所出張所設置条例に基づき、市の出先機関として市民に直結した業務（戸籍、住民登録、印鑑登録、諸証明等の受付・交付、現金の出納事務など）を行った。 ・開設時間 平日 午前10時～午後7時 土日祝日 午前10時～午後5時 ・定休日 火曜日及び年末年始 (220,679円)																		

第3 主要な統計、行政資料等

1 支所・出張所別出納金の取扱い状況

(収 入)

(単位：円)

区 分		湊支所	川岸支所	長地支所	イルフプラザ 出張所	計
一般会計		3,206,202	20,700,530	29,567,826	21,012,794	74,487,352
特別会計等	国民健康保険	362,300	3,408,944	7,139,368	4,819,400	15,730,012
	地域開発事業	0	0	0	0	0
	分収造林事業	0	0	0	0	0
	霊園事業	122,150	378,950	595,100	63,200	1,159,400
	温泉事業	4,500	32,150	75,000	0	111,650
	後期高齢者医療	117,600	840,800	4,149,200	613,400	5,721,000
	湊財産区	106,000	0	0	0	106,000
	水道事業	398,354	2,173,135	3,496,933	3,141,073	9,209,495
	下水道事業	0	68,100	0	0	68,100
	病院事業	0	0	0	0	0
	育英基金返済	0	260,000	475,840	157,900	893,740
	介護保険事業	73,400	787,970	912,880	746,430	2,520,680
	湖北（火葬場）	0	20,000	0	0	20,000
	県民交通災害共済	10,400	54,000	92,000	42,400	198,800
合 計		4,400,906	28,724,579	46,504,147	30,596,597	110,226,229

2 支所・出張所別閲覧証明件数

(単位：件)

区 分	湊支所	川岸支所	長地支所	イルフプラザ 出張所	計
税務関係閲覧証明	64	159	427	299	949

3 支所・出張所別戸籍・住民基本台帳及び印鑑登録事務取扱い状況

(市民環境部市民生活課記載のとおり)

財 政 課

第1 概説

財政課では、予算の編成、市債、地方交付税、財政統計、契約事務、市有財産管理及び車両の集中管理等に関する業務を執行した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容																														
車両管理事務	共用車両の管理費の節減に取り組むとともに、各種法定点検、職員による日常点検を実施し、適正な車両管理と運行に努めた。 リース期間満了となった車両を更新し、また、老朽化した車両2台を廃止し、環境保全及び自然災害等有事への対応の観点から、電気自動車2台を導入して、用途に応じた効率的な配車に努めた。 (管理車両台数47台) 共用車両の運転に際しては、運転者認定試験により職員の適性を判断し、同時に安全運転の啓発を行い、交通事故の防止に努めた。 一般開放用の電気自動車用普通充電器を、市役所立体駐車場に2基整備した。 (28,726,747 円)																														
財政事務	1 予算管理 - 一般会計の補正予算は18回行い、最終予算額は、240億8,361万2千円となり、前年度比6億8,189万5千円、2.91%の増となった。 - 特別会計及び湊財産区一般会計の補正予算回数と最終予算の状況は、次のとおりである。 <table><tr><th>会 計 名</th><th>補 正 回 数</th><th>最終予算額 (千円)</th><th>会 計 名</th><th>補 正 回 数</th><th>最終予算額 (千円)</th></tr><tr><td>国 民 健 康 保 険 事 業</td><td>2 回</td><td>4,473,844</td><td>温 泉 事 業</td><td>—</td><td>18,900</td></tr><tr><td>地域開発事業</td><td>—</td><td>285,400</td><td>後 期 高 齢 者 医 療 事 業</td><td>—</td><td>943,900</td></tr><tr><td>分収造林事業</td><td>—</td><td>38,500</td><td>湊 財 産 区</td><td>—</td><td>1,700</td></tr><tr><td>霊 園 事 業</td><td>—</td><td>25,400</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 2 市債 一般会計の市債の借入れは、47事業で28億7,017万8千円となった。 3 地方交付税 地方交付税の総額は51億4,587万8千円で、前年度比4,103万1千円の減となった。 4 財政指標等 財政力指数（過去3年間の平均値）は、0.60で、単年度指数は0.61である。 5 財務諸表の作成 財務諸表については、総務省より示された「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に基づき、令和4年度決算における財務諸表を作成し公表した。	会 計 名	補 正 回 数	最終予算額 (千円)	会 計 名	補 正 回 数	最終予算額 (千円)	国 民 健 康 保 険 事 業	2 回	4,473,844	温 泉 事 業	—	18,900	地域開発事業	—	285,400	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	—	943,900	分収造林事業	—	38,500	湊 財 産 区	—	1,700	霊 園 事 業	—	25,400			
会 計 名	補 正 回 数	最終予算額 (千円)	会 計 名	補 正 回 数	最終予算額 (千円)																										
国 民 健 康 保 険 事 業	2 回	4,473,844	温 泉 事 業	—	18,900																										
地域開発事業	—	285,400	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	—	943,900																										
分収造林事業	—	38,500	湊 財 産 区	—	1,700																										
霊 園 事 業	—	25,400																													

	6 財政状況の公表及び情報提供 「わかりやすい予算説明書」及び財務諸表の作成と公表、財政事情の公表などにより、予算と主要事業の内容や決算の状況等について、市民に対して広く情報の提供を行った。 (484,415 円)
契約事務	1 法令等に基づき公平・公正な入札を実施し、予定価格が 1,000 万円以上の建設工事については、原則として制限付一般競争入札方式とし、41 件を実施した。 また、一般競争入札のうち総合評価落札方式を 1 件実施した。 2 令和 6 年度の建設工事等入札参加資格申請の中間受付及び審査を行い、資格者名簿に登載した。 3 令和 6 年度の物品・役務入札参加資格申請の中間受付及び審査を行い、資格者名簿を作成した。 4 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に基づき、建設工事の発注見通し、入札・契約に係わる情報等の公表を行った。 5 令和 6 年 3 月に公共工事設計労務単価が引き上げられたことに伴い、賃金等の急激な変動に対処するため、工事請負契約書第 26 条第 6 項（インフレスライド条項）の運用を行った。 (64,462 円)
市有財産管理事務	市有財産の取得、処分、管理に係る不動産登記申請、保険事務等を行い、適正な財産管理を行った。 併せて、固定資産台帳システムのシステム更改を行い、業務の効率化を図るとともに、適正な管理運用を行った。 令和 5 年度登記処理件数 257 件 (6,657,639 円)
普通財産管理事務	土地については、ララオカヤ敷地など 369.40 m²を取得し、旧東堀保育園敷地など 3,683.44 m²を処分した。 建物については、ララオカヤ建物など 189.77 m²を取得し、旧東堀保育園建物など 939.64 m²を解体、処分した。 その他、売却等処分が困難な普通財産については、可能な限り貸付等を行うとともに、定期的に除草等を行い、適正な財産管理を行った。 (4,493,827 円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 令和5年度一般会計歳入歳出補正予算状況

(単位：千円)

区 分		当初予算	補 正 予 算				
			1号	2号	3号	4号	5号
議 決 等 年 月 日		R5. 3. 20	R5. 4. 1	R5. 6. 22	R5. 6. 22	R5. 8. 2	R5. 8. 2
歳 入	1 市 税	6,690,000					
	2 地 方 譲 与 税	141,000					
	3 利 子 割 交 付 金	3,000					
	4 配 当 割 交 付 金	40,000					
	5 株式等譲渡所得割交付金	42,000					
	6 法 人 事 業 税 交 付 金	104,000					
	7 地 方 消 費 税 交 付 金	1,325,000					
	8 ゴルフ場利用税交付金	12,000					
	9 環 境 性 能 割 交 付 金	12,000					
	10 地 方 特 例 交 付 金	59,000					
	11 地 方 交 付 税	4,874,000					
	12 交通安全対策特別交付金	10,000					
	13 分 担 金 及 び 負 担 金	142,972					
	14 使 用 料 及 び 手 数 料	500,649					
	15 国 庫 支 出 金	2,173,254	210,500	4,640	318,730		
	16 県 支 出 金	1,143,232		5,802			
	17 財 産 収 入	73,557					
	18 寄 附 金	10		2,207			
	19 繰 入 金	193,356			100,000		
	20 繰 越 金	300,000		12,532	66,170	550	133
	21 諸 収 入	1,123,778	200	11,300			
	22 市 債	2,837,192			6,000		
歳 入 合 計		21,800,000	210,700	36,481	490,900	550	133
歳 出	1 議 会 費	191,271					
	2 総 務 費	2,121,728		13,507			
	3 民 生 費	7,334,335	58,700	12,074	177,400		
	4 衛 生 費	1,977,272	152,000				
	5 労 働 費	86,307					
	6 農 林 水 産 業 費	227,670					
	7 商 工 費	1,782,362		10,900	305,500		
	8 土 木 費	2,017,864				550	133
	9 消 防 費	588,551					
	10 教 育 費	1,802,946			8,000		
	11 公 債 費	3,619,694					
	12 予 備 費	50,000					
歳 出 合 計		21,800,000	210,700	36,481	490,900	550	133

区 分		補 正 予 算					
		6号	7号	8号	9号	10号	11号
議 決 等 年 月 日		R5. 8. 15	R5. 8. 31	R5. 9. 25	R5. 10. 17	R5. 11. 10	R5. 11. 30
歳 入	1 市 税						
	2 地 方 譲 与 税						
	3 利 子 割 交 付 金						
	4 配 当 割 交 付 金						
	5 株式等譲渡所得割交付金						
	6 法 人 事 業 税 交 付 金						
	7 地 方 消 費 税 交 付 金						
	8 ゴルフ場利用税交付金						
	9 環 境 性 能 割 交 付 金						
	10 地 方 特 例 交 付 金						
	11 地 方 交 付 税						
	12 交通安全対策特別交付金						
	13 分 担 金 及 び 負 担 金						
	14 使 用 料 及 び 手 数 料						
	15 国 庫 支 出 金	108,235					
	16 県 支 出 金	34,910					
	17 財 産 収 入						
	18 寄 附 金					34,154	
	19 繰 入 金						
	20 繰 越 金				3,400	13,702	△ 4,585
	21 諸 収 入	300	66	47			
	22 市 債					18,000	
歳 入 合 計		143,445	66	47	3,400	65,856	△ 4,585
歳 出	1 議 会 費						1,010
	2 総 務 費					65,856	△ 1,399
	3 民 生 費	34,910		47			1,394
	4 衛 生 費	108,535					△ 3,003
	5 労 働 費						776
	6 農 林 水 産 業 費						△ 2,544
	7 商 工 費				3,400		4,223
	8 土 木 費						△ 22,166
	9 消 防 費						
	10 教 育 費		66				17,124
	11 公 債 費						
	12 予 備 費						
	歳 出 合 計	143,445	66	47	3,400	65,856	△ 4,585

(単位：千円)

補 正 予 算							予備費 充当額	最終予算額
1 2 号	1 3 号	1 4 号	1 5 号	1 6 号	1 7 号	1 8 号		
R5. 11. 30	R5. 12. 14	R5. 12. 14	R6. 1. 23	R6. 2. 20	R6. 3. 19	R6. 3. 31		
						175, 000		6, 865, 000
								141, 000
								3, 000
								40, 000
								42, 000
								104, 000
								1, 325, 000
								12, 000
								12, 000
								59, 000
						200, 000		5, 074, 000
								10, 000
								142, 972
								500, 649
	52, 632	397, 697		20, 282				3, 285, 970
	3, 650			5, 480				1, 193, 074
						25, 000		98, 557
	21, 492			39, 365		22, 978		120, 206
				23, 604				316, 960
△ 6, 227	8, 929	8, 666		278, 203	15, 804			697, 277
			105			1, 459		1, 137, 255
				42, 500				2, 903, 692
△ 6, 227	86, 703	406, 363	105	409, 434	15, 804	424, 437		24, 083, 612
△ 6, 227								186, 054
	39, 577			257, 161	4, 021	424, 437	3, 998	2, 928, 886
	5, 814	402, 850		30, 800			950	8, 059, 274
	36, 080			1, 049	11, 783		3, 055	2, 286, 771
							1, 400	88, 483
								225, 126
	4, 662						3, 838	2, 114, 885
				54, 500			2, 995	2, 053, 876
			105	17, 324				605, 980
	570	3, 513		48, 600			8, 906	1, 889, 725
								3, 619, 694
							△ 25, 142	24, 858
△ 6, 227	86, 703	406, 363	105	409, 434	15, 804	424, 437	0	24, 083, 612

2 一般会計予備費充当、予算流用調

(単位：千円)

款 項 目	節	予備費充当額	予算流用額	流 用 科 目
2款 総務費		3,998		
1項 総務管理費		3,998		
1目 一般管理費	2 給料		△ 2,108	4目 車両管理費へ
			△ 117	9目 地域創生推進費へ
			△ 1,744	15目 会計管理費へ
	3 職員手当等		△ 218	4目 車両管理費へ
			△ 14	9目 地域創生推進費へ
			△ 197	15目 会計管理費へ
	4 共済費		△ 363	15目 会計管理費へ
			△ 24	9目 地域創生推進費へ
			△ 434	4目 車両管理費へ
	8 旅費	878		
	10 需用費	2,001		
	11 役務費	30		
	12 委託料	195		
2目 庁舎管理費	14 工事請負費		△ 5,862	3目 文書費へ
3目 文書費	7 報償費		5,565	2目 庁舎管理費より
	8 旅費		297	2目 庁舎管理費より
4目 車両管理費	1 報酬		2,108	1目 一般管理費より
	3 職員手当等		218	1目 一般管理費より
	4 共済費		434	1目 一般管理費より
9目 地域創生推進費	1 報酬		117	1目 一般管理費より
	3 職員手当等		14	1目 一般管理費より
	4 共済費		24	1目 一般管理費より
15目 会計管理費	1 報酬		1,744	1目 一般管理費より
	3 職員手当等		197	1目 一般管理費より
	4 共済費		363	1目 一般管理費より
17目 災害対策費	10 需用費	894		
3款 民生費		950		
1項 社会福祉費		950		
1目 社会福祉総務費	2 給料		△ 731	2目 障がい者福祉費へ
			△ 872	7目 福祉医療費へ
	3 職員手当等		△ 99	7目 福祉医療費へ
	4 共済費		△ 32	2目 障がい者福祉費へ
			△ 187	7目 福祉医療費へ
	10 需用費	420		
2目 障がい者福祉費	1 報酬		731	1目 社会福祉総務費より
	4 共済費		32	1目 社会福祉総務費より
3目 高齢者福祉費	18 負担金補助及び交付金		△ 449	7目 福祉医療費へ
7目 福祉医療費	1 報酬		872	1目 社会福祉総務費より
	3 職員手当等		99	1目 社会福祉総務費より
	4 共済費		187	1目 社会福祉総務費より
	12 委託料		449	3目 高齢者福祉費より
8目 総合福祉センター費	14 工事請負費	530		
2項 児童福祉費				
2目 児童措置費	19 扶助費		△ 1,200	4目 母子福祉費へ
4目 母子福祉費	19 扶助費		1,200	2目 児童措置費より
			1,456	5目 障がい児福祉費より
5目 障がい児福祉費	19 扶助費		△ 1,456	4目 母子福祉費へ
4款 衛生費		3,055		
1項 保健衛生費		3,055		
1目 保健衛生総務費	2 給料		△ 440	4目 健康管理費へ
			△ 418	7目 看護専門学校費へ
	4 共済費		△ 97	4目 健康管理費へ
	14 工事請負費	3,055		
4目 健康管理費	1 報酬		440	1目 保健衛生総務費より
	4 共済費		97	1目 保健衛生総務費より
7目 看護専門学校費	7 報償費		418	1目 保健衛生総務費より

(単位：千円)

款 項 目	節	予備費充当額	予算流用額	流 用 科 目
5款 労働費		1,400		
1項 労働諸費		1,400		
3目 勤労会館費	14 工事請負費	800		
4目 勤労青少年ホーム費	14 工事請負費	600		
6款 農林水産業費				
1項 農業費				
1目 農業委員会費	1 報酬		452	4目 農地費より
3目 農業振興費	10 需用費		328	4目 農地費より
4目 農地費	14 工事請負費		△ 452	1目 農業委員会費へ
			△ 328	3目 農業振興費へ
7款 商工費		3,838		
1項 商工費		3,838		
1目 商工総務費	1 報酬		△ 2,550	7目 観光費へ
2目 商工業振興費	18 負担金補助及び交付金	1,488		
3目 テクノプラザおかや費	13 使用料及び賃借料	700		
7目 観光費	18 負担金補助及び交付金		2,550	1目 商工総務費より
11目 童画館費	14 工事請負費	1,650		
8款 土木費		2,995		
5項 住宅費		2,995		
1目 住宅管理費	12 委託料	2,561		
	14 工事請負費	434		
9款 消防費				
1項 消防費				
1目 常備消防費	18 負担金補助及び交付金		672	2目 非常備消防費より
2目 非常備消防費	1 報酬		△ 672	1目 常備消防費へ
10款 教育費		8,906		
2項 小学校費		2,133		
1目 学校管理費	12 委託料	1,640		
	17 備品購入費	493		
4項 社会教育費		1,973		
1目 社会教育総務費	11 役務費		30	5目 生涯学習活動センター費より
3目 公民館費	10 需用費	373		
4目 美術考古館費	1 報酬		△ 775	6目 図書館費へ
	3 職員手当等		△ 35	6目 図書館費へ
5目 生涯学習活動センター費	8 旅費		△ 30	1目 社会教育総務費へ
6目 図書館費	1 報酬		775	4目 美術考古館費より
	3 職員手当等		35	4目 美術考古館費より
	14 工事請負費	1,600		
5項 保健体育費		4,800		
2目 スポーツ施設費	14 工事請負費	4,800		
11款 公債費				
1項 公債費				
1目 元金	22 償還金利子及び割引料		6,722	2目 利子より
2目 利子	22 償還金利子及び割引料		△ 6,722	1目 元金へ
予備費充当額計	(21 件)	25,142		

(注) 予備費充当額計欄の()書数値は、予備費充当件数である。

3 市債

(1) 一般会計市債現在高

ア 借入先別

(単位：円)

区 分	令和4年度末 現在高 (A)	令和5年度		令和5年度末 現在高 (A)+(B)-(C)
		借入額 (B)	償還額 (C)	
財務省	9,148,992,328	419,386,000	778,052,131	8,790,326,197
日本郵政	126,005,098	0	50,593,851	75,411,247
日本政策金融公庫	135,481,540	0	4,710,550	130,770,990
全国市有物件災害共済会	87,188,000	13,300,000	13,484,000	87,004,000
八十二銀行	8,039,489,000	1,418,792,000	1,710,671,000	7,747,610,000
諏訪信用金庫	2,306,956,000	671,300,000	718,501,000	2,259,755,000
長野県信用組合	850,554,000	93,400,000	87,314,000	856,640,000
長野県労働金庫	1,070,000	0	1,070,000	0
長野銀行	11,600,000	0	580,000	11,020,000
信州諏訪農業協同組合	418,900,000	29,400,000	4,218,000	444,082,000
地方公共団体金融機構	470,488,263	72,800,000	52,117,673	491,170,590
長野県市町村振興協会	768,322,000	151,800,000	80,496,000	839,626,000
合 計	22,365,046,229	2,870,178,000	3,501,808,205	21,733,416,024

イ 目的別

(単位：円)

区 分	令和4年度末 現在高 (A)	令和5年度		令和5年度末 現在高 (A)+(B)-(C)
		借入額 (B)	償還額 (C)	
総務	1,711,508,840	1,592,900,000	1,555,662,450	1,748,746,390
民生	922,951,779	13,300,000	82,282,744	853,969,035
衛生	810,228,485	95,640,000	132,333,439	773,535,046
土木	4,539,904,094	733,438,000	354,745,547	4,918,596,547
消防	808,930,000	16,654,000	62,538,000	763,046,000
教育	2,862,304,604	260,460,000	331,788,691	2,790,975,913
公営住宅	67,628,025	0	16,812,218	50,815,807
防災	113,480,000	0	1,490,000	111,990,000
商工	485,011,000	28,400,000	51,872,000	461,539,000
農林	89,364,000	4,800,000	3,329,716	90,834,284
災害復旧債	410,009,127	11,700,000	14,446,627	407,262,500
住民税等減税補てん債	62,240,374	0	25,485,746	36,754,628
臨時財政対策債	9,241,414,901	108,186,000	845,470,027	8,504,130,874
減収補てん債	72,757,000	0	0	72,757,000
公共施設等除却債	167,314,000	4,700,000	23,551,000	148,463,000
合 計	22,365,046,229	2,870,178,000	3,501,808,205	21,733,416,024

(2) 一般会計市債借入額等の推移

(単位：千円)

年 度	借 入 額 ()内は借換債	元金償還額 ()内は借換債	うち繰上償還額	年度末現在高 (A)	市民1人当たり現在高	
					人口 (人) (B)	現在高 (A)/(B)
令和元年度	1,879,100 (0)	2,185,510 (0)	0	22,597,026	49,163	460
令和2年度	1,970,722 (0)	2,007,132 (0)	0	22,560,616	48,572	464
令和3年度	2,538,652 (385,674)	2,227,913 (385,674)	0	22,871,355	47,854	478
令和4年度	1,605,752 (321,259)	2,112,061 (321,259)	0	22,365,046	47,452	471
令和5年度	2,870,178 (1,723,692)	3,501,808 (1,723,692)	0	21,733,416	46,799	464

(注) ※人口は、各年度末現在の住民基本台帳人口である。

4 令和5年度 地方交付税

(1) 普通交付税

(単位：千円)

区 分		令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	増 減 額 (A)-(B)
基準財政需要額	(7)	10,647,722	10,417,036	230,686
基準財政収入額	(イ)	6,502,815	6,207,113	295,702
交付基準額	(7)-(イ)	4,144,907	4,209,923	△ 65,016
調整額	(エ)	0	0	0
交付額	(7)-(イ)	4,144,907	4,209,923	△ 65,016
財政力指数(過去3年間平均値)		0.60	0.61	△ 0.01

(2) 特別交付税

(単位：千円)

区 分	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	増 減 額 (A)-(B)
特別交付税	1,000,971	976,986	23,985

(3) 地方交付税合計

(単位：千円)

区 分	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	増 減 額 (A)-(B)
普通交付税	4,144,907	4,209,923	△ 65,016
特別交付税	1,000,971	976,986	23,985
合 計	5,145,878	5,186,909	△ 41,031

5 地方消費税交付金（社会保障財源化分）

地方消費税交付金（社会保障財源化分）の充当状況は、次のとおりである。

【歳 入】 引上げ分の地方消費税交付金 689,131 千円
（社会保障財源化分）

【歳 出】 (単位：千円)

区 分		事業費	財源内訳			
			特定財源	一般財源		
					地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他
社会福祉	社会福祉事業	111,939	28,587	83,352	12,440	70,912
	障がい者福祉事業	1,131,756	815,264	316,492	47,236	269,256
	高齢者福祉事業	152,569	64,692	87,877	13,116	74,761
	福祉医療事業	415,922	129,350	286,572	42,771	243,801
	児童福祉事業	1,937,060	1,073,387	863,673	179,920	683,753
	生活保護事業	336,628	263,624	73,004	10,896	62,108
	小 計	4,085,874	2,374,904	1,710,970	306,379	1,404,591
社会保険	介護保険事業	704,048	521	703,527	105,001	598,526
	国民健康保険事業	299,816	149,810	150,006	22,388	127,618
	後期高齢者医療保険事業	848,251	107,744	740,507	110,520	629,987
	小 計	1,852,115	258,075	1,594,040	237,909	1,356,131
保健衛生	保健衛生事業	30,435	1,300	29,135	4,348	24,787
	予防事業	120,237	4,208	116,029	17,317	98,712
	母子保健事業	94,530	61,673	32,857	4,904	27,953
	健康管理事業	59,520	15,097	44,423	6,630	37,793
	病院事業	784,112	36,080	748,032	111,644	636,388
	小 計	1,088,834	118,358	970,476	144,843	825,633
合 計		7,026,823	2,751,337	4,275,486	689,131	3,586,355

6 一般会計一時借入金借入状況

(単位：円)

借入先	借入期間	利率	件数	支払利子
借入なし	—	年 % —	—	—
合 計			0	0

7 一般会計一時繰入金繰入状況 (基金)

(単位：円)

繰入先	繰入期間	利率	件数	支払利子
		年 %		
財政調整基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	18	1, 236, 396
社会教育施設整備基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	4	4, 805
社会福祉施設整備基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	5	58, 278
消防施設整備基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	4	219
市営住宅整備基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	4	159, 525
公園施設等整備基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	3	3, 491
工業技術振興基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	3	19, 597
ふるさとまちづくり基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	15	485, 282
減債基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	8	273, 197
文化会館事業基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	4	63, 442
地域福祉基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	2	840
みどりを愛する基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	5	32, 366
教員住宅整備基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	3	5, 598
病院施設整備基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	7	95, 666
リサイクル基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	6	1, 406
まち・ひと・しごと創生基金	R5. 4. 1～R6. 3. 15	0. 100	3	1, 672
森林環境譲与税基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	4	2, 502
旧岡谷市役所庁舎保全基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	8	33, 363
旧渡辺家住宅保全基金	R5. 4. 1～R6. 3. 31	0. 100	3	2, 767
合 計			109	2, 480, 412

8 契約

(1) 契約状況

区 分	件 数	金 額
建設工事	167 件	3,064,618,700 円
建設コンサルタント業務	24 件	108,511,700 円
物品購入	17 件	33,263,615 円
物品購入に係る単価契約	16 件	— 円
役務提供	209 件	1,218,647,118 円
役務提供に係る単価契約	109 件	— 円
合 計	542 件	4,425,041,133 円

(2) 入札参加資格者登録数

区 分	登録者数
建設工事	市内 63 件
	県内 253 件
	県外 144 件
	小計 460 件
建設コンサルタント	市内 9 件
	県内 178 件
	県外 89 件
	小計 276 件
業務委託等	市内 46 件
	県内 260 件
	県外 174 件
	小計 480 件
物品購入等	市内 43 件
	県内 191 件
	県外 97 件
	小計 331 件
合 計	1,547 件

9 主な不動産の取得及び処分

(1) 土地の取得

区 分	施 設 名 称	内 容	面 積 (㎡)
行政財産	長地小萩一丁目地上式消火栓敷地	取得	1.46
	長地御所二丁目防災行政無線敷地	取得	5.09
	長地公民館敷地	取得	14.27
	小 計		20.82
普通財産	ララオカヤ敷地	購入	74.82
	エコファおかや南側敷地	交換	50.77
	男女共同参画センター貸付敷地	貸付増	222.99
	小 計		348.58
合 計			369.40

(2) 土地の処分

区 分	施 設 名 称	内 容	面 積 (㎡)
行政財産	橋詰市営住宅敷地	売却	346.91
	総合体育館・水泳プール敷地	用途変更	48.50
	おかや総合福祉センター敷地	用途廃止	222.99
	小 計		618.40
普通財産	エコファおかや南側貸付敷地	交換	90.02
	旧川岸支所前バス停切り込み	売却・譲与	118.91
	川岸中二丁目県道敷地	譲与	8.12
	旧東堀保育園敷地	売却	2,418.81
	その他廃道水路敷地	交換・売却・譲与	429.18
	小 計		3,065.04
合 計			3,683.44

(3) 建物の取得

区 分	施 設 名 称	内 容	面 積 (㎡)
行政財産	岡谷田中小学校エレベーター棟	増築	33.15
	小 計		33.15
普通財産	ララオカヤ建物	購入	156.62
	小 計		156.62
合 計			189.77

(4) 建物の処分

区 分	施 設 名 称	内 容	面 積 (㎡)
行政財産	高尾市営住宅	解体	155.35
	小 計		155.35
普通財産	旧東堀保育園建物	解体	784.29
	小 計		784.29
合 計			939.64

10 登記処理件数

令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	増 減 (A) - (B)
257件	650件	△ 393件

1 1 車両管理台数

区 分	管 理 台 数			備 考
	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	増 減 (A)－(B)	
普通自動車	12 台	12 台	0 台	
小型ダンプ等	2	2	0	
軽自動車	21	23	△ 2	2台廃車 (N024/N027)
E V	4	2	2	2台新規 (リース)
そ の 他	2	2	0	
バ イ ク	6	6	0	
計	47	47	0	

1 2 基金残高・取崩額の推移状況

(単位：円)

基金名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
財政調整基金	年度末残高 取崩額 1,472,700,814	7,257,353	1,925,141,585	2,276,442,090	2,516,315,237
社会教育施設整備基金	年度末残高 取崩額 7,240,751	7,257,353	7,261,210	31,415,208	31,432,101
社会福祉施設整備基金	年度末残高 取崩額 179,618,067	179,812,377	230,957,981	305,226,619	355,419,881
消防施設整備基金	年度末残高 取崩額 611,777	792,160	792,580	803,014	803,542
市営住宅整備基金	年度末残高 取崩額 450,940,482	351,500,301	328,113,315	290,002,339	260,571,485
公園施設等整備基金	年度末残高 取崩額 12,579,134	12,605,388	12,612,088	12,619,022	12,627,369
工業技術振興基金	年度末残高 取崩額 61,449,022	62,294,870	70,370,346	70,818,728	70,915,576
ふるさとまちづくり基金	年度末残高 取崩額 1,090,443,535	1,194,702,009	1,288,372,981	1,352,982,666	1,453,093,598
減債基金	年度末残高 取崩額 229,834,083	229,989,290	580,156,649	930,369,166	1,080,817,087
文化会館事業基金	年度末残高 取崩額 125,720,530	103,209,549	103,288,366	103,354,682	103,471,341
地域福祉基金	年度末残高 取崩額 2,811,009	2,811,009	2,811,009	3,041,009	3,041,009
みどりを愛する基金	年度末残高 取崩額 56,594,861	52,642,996	52,673,220	52,707,038	52,841,044
教員住宅整備基金	年度末残高 取崩額 11,611,167	11,616,938	11,623,114	20,236,212	20,249,597
病院施設整備基金	年度末残高 取崩額 15,709,963	69,911,901	143,834,581	196,024,741	198,038,911
育英基金	年度末残高 償還免除額 445,981,776	451,027,849	459,516,621	467,650,590	473,787,594
リサイクル基金	年度末残高 取崩額 5,390,735	3,430,607	3,128,160	9,230,885	5,963,584
新型コロナウイルス緊急対策 資金等利子補給基金	年度末残高 取崩額 3,950,970	5,390,735	3,430,607	3,128,160	9,230,885
まち・ひと・しごと創生基金	年度末残高 取崩額 10,100,000	10,100,000	7,180,535	4,016,251	0
森林環境譲与税基金	年度末残高 取崩額 0	0	0	10,534,867	10,541,423
旧岡谷市役所庁舎保全基金	年度末残高 取崩額 68,123,155	68,123,155	134,385,035	151,231,108	151,231,108
旧渡辺家住宅保全基金	年度末残高 取崩額 10,002,630	10,002,630	9,009,246	1,000,000	9,009,246
合 計	4,169,237,706 135,722,845	4,237,446,076 242,398,985	5,296,400,393 51,238,075	6,281,862,792 48,391,841	6,810,170,733 48,161,336

課 務 税

第 1 概説

税務課では、効率的・効果的な行政経営と健全財政の保持に向けた財源確保のため、市税について課税客体の正確な把握に努めながら、課税及び収納事務を行った。

また、納税相談や滞納処分などを実施し、収納率の向上と公平性の確保に努めた。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
税務総務管理事務	1 決算状況 (1) 市税 調定額 7,100,568,901円 (前年度比 102.5%) 収入済額 6,969,529,656円 (前年度比 102.2%) 収納率(現年度) 99.1% (前年度 99.3%) (2) 国民健康保険税 調定額 950,174,707円 (前年度比 98.1%) 収入済額 822,473,193円 (前年度比 96.7%) 収納率(現年度) 94.4% (前年度 95.5%) 2 税関係の諸証明発行 ・手数料収入額(窓口来庁分) 6,922件 2,289,600円 ・コンビニ発行分 352件 105,600円 3 条例改正業務 ・地方税法等の改正に伴う、岡谷市市税条例等を一部改正 4 税務広報事務 ・「市税概要」の作成、公表 ・広報おかや、ホームページ等による広報・広告掲載 (2,868,335円)
市民税課税事務	1 市民税の賦課 ・申告相談の実施 (2月16日(金)～3月15日(金)) 市役所、20日間、2,474人 ・課税資料の整備 申告書、給与及び公的年金支払報告書等の確認、調査 2 軽自動車税、市たばこ税、入湯税の賦課 (39,777,906円)
資産税課税事務	1 固定資産税・都市計画税の賦課 ・令和6年度評価替えに向けた、課税台帳、評価基準等の整備 ・土地現況調査の実施 ・新增築家屋の評価、滅失家屋の確認調査 ・不動産鑑定による土地評価額の修正 ・償却資産申告書の確認及び実地調査(簡易・訪問調査等)の実施 (26,738,407円)
収納等業務事務	1 市税及び国民健康保険税の収納 2 納税相談室の開設(平成18年度～) 相談者数 年間延 576人 3 自主納税の推進と収納率向上対策 ・元国税局職員による指導、研修 ・滞納者に対する督促・催告、生活状況等の調査、納税誓約 ・滞納処分の実施 ・コンビニ収納、スマートフォンアプリでバーコードやQRコードを利用した収納の実施 ・長野県地方税滞納整理機構の活用 移管件数 10件 ・個人の県民税に係る徴収及び滞納処分の特例 引継件数 1件 (21,201,350円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 市税徴収の実績 (単位:円)

項 目 別	予 算 額	前年度以前滞納繰越額		調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額 (滞納繰越額)	予算に対する 収入額の増減	収 入 比 (%)		令和4年度 収入済額	5/4年度 収入済額 対 比 (%)
		繰 越 額	増 減						令和5年度 対予算	対調定		
市 民 税	個 人	現	-	-	2,874,426,500	2,845,196,045	0	29,230,455	101.6	99.0	2,690,661,676	105.7
		滞	49,977,546	△ 160,478	49,817,068	15,815,612	1,460,067	32,541,389	81.5	31.7	19,599,420	80.7
		計	49,977,546	△ 160,478	2,924,243,568	2,861,011,657	1,460,067	61,771,844	101.4	97.8	2,710,261,096	105.6
	法 人	現	-	-	395,182,300	393,913,400	0	1,288,900	103.1	99.7	407,172,200	96.7
		滞	4,003,985	0	4,003,985	840,100	349,977	2,813,908	84.0	21.0	1,037,655	81.0
		計	4,003,985	0	399,186,285	394,753,500	349,977	4,082,808	103.1	98.9	408,209,855	96.7
固定資産税	小 計	現	53,981,531	△ 160,478	3,323,429,853	3,255,765,157	1,810,044	65,854,652	101.6	98.0	3,118,470,951	104.4
		滞	-	-	2,822,782,100	2,797,869,302	0	24,912,798	101.7	99.1	2,779,271,757	100.7
		計	42,354,983	0	42,354,983	16,063,597	301,044	25,990,342	110.8	37.9	17,508,368	91.7
	交 付 金	現	42,354,983	0	2,865,137,083	2,813,932,899	301,044	50,903,140	101.7	98.2	2,796,780,125	100.6
		滞	-	-	15,566,600	15,566,600	0	0	100.4	100.0	16,208,500	96.0
		計	42,354,983	0	2,880,703,683	2,829,499,499	301,044	50,903,140	101.7	98.2	2,812,988,625	100.6
軽自動車税	種別割	現	-	-	176,804,000	174,848,200	0	1,955,800	100.2	98.9	170,795,453	102.4
		滞	5,685,000	△ 25,800	5,659,200	1,942,673	139,100	3,577,427	121.4	34.3	1,770,682	109.7
		計	5,685,000	△ 25,800	182,463,200	176,790,873	139,100	5,533,227	100.4	96.9	172,566,135	102.4
	環境性能割	現	-	-	15,895,200	15,895,200	0	0	100.0	100.0	14,945,000	106.4
		滞	-	-	198,358,400	192,686,073	139,100	5,533,227	100.8	97.1	187,511,135	102.8
		計	5,685,000	△ 25,800	333,699,201	333,699,201	0	0	100.8	100.0	343,623,498	97.1
都市計画税	市たばこ税	現	-	-	1,275,550	1,275,550	0	0	91.1	100.0	1,425,500	89.5
		滞	-	-	357,719,900	354,562,874	0	3,157,026	100.2	99.1	352,033,203	100.7
		計	5,382,314	0	5,382,314	2,041,302	38,256	3,302,756	120.1	37.9	2,232,047	91.5
	入 湯 税	現	5,382,314	0	363,102,214	356,604,176	38,256	6,459,782	100.3	98.2	354,265,250	100.7
		滞	-	-	6,993,351,351	6,932,826,372	0	60,524,979	101.6	99.1	6,776,136,787	102.3
		計	107,403,828	△ 186,278	107,217,550	36,703,284	2,288,444	68,225,822	96.1	34.2	42,148,172	87.1
総 計	小 計	現	107,403,828	△ 186,278	7,100,568,901	6,969,529,656	2,288,444	128,750,801	101.5	98.2	6,818,284,959	102.2
		計	107,403,828	△ 186,278	7,100,568,901	6,969,529,656	2,288,444	128,750,801	101.5	98.2	6,818,284,959	102.2

(注) 都市計画税 356,604,176円は、土木費の一般財源として充当

2 市税負担の状況（現年度）

区 分	調定額(円)	市税負担額(円)	
		1 人当たり	1 世帯当たり
市民税	3,269,608,800	71,694	170,150
固定資産税	2,838,348,700	62,237	147,707
軽自動車税	192,699,200	4,225	10,028
市たばこ税	333,699,201	7,317	17,365
入湯税	1,275,550	27	66
都市計画税	357,719,900	7,843	18,615
合 計	6,993,351,351	153,346	363,933

（注）令和6年4月1日現在 人口 45,605 人、世帯数 19,216 世帯

3 滞納処分の状況（国保税を含む）

区分 物件	令和 4 年度末の状況		令和 5 年度中の処分状況 (交付要求・参加差押を含む)				令和 5 年度末の状況	
			差押等		解 除			
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
不 動 産	47	4,703,553	6	3,490,100	7	2,292,900	46	5,900,753
債 権	38	19,362,630	117	18,073,429	122	18,967,615	33	18,468,444
動 産	3	1,410,700	1	1,282,300	1	1,282,300	3	1,410,700
計	88	25,476,883	124	22,845,829	130	22,542,815	82	25,779,897

4 市税不納欠損処分の状況

（1）年度別・税目別不納欠損処分額

税目	個人市民税		法人市民税		固定資産税		都市計画税		軽自動車税	
年度	税額(円)	件	税額(円)	件	税額(円)	件	税額(円)	件	税額(円)	件
H26	1,443	1						—	7,200	1
H27	110,237	4						—		
H28	155,104	10	83,500	1	34,159	11	4,341	—	12,900	1
H29	81,100	13			25,198	11	3,202	—		
H30	334,076	39	260,000	2	197,679	24	25,121	—	93,200	12
R元	778,107	28	6,477	1	12,067	4	1,533	—	25,800	2
R2					31,941	3	4,059	—		
計	1,460,067	95	349,977	4	301,044	53	38,256	—	139,100	16

（2）不納欠損内容

内 容	金 額(円)	件数(件)
消滅時効が完成したもの（地方税法第18条）	0	0
滞納処分の執行停止中、消滅時効が完成したもの （地方税法第18条）	524,311	60
滞納処分の執行停止が3年間継続したもの （地方税法第15条の7第4項）	1,699,938	102
滞納処分の執行停止後、直ちに消滅するもの （地方税法第15条の7第5項）	64,195	6
合 計	2,288,444	168

5 口座振替等の状況

区分	口座振替		コンビニエンスストア		スマートフォンアプリ	
税目	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市民税 (特徴除く)	9,356	227,259,415	5,488	81,419,311	212	3,153,009
					489	8,341,433
					701	11,494,442
固定資産税 都市計画税	61,450	1,989,361,954	10,969	181,113,100	427	7,475,200
					847	15,849,600
					1,274	23,324,800
軽自動車税	4,846	38,326,300	8,711	73,904,600	150	1,261,600
					910	7,705,400
					1,060	8,967,000
市税計	75,652	2,254,947,669	25,168	336,437,011	3,035	43,786,242
国民健康保険税	32,446	494,254,946	7,363	98,087,600	190	2,557,400
					509	7,209,400
					699	9,766,800
合計	108,098	2,749,202,615	32,531	434,524,611	3,734	53,553,042

※上段：バーコード決済

※中段：QRコード決済

※下段：小計

6 市税等の状況

(1) 市民税調定額(現年度)

ア 個人分

() 内は納税義務者数

課税額	均等割(円)	所得割(円)	計(円) ①
	91,091,000 (25,999 人)	2,794,868,800 (23,847 人)	2,885,959,800 (26,079 人)

調定額	①のうち翌年度の 収入となるべき額 (円)	①のうち当年度の 収入となるべき額 (円) ②	前年度課税額の うち当年度収入分 (円) ③	計(円) ②+③
	351,972,500	2,533,987,300	340,439,200	2,874,426,500

イ 法人分

() 内は法人数

調定額		
均等割(円)	法人割(円)	計(円)
157,364,700 (1,700 人)	237,817,600 (719 人)	395,182,300 (1,700 人)

(2) 市民税(個人) 賦課人員

(特別徴収義務者数 3,334 事業所)

区 分	普通徴収分(人)	特別徴収分(人)
均等割のみ	843	1,389
所得割のみ	0	80
均等割と所得割	5,599	18,168
合 計	6,442	19,637

(3) 固定資産税・都市計画税調定額（現年度）

区 分	課税標準額(千円)	税 額(円)	納税義務者数(人)
固定資産税	205,252,551	2,822,782,100	21,752
国有資産等所在市町村交付金	1,111,927	15,566,600	8
合 計	206,364,478	2,838,348,700	21,760
都市計画税	179,482,640	357,719,900	21,308

(4) 固定資産税概要

ア 土地の評価額

() 内は免税点未満を内書

区分	地 積(㎡)	決定評価額(千円)	筆数(筆)	㎡当たり価格(円)	
				平均価格	最高価格
田	(105,609) 999,911	(10,408) 110,986	(324) 2,749	111	167
介在田	(36) 7,895	(390) 104,086	(2) 22	13,184	22,524
畑	(394,069) 2,361,481	(17,945) 112,891	(1,389) 7,527	48	96
介在畑	(105) 23,244	(362) 231,967	(3) 79	9,980	24,620
宅地	(121,993) 7,523,385	(1,240,023) 139,137,158	(2,271) 59,088	18,494	40,580
池沼	(52) 6,139	(2) 11,739	(1) 20	1,912	6,904
山林	(1,560,845) 14,464,618	(52,790) 467,934	(2,342) 11,525	32	46
牧場	0 3,850	0 140	0 4	36	36
原野	(56,242) 3,098,238	(1,692) 46,915	(195) 924	15	124
雑種地	(47,244) 2,232,090	(33,359) 13,840,119	(520) 6,439	6,201	39,363
合 計	(2,286,195) 30,720,851	(1,356,971) 154,063,935	(7,047) 88,377	5,015	

イ 家屋の評価額

() 内は免税点未満を内書

区 分	床 面 積(㎡)	決定評価額(千円)	棟数(棟)	㎡当たり平均価格(円)
木 造	(52,658) 2,264,192	(86,347) 41,516,258	(992) 20,277	18,336
非木造	(1,413) 1,689,516	(7,393) 57,609,252	(64) 6,728	34,098
合 計	(54,071) 3,953,708	(93,740) 99,125,510	(1,056) 27,005	25,072

ウ 償却資産の評価額

区 分	決定評価額(千円)	備 考
市長が価格等を決定したもの	33,985,947	
総務大臣・県知事が価格等を決定し 配分したもの	11,677,450	中部電力パワーグリッド(株)、 東日本旅客鉄道(株)、 東日本電信電話(株)、 INPEX 等
合 計	45,663,397	

(5) 軽自動車税概要

ア 種別割

区 分	課税台数(台)	調定額(円)
原付自転車	1,533	3,236,500
軽自動車	18,795	167,817,100
小型特殊自動車	291	1,244,400
二輪の小型自動車	751	4,506,000
合 計	21,370	176,804,000

イ 環境性能割

調定額(円)
15,895,200

7 e L T A X (地方税共同電子申告システム) の状況

(1) e L T A X の利用

区 分	法人市民税申告書	給与支払報告書	償却資産申告書
電子申告件数(件)	2,031	3,929	1,154
利用率(%)	94.6	72.0	53.7

(2) 公的年金に関する件数

区 分	件 数(件)	課税件数(件)	特別徴収件数(件)	特徴比率(%)
65歳以上	22,412	6,930	5,107	73.7
65歳未満	1,559	786	—	—
合 計	23,971	7,716	—	—

(単位：円)

8 国民健康保険税徴収の実績

国 民 健 康 保 険 税	項 目 別	予 算 額	前年度以前滞納繰越額		調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額 (滞納繰越額)	予算に対する 収入額の増減	収 入 比 (%)		令和4年度 収入済額	5/4年度 収入済額 対 比 (%)
			繰 越 額	増 減						令和5年度 対予算	対調定		
一 般	医 療 給 付 費 分	現	-	-	580,511,826	0	31,009,983	3,551,843	100.7	94.7	571,311,329	96.2	
		滞	74,138,786	△ 1,353,448	72,785,338	19,473,593	1,018,429	52,293,316	△ 5,026,407	79.5	26.8	19,893,161	97.9
		計	74,138,786	△ 1,353,448	653,297,164	568,975,436	1,018,429	83,303,299	△ 1,474,564	99.7	87.1	591,204,490	96.2
	後期高齢者支援金分	現	-	-	193,572,549	183,212,889	0	10,359,660	1,101,889	100.6	94.6	189,546,836	96.7
		滞	24,468,679	△ 466,936	24,001,743	6,460,914	325,407	17,215,422	△ 1,379,086	82.4	26.9	6,576,707	98.2
		計	24,468,679	△ 466,936	217,574,292	189,673,803	325,407	27,575,082	△ 277,197	99.9	87.2	196,123,543	96.7
	介 護 納 付 金 分	現	-	-	65,842,125	60,238,388	0	5,603,737	3,465,388	106.1	91.5	59,331,639	101.5
		滞	13,570,042	△ 182,516	13,387,526	175,191	175,191	9,700,369	△ 1,118,034	75.9	26.2	3,450,355	101.8
		計	13,570,042	△ 182,516	79,229,651	63,750,354	175,191	15,304,106	2,347,354	103.8	80.5	62,781,994	101.5
	小 計	現	-	-	839,926,500	792,953,120	0	46,973,380	8,119,120	101.0	94.4	820,189,804	96.7
		滞	112,177,507	△ 2,002,900	110,174,607	29,446,473	1,519,027	79,209,107	△ 7,523,527	79.6	26.7	29,920,223	98.4
		計	112,177,507	△ 2,002,900	950,101,107	822,399,593	1,519,027	126,182,487	595,593	100.1	86.6	850,110,027	96.7
退職者	医 療 給 付 費 分	現	-	-	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	
		滞	45,816	-	45,816	45,816	0	0	25,816	229.1	100.0	4,934	928.6
		計	45,816	-	45,816	45,816	0	0	25,816	229.1	100.0	4,934	928.6
	後期高齢者支援金分	現	-	-	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	
		滞	14,371	-	14,371	14,371	0	0	4,371	143.7	100.0	1,430	1005.0
		計	14,371	-	14,371	14,371	0	0	4,371	143.7	100.0	1,430	1005.0
	介 護 納 付 金 分	現	-	-	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	
		滞	13,413	-	13,413	13,413	0	0	3,413	134.1	100.0	1,236	1085.2
		計	13,413	-	13,413	13,413	0	0	3,413	134.1	100.0	1,236	1085.2
	小 計	現	-	-	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	
		滞	73,600	-	73,600	73,600	0	0	33,600	184.0	100.0	7,600	968.4
		計	73,600	-	73,600	73,600	0	0	33,600	184.0	100.0	7,600	968.4
税	医 療 給 付 費 分	現	-	-	580,511,826	549,501,843	0	31,009,983	3,551,843	100.7	94.7	571,311,329	96.2
		滞	74,184,602	△ 1,353,448	72,831,154	19,519,409	1,018,429	52,293,316	△ 5,000,591	79.6	26.8	19,898,095	98.1
		計	74,184,602	△ 1,353,448	653,342,980	569,021,252	1,018,429	83,303,299	△ 1,448,748	99.7	87.1	591,209,424	96.2
	後期高齢者支援金分	現	-	-	193,572,549	183,212,889	0	10,359,660	1,101,889	100.6	94.6	189,546,836	96.7
		滞	24,483,050	△ 466,936	24,016,114	6,475,285	325,407	17,215,422	△ 1,374,715	82.5	27.0	6,578,137	98.4
		計	24,483,050	△ 466,936	217,588,663	189,688,174	325,407	27,575,082	△ 272,826	99.9	87.2	196,124,973	96.7
	介 護 納 付 金 分	現	-	-	65,842,125	60,238,388	0	5,603,737	3,465,388	106.1	91.5	59,331,639	101.5
		滞	13,583,455	△ 182,516	13,400,939	3,525,379	175,191	9,700,369	△ 1,114,621	76.0	26.3	3,451,591	102.1
		計	13,583,455	△ 182,516	79,243,064	63,763,767	175,191	15,304,106	2,350,767	103.8	80.5	62,783,230	101.6
	計	現	-	-	839,926,500	792,953,120	0	46,973,380	8,119,120	101.0	94.4	820,189,804	96.7
		滞	112,251,107	△ 2,002,900	110,248,207	29,520,073	1,519,027	79,209,107	△ 7,489,927	79.8	26.8	29,927,823	98.6
		計	112,251,107	△ 2,002,900	950,174,707	822,473,193	1,519,027	126,182,487	629,193	100.1	86.6	850,117,627	96.7

9 国民健康保険税不納欠損処分状況

(1) 年度別不納欠損額 構成

年度	税 額 (円)	件数(件)
H25	44,408	4
H26	18,100	3
H27	228,900	14
H28	280,100	32
H29	169,200	22
H30	493,627	73
R 元	284,692	31
合計	1,519,027	179

(2) 不納欠損内容

内 容	金 額(円)	件数(件)
消滅時効が完成したもの（地方税法第18条）	0	0
滞納処分の執行停止中、消滅時効が完成したもの （地方税法第18条）	286,500	47
滞納処分の執行停止が3年間継続したもの （地方税法第15条の7第4項）	1,120,727	122
滞納処分の執行停止後、直ちに消滅するもの （地方税法第15条の7第5項）	111,800	10
合 計	1,519,027	179

10 主な税制改正

○令和5年度税制改正

(1) 個人市民税 森林環境税の導入に伴う所要の改正

(2) 固定資産税及び都市計画税 地域決定型地方税制特例措置（わがまち特例）の
創設、廃止等に伴う所要の改正

(3) 軽自動車税 グリーン化特例の期限の延長に伴う所要の改正

(4) 軽自動車税 特定小型原動機付自転車に係る車両区分の創設に伴う所要の改正

消 防 課

第1 概説

消防課では、火災等各種災害から市民の生命、財産等を守ることを目的として、火災予防の推進をはじめ、消防団の充実及び防火・防災協力団体の育成、さらに消防水利、消防施設の整備に努めた。

特に、コロナ禍において自粛していた訓練等を再開し、技術の研鑽に努めるとともに、分団相互の連携強化を図り、あわせて訓練時間の見直し等を行い消防団員の負担軽減にも寄与した。

また、消防団員の処遇改善として団員、班長、部長の年額報酬を増額し消防団員の士気高揚を図った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
広域連合負担金	1 広域消防負担金（均等割 20% 人口割 80%） ・消防費負担金 460,935,936円 ・公債費負担金 47,671,752円 2 その他負担金 ・退職手当負担金 17,323,891円 ・高速道路救急業務支弁金 3,560,300円 (529,491,879円)
消防事務	（岡谷市防火協会） 事業所の防火管理並びに危険物施設の維持管理に万全を期し、火災による被害を未然に防止することを目的として、協会加入事業所の従業員に対する保安教育を徹底した。 市内児童を対象に「第45回標語入り防火ポスターコンクール」を開催し、優秀作品を用いて令和6年版の標語入り防火カレンダーを作成し幼少年に対する火災予防の普及を行った。 土地借上料 ・防火水槽敷地 48件分 686,000円 (2,727,002円)
消防団活動事業	消防団は、地域社会における消防防災活動の中核組織として、火災等の災害出動や災害発生に備えての訓練、また地域ぐるみの防災体制の確立等、地域防災のリーダーとして活躍した。 火災での被害を最小限にとどめる消火活動等を行うとともに、市民に対して火災予防広報を行い、注意喚起を促した。特にお彼岸の時季には各所墓地の火災が頻発することから、市内全域での広報活動及び墓地にて火災警戒活動を行った。 また、消防団員の恒常的な確保対策のひとつ「処遇改善」として団員、班長、部長の年額報酬を増額し士気高揚を図った。 昼間の出動団員の確保には、「機能別団員制度」を活用し、「消防団協力事業所表示制度」により、消防団員の活動しやすい環境作りにも継続的な取り組みを行った。 あわせて、消防団員の確保対策を目的に、「消防団員サポートショップ事業」を継続実施した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響で自粛していた「消防

	操法大会」を4年ぶりに開催するとともに、実践的な「中継放水訓練」を実施し、技術の研鑽と体力の錬磨に努め、「交通安全研修」「規律訓練」「新入団員講習会」等を計画し消防団員の資質向上を図った。 1 消防団員報酬等 年額報酬 394人分 16,803,800円 出勤報酬 7,433人分 8,580,000円 2 災害補償費 消防団員遺族補償年金 2件 6,119,900円 3 報償費 消防団員退職報償金 11人分 4,331,000円 4 土地借上料 ・分団屯所10件・可搬小屋敷地4件・水防庫2件 855,300円 5 負担金、交付金 ・団員等公務災害補償基金掛金 1,210,365円 ・団員退職報償金基金掛金 10,540,800円 ・消防団員福祉共済掛金 1,647,000円 ・分団運営交付金 7,411,300円 (64,984,218円)
消防水利管理事業	・防火水槽蓋等修繕工事 3箇所 ・消火栓吐水口修繕 2箇所 (498,850円)
水防資機材整備事業	・水防用資機材整備 (38,879円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 消防団組織 (単位：人)

区分	消 防 団							
階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
定数	1	1	12	13	13	84	425	549
実員	1	1	12	13	13	78	303	421

(令和6年3月現在)

2 消防団車両等 (単位：台)

区 分	消防団	自主防災	合 計
団本部車	1	0	1
消防ポンプ自動車	9	0	9
災害対応型多機能消防車	2	0	2
小型動力ポンプ付積載車	1	0	1
資機材搬送車	11	0	11
小型動力ポンプ	28	4	32
軽可搬ポンプ	0	8	8

3 消防水利施設 (単位：基)

区 分	公設防火水槽	公設消火栓	合 計
消防水利施設数	302	864	1,166

4 水防倉庫 消防署、下浜、上小井川、湊、横川、川岸

5 消防団の出動状況 (単位：件／人)

区 分	火 災	救 急	救 助	風水害等	演習訓練	広報指導
出動件数	8	0	0	1	117	15
出動人員	372	0	0	30	2,256	856

区 分	警防調査	火災調査	特別警戒	捜 索	その他	合 計
出動件数	119	0	25	0	175	460
出動人員	1,652	0	811	0	1,456	7,433

危 機 管 理 室

第1 概説

危機管理室では、自主防災組織及び消防団などの防災関係機関と連携した各種防災訓練を実施したほか、災害時の応急対応、避難所開設に必要な防災資機材の充実を図り、地域の防災力・減災力の強化に努めた。

「平成18年7月豪雨災害」から17年、「令和3年8月大雨災害」から2年が経過する中で災害の記憶を風化させることなく、災害の経験から得た教訓と知識を後世に継承するとともに住民及び地域の防災力・減災力の更なる強化を図るため、防災ガイドの説明会のほか、7月19日を中心とした災害パネル展等の岡谷市防災の日関連事業を実施した。

また、本年度をもって現行の国土強靱化地域計画の計画期間が満了となることから、災害に対する事前の備えとして、人命の保護を最優先としながら、安定的な社会経済活動を継続できるよう本市の地域特性に応じた施策を推進するため、岡谷市国土強靱化地域計画（第2期）を策定した。

防災行政無線等デジタル化整備事業においては、緊急時の情報発信機能の強化を図るため、設計施工一括公募型プロポーザルを実施し、優先交渉権者を選定した。

このほか、令和6年能登半島地震に係る石川県への災害支援を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
災害支援事業	1 令和6年能登半島地震に係る石川県への支援 長野県合同災害支援チーム（チームながの）等からの要請により職員を派遣し、復旧復興支援を実施した。 （1）廃棄物処理 羽咋市 3名 延べ19日間 （2）避難所支援 輪島市 4名 延べ24日間 （3）住家被害認定調査罹災証明交付支援 羽咋市 2名 延べ14日間 （4）公費解体に係る受付業務、委託業務発注等 志賀町 1名 7日間 ＊水道事業、岡谷市民病院による派遣は除く。 (1,176,221円)
防災・災害対策事業	1 地域連絡員の選任 市と区のパイプ役を担う各区2名の地域連絡員を市職員から選任し、地域との連絡体制の強化を図った。（21区42名） 2 災害危険箇所の視察 4月25日（火）に諏訪地域振興局、諏訪建設事務所、岡谷警察署、諏訪広域消防本部及び市関係課の職員により、災害危険箇所等41行程58箇所の現地視察を実施した。

3 防災会議

6月21日（水）に岡谷市防災会議を開催し、地域防災計画及び水防計画の修正、令和4年度の防災対策及び災害対応について報告するとともに令和5年度の事業計画について審議した。

また、岡谷市国土強靱化地域計画の見直し、防災行政無線等デジタル化整備事業及び中大久保・大久保の土砂災害警戒区域における避難情報発令判断基準の見直しについて報告した。

このほか、長野地方気象台から防災気象情報とその効果的な利用について説明会を開催した。

4 国民保護協議会

6月21日（水）に岡谷市国民保護協議会を開催し、国民保護計画の修正について審議した。

5 市民とあゆむまちづくり講座

「我が家の防災対策」や「平成18年7月豪雨災害について」など、小学校や地域の団体等受講者の要望に応じた出前講座を実施した。（15回 525名）

6 防災ガイド啓発事業

令和2年2月に改訂し全戸配布を行った「岡谷市防災ガイド」について、区へ説明会を行うとともに、出前講座や小中学校の防災教育などを通じて周知啓発を図った。

7 「岡谷市防災の日」関連事業

7月19日の「岡谷市防災の日」を中心に、市民の防災・減災意識のさらなる高揚を図るための事業を実施した。

（1）防災・減災関連図書コーナーの設置

7月1日（土）～7月27日（木）岡谷市立図書館

（2）災害パネル展の開催

7月14日（金）～21日（金）イルフプラザ1階

（3）「非常食を食べる日」周知啓発

災害パネル展に併せ周知啓発を図った。

（4）災害伝承之碑参拝

「小田井沢川災害伝承之碑」、「志平川土砂災害伝承之碑」ほか

7月19日（水）

（5）市民へのメッセージ

・市長による防災行政無線 7月19日（水）

・シルキーチャンネルDVD放映

7月16日（日）～31日（月）

8 防災啓発共同事業

諏訪広域連合と諏訪6市町村共同で防災講演会を開催した。

期日 10月14日（土）

会場 富士見町民センター

演題 「気候変動と気象現象の激化 - 正しく恐れ、備えるために」

講師 西出 則武 先生（長野県総合防災アドバイザー）

（参加者231名）

9 災害時応援協定の締結

名 称 災害時における物資供給に関する協定書

内 容 被災地の迅速な復旧・復興や被災者支援体制を構築するため。

締結先 株式会社アクティオ

締結日 12月25日（月）

10 GISの防災活用

岡谷市防災ガイドの情報をホームページから情報収集できる

	よう岡谷市地理情報システム「くらしマップおかや」に掲載し、危険区域の変更など随時更新を行った。 また、災害時の避難情報発令区域の指定や土砂災害警戒区域の住民に注意喚起を行う際の区域の抽出に活用した。 11 地区防災マップ作成支援 長野県の事業を活用し、長地地区の4区に対して作成支援を行った。 作成区 東堀区、中屋区、中村区、横川区 12 広報おかや6月号防災・減災特集 災害時の避難行動について、「自らとるべき行動を確認しよう！」をテーマに特集記事を掲載した。 13 国土強靱化地域計画策定事業 本年度をもって現行計画期間が満了となることから、国の「国土強靱化基本計画」、「第3期長野県強靱化計画」及び「第5次岡谷市総合計画後期基本計画」と整合を図り、防災会議及び自主防災組織の方々への意見聴取やパブリックコメント等を踏まえ現計画を見直し、岡谷市国土強靱化地域計画(第2期)を策定した。 (1,564,517円)
防災無線事業	1 防災行政無線 防災行政無線は、年1回の保守点検業務を行い、非常時の緊急放送に備えるとともに、定時放送(正午のチャイム・愛の鐘)の実施及び防災情報等の放送を実施した。 2 防災ラジオ 災害時における防災情報を迅速かつ的確に伝達するとともに、防災行政無線の難聴解消を目的とする防災ラジオを市民に販売した。(令和5年度販売台数 65台) 3 メール配信@おかや及び岡谷市公式LINE 防災・減災に関する情報が、住民に確実に伝達できるよう多くの人が所持し、身につけている携帯電話などを活用したメール配信@おかや及び岡谷市公式LINEについて、出前講座や各種会議等において周知を行い、登録者の拡大に努め、住民への防災情報の迅速かつ確実な発信の強化を図った。 (令和5年度末現在登録件数 17,085件) 4 雨量監視体制の確保 市内11箇所に設置している雨量計と、2箇所に設置している河川監視カメラにより雨量監視等を行い、災害時の初期初動の迅速化や減災に役立てた。 5 雨量情報の提供 市内11箇所の雨量計による雨量情報について、住民の防災・減災意識の向上と情報提供の拡充を図るとともに、住民の自主的な水害防止活動や避難行動に活用してもらうため、ホームページによる一般公開を実施した。 6 J-ALERT(全国瞬時警報システム) 緊急地震速報や国民保護(ミサイル発射や大規模テロなど)情報などの緊急情報を住民に伝えるため、国と連携し試験放送及び庁内放送にて伝達訓練を実施するとともに保守点検等により適切な維持管理に努めた。 (実施日:6月15日(木)、7月12日(水)、9月20日(水)、11月2日(木)、11月15日(水)、2月9日(金)) 7 防災行政無線等デジタル化整備事業 令和5年度から令和7年度までの3ヵ年計画とし、緊急時の情報発信機能の強化を図るため、防災行政無線のデジタル化

	及び防災気象情報システムの構築に着手した。令和５年度は、先進地視察や消防庁主催のアドバイザー会議への参加による情報収集及び、基礎調査業務や技術アドバイザー業務により基本設計及び要求水準書等を作成するとともに設計施工一括公募型プロポーザルを実施し、優先交渉権者を選定した。 ・５月１日（月）同報系防災行政無線基礎調査業務契約 ・６月１２日（月）防災行政無線等デジタル化整備事業に係る技術アドバイザー業務契約 ・１２月２５日（月）岡谷市防災行政無線等デジタル化整備事業に係る設計施工一括公募型プロポーザル支援業務契約 ・１月１８日（木）設計施工一括公募型プロポーザル一次審査 ・３月１日（金）設計施工一括公募型プロポーザルプレゼンテーション ・３月４日（月）優先交渉権者決定 (5,397,597 円)
自主防災組織育成事業	1 自主防災組織連絡協議会 １月２２日（月）に岡谷市自主防災組織連絡協議会を開催し、避難行動要支援者登録制度についての研修会を実施した。 2 自主防災組織防災資機材購入費等補助金 自主防災組織に対して、防災資機材の整備、広報啓発事業の実施による組織の強化を図るため、防災資機材購入費等補助金を交付した。 （１）防災資機材購入事業 １３件 （２）広報啓発事業 ５件 3 デジタル簡易無線定期試験 各区等へ配備しているデジタル簡易無線を災害時に有効活用するため、月に１度、市と各区、３支所、消防課及び勤労会館との間で通信試験を実施した。 4 各区公会所等耐震診断補助金 指定避難所に指定している各区公会所等の耐震性を確認し、建築物の安全性向上を図るため、橋原区に各区公会所等耐震診断補助金を交付した。 (1,999,996 円)
防災訓練事業	1 土のう作成研修会 ４月２７日（木）及び２８日（金）に出水期の備え、職員の水防研修を兼ねた土のう作成研修を行い、諏訪広域消防本部職員の指導の下、約１，８５０袋を作成し、備蓄した。 (参加者１２１名) 2 水防訓練 ５月１４日（日）に出水期に備え、水防工法の技術を習得するため、諏訪建設事務所職員の指導の下、消防団、自主防災組織及び市職員が参加し、土のう作成訓練、改良積み土のう工法訓練及びロープ結索訓練を実施した。(参加者１６１名) 3 土砂災害・全国防災訓練 ６月４日（日）に駒沢区をモデル地区として、梅雨前線に伴う集中豪雨による的場川流域の土石流災害の発生を想定した訓練を実施する予定であったが、大雨により地域の住民に避難指示を発令したため、中止とした。 4 地区分散型防災訓練 ８月２７日（日）に小口区をモデル地区として、南海トラフ巨大地震を想定した訓練を実施した。 訓練内容は、災害対策本部の設置訓練、職員参集訓練、地域連絡員派遣訓練、情報収集伝達訓練、避難所応急危険度判定

	訓練、応急給水訓練、現地対策本部の設置訓練、広報車による広報活動訓練等を実施した。また、現地においては、区民、岡谷警察署及び消防団等の関係者が参加し、区本部設置訓練、避難誘導訓練、避難所開設運営訓練、初期消火訓練、土のう作成訓練、要配慮者避難誘導訓練、炊出し訓練等を実施した。 また、市内各区においても8月27日（日）を中心に訓練を実施した。（参加者13,031名） 5 緊急地震速報対応訓練 9月1日（金）及び3月11日（月）に緊急地震速報端末が設置されている市内51箇所の公共施設及び私立幼稚園等において対応訓練を実施した。 6 諏訪地域南海トラフ地震等災害対策推進協議会合同防災訓練 1月26日（金）諏訪地域南海トラフ地震等災害対策推進協議会の構成団体による、南海トラフ地震を想定した合同訓練を実施した。 7 安否情報システム全国一斉訓練 7月3日（月）～7月20日（木）、11月1日（水）～11月30日（木）に安否情報システムへの情報入力訓練を実施し、システムに対する理解の促進や操作の習熟を図った。 (204,267円)
防災資機材整備事業	1 公共施設（48施設）に対して緊急事態に対応ができるよう自動対外式除細動器（AED）を配備した。 2 災害時に備えて、岡谷市民病院及び諏訪湖畔病院に備蓄している災害用備蓄医薬品の更新を行った。 3 我がまち守る防災資機材緊急整備事業 激甚化・頻発化する自然災害に備え、災害時の応急対応や避難所開設に必要な防災資機材の整備を図った。 (4,162,885円)
災害等対応	1 風水害 5月から10月までの期間、前線や台風等の影響による局地的な大雨により、大雨警報が4回、洪水警報が2回発表され、避難指示を通常よりも早い段階で発令する警戒体制を敷いていた中大久保・大久保の土砂災害警戒区域においては、避難情報発令判断基準の川岸支所雨量計累計雨量90mmを観測したため、避難指示を2回発令した。 また、情報連絡会、警戒対策本部及び災害対策本部を設置し、関係機関との連携を図りながら災害等の対応を行った。 （1）避難指示の発令内容 ◇5月7日（日） ・発令区域 中大久保・大久保の土砂災害警戒区域 ・避難対象 25世帯71名 ・避難所 川岸公民館 ・避難者数 9世帯25名 ・被害 なし ・経過 4時 災害対策本部設置及び開催 4時30分 避難指示発令 8時30分 第2回災害対策本部開催 9時 避難指示解除 - 避難所閉鎖 - 災害対策本部解散 ◇6月2日（金）から6月3日（土） ・発令区域 中大久保・大久保の土砂災害警戒区域 ・避難対象 25世帯69名

	・避難所 川岸公民館 ・避難者数 4世帯6名 ・被害 なし ・経過 6月2日（金） 13時45分 避難指示発令 14時 災害対策本部設置及び開催 17時30分 第2回災害対策本部開催 6月3日（土） 7時 避難指示解除 - 避難所閉鎖 - 災害対策本部解散 ＊中大久保・大久保の土砂災害警戒区域における避難情報発令判断基準については、経験雨量及び砂防えん堤工事の監視体制が強化されたことから、令和5年7月に川岸支所雨量計の累積雨量90mmから110mmに見直した。 （2）主な被害状況 ・7月8日（土）大雨注意報 雨量計1時間雨量20mmを観測するなど局地的な大雨により、倒木に伴う車両破損の被害が2件発生した。 ・8月1日（火）大雨、洪水、雷注意報 雨量計1時間雨量21.5mmを観測するなど局地的な大雨が発生し、落雷により倒木が1件発生した。 ・8月19日（土）大雨警報、雷注意報 雨量計1時間雨量24mmを観測するなど局地的な大雨が発生し、落雷により倒木が1件発生した。 2 地震災害 ・5月5日（金）震度2、震度1 被害なし。 ・1月1日（月）震度3、震度1を2回 被害なし。 ・1月2日（火）震度1 被害なし。 ・1月9日（火）震度1 被害なし。 3 雪害 ・2月5日（月）大雪警報 被害なし。 4 大規模停電 ・3月15日（金） 中部電力㈱岡谷変電所構内設備（神明町）に鳥類が接触したことにより、諏訪地域及び塩尻市において大規模な停電が発生し、市内においても最長で43分間停電した。

市 民 環 境 部

市 民 生 活 課

第1 概説

市民生活課では、戸籍・住民記録担当、年金・市民サービス担当、安全・衛生担当の3担当により業務を執行した。

業務内容として、市民の身分及び居住関係の登録・公証、マイナンバー付番・カード交付、コンビニ交付業務、国民年金業務や生活衛生の向上と市民生活の安全確保を図るための事業を推進した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
安全対策推進事業	1 広報及びパトロール活動 市民の安全を守るため、市内全域にわたり随時実施した。 2 安全運動の推進 (1) 春、秋の全国交通安全運動をはじめ、時期に適した重点目標に沿い、関係機関、団体が一丸となり、交通事故防止運動を効果的に推進した。 (2) 無事故無違反デー 毎月1回市内全域において朝夕の街頭指導を実施し、シートベルトの着用、安全運転を呼びかけ交通事故防止を図った。 3 交通安全教育 (1) 通園通学路等で、朝の街頭指導や随時パトロールによる指導を行った。また、保育園、幼稚園、小学校での交通安全教室など、年代に応じた安全教育を実施し、安全意識、安全思想の普及、高揚に努めた。 ・交通指導 454回 ・交通安全教室（職員派遣） 保育園・幼稚園 25回 園児 419人 保護者 405人 小学校 7回 児童 1,207人 (2) 幼児、子どもの交通事故防止を徹底させるため、交通安全親の会の交通安全活動を支援した。 4 放置自転車撤去、保管、指導 自転車等の放置防止に関する条例に基づき、放置禁止区域内のパトロール及び撤去作業を（公社）岡谷下諏訪広域シルバー人材センターへ委託し、実施した。 (1) パトロール回数 52回 (2) 撤去回数 2回 (3) 撤去台数 2台 ※返還 0台 5 高齢者の交通安全対策 高齢ドライバーの運転技術を診断することにより、運転免許証の自主返納や安全運転に対する意識向上を図った。 ・高齢者安全運転健康診断事業 受講者 9人 委託料 29,700円 6 地域安全活動 地域の交通安全及び犯罪の未然防止と青少年の非行防止を図るため、関係機関、団体と協力し、各種運動及び広報活動、パトロール等を行い地域安全活動の推進に努めた。

	(1) 青色防犯パトロール 129回 (2) 暴力追放県民センター賛助会費 50,000円 (3) 岡谷交通安全協会補助金 750,000円 (4) 岡谷市交通安全親の会補助金 97,000円 (5) 岡谷市防犯協会連合会補助金 650,000円 7 自転車用ヘルメット着用の推進（令和6年1月～） 16歳から18歳及び65歳以上の市民に対し、自転車用ヘルメットの購入に要した経費の一部に対し、補助金を交付した。 ・岡谷市自転車用ヘルメット購入費支援補助金 60件 117,100円 (5,511,707円)								
安全会議事業	1 安全会議 市民を各種の災害から守るため、交通安全、産業安全、消防、防犯、環境保健、学校安全の各部会が関係機関、団体等と連携し、各事業を実施した。また、市民の安全に対する啓発活動を行った。 2 安全市民大会 7月22日にカノラホールにおいて開催し、市民の安全意識の高揚を図り、事故や災害のない明るいまちづくりの推進を行った。 (423,198円)								
安全施設管理事業	1 防犯灯 各区が行う蛍光灯型防犯灯のLED化に対する助成について、一部補助メニューの上限額を引き上げるとともに、既存LED灯具の改修に要する経費を新たに対象とし、区の負担軽減を図った。また、防犯灯電気料の全額負担を行うとともに、適切な維持管理を指導し、夜間の犯罪、事故防止を図った。 (1) 防犯灯設置補助事業 ・防犯灯設置補助金 1,168,200円 (内訳) 新設 8灯 灯具交換 80灯 既存LED灯具改修 3件 自動点滅器改修 1件 (2) 防犯灯電気料負担金 10,085,037円 (3) 防犯灯設置状況 <table><tr><td>令和4年度末</td><td>新設</td><td>廃止</td><td>令和5年度末</td></tr><tr><td>4,739灯</td><td>8灯</td><td>2灯</td><td>4,745灯</td></tr></table> (11,253,237円)	令和4年度末	新設	廃止	令和5年度末	4,739灯	8灯	2灯	4,745灯
令和4年度末	新設	廃止	令和5年度末						
4,739灯	8灯	2灯	4,745灯						
交通災害共済事業	1 長野県民交通災害共済 会員募集及び見舞金請求事務を行った。 (1) 加入状況 一般会員 18,325人 中学生以下 4,711人 計 23,036人（加入率49.5%） (2) 加入負担金 200,500円 (3) 見舞金支給状況 63件 3,667,500円 (1,120,688円)								
消費者行政事業	1 消費者被害未然防止への取り組み 岡谷市消費生活センター ・相談件数 248件 2 消費者問題に取り組む団体への支援を行った。 ・消費者の会補助金 286,000円								

	3 家庭用品品質表示法等に係る市内店舗への立入検査を行った。 4 特殊詐欺や悪質な電話勧誘販売からの被害防止を図るため、特殊詐欺対策機器の設置に対する助成を行った。 ・補助件数 4件 補助金 24,900円 (3,109,215円)																																																																																				
戸籍住民基本台帳事務	1 戸籍関係事務 戸籍は、人の身分関係を登録し、公証するものであることから、民法及び戸籍法等に基づき、各種届出を受領、審査、受理、記載し、並行して人口動態調査票を作成するとともに、諏訪圏域6市町村による戸籍システム共同サーバによりデータを管理し、謄抄本等の交付並びに犯罪人名簿、成年被後見人名簿に関する業務を行った。 (1) 処理件数 <table><tr><th rowspan="2">項 目</th><th rowspan="2">届出件数 (件)</th><th colspan="2">証明発行数 (件)</th><th rowspan="2">手数料収入額 (円)</th></tr><tr><th>無料</th><th>有料</th></tr><tr><td>本 庁</td><td>2,159</td><td>3,402</td><td>12,463</td><td>7,525,550</td></tr><tr><td>湊 支 所</td><td>0</td><td>0</td><td>122</td><td>64,200</td></tr><tr><td>川 岸 支 所</td><td>3</td><td>0</td><td>329</td><td>181,050</td></tr><tr><td>長 地 支 所</td><td>2</td><td>10</td><td>678</td><td>363,300</td></tr><tr><td>イルフプラザ出張所</td><td>9</td><td>1</td><td>452</td><td>211,200</td></tr><tr><td>コンビニ交付</td><td></td><td>0</td><td>1,545</td><td>695,250</td></tr><tr><td>合 計</td><td>2,173</td><td>3,413</td><td>15,589</td><td>9,040,550</td></tr></table> ※無料証明発行数には、公用申請、身上照会等を含む (2) 人口動態調査 (受理 (本市受付) 件数+在外公館受理件数) ・出生、死亡、婚姻、離婚届に基づく調査 1,163件 ・死産届に基づく調査5件 2 住民基本台帳関係事務 住民基本台帳法に基づき、中長期在留者を含めた住民の居住関係の公証、選挙人名簿の登録その他の住民に関する事務の処理の基礎とする住民基本台帳について、住民の住所等に関する届出を受理し、あわせて住民に関する記録の適正な管理を図り、住民に関する記録を正確かつ統一的に行った。 (1) 処理件数 <table><tr><th rowspan="2">項 目</th><th rowspan="2">届出件数 (件)</th><th colspan="2">証明発行数 (件)</th><th rowspan="2">手数料収入額 (円)</th></tr><tr><th>無料</th><th>有料</th></tr><tr><td>本 庁</td><td>7,463</td><td>2,809</td><td>11,582</td><td>3,474,600</td></tr><tr><td>湊 支 所</td><td>9</td><td>0</td><td>199</td><td>59,700</td></tr><tr><td>川 岸 支 所</td><td>10</td><td>0</td><td>486</td><td>145,800</td></tr><tr><td>長 地 支 所</td><td>53</td><td>0</td><td>1,340</td><td>402,000</td></tr><tr><td>イルフプラザ出張所</td><td></td><td>0</td><td>1,091</td><td>327,300</td></tr><tr><td>コンビニ交付</td><td></td><td>0</td><td>4,247</td><td>1,274,100</td></tr><tr><td>合 計</td><td>7,535</td><td>2,809</td><td>18,945</td><td>5,683,500</td></tr></table> ※無料証明発行数には、公用申請、身上照会等を含む (2) 住民基本台帳の閲覧 3件 3 印鑑登録関係事務 住民基本台帳に記録されている15歳以上の者(意思能力を有しない	項 目	届出件数 (件)	証明発行数 (件)		手数料収入額 (円)	無料	有料	本 庁	2,159	3,402	12,463	7,525,550	湊 支 所	0	0	122	64,200	川 岸 支 所	3	0	329	181,050	長 地 支 所	2	10	678	363,300	イルフプラザ出張所	9	1	452	211,200	コンビニ交付		0	1,545	695,250	合 計	2,173	3,413	15,589	9,040,550	項 目	届出件数 (件)	証明発行数 (件)		手数料収入額 (円)	無料	有料	本 庁	7,463	2,809	11,582	3,474,600	湊 支 所	9	0	199	59,700	川 岸 支 所	10	0	486	145,800	長 地 支 所	53	0	1,340	402,000	イルフプラザ出張所		0	1,091	327,300	コンビニ交付		0	4,247	1,274,100	合 計	7,535	2,809	18,945	5,683,500
項 目	届出件数 (件)			証明発行数 (件)			手数料収入額 (円)																																																																														
		無料	有料																																																																																		
本 庁	2,159	3,402	12,463	7,525,550																																																																																	
湊 支 所	0	0	122	64,200																																																																																	
川 岸 支 所	3	0	329	181,050																																																																																	
長 地 支 所	2	10	678	363,300																																																																																	
イルフプラザ出張所	9	1	452	211,200																																																																																	
コンビニ交付		0	1,545	695,250																																																																																	
合 計	2,173	3,413	15,589	9,040,550																																																																																	
項 目	届出件数 (件)	証明発行数 (件)		手数料収入額 (円)																																																																																	
		無料	有料																																																																																		
本 庁	7,463	2,809	11,582	3,474,600																																																																																	
湊 支 所	9	0	199	59,700																																																																																	
川 岸 支 所	10	0	486	145,800																																																																																	
長 地 支 所	53	0	1,340	402,000																																																																																	
イルフプラザ出張所		0	1,091	327,300																																																																																	
コンビニ交付		0	4,247	1,274,100																																																																																	
合 計	7,535	2,809	18,945	5,683,500																																																																																	

者を除く。)を対象とし、申請に基づいて印鑑登録を行い、登録された印鑑の印影が本人のものであることを適正に公証する業務を行った。

また、マイナンバーカードの券面活用として、本人申請に限り印鑑登録証に代えて証明書を交付した。

(1) 処理件数

項 目	印鑑証明			印鑑登録	
	発行件数(件)		手数料 (円)	登録件数 (件)	手数料 (円)
	無料	有料			
本 庁	20	6,247	1,874,100	1,047	361,700
湊 支 所	0	303	90,900	4	1,600
川 岸 支 所	0	553	165,900	21	8,100
長 地 支 所	0	1,302	390,600	53	20,100
イルフプラザ 出張所	0	991	297,300	128	45,800
コンビニ交付	0	2,877	863,100		
合 計	20	12,273	3,681,900	1,253	437,300

※無料証明発行数には、公用申請を含む

(2) マイナンバーカードの券面活用による発行数(再掲)

項 目	件数(件)	枚数(枚)	手数料(円)
本 庁	203	272	81,600
湊 支 所	12	18	5,400
川 岸 支 所	22	26	7,800
長 地 支 所	53	70	21,000
イルフプラザ 出張所	42	57	17,100
合 計	332	443	132,900

4 その他の行政証明事務

身分証明や不在籍、不在住証明などの行政証明事務を行った。

項 目	身分証明書			その他の証明		
	発行件数(件)		手数料 (円)	発行件数(件)		手数料 (円)
	無料	有料		無料	有料	
本 庁	0	311	93,300	57	64	19,200
湊 支 所	0	4	1,200	0	0	0
川 岸 支 所	0	15	4,500	0	1	300
長 地 支 所	0	34	10,200	0	0	0
合 計	0	364	109,200	57	65	19,500

※無料証明発行数には、公用申請を含む

5 らくらく証明書発行窓口による発行数(再掲)

マイナンバーカードを利用して、本庁窓口に設置されている証明書交付機により発行したもの。

項 目	証明発行数(件)	手数料収入額(円)
戸 籍	310	139,500
住 民 票 写 し	354	106,200
戸 籍 附 票	3	900
印 鑑 証 明	297	89,100
合 計	964	335,700

6 中長期在留者(外国人住民)関連事務

出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等

の法律に基づき、法務省からの受託事務として執行した。対象者は、短期滞在等を除く、適法に3か月を超えて在留する外国人であって、住所を有する者。在留カードの住所変更記載、特別永住者証明書交付関連事務等を行った。

(1) 住民基本台帳登録外国人数 936人(前年度比 111人)

(2) 上位5カ国人口数 (単位:人)

国籍	令和5年度			令和4年度		
	男	女	計	男	女	計
フィリピン	52	160	212	41	145	186
ベトナム	81	57	138	74	48	122
インドネシア	81	52	133	62	44	106
中国	43	79	122	45	67	112
ブラジル	56	55	111	52	52	104
その他	116	104	220	101	94	195
計	429	507	936	375	450	825

(3) 中長期在留者住居地届出等事務費国庫委託金 340,000円
7 長野県戸籍住民基本台帳事務協議会及び諏訪地方戸籍住民基本台帳事務協議会

戸籍、住民基本台帳及び特別永住事務並びにこれらに関連する事務に関係ある法令を研究し、その事務の改善統一並びに会員相互の連絡協調を図ることを目的とした、長野県下77市町村及び法務局諏訪支局管内の6市町村からなる協議会

(1) 長野県戸籍住民基本台帳事務協議会負担金 6,600円

(2) 諏訪地方戸籍住民基本台帳事務協議会負担金 22,900円

8 自動車臨時運行許可

未登録自動車の新規検査・登録や車検切れ自動車の継続検査を受けるために運行する場合等に特例的に許可し、臨時運行許可番号標(仮ナンバー)を貸し出した。

・許可件数 368件(手数料276,000円)

9 埋火葬許可等事務

死亡届・死産届等に伴う埋火葬許可、遺骨を別の墳墓に移すための改葬許可を行った。

(1) 埋火葬許可 778件

(2) 改葬許可 159件

10 国民健康保険証交付業務

転入者、転居者のうち、国保加入者へ保険証を交付した。

11 住居番号設定

住居表示に関する法律に基づく、住居番号設定事務を行った。

(1) 設定 134件

(2) 証明発行件数 (単位:件)

本庁	湊支所	川岸支所	長地支所	合計
89	0	0	19	108

12 自衛官募集事務

国の機関委任事務として自衛官の募集協力事務を行った。

・懸垂幕の掲示、求人チラシ等の設置

・自衛官募集啓発活動 60,280円

※募集啓発用ポケットティッシュの作成、配布

(26,898,307円)

住民基本台帳ネットワークシステム事業	地方公共団体と行政機関で個々の住民を特定する情報を共有・利用することを目的とし、住民票コードを用い、住民基本台帳をネットワーク化したシステムに係る機器の保守及びリース等の管理を行った。また、他都道府県市区町村の住民から申請のあった住民票の交付を行った。 ・住民票コード付番数 337件（新規番号発行件数） ・広域住民票証明発行数 21件（雑入6, 300円） (2,302,740円)										
社会保障・税番号制度付番交付事業	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき、個人番号の付番及び個人番号カードの申請、交付等事務を行った。 1 住民票コードに基づくマイナンバーの付番 マイナンバー付番数 340件（新規個人番号発行件数） 2 マイナンバーカードの申請、交付等 マイナンバーカードの普及促進及び申請手続き、交付、更新等を行うとともに、職員が大型商業施設などに出向き申請受付を行う「出張申請受付」及び「夜間・休日窓口」を開設し普及啓発に努めた。 (1) 出張申請受付 5回 申請 95件 マイナポイント等 49件 (2) 夜間・休日窓口 取扱件数 合計 680件 夜間 交付 86件 申請等 8件 合計 94件 休日 交付 396件 申請等 190件 合計 586件 (3) マイナンバーカード再発行徴収金 128件 102,400円 (4) 電子証明書発行徴収金 128件 25,600円 (5) マイナンバーカード申請交付状況 (令和6年3月31日現在) <table><tr><td>住基人口 (A)R5.1.1</td><td>申請数 (B)</td><td>交付数 (C)</td><td>申請率 (B/A)</td><td>交付率 (C/A)</td></tr><tr><td>47,691人</td><td>41,094件</td><td>37,102件</td><td>86.2%</td><td>77.8%</td></tr></table> (21,796,919円)	住基人口 (A)R5.1.1	申請数 (B)	交付数 (C)	申請率 (B/A)	交付率 (C/A)	47,691人	41,094件	37,102件	86.2%	77.8%
住基人口 (A)R5.1.1	申請数 (B)	交付数 (C)	申請率 (B/A)	交付率 (C/A)							
47,691人	41,094件	37,102件	86.2%	77.8%							
国民年金事務	国民年金の加入手続き、裁定請求及び保険料の免除申請の受理などの法定受託事務を行った。また、制度の周知を図るとともに、年金事務所との連携、協力に努めた。 (623,332円)										
環境衛生推進事業	1 犬の登録、狂犬病予防注射 (1) 新規登録数 126頭 (2) 予防注射実施頭数 1,446頭 (3) 集合注射巡回実施 延べ30会場 2 犬、猫等の正しい飼い方の普及のため、広報おかや等により周知・啓発を図った。また、犬猫等動物の死体の収容を行った。 ・犬猫等動物の死体の収容 131件 (内訳) 市対応 8件 業者対応 123件（うち未発見28件） ・路上動物死骸回収処理業務委託 2,340,756円(123件) 3 丸戸共同墓地の維持管理を行った。 ・草刈り等清掃委託 77,742円 4 専用水道、浄化槽に関する届出等の事務処理を行った。 ・専用水道立入検査 諏訪湖畔病院 (4,959,739円)										
公衆便所維持管理事業	1 維持管理 公衆衛生の向上を図るため、市内公衆便所2箇所（川岸駅前、岡谷駅から外）の維持管理を行った。 ・清掃委託 735,075円										

	2 改修工事 川岸駅開業100周年に伴う駅舎の建て替えに併せ、平成16年に整備した川岸駅前公衆トイレの改修工事を行った。 ・川岸駅前トイレ改修工事 4,620,000円 (6,198,152円)
火葬場事業	下諏訪町とともに、湖北火葬場の管理運営を行った。 ・湖北火葬場事務負担金 80,561,189円 (80,561,189円)
し尿処理管理事業	し尿処理の適正化を図るため補助事業等を行った。 ・湖北衛生センター負担金 25,471,075円 ・し尿汲取り業務維持助成事業補助金 540,000円 (26,011,075円)
内山霊園管理事業	1 内山霊園の維持管理を行った。 (1) 内山霊園管理業務委託 5,474,702円 (2) 植栽整備委託 586,300円 (3) 内山霊園使用区画 2,572区画 (4) 内山霊園の新規使用 9区画 2 合葬式墓地「嶺風苑」の使用状況 (1) 東棟 許可数 個別埋蔵場所 215体 共同埋蔵場所 567体 (2) 南棟 許可数 個別埋蔵場所 83体 共同埋蔵場所 284体 3 園内整備工事 ・内山霊園石積整備工事 9,955,000円 (24,060,003円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 戸籍事件数 (単位：件)

事件の種類	届 出（本市受理分）			他市町村からの送付	総数	前年度比
	本籍人届出	非本籍人届出	計			
出生	137	85	222	123	345	△42
死亡	669	105	774	178	952	73
婚姻	88	24	112	275	387	△77
離婚	45	8	53	58	111	△5
その他	201	8	209	169	378	△73
計	1,140	230	1,370	803	2,173	△124

※その他＝転籍届、入籍届、養子縁組届など

2 戸籍、住民基本台帳、印鑑登録数 (令和6年3月31日現在)

項 目				登 録 数		
				令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (A) - (B)
戸 籍	本籍数 (戸籍)			23,153	23,451	△298
	本籍人口 (人)			55,098	55,900	△802
住民基本台帳	世帯数 (戸)	合 計		21,067	21,046	21
		日本人のみ世帯		20,322	20,390	△68
		外国人のみ世帯		533	445	88
		混合世帯		212	211	1
	人 口 (人)	合 計	計	46,799	47,452	△653
			男	22,850	23,125	△275
			女	23,949	24,327	△378
		日 本 人	計	45,863	46,627	△764
			男	22,421	22,750	△329
			女	23,442	23,877	△435
		外 国 人	計	936	825	111
			男	429	375	54
			女	507	450	57
印鑑登録者(有効数) (件)			32,847	33,142	△295	

3 住民基本台帳の人口及び世帯の年間異動状況

(単位：人、世帯)

項 目				日本人	外国人	合計
増	人 口	転 入	計	1, 125	278	1, 403
			男	602	143	745
			女	523	135	658
		出 生	計	209	4	213
			男	120	1	121
			女	89	3	92
		その他	計	7	0	7
			男	3	0	3
			女	4	0	4
		計	計	1, 341	282	1, 623
			男	725	144	869
			女	616	138	754
世帯数				804	238	1, 042

外国人欄の世帯数（増）は外国人のみの世帯で、混合世帯の世帯数増（11件）は日本人世帯に計上

項 目				日 本 人	外 国 人	合 計
減	人 口	転 出	計	1,344	162	1,506
			男	683	85	768
			女	661	77	738
		死 亡	計	761	2	763
			男	371	2	373
			女	390	0	390
		その他	計	0	7	7
			男	0	3	3
			女	0	4	4
		計	計	2,105	171	2,276
			男	1,054	90	1,144
			女	1,051	81	1,132
世帯数				871	150	1,021

外国人欄の世帯数（減）は外国人のみの世帯で、混合世帯の世帯数減（10件）は日本人世帯に計上

医 療 保 険 課

第1 概説

医療保険課では、国保及び医療の2担当により「福祉医療費給付事業」、「国民健康保険事業」及び「後期高齢者医療事業」を実施した。

1 福祉医療費給付事業

乳幼児等、障がい者、ひとり親家庭等に対して、福祉医療費給付金を支給した。

乳幼児等の対象年齢について、令和5年4月診療分より満18歳までに拡充し、支払いが受給者負担金（500円）のみとなる現物給付方式を継続することで、子育て世帯への更なる経済的負担の軽減に努めた。

障害者手帳等での資格所持者が、等級変更等による資格喪失後に受給者証を持つことがないよう、手帳等の有効期限までの受給者証を交付し、資格管理の徹底を図った。

2 国民健康保険事業

国民健康保険制度に基づく保険給付、事業費納付金の納付、被保険者の資格管理、特定健康診査等の保健事業を行った。

被保険者の健康保持、増進と医療費の適正化、PDCAサイクルに沿った効果的な保健事業を実施する目的で、第3期保健事業実施計画及び第4期特定健康診査等実施計画（計画期間は令和6年度から令和11年度）を策定した。

国民健康保険税では、長野県が示した「長野県における国民健康保険運営の中期的改革方針」に沿って、二次医療圏の統一、応益割水準の平準化を進めるとともに、確定係数による国保事業費納付金及び標準保険税率に準じて、令和6年度に適用する税率等の改正を行った。

税制改正等では、令和6年1月からの、出産被保険者の産前産後期間における国保税の免除措置の開始等に伴い、国民健康保険税条例の一部改正を行った。

3 後期高齢者医療事業

制度の運営全般を分担する長野県後期高齢者医療広域連合と協力し、各種申請や届出の受付、保険料の収納、広報、相談業務などを行った。

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」について、長野県後期高齢者医療広域連合の協力と関係部署が連携し、高齢者が地域で健康的な生活を送ることができるよう保健事業と介護予防の一体的な実施に取り組んだ。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
福祉医療支給事業	1 支給対象者 (1) 乳幼児等 ・0歳から18歳まで (2) 障がい者 ・特別児童扶養手当の支給対象の障がい児 ・身体障害者手帳所持者 (3級以上及び4級以下で常時介護を要する者) ・療育手帳所持者(B1以上) ・精神障害者保健福祉手帳所持者(2級以上) ・国民年金法施行令別表該当者(一定の障がいのある者) (3) ひとり親家庭等 ・母子家庭の母子 ・父子家庭の父子 ・父母のいない児童 2 医療費資金貸付 医療費の支払いが困難な受給者に対して、医療費の支払いに充てる資金の貸付けを行った。 (398,051,261円)
国民健康保険事業	1 保健事業 (1) 特定健康診査・特定保健指導 特定健康診査を実施し、その結果に基づき「積極的支援」、「動機づけ支援」に階層化し、それぞれに応じた特定保健指導を行った。 4回実施した休日健診では、受診者全員を対象に歯科健診を実施した。 特定健診未受診者対策では、人工知能を活用し、健康意識等での送り分けによる未受診者個々の特性に応じた受診勧奨通知を制作し、受診勧奨を行った。 健康ポイント事業として、特定健診及び人間ドックの受診者等にオカヤペイのポイント引換券を進呈し、健康の保持増進に関する意識の高揚に努めた。 (ア) 特定健康診査 ・受診者(人間ドックを除く) 2,736人／対象者6,691人(受診率40.9%) ・休日健診の実施 4回(6、9、10、11月) ・個人負担金は無料 ・健康ポイント(200pt)の配布 (イ) 特定保健指導 ・積極的支援 52人／該当者79人(利用率65.8%) ・動機づけ支援 165人／該当者217人(利用率76.0%) (2) その他保健事業 人間ドックに対する助成、生活習慣病フォローアップ事業として「お家でできる運動療法を習得するための講座」の開催、医療費通知及び後発医薬品(ジェネリック医薬品)利用差額通知の発送等を行った。また、レセプトや健診データの分析に基づく、国保保健指導事業を行った。

	2 国民健康保険税 (1) 税率等（令和4年度分から据え置き） ・基礎（医療給付費）分 - 所得割率 7.61% - 資産割率 11.95% - 均等割額 21,800円 - 平等割額 20,000円 ・後期高齢者支援金等分 - 所得割率 2.40% - 資産割率 2.98% - 均等割額 8,600円 - 平等割額 6,800円 ・介護納付金分 - 所得割率 2.02% - 資産割率 2.40% - 均等割額 8,600円 - 平等割額 6,800円 (2) 税制改正等に伴う国民健康保険税条例の改正の内容 (ア) 課税限度額の見直し 後期高齢者支援金等分の限度額の引き上げ (イ) 軽減判定所得の拡充（5割及び2割軽減の所得基準の拡充） (ウ) 出産被保険者の産前産後期間の国保税の免除 3 新型コロナウイルス感染症対応 (1) 傷病手当金の支給 ・対象者：被用者で、新型コロナウイルス感染症に感染または発熱等の症状があり感染が疑われる場合で、療養のために労務に服することができない者 ・支給額：1日当たりの支給額＝（直近の継続した3か月間の給与収入の合計額÷就労日数）×2/3×支給対象となる日数 ・当該年度の申請はありませんでした。 (2) 国民健康保険税の減免 ・対象世帯：新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者（世帯主）の事業収入等が前年と比べ一定以上減少する見込みの世帯 ・当該年度の申請はありませんでした。 4 その他 広報、啓発パンフレット等により、国保事業に対する理解と協力を求め、事業の啓発と医療費の適正化に努めた。 (4,150,448,227円)
後期高齢者医療事業	1 市が行った業務 各種申請や届出の受付、被保険者証等の引渡し、保険料の収納、広報、被保険者からの相談業務に関する事務など 2 長野県後期高齢者医療広域連合が行った業務 被保険者の資格管理、医療給付、保険料賦課、保健事業など 3 新型コロナウイルス感染症対応 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う生活の安定を図るため、傷病手当金（対象期間は令和5年5月7日まで）及び後期高齢者医療保険料の減免に関する事務を行った。（当該年度の申請はなし） (901,904,056円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 福祉医療費給付状況

(令和6年3月31日現在)

区 分	対象者数	件 数	給 付 額
	人	件	円
乳 幼 児 等	5,871	69,207	179,151,497
障 が い 者	1,702	34,646	183,261,982
ひとり親家庭等	1,134	12,443	35,637,782
合 計	8,707	116,296	398,051,261

2 国民健康保険

(1) 国保加入状況

(令和6年3月31日現在)

区分	全市	国 保 加 入						国保加入割合
		一般		退職者		計		
		加入数	割合	加入数	割合	加入数	割合	
世帯数	世帯 21,067	世帯 5,386	% 100	世帯 0	% 0	世帯 5,386	% 100	% 25.6
人 口	人 46,799	人 7,805	% 100	人 0	% 0	人 7,805	% 100	% 16.7
一世帯平均	人 2.2	人 1.4	% —	人 0	% —	人 1.4	% —	% —

(2) 被保険者の異動状況

区 分		令和5年度(A)	令和4年度(B)	増 減(A)-(B)
世 帯 数	一 般	世帯 5,386	世帯 5,579	世帯 △193
	退職者	0	0	0
	計	5,386	5,579	△193
被保険者数	一 般	人 7,805	人 8,173	人 △368
	退職者	0	0	0
	計	7,805	8,173	△368

(3) 国民健康保険税の賦課等状況

ア 基礎（医療給付費）課税額分（現年度）

年平均世帯数		5,512 世帯	課税対象額	所得額	5,712,972,878 円
年平均被保険者数		8,040 人		固定資産税額	206,506,200 円
税率	所得割	7.61%	賦課割合	所得割	57.8%
	資産割	11.95%		資産割	3.3%
	被保険者均等割	21,800 円		被保険者均等割	23.9%
	世帯別平等割	20,000 円		世帯別平等割	15.0%
7 割軽減	世帯数	1,476 世帯	5 割軽減	世帯数	1,004 世帯
	軽減額	48,141,880 円		軽減額	26,582,400 円
2 割軽減	世帯数	686 世帯			
	軽減額	7,454,760 円			
限度超過世帯数		57 世帯	限度超過額		77,648,854 円
調定額		573,811,064 円	課税限度額		650,000 円
1 世帯当り調定額		104,102 円	1 人当り調定額		71,370 円

イ 後期高齢者支援金等課税額分（現年度）

年平均世帯数		5,512 世帯	課税対象額	所得額	5,712,972,878 円
年平均被保険者数		8,040 人		固定資産税額	206,506,200 円
税率	所得割	2.40%	賦課割合	所得割	54.3%
	資産割	2.98%		資産割	2.4%
	被保険者均等割	8,600 円		被保険者均等割	28.1%
	世帯別平等割	6,800 円		世帯別平等割	15.2%
7 割軽減	世帯数	1,476 世帯	5 割軽減	世帯数	1,004 世帯
	軽減額	17,902,660 円		軽減額	9,994,950 円
2 割軽減	世帯数	686 世帯			
	軽減額	2,805,720 円			
限度超過世帯数		53 世帯	限度超過額		23,905,711 円
調定額		191,414,194 円	課税限度額		220,000 円
1 世帯当り調定額		34,727 円	1 人当り調定額		23,808 円

ウ 介護納付金課税額分（現年度）

年平均世帯数		2,290 世帯	課税対象額	所得額	2,497,311,336 円
年平均被保険者数		2,608 人		固定資産税額	59,218,700 円
税率	所得割	2.02%	賦課割合	所得割	56.0%
	資産割	2.40%		資産割	1.6%
	被保険者均等割	8,600 円		被保険者均等割	25.0%
	世帯別平等割	6,800 円		世帯別平等割	17.4%
7 割軽減	世帯数	676 世帯	5 割軽減	世帯数	344 世帯
	軽減額	7,594,300 円		軽減額	2,820,800 円
2 割軽減	世帯数	233 世帯			
	軽減額	793,320 円			
限度超過世帯数		30 世帯	限度超過額		13,845,750 円
調定額		64,466,842 円	課税限度額		170,000 円
1 世帯当り調定額		28,151 円	1 人当り調定額		24,719 円

3 後期高齢者医療事業

（１）被保険者加入状況

（令和 6 年 3 月 31 日現在）

人 口	自己負担割合	75 歳以上	障害認定 (65～75 歳未満)	合 計	人口に占める割合
人 45,605	1 割	人 6,960	人 114	人 7,074	% 15.51
	2 割	2,318	14	2,332	5.11
	3 割	747	7	754	1.65
	合 計	10,025	135	10,160	22.28

（２）後期高齢者医療保険料の状況

（令和 6 年 5 月 31 日現在）

区 分	調定額	収入済額	収納率	不納欠損額	収入未済額
現年度	円 727,095,500	円 724,396,300	% 99.63	円 0	円 2,699,200
	特別徴収	448,575,500	100.00	0	0
	普通徴収	278,520,000	99.03	0	2,699,200
滞納繰越分	5,998,300	1,325,000	22.09	181,700	4,491,600
合 計	733,093,800	725,721,300	98.99	181,700	7,190,800

環 境 課

第1 概説

環境課では、本市がゼロカーボンシティ宣言し、2050年カーボンニュートラルの実現を目指していることから、環境保全担当を環境政策・ゼロカーボン推進担当に改名し、資源化担当の2担当で業務を遂行した。

環境保全では、岡谷市の環境基本理念に基づき、地球温暖化問題への対策、自然環境の保全や環境教育、騒音・大気汚染調査等の生活環境対策の実施に努めた。ゼロカーボンの推進として、本市における再生可能エネルギー導入の可能性等を把握し、今後の施策等に反映していくため、再生可能エネルギーポテンシャル調査を実施した。

また、環境市民会議おかや・岡谷市主催の啓発イベントとして「おかやエコフェスタ2023」を開催し、再生可能エネルギー等の展示を通じて市民意識の高揚を図った。

ごみ減量及び資源化の推進では、湖周地区（2市1町）共同によるごみ処理基本計画など各種計画に基づき、地区衛生自治会など関係機関と協働し、一般廃棄物の適正処理及びごみの減量化と資源化に努めた。

また、諏訪湖や河川等、市内各所において一斉清掃を実施するなど環境美化活動による生活環境の向上を図った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
環境保全推進事業	- 第4次岡谷市環境基本計画の啓発等 「第4次岡谷市環境基本計画」の推進を図るため、家庭、事業所における具体的な取り組みなどを、広報おかや、シルキーチャンネルなどを通じて啓発した。 - 第2次岡谷市地球温暖化対策実行計画の推進 令和4年3月に策定した「第2次岡谷市地球温暖化対策実行計画」を推進するため、市民、事業者、行政が連携・協力し、各部門の施策に取り組んだ。 2050年 岡谷市ゼロカーボンシティ宣言 令和4年3月に発出した「2050年 岡谷市ゼロカーボンシティ宣言」の普及を図るため、シルキーチャンネルや岡谷太鼓まつり会場等での啓発用パネルの展示など、様々な形で周知を行った。 また、環境市民会議おかやとの協働により、ロゴマークの募集を行い、市内小学校6年生の投票により決定した。 - 諏訪信用金庫との脱炭素実現に係る連携協定 官民連携による、地域における脱炭素の実現に向けた事業を推進するとともに、地域の環境保全を含めた持続可能な地域社会の実現を目的として、諏訪6市町村それぞれが諏訪信用金庫との連携協定を締結した。 - ゼロカーボン普及啓発事業 2050年ゼロカーボンの達成を目指すため、「エコドライブ推進事業所登録事業」、「環境教育コーディネート事業」などの

各種事業を実施した。

(1) エコドライブ推進事業所登録事業

ゼロカーボンの推進に理解のある事業所等を「岡谷市エコドライブ推進事業所」として登録し、エコドライブの実践により二酸化炭素排出量の削減を図った。(令和3年6月より募集開始)

・登録事業所数：51社

(2) 環境教育コーディネート事業

環境教育に関するニーズと、企業・団体等が有する環境教育に活用できる事業等を市が把握し、仲介することにより、環境教育の促進を図った。

・登録団体数：13団体

・講座実施回数：2回

(3) 地球温暖化防止川柳の募集

日々の暮らしの中で感じる環境に関することを通じて、地球温暖化防止への思いを高めていただくため、地球温暖化防止を題材とした川柳を募集した。

優秀作品は、市内公共施設・商業施設等で巡回展示を行ったほか、ポスターを作成し、学校などに配布、展示した。

応募作品数 大人の部：116点

子どもの部：48点

(4) 環境セミナー

環境市民会議おかやとの共催により、地球温暖化の基礎知識をテーマとして開催した。

・演題：「2050年 岡谷市ゼロカーボンシティ宣言
— 地球は今、危機的な状況 —」

・講師：ストップ温暖化すわの会 副会長 横内 文雄氏

・日時：9月27日(水) 午後6時30分～8時30分

・場所：カノラホール 小ホール

・参加者：100人

「カーボン・オフセット」事業を活用して、CO₂の排出量ゼロで開催した。

(5) 地球温暖化防止セミナー

環境市民会議おかやとの共催により、住宅等での熱利用として活用されている「地中熱」をテーマとして開催した。

・演題：「一般住宅への再生可能エネルギー～「地中熱」の利用～」

・講師：株式会社ダイワテック 代表取締役 和田 保守氏

・日時：1月13日(土) 午前10時～12時

・場所：カノラホール 小ホール

・参加者：80人

「カーボン・オフセット」事業を活用して、CO₂の排出量ゼロで開催した。

(6) その他

①地球温暖化防止啓発用巡回パネルの貸し出し

地球温暖化に対する市民の意識を高めるため、啓発用パネル(タペストリー型 5枚、ポスターフレーム 4枚)を学校、企業等に貸し出すとともに、おかやエコフェスタ2023などのイベント会場で展示を行った。

貸し出し、展示件数：4件

②市内一斉気温測定

同日の同時刻に市内で一斉に気温を測り、その様子を知ることによって、温暖化を見つめ直す機会とした。

・実施日時：7月30日(日) 午後2時

・測定場所：78地点

③環境活動エコポイント

市内一斉気温測定参加者と、こどもエコクラブ参加者にエコポイントを配布した。

・配布件数：１０３件

④環境家計簿の作成・配布

各家庭の二酸化炭素排出量が算出できる「環境家計簿」を市内の小学４年生に配布した。対象エネルギーを電気に限定したほか、節電効果なども掲載し取り組みやすい様式としている。

⑤緑のカーテン用種の配布

種を配布して緑のカーテンの普及を図り、緑のカーテンの有効性を実感していただいた。

6 再生可能エネルギー利用の円滑な促進

「岡谷市再生可能エネルギー設備の設置等に関するガイドライン」に基づく届出を受理し、市内における再生可能エネルギー設備の適切な設置に努めた。

・届出件数：１２件（累計９１件）

7 再生可能エネルギーポテンシャル調査事業

２０５０年カーボンニュートラルの実現に向け、本市の温室効果ガス排出量の将来推計、再生可能エネルギー導入の可能性などについて調査・分析を行った。

当調査の結果を、令和６年度中に策定する第５次岡谷市環境基本計画ならびに第２次地球温暖化対策実行計画の見直しに反映することで、本市に即した再生可能エネルギーの導入を目指し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを推進していく。

8 住宅用再エネ設備等導入促進事業

再生可能エネルギーの普及を図り有効に活用するため、市内の住宅等に蓄電システムや電気自動車充放電設備（V2H）を設置される方への補助を行った。

①蓄電システム導入補助金

太陽光発電システムの導入を促進するとともに、電力の自家消費率を高めるため、令和４年度より太陽光発電システムと同時に導入した蓄電システムに対する補助金を交付した。

・申請件数：３５件（補助額：３,５００,０００円）

②電気自動車充放電設備（V2H）導入補助金

電気自動車等の導入を促進し、二酸化炭素排出量の削減を図るとともに、災害時の非常用電源を確保するため、令和５年度より電気自動車充放電設備（V2H）の導入に対する補助金を交付した。

・申請件数：３件（補助額：３００,０００円）

9 環境市民会議おかや

市民、事業者及び市が相互に連携協力を図り、一体となつてごみの減量化と資源化、美しい環境づくりの推進に努めた。

なお、環境問題全般に活動を広げる中で、４つの専門部会により各々独自の課題に向け具体的な事業展開を図るため、環境市民会議おかや（エコライフ岡谷）の活動支援として補助金を交付した。

１１０,０００円

10 おかやエコフェスタ２０２３の開催

環境市民会議おかやとの共催により、レイクウォーク岡谷を会場として開催した。

「はじめよう！身近にできる Eco 活動 ～ゼロカーボンシティの実現に向けて～」をメインテーマとして、電気自動車や蓄電池、電気自動車充放電設備（V2H）の展示、家庭でできる地球温暖化対策、資源物の分別に関するパネル等の展示を行ったほか、エアロバイクでの発電体験、店舗等を巡るエコクイズラリー等を実施した。

	多くの方に来場いただき、意識の高揚を図ることができた。 ・日 時：5月15日（月）～5月21日（日） ・場 所：レイクウォーク岡谷 1階 レイクコートほか (15,856,224円)
自然環境保全事業	1 岡谷こどもエコクラブ 小学生が環境問題に関心を持つことを目的として、環境保全、自然観察等に関する体験学習会を開催した。 ・開催回数：6回 ・参加人数：延べ252人 ・体験学習会の内容 ①開講式・森で遊ぼう ②ヒシ除去体験・水生生物観察 ③市内一斉気温測定 ④諏訪湖のごみ調査 ⑤廃油石鹸作り ⑥鳥の観察会・閉講式 2 諏訪湖ヒシ除去体験事業 諏訪湖の環境を守るため、手作業でのヒシの除去作業を行い、現状の認識と諏訪湖に対する意識の高揚を図った。 ①各種団体 環境市民会議おかや、諏訪湖漁業協同組合、市の協働で実施した。降雨のため、短時間で作業を終了したことから、除去量は前年度より減少している。 ・日 時：7月8日（土） ・参加人数：67人 ・除 去 量：1 t ②岡谷こどもエコクラブ 安全確保のため参加者を高学年に限定して実施した。 ・日 時：7月15日（土） ・参加人数：28人 ・除 去 量：1 t 3 アレチウリ駆除事業 生態系を破壊するアレチウリを駆除するため、各区・ボランティア団体の協力を得て、諏訪湖畔・河川敷等で駆除作業を行った団体等に対して、手袋など、作業に伴う消耗品等を支給した。 ・支給件数：2件 (93,752円)
生活環境対策事業	1 自動車騒音常時監視事業 令和3年度に実施された道路交通センサス調査に基づき、令和4年度より5年間のローテーションで実施し、今年度は、1路線2センサス、延長9.6kmの自動車騒音常時監視事業を実施した。 過年度分については変動がなく、今年度分は昼夜とも基準値以下が99.1%、夜のみ基準値以下が0.9%、昼夜とも基準値超過は0%であった。 2 土壌・地下水汚染対策 土壌・地下水汚染等について、事業所による調査に対する助言・指導を関係機関と連携して行った。 3 地下水調査関係 平成9～13年度までに実施した地下水調査で、環境基準を超過した井戸6件の内、5件が県の調査対象となったため、市は1件の調査を行った。また、地下水の汚染状況の変化を把握するとともに、環境基準達成箇所についても過去の調査以降の変化を把握するため、20件を選定し、追跡調査を実施した。測定箇所により若干の増減はあるが、総体的に見て大きな変動は見られない。

	4 河川水質関係 横河川、塚間川等市内主要4河川で、生活環境の保全に関する項目と人の健康に関する項目について、水質検査を実施した。数値に大きな変動がないことを確認した。 5 生活環境の苦情処理 産業活動や日常生活から発生する騒音・水質汚濁・大気汚染等生活環境の相談受付と適切な処理を行った。受付件数は53件で、前年度より5件の減となった。大気汚染の苦情が最も多いが、野焼きによるものが大半を占めている。受け付けた苦情については、関係課、関係機関と密接な連携のもとに、当事者相互の理解と協力を得て、適切な指導、早期解決に努めた。 6 不法投棄の調査、回収、処理 不法投棄防止パトロールや啓発を行うとともに、市有地等に不法投棄されたものについては、関係課、警察等と連携して投棄者を調査するとともに回収を行った。 7 公害関連法令届出受理 騒音規制法、振動規制法、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律、岡谷市公害防止条例に係る届出を受理し、事業所の公害防止対策の整備に努めた。 ・届出件数：6件 8 環境ボニター活動状況 市民公募の環境ボニター（ボランティア+モニターの造語）により、環境保全に関する情報収集や提言等をいただいた。 9 空間放射線量測定 長野県が測定を実施し、「福島第一原子力発電所事故前と同じ水準」としている空間放射線量を確認するため、市役所で月1回の簡易測定を実施し、結果をホームページで公表した。なお、これまでは3支所及び樋沢一般廃棄物最終処分場で4か月に1回測定を実施していたが、測定開始以来、数値に変動が見られなかったため、令和5年度より市役所のみで測定することとした。 (2,490,748円)
ごみ減量啓発指導事業	ごみの減量化と資源化を推進するため、各種の広報啓発に努めるとともに、美しい環境を守り住みよいまちづくりを推進するため、環境美化活動の実施に努めた。 1 ごみの減量化・資源化の推進 (1) わかりやすい！ごみ減量PR事業 ・家庭ごみ収集カレンダー等の更新 カレンダーや、ごみ分別ガイドを最新情報に更新した。 ・市ホームページ「ごみ・リサイクル」のページ 「わかりやすい！ごみ・リサイクル動画」を作成しシルキーチャンネルで放送したほか、動画配信サイトへ掲載した。また、家庭ごみ・資源物収集場所マップの随時更新を行った。 ・事業系ごみ減量化推進 事業所から出るごみの減量と資源物の分別、適正処理の促進を図るため、事業系ごみの減量啓発用マニュアルを作成した。 ・広報啓発チラシの地区回覧（月1回・市内全域・隣組回覧） (2) 食品ロス削減の周知啓発 子どもへ向けた食品ロス削減の意識啓発を図るため、食育教育教材として、食品ロス削減をテーマとした紙芝居「もったいない もったいない」（モグドン紙芝居）を市内保育園に向け貸し出しを行った。 ・利用回数：7回

(3) 諏訪湖周クリーンセンター等施設見学

市内小学校の3・4年生を対象に、諏訪湖周クリーンセンターの見学を実施し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進に関する説明などを行った。

- ・参加校：6校
- ・参加者：325人

(4) おかや3R探検隊・事前学習会

①事前学習会

おかや3R探検隊当日に向け、岡谷市のごみ処理方法や3Rについて知識を深めてもらうことを目的とし、実施した。

- ・日時：7月1日（土）
- ・場所：イルフプラザ 第1・2多目的ホール
- ・対象：キッズクラブ会員 7名

②おかや3R探検隊

ごみ減量や3Rの意識啓発を図るため、市内の小学生等を対象とした最終処分場の見学や、樋沢地区で食物残渣から作られた肥料で育てたもろこしの収穫体験等を行った。

- ・日時：7月29日（土）
- ・場所：樋沢一般廃棄物最終処分場、五味農園
- ・対象：岡谷こどもエコクラブ会員・キッズクラブ会員 28名

(5) ごみ・資源物収集場所立会い指導

①その他プラスチック分別強化月間（6月）

啓発チラシの配布などにより、衛生自治会と協働して収集場所での立会いを実施し、分別方法の周知啓発に努めた。

②ごみ・資源物分別強化月間（10月）

「古紙・その他プラスチックの分別」を重点項目とし、衛生自治会と協働して収集場所での立会いを実施し、分別方法の周知啓発に努めるとともに事業系ごみの排出状況の確認を行った。

(6) 転入者用ごみ袋セットの配布

市外から転入した世帯向け、ごみの減量化や分別への協力をお願いするため、家庭ごみ収集カレンダーと分別ガイド、指定ごみ袋（4種類各1枚）を配布し、ごみ出しルールなどの周知に努めた。

- ・配布数：539世帯分

2 環境美化活動等

(1) 岡谷市を美しくする月間

6月を「岡谷市を美しくする月間」と定め、衛生自治会をはじめ各種団体の協力を得て環境美化等を図る様々な事業を実施した。

○主な実施事業

①諏訪湖及び河川一斉清掃

衛生自治会や各種団体、小・中学生などの参加により諏訪湖畔と流入河川地域の清掃活動を実施した。

- ・日時：5月28日（日）午前6時～7時
- ・参加者：2,500人
- ・回収量：ごみ等417kg、空缶等564個

②市内一斉清掃の日

衛生自治会と協働し、住宅や店舗、事業所及び周辺道路などの清掃や草刈りを行った。

- ・日時：6月11日（日）

③地域の河川・道路などの清掃

- ・参加者：2,204人
- ・回収量：ごみ等238kg、空缶等231個

④ごみ・資源物の収集場所（定位置）パトロール

⑤ごみ減量・環境美化に関する啓発チラシ等の地区回覧

	⑥ごみ・資源物の収集場所（定位置）立会い 地区衛生自治会と連携した収集場所での立会いで、重点分別項目「その他プラスチック」の分別を推進するチラシの配布等を実施した。 (2) 諏訪湖周一斉清掃 ・日 時：10月15日（日） ・雨天のため中止とした。 (15,565,710円)
湖周地区ごみ処理施設事務	1 湖周行政事務組合負担金 223,655,722円 2 関係市町及び湖周行政事務組合との調整等 (1) 湖周3市町副市町長会議（5回） (2) 湖周連絡調整会議（5回） (3) 湖周ワーキング部会（4回）他 (223,655,722円)
埋立施設管理事業	1 樋沢一般廃棄物最終処分場管理業務 業務概要 (1) 技術管理者の配置 (2) 廃棄物の受入・埋立処分等 (3) 最終処分場施設維持管理等 (4) 浸出水処理施設運転管理等 (5) 水質検査・ガス測定等 ・委託先：(株)タクマテクノス他 16,082,000円 2 埋立処分地設備機器等修繕業務 ph電極交換業務、ブロワポンプ主軸修繕業務 ・委託先：(株)コーエキ、中信アスナ(株) 296,300円 3 最終処分場排水処理施設汚泥処分業務 水槽内の汚泥処分 ・委託先：(有)田切クリーンセンター 129,030円 4 最終処分場内の支障木剪定作業等 (23,573,135円)
塵芥収集事業	1 埋立ごみ収集運搬委託業務（1コース） ・委託先：(株)アイ・コーポレーション 6,600,000円 2 燃やすごみ収集運搬委託業務（5コース） ・委託先 第1コース (有)成山商店 6,930,000円 第2コース (株)アイ・コーポレーション 7,040,000円 第3コース (有)丸安今井商店 5,544,000円 第4コース (株)アイ・コーポレーション 7,040,000円 第5コース 共田組 6,963,000円 (44,199,945円)
塵芥収集指導啓発事業	正しいごみの出し方等を周知するため、家庭ごみ収集カレンダーを全世帯へ配布するとともに、ルール違反ごみの回収や処理、排出者への指導などを実施した。 1 岡谷市家庭ごみ収集カレンダー 市民一人ひとりがごみの減量、資源化に取り組めるよう、ごみ収集カレンダーを作成し全戸配布した。掲載内容を更新するとともに、A2版からB2版へサイズを拡大し更に見やすく変更した。 また、引き続きごみ処理の専門事業者を紹介する広告を6社分掲載した。 ・カレンダー印刷製本 703,450円 2 ごみ・資源物収集場所の安全対策 ごみ・資源物の収集場所の安全確保を図るため、地区衛生自治会等と協働して、全ての収集場所に設置されている看板等の点検や

	補修等を行った。 3 違反ごみ対策 収集場所を巡回しルール違反ごみを回収・処理するとともに、排出者への指導を実施し、出し方や分別方法の周知啓発を図った。 (1,092,472円)
資源物回収事業	1 資源物再資源化等委託業務 (1) 草・剪定枝等資源化業務 ・委託先：(株)アイ・コーポレーション 4,300,000円 (2) ガラスびん再資源化業務 ・委託先：(有)成山商店 8,580,000円 (3) ガラスびん再商品化業務 ・委託先：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会 ガラスびん(その他の色びん)分 51,854円 (4) ペットボトル再資源化業務 ・委託先：(株)クリーンウェイスト 8,764,800円 (5) 使用済乾電池再資源化業務 ・委託先：JFE条鋼(株)鹿島製造所 1,041,656円 (6) 廃蛍光管・電球収集運搬業務 ・委託先：(有)成山商店 3,300,000円 (7) 廃蛍光管・電球再資源化業務 ・委託先：林金属工業(株) 1,280,950円 (8) 生ごみ収集・資源化業務 ・委託先：(株)光商会 9,394,000円 (9) その他プラスチック再資源化業務 ・委託先：(有)成山商店 19,167,500円 (10) プラスチック製容器包装再商品化業務 (ペットボトル・その他プラスチック) ・委託先：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会 その他プラスチック分 224,446円 2 岡谷市資源物分別回収促進事業補助金 資源物の分別回収を促進するため、資源物回収事業者に対し回収量に応じた補助金(6.4円/kg)を交付した。 ・回収量(2事業者合計) 567,760kg ・交付先：(有)成山商店 2,304,128円 (有)五十川昇一商店 1,329,536円 3 資源物サンデーリサイクルデー 市民の利便性向上と資源物リサイクルの推進を図るため、関係団体の協力を得て、奇数月の最終日曜日に市内スーパーの駐車場で、資源物と硬質プラスチックのリサイクル回収を年6回実施した。 (1) 資源物回収量 8,700kg (2) 硬質プラスチック回収量 10,540kg (60,284,949円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 廃棄物処理手数料の状況

(単位：円)

区分	令和5年度				令和4年度	増減
	調定額(A)	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	調定額(B)	(A)-(B)
普通 手数料	50,820,000	50,820,000	0	0	58,972,000	△8,152,000
特別 手数料	9,822,520	9,822,520	0	0	10,144,900	△322,380
滞納 繰越分	0	0	0	0	0	0
計	60,642,520	60,642,520	0	0	69,116,900	△8,474,380

2 ごみ委託収集の状況

区 分 項 目	埋立ごみ (1コース)	燃やすごみ (1～5コース)	計
運 搬 回 数 (回)	119	3,542	3,661
運 搬 量 (kg)	99,980	6,283,170	6,383,150

3 資源物回収の状況

(単位：kg)

	品 目	回 収 量	品 目	回 収 量	計
資源物 分別回収	新 聞 紙	187,780	古 布	2,670	567,760
	雑 誌	175,250	アルミ缶	12,860	
	段ボール	54,540	スチール缶	36,470	
	厚 紙	6,360	金 属 類	75,630	
	牛乳パック	2,080	生きびん	14,120	
資源物 委託収集	透明びん	122,720	乾 電 池	12,460	878,890
	茶色びん	69,710	生 ご み	114,210	
	その他の色びん	59,130	蛍光管・電球	6,870	
	ペットボトル	126,120	その他 プラスチック	367,670	
直接 持込	せん定枝	41,055	硬質 プラスチック	10,540	147,425
	草・落ち葉等	95,730	インク カートリッジ	100	
総 回 収 量					1,594,075

4 ごみの状況

項 目 年 度	(kg)	(kg)	(kg)	(kg)	(人)	(日)	(g)
	燃やすごみ	埋立ごみ	資源物	合 計	人 口	年間 日数	市民1人 1日当たり のごみ量
元	10,831,240	128,475	1,995,123	12,954,838	49,491	366	715.2
2	10,692,300	159,065	1,934,517	12,785,882	48,959	365	715.5
3	10,519,850	138,605	1,796,330	12,454,785	48,242	365	707.3
4	10,473,200	130,785	1,738,620	12,342,605	47,810	365	707.3
5	10,134,550	118,075	1,594,075	11,846,700	47,220	366	685.5

市民1人1日当たりのごみ量は、（「合計」×「1,000」）g／（「人口」×「年間日数」）で算出。
人口は、10月1日現在 住民基本台帳人口。

《燃やすごみの内訳》

（単位：kg）

年 度	家庭系	前年度比	事業系	前年度比	計	前年度比
元	7,296,150	101.4%	3,535,090	102.1%	10,831,240	101.6%
2	7,424,570	101.8%	3,267,730	92.4%	10,692,300	98.7%
3	7,143,550	96.2%	3,376,300	103.3%	10,519,850	98.4%
4	7,092,310	99.3%	3,380,890	100.1%	10,473,200	99.6%
5	6,741,720	95.1%	3,392,830	100.4%	10,134,550	96.8%

5 樋沢一般廃棄物最終処分場埋立実績

品 目 年 度	埋立ごみ
元	128,475 kg
2	159,065 kg
3	138,605 kg
4	130,785 kg
5	118,075 kg

6 生活苦情通報数

区 分	令和 5 年度			令和 4 年度	前年度比
	受付件数（件）	構成比（％）	解決件数（件）	受付件数（件）	
大気汚染	17	32.1	17	23	△6
不法投棄	13	24.5	13	16	△3
騒 音	9	17.0	9	8	1
水質汚濁	7	13.2	7	3	4
悪 臭	4	7.5	4	3	1
土壌汚染	2	3.8	2	4	△2
振 動	0	0.0	0	0	0
そ の 他	1	1.9	1	1	0
計	53	100.0	53	58	△5

健 康 福 祉 部
(福 祉 事 務 所)

社 会 福 祉 課

第1 概説

社会福祉課では、岡谷市社会福祉協議会等の各種福祉団体と連携し地域福祉の向上に努め、障がい福祉、生活困窮者等への支援、人権擁護、ひとり親家庭福祉等の業務を執行した。

1 地域福祉

地域共生社会の実現に向け、地域サポートセンター、社会福祉協議会、市が連携し、支えあいの仕組みづくりを推進するため、地域福祉ネットワーク会議を開催した。

また、活動拠点のバリアフリー化の改修補助を行い、地域サポートセンターの充実に努めた。

エネルギー・食料品価格等の物価高騰が長期化するなか、家計への影響が大きい低所得世帯を支援するため、住民税非課税世帯等に給付金の支給を実施した。

2 障がい福祉

障害者総合支援法等に基づき、給付をはじめとする障がい福祉施策を実施した。

岡谷市成年後見支援センター開所から5年目を迎えるなか、市と成年後見支援センターが協働で設置した「中核機関」の2年目として、成年後見制度の利用促進を図るとともに、終活セミナー等の開催を通じて、周知・啓発を行った。

令和6年度から3年を期間とする第7期岡谷市障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画の策定にあたり、障がい者福祉計画部会等で広く意見を聴取し策定した。

3 生活福祉

福祉総合相談では、複雑化・複合化する市民の生活相談に対して課題を整理し、専門相談機関等と連携を図りながら、市民の生活課題の解決に努めた。

重層的支援体制整備事業について、令和6年度からの本格実施に向けて、実施計画策定等の準備を行った。

ひとり親家庭福祉では、ひとり親家庭相談を通じて、児童扶養手当や、国の制度による子育て世帯生活支援特別給付金の給付を行った。

生活困窮者自立支援事業では、生活保護に至る前段階の支援として、専門相談支援員による、状況に応じたきめ細かい支援を行ったほか、就労準備支援事業や、農福連携による協働体験事業などを活用し一般就労に向けた準備支援を実施した。

生活保護では、他法他施策の有効活用を図るとともに、稼働能力のある者については、就労支援員を交えた就労支援を行い、適正な保護の実施に努めた。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
地域サポートセンター事業	地域サポートセンター事業 地域で抱える様々な課題の解決に向け、ともに解決していく体制整備・機能強化のため、岡谷市地域福祉ネットワーク会議を開催した。 ・第1回 令和5年8月29日（参加者 31名） ・第2回 令和5年12月21日（参加者 39名） ・バリアフリー事業補助 新屋敷区（公会所手すり取り付け工事） 補助率1／3 補助額 124,919円 (124,919円)
民生児童委員協議会活動支援事業	地域福祉向上のため、岡谷市民生児童委員協議会に対し、活動補助金を交付した。 1 補助金 ・地区活動費 283,000円 ・研修費 836,680円 (静岡市：環境問題、貧困、人権問題研修) 2 活動費交付金 9,449,460円 (18,417,007円)
人権擁護推進事業	国から委嘱された人権擁護委員8名や関係機関と連携し、各種事業を行い、人権意識の向上に努めた。 1 人権啓発事業 ・保育園啓発活動 ・小学生「人権の花」運動（川岸小学校） ・中学生「全国人権作文コンテスト」 2 人権相談事業（年4回） 3 会議等の開催 ・人権擁護審議会（7／14） ・諏訪・子ども人権の集い（12／16） (192,500円)
福祉タクシー運行事業	1 交通弱者のための交通手段として通年運行を行った。乗務員のマスク着用や車内消毒など感染防止対策に努め、運行した。 ・運行回数 年間19,796回 1日平均54.1回 2 業務委託料 アルピコタクシー（株）、諏訪交通（株）の2社に委託し、安定的な業務の遂行に努めた。 ・運行事業業務委託料 32,721,381円 ・配車管理業務委託料 5,137,176円 (37,890,457円)
戦没者慰霊事業	岡谷市戦没者追悼式 ・日清戦争以後、満蒙開拓団を含む、岡谷市の戦没者に対して、追悼式を行った。新型コロナ感染症対策以前の通常規模で実施した。 日 時：令和5年9月2日（土） 場 所：庁舎9階 大会議室 参加者：76名 (161,865円)

身元不明人等扶助事業	行旅死亡人に対する葬祭費等の支出のほか、急迫状態の行旅人に対する旅費や生活費などの支出による支援を行った。 1 行旅人旅費 ・旅費支給：5人 ・支出額：1,500円 2 生活費支援：0名 ・支出額：0円 (295,500円)
生活福祉相談事業	福祉総合相談として、生活相談（心配ごと相談）・法律相談・行政相談・消費生活相談（所管：市民生活課）を実施し、課題の早期解決、被害防止や不安の解消に努めた。 1 生活相談（心配ごと相談） ・年間相談件数 66件（対前年度比 △11件） 2 法律相談、行政相談 ・法律相談 年間12回（毎月）実施 ・行政相談 年間10回（4月・8月を除く）実施 (513,000円)
中国残留邦人等生活支援事業	中国残留邦人等本人及び配偶者の生活の安定を目的として、生活保護に準じた生活費等基準により支援給付を行うとともに、生活に必要な支援通訳の派遣を行った。 ・対象世帯数（人数） 1世帯（1人） ・支援給付（生活・住宅・医療・介護） 1,504,223円 ・配偶者支援金 528,396円 ・自立支援通訳派遣 12回 (2,114,893円)
生活困窮者自立支援事業	生活保護に至る前の段階にある生活困窮者を対象に、生活就労支援センター（愛称：まいさぼ岡谷市）を窓口として、相談者が抱える多様な生活課題に対して各種事業を活用し支援を行ったほか、他法他施策活用検討を行い、相談者の自立支援に努めた。 1 自立相談支援事業 ・生活困窮相談件数 197件（対前年度比 △46件） - 自立支援相談件数 153件（対前年度比 △19件） - 支援計画作成件数 33件（対前年度比 増減なし） - 一般就労者数 9人（対前年度比 △6人） 2 住居確保給付金事業 - 利用件数 6件（対前年度比 増減なし） - 給付額 332,700円 3 就労準備支援事業 - 利用件数 5件（対前年度比 増減なし） 4 家計改善支援事業 - 利用件数 12件（対前年度比 +2件） 5 一時生活支援事業 - 一時宿泊所等確保事業 利用者 3名 - 福祉電話貸与事業 利用者 0名 (12,313,034円)
障がい者等福祉事業	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の手帳申請及び関連する事務等を行った。 1 障がい者手当等給付事業 (1) 在宅の重度心身障がい児・者に特別障害者手当（43人 469月分）、障害児福祉手当（16人 174月分）を支給した。 15,781,090円

	(2) 重度若しくは重度に準じる障がいのある児童の保護者に 重度心身障害児童福祉年金を支給するとともに、特別児童 扶養手当の進達事務を行った。 (年金233人、手当185人) 3, 226, 750円 2 障がい者等福祉事業 (1) 障がい児・者の一時的介護のためタイムケア事業として、 登録事業者に介護委託の給付を行った。 個人：利用者 5人、延利用時間 1240時間 889, 600円 (2) 障害者長野県民交通災害共済会費負担事業を行った。 身体512人、知的213人、精神318人、児童35人 計1, 078人 421, 100円 (3) 障がい者等へ福祉電話料の助成を行った。 (1人) 20, 890円 (4) 障がい福祉サービス事業所に、「おかやバリアフリーガイド マップ」の掲載内容の情報更新作業を委託し、ホームページ 上のデータ更新を行った。 120, 000円 (5) 最重度の障がいのある方を1年間のうち半年以上在宅介護 した介護者に、家庭介護者慰労金を贈った。 (41人) 1, 580, 000円 (6) 障がい者団体等の余暇活動については、利用希望なく 実施なし。 (7) 知的障がい者等が通所通園するため交通費補助を行った。 (7人) 134, 406円 (8) 寝たきり等で福祉タクシー等を利用できない非課税世帯の 障がい者・高齢者等を対象に寝台車の利用料の補助を行った。 (4件) 24, 000円 (9) 障がい者虐待防止センターとして、相談等の対応に努めた。 (26, 315, 362円)																																
障がい者自立支 援給付事業	障害者総合支援法の給付等に関する事業を行った。 1 障がい福祉サービス利用希望者の認定調査を行い、医師意見書 等を添付し、諏訪広域連合障害支援区分審査会に審査を依頼した。 広域割 岡谷市負担分 507, 428円 2 障害者自立支援給付 (1) 介護給付 <table><tr><td>・居宅介護</td><td>79人</td><td>8692.5時間</td></tr><tr><td>・重度訪問介護</td><td>1人</td><td>137.5時間</td></tr><tr><td>・同行援護</td><td>11人</td><td>838.0時間</td></tr><tr><td>・行動援護</td><td>3人</td><td>631.5時間</td></tr><tr><td>・短期入所</td><td>19人</td><td>689日</td></tr><tr><td>・施設入所支援</td><td>51人</td><td></td></tr><tr><td>・生活介護</td><td>94人</td><td></td></tr><tr><td>・療養介護</td><td>9人</td><td></td></tr></table> (2) 訓練等給付 <table><tr><td>・自立訓練（機能訓練）</td><td>3人</td></tr><tr><td>・自立訓練（生活訓練）</td><td>4人</td></tr><tr><td>・自立生活援助</td><td>1人</td></tr><tr><td>・就労移行支援</td><td>20人</td></tr></table>	・居宅介護	79人	8692.5時間	・重度訪問介護	1人	137.5時間	・同行援護	11人	838.0時間	・行動援護	3人	631.5時間	・短期入所	19人	689日	・施設入所支援	51人		・生活介護	94人		・療養介護	9人		・自立訓練（機能訓練）	3人	・自立訓練（生活訓練）	4人	・自立生活援助	1人	・就労移行支援	20人
・居宅介護	79人	8692.5時間																															
・重度訪問介護	1人	137.5時間																															
・同行援護	11人	838.0時間																															
・行動援護	3人	631.5時間																															
・短期入所	19人	689日																															
・施設入所支援	51人																																
・生活介護	94人																																
・療養介護	9人																																
・自立訓練（機能訓練）	3人																																
・自立訓練（生活訓練）	4人																																
・自立生活援助	1人																																
・就労移行支援	20人																																

	・就労定着支援 4 人 ・就労継続支援（A 型） 5 0 人 ・就労継続支援（B 型） 1 4 7 人 ・共同生活援助 8 5 人 ・宿泊型自立訓練 1 人 (3) 特定障害者特別給付費 （施設系） 4 4 人 （共同生活援助） 7 7 人 (4) 相談支援給付 ・計画相談支援 3 7 6 人 ・地域移行支援 1 人 ・地域定着支援 1 人 (5) 補装具費 障がい児・者に補装具費の支給を行った。（73 件） (6) 高額障害福祉サービス等給付費 1 3 人 (7) 自立支援医療 更生医療・育成医療の給付等事務及び精神通院医療の申請受付事務等を行った。 ・更生医療 申請 9 件 ・育成医療 申請 1 件 ・精神通院医療 申請 1, 2 0 5 件 (1,037,331,732円)
障がい者地域生活等支援事業	障害者総合支援法の地域生活支援事業による給付等に関する事業を行った。 (1) 障害者優先調達推進法に基づき、「岡谷市障がい者就労施設等からの物品等の調達方針」を策定し、庁内各課等での積極的な調達を推進した。 目標額 2, 2 0 0, 0 0 0 円 実績額 3, 4 2 7, 5 0 1 円 (2) 岡谷市社会福祉協議会に委託し、岡谷市成年後見支援センターの運営を行った。 - 相談者数 1 8 0 人（実人数） - 相談件数 5 0 6 件（延べ件数） - 申立て支援 5 件（延べ件数） - 法人後見人等受任 4 人（累積数） 6, 4 3 3, 4 3 7 円 (3) 聴覚障がい者のコミュニケーション支援事業として、手話通訳者設置、手話通訳者・要約筆記者派遣事業、社会参加等の促進や生活支援の事業として、作業訓練や生活体験等を地域生活支援事業委託事業として行った。 委託先：岡谷市社会福祉協議会 1 2, 4 2 0, 1 7 2 円 (4) 基本相談支援業務等及び地域生活支援拠点事業について、諏訪圏域障がい者総合支援センター オアシスに委託し、6 市町村共同で事業を行った。 1 3, 7 1 4, 5 6 7 円 (5) 原油・原材料価格の高騰に直面する社会福祉施設等の安定的なサービスの提供を支援するため、身体障害者デイサービス事業和楽に対して支援金を交付した。 1 5 0, 0 0 0 円 (6) 重度障がい児・者の日常生活の便宜を図るため、日常生活用具等の給付を行った。（支給件数 1, 1 8 7 件） 1 1, 3 5 9, 1 2 3 円

	(7) 社会参加等の外出時の介助支援のため、移動支援事業を実施した。 ・個別支援 (利用者 50人 2029.0時間) ・グループ支援 (利用者 21人 187.0時間) 6,339,522円 (8) 居宅での訪問入浴サービス事業の給付を行った。 (利用者 8人 644回) 7,983,360円 (9) 障がい者等の日中における活動の場を確保する日中一時支援事業者に介護委託の給付を行った。 (利用者114人、延利用時間 5908.5時間) 5,238,600円 (10) 身体障がい者の自動車運転免許取得及び自動車改造に係る費用の助成を行った。 (利用者 3人) 300,000円 (11) 障がい者支援施設等への通所に要する交通費の助成を行った。 (対象者 7人) 74,503円 (12) 地域活動支援センター 身体障害者デイサービス事業和楽 (利用者6人) 3,430,332円 ひだまりの家(利用者16人) 3,876,379円 ひまわりの里(茅野市)(利用者なし・均等割のみ) 265,633円 (68,109,124円)
障がい児通所給付等事業	障がい児の通所サービス等に係る給付を行った。 1 障がい児通所給付 ・児童発達支援 利用者 17人 1,563日 ・放課後等デイサービス 利用者 107人 10,488日 ・保育所等訪問支援 利用者 51人 223日 2 高額障害児通所給付 利用者 2人 3 障害児相談支援給付 ・障害児計画相談 利用者 134人 (128,319,947円)
おかや総合福祉センター管理事業 (諏訪湖ハイツ)	指定管理者に岡谷市社会福祉協議会を指定し、市民の健康福祉の増進と生涯学習活動を促進した。 ・温泉施設 (開館日数313日、1日平均利用者282人) 利用者数 88,502人 無料利用者 15,375人 有料利用者 73,127人 ・生涯学習施設 (開館日数348日 1日平均利用者220人) 利用者数 76,404人 施設の長寿命化と利用者サービスの向上を図るため、老朽化した設備等の更新工事を行った。 非常用発電機設置工事 ・工期：令和5年4月14日～9月29日 ・契約金額 14,850,000円 浴室洗い場ヒーター取替工事 ・工期：令和6年2月1日～3月29日 ・契約金額 1,210,000円 (141,426,265円)

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等を対象に給付金を支給した。 ・実施期間 令和5年7月12日～令和5年10月31日 ・給付世帯 住民税非課税 4,648世帯 ・家計急変 8世帯 ・給付額 139,680,000円(1世帯 3万円) ・事務費 5,770,179円 (145,450,179円)
電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業(追加分)	電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響により、最も切実に苦しんでいる住民税非課税世帯等に対して追加の給付金を支給した。 ・実施期間 令和6年1月5日～令和6年3月15日 ・給付世帯 住民税非課税 4,340世帯 ・家計急変 10世帯 ・給付額 304,500,000円(1世帯 7万円) ・事務費 4,386,226円 (308,886,226円)
長野県価格高騰特別対策支援事業(住民税所得割非課税世帯に対する支援金)	新型コロナウイルス感染症の影響による失業や収入減少の中で、電気・灯油・食費等の価格高騰等に直面した世帯が速やかに支援を受けられるよう、住民税所得割非課税世帯等に対して給付金を支給した。 1 事業実施期間 ・令和5年8月15日～令和6年3月31日 2 給付世帯 ・住民税所得割非課税世帯 840世帯 ・家計急変世帯 0世帯 3 給付額 16,800,000円(1世帯 2万円) (20,669,919円)
児童扶養手当支給事業	ひとり親家庭等の生活安定及び自立促進、児童の健全育成を図るため、以下により対象世帯に児童扶養手当を支給した。 ・支給額 (全部支給) 月額44,140円 (一部支給) 月額44,130円～10,410円 ・第2子加算額 (全部支給) 月額10,420円 (一部支給) 月額10,410円～5,210円 ・第3子以降加算額(一人につき) (全部支給) 月額6,250円 (一部支給) 月額6,240円～3,130円 ・支給延べ世帯数 3,787人 - うち全部支給者 1,543人 - 一部支給者 2,244人 ・第2子加算世帯数 1,428人 ・第3子以降加算世帯数 376人 ・支給合計額: 147,297,260円 (147,452,952円)

ひとり親家庭自立支援給付等事業	1 母子福祉管理事務 ひとり親家庭等相談事業 ひとり親家庭が抱える多様な課題に対し、母子・父子自立支援員を中心として相談に応じた。 ・母子・父子家庭数 526世帯 ・相談件数 642件 (5,345,064円) 2 母子家庭自立支援給付事業 ひとり親家庭の経済的自立に効果的な資格取得の支援のため、教育訓練講座の受講支援や、養成機関に1年以上就学する場合の生活費を支援する給付金を支給した。 ・高等職業訓練促進給付金 5人（支給額：6,432,000円） ・自立支援教育訓練給付金0人（支給額：0円） (6,432,000円)										
子育て世帯生活支援特別給付事業（ひとり親分）	低所得の子育て世帯に対する生活支援として、令和5年3月分の児童扶養手当受給者等に対して、給付金を支給した。 ・支給対象 児童扶養手当受給者及び、減収により、収入額が児童扶養手当受給対象相当となった者 ・対象者数 390世帯 603人 ・給付額 30,150,000円（1人 5万円） (33,078,061円)										
生活保護事業	1 被保護者に対して必要な保護を実施した。（R6.3月末時点） ・被保護世帯数 169世帯 ・被保護者数 194人 ・保護率 4.5‰（1,000分比） ・生活保護扶助費 323,969,076円 2 生活保護面接相談 要保護者に対し、生活相談を受ける中で申請に基づき保護を開始した。 ・面接相談件数 59件（対前年度比 + 3件） ・保護申請件数 11件 ・保護開始世帯 11世帯 12人 3 就労支援による自立助長等 被保護者への保護を実施する中、稼働能力の活用、他法他施策を促す等の助言指導を行った。 ・稼働能力のある被保護者への就労支援 10人 4 施設への入所 単身世帯のうち、障がい等により生活が困難な被保護者に対して施設入所により保護を実施した。 ・救護施設 ハヶ岳寮ほか5施設 27人 ・障害者支援施設及び介護施設等 12人 5 保護廃止世帯 29世帯 36人 (371,013,490円)										
災害救助対応	1 市内で発生した災害等の被災者に対して災害見舞金を支給した。 ・災害見舞金 140,000円 (内容) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-left: 40px;">火災による見舞金</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">破損（半壊以下）</td> <td style="text-align: right;">15,000円×5件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">全損（全焼）</td> <td style="text-align: right;">30,000円×2件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">負傷</td> <td style="text-align: right;">5,000円×1件</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">(140,000円)</td> </tr> </table>	火災による見舞金		破損（半壊以下）	15,000円×5件	全損（全焼）	30,000円×2件	負傷	5,000円×1件		(140,000円)
火災による見舞金											
破損（半壊以下）	15,000円×5件										
全損（全焼）	30,000円×2件										
負傷	5,000円×1件										
	(140,000円)										

避難行動要支援者避難支援事業	避難行動要支援者避難支援体制の整備を行った。また、地域福祉ネットワーク会議、自主防災組織連絡協議会、岡谷市防災ガイド説明会にて、事業の周知を図った。 1 避難行動要支援者名簿の作成 ・対象範囲 要介護認定3～5、身体障害者手帳第1種1・2級（心臓、じん臓機能障害のみを除く）、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級（単身世帯のみ）、市の生活支援を受けている難病患者、自ら避難することが困難な独居の高齢者等 ・対象者数 1,289人（施設入所者等を除く） 2 避難行動要支援者登録制度登録者の情報共有 ・名簿及び町内マップを各区に提供し情報の共有を図った。 ・3月末申請率 60.8%（784人／1,289人） 3 個別計画の策定 ・各区において登録者の個別計画の策定に取り組んだ。 ・3月末策定率 48.0%（376人／784人）

第3 主要な統計、行政資料等

1 民生児童委員（主任児童委員含む）の活動状況

内容別相談・支援件数	在宅福祉	90 件
	介護保険	62 件
	健康・保健医療	159 件
	子育て・母子保健	330 件
	子どもの地域生活	732 件
	学校生活・子どもの教育	186 件
	生活費	20 件
	年金・保険	3 件
	仕事	6 件
	家族関係	97 件
	住居	19 件
	生活環境	103 件
	日常的な支援	502 件
	その他	1,577 件
	計	3,886 件
分野別相談・支援件数	高齢者に関すること	2,145 件
	障がい者に関すること	60 件
	子どもに関すること	1,292 件
	その他	389 件
	計	3,886 件
その他の活動件数	調査・実態把握	22,509 件
	行事・事業・会議への参加協力	2,318 件
	地域福祉活動・自主活動	6,240 件
	民児協運営・研修	4,557 件
	証明事務	230 件
	要保護児童の発見の通告・仲介	17 件
訪問回数	訪問・連絡活動	19,037 回
	その他	14,589 回
連絡調整回数	委員相互	10,568 回
	その他の関係機関	3,517 回
活動日数		延 18,167 日

2 福祉タクシー運行事業

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
運行回数	19,771回	16,515回	16,656回	17,706回	19,796回
乗車人員	22,232人	18,254人	18,734人	19,913人	22,713人
販売枚数	2,315枚	1,835枚	1,926枚	2,098枚	2,165枚

3 中国残留邦人等生活支援事業

支援給付金支出状況

区 分	世帯数（延べ）	人数（延べ）	支給額
	世帯	人	円
生活支援給付	12	12	801,523
配偶者支援金	12	12	528,396
住宅支援給付	12	12	138,000
医療支援給付	8	8	552,460
介護支援給付	12	12	12,240
合 計	56	56	2,032,619

4 障がい福祉

（１）障害者手帳所持状況

ア 身体障害者手帳

（令和６年３月３１日現在）

区分	視覚障がい	聴覚平衡機能障がい	音声言語機能障がい	肢体不自由	内部障がい	計
	人	人	人	人	人	人
18歳以上	123	106	22	799	680	1,730
男	47	45	15	336	416	859
女	76	61	7	463	264	871
18歳未満	2	3	1	15	7	28
男	2	2	0	8	4	16
女	0	1	1	7	3	12
計	125	109	23	814	687	1,758
男	49	47	15	344	420	875
女	76	62	8	470	267	883

イ 療育手帳

区 分	重度	中度	軽度	計
	人	人	人	人
18歳以上	111	110	159	380
男	63	71	93	227
女	48	39	66	153
18歳未満	19	15	36	70
男	12	7	26	45
女	7	8	10	25
計	130	125	195	450
男	75	78	119	272
女	55	47	76	178

ウ 精神障害者保健福祉手帳

区 分	1級	2級	3級	計
	人	人	人	人
計	325	303	55	683
男	169	162	31	362
女	156	141	24	321

(2) 障害者総合支援法の自立支援給付等の状況

事業種別		対象	支出額（円）
障がい福祉サービス費等	居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護	延 997人	48,639,778
	上記以外の介護給付費等	延 5,177人	911,309,780
	特定障害者特別給付費 施設入所系 グループホーム系	延 1,335人	3,937,518 8,132,958
相談支援給付費	地域相談支援給付費	延 13件	61,292
	計画相談支援給付費	延 1,310件	20,236,257
補装具費		延 73件	7,048,073
高額障がい福祉サービス等給付費		延 108人	702,902
自立支援医療費	育成医療	延 1件	6,208
	更生医療	延 113件	18,499,694
	療養介護医療	延 124件	8,699,216

(3) 障がい福祉サービス事業における施設・事業所の利用状況

ア 障がい者支援施設

(単位：人)

施設の種別	R4年度末	R5年度末	増減
生活介護（施設入所支援）	50	48	△2
療養介護施設	9	9	0
支援施設合計	59	57	△2

イ 障がい福祉サービス事業所

(単位：人)

施設の種別	R4年度末	R5年度末	増減
就労移行支援	12	8	△4
就労定着支援	2	2	0
就労継続支援A型	50	50	0
就労継続支援B型	139	145	6
生活介護 (通所事業所、基準該当含む)	44	46	2
自立生活援助	1	1	0
自立訓練	3	3	0
通所サービス合計	251	255	4
共同生活援助（グループホーム）	80	79	△1

(4) 障害者手当等支給状況

区分	支給対象者数	支給総額
	人	円
特別障害者手当	43	13,127,580
障害児福祉手当	16	2,653,510
重度心身障害児童福祉年金	233	3,226,750

(5) 特別児童扶養手当進達事務状況

区分	新規申請数	その他申請数 (更新手続き等)	R6.3月の 受給者数	備考
特別児童扶養手当	件 16	件 137	人 185	国3/4 県1/4負担

5 障がい児福祉

(1) 障がい児通所給付の状況

事業種別	対象	支出額（円）
児童発達支援給付費	延 138人	21,960,976
放課後等デイサービス給付費	延 1,456人	95,274,776
保育所等訪問支援給付費	延 220人	3,749,768
障害児相談支援給付費	延 409件	6,903,781

(2) 障がい児通所施設の利用者状況

(単位：人)

施設の種類	R4年度末	R5年度末	増減
福祉型児童発達支援	9	17	8
放課後等デイサービス	127	140	13
事業所合計	136	157	21

※福祉型児童発達支援・放課後等デイサービスは利用者が複数の事業所を利用しているため、全ての利用事業所に人数を計上した。

6 ひとり親家庭福祉

(1) 児童扶養手当支給状況

年 度	支給世帯数（延べ）			支給額
		全部支給	一部支給	
	人	人	人	円
令和5年度	3,787	1,543	2,244	147,297,260
令和4年度	4,150	1,654	2,496	153,672,200
令和3年度	3,928	1,658	2,268	154,547,400
令和2年度	4,122	1,772	2,349	163,690,530
令和元年度	5,151	2,332	2,819	206,166,210

(2) ひとり親家庭の相談状況

種 別	相談件数	種 別	相談件数
母子父子寡婦福祉資金貸付	80 (54)	公的年金	3 (11)
児童扶養手当	187 (300)	就職	86 (61)
住宅	7 (20)	医療	51 (78)
生活援護・税	113 (231)	離婚	23 (18)
養育費	18 (19)	家庭紛争	13 (8)
子の養育・悩み	25 (37)	教育	7 (2)
生活不安等	12 (19)	その他	17 (35)
相談件数合計			642 (893)

() は前年度の状況

7 生活保護

(1) 生活保護費支出状況

区 分	世帯数 (延べ)	人数 (延べ)	支給額
	世帯	人	円
生活扶助	1,601	1,868	76,183,071
住宅扶助	1,356	1,608	32,349,548
教育扶助	42	67	640,710
介護扶助	342	342	3,932,532
医療扶助	1,837	2,056	158,678,174
生業扶助	0	0	0
葬祭扶助	2	2	70,000
就労自立給付金	1	1	79,642
施設事務費	364	364	52,035,399
合 計	5,545	6,308	323,969,076

(2) 被保護世帯数、被保護者数、保護率、相談件数 (年度末)

年 度	世帯数	人 数	保護率	相談件数
	世帯	人	‰	件
令和5年度	169	194	4.5	59
令和4年度	185	217	4.6	56
令和3年度	193	223	4.7	68
令和2年度	197	234	5.0	100
令和元年度	183	225	4.7	88

介 護 福 祉 課

第1 概説

介護福祉課では、第9次岡谷市高齢者福祉計画及び諏訪広域連合第8期介護保険事業計画に基づき、高齢者が住み慣れた地域で必要な介護サービスを受けつつ、安心して自分らしく暮らすことのできる地域共生社会の形成をめざして高齢者福祉事業、介護保険サービス事業、地域支援事業を実施するとともに、向こう3年間を見据えた第10次（2024～2026）岡谷市高齢者福祉計画を策定した。また諏訪広域連合においても第9期（2024～2026）介護保険事業計画を策定した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
高齢者生活支援事業	1 敬老祝賀事業 （1）88歳、99歳及び105歳の高齢者に対して敬意を表し敬老祝金を贈呈した。 ・88歳 （3,000円） 444人 ・99歳 （10,000円） 40人 ・105歳（20,000円） 5人 （2）最高齢者に祝品（男女各、カタログギフト）を贈呈した。 （3）100歳高齢者の代表1名を市長が慶賀訪問した。 2 第10次岡谷市高齢者福祉計画の策定 『みんなが結びつき 支え合いが重なる 共生のまちをめざして』を基本理念とした、老人福祉法に基づく計画（計画期間3か年）。 （1）会議等の開催 ・高齢者福祉計画部会3回（8／22, 9／27, 11／8） ・地域福祉支援会議 2回（12／12, 1／19） ・パブリックコメント（12／14～28） ・地域福祉計画等策定委員会（1／11） ・行政管理委員会へ報告（2／2） ・市議会社会委員会へ報告（3／11） （2）業務委託料 ・印刷業務委託料（優先調達） 578,798円 3 高齢者クラブ連合会補助金 高齢者クラブ連合会の事業活動に対して助成を行った。 4 地区高齢者クラブ補助金 地区単位で行われている高齢者クラブの活動に対して助成を行った。 ・単位クラブ数：12クラブ ・会員数：652人 5 シルバー人材センター補助金 高齢者に就業の機会を提供する等、生きがいの創出と社会参加の機会拡大を図るため、岡谷下諏訪広域シルバー人材センターに対して助成を行った。 6 地域支え合い型移動支援補助金 地域住民が高齢者等の通院、買い物、通いの場等への自家用車での送迎を行う活動に対して、ボランティア活動保険料の補助を行った。 ・活動団体 2団体

	7 家庭介護者慰労金 要介護3以上の要介護者を1年間のうち半年以上在宅介護した介護者に慰労金を贈呈した。 (対象者) ・介護保険サービス利用者： 213人(年額 3万円) (23,148,154円)
要援護高齢者生活支援等事業	1 訪問理美容サービス事業 外出困難な高齢者等が、在宅で理美容サービスを受けるための出張経費の助成を行った。 ・利用者数：3人 利用回数：7回 2 住宅改修アドバイザー事業 高齢者等が居住している住宅を改修するに当たり、申請に基づき適切な住宅改修を行うための指導助言を行った。 ・登録アドバイザー(建築関係者) 11人 ・委嘱アドバイザー(保健・医療・福祉関係者) 7人 3 福祉電話の貸与 ひとり暮らしの高齢者等が、家庭内で急病等緊急事態が発生した時、安否の確認等に対応するため福祉電話を貸与した。 ・福祉電話 2台 4 見守り安心ネットワークの組織 民生児童委員を中心に、協力員による見守り安心ネットワークを組織し、主に80歳以上のひとり暮らし高齢者等の安否確認を行った。 ・対象者登録者数 1,360人 ・支援者登録者数 延べ1,609人 5 あったか見守りネットワーク (1) 事前登録制度と民間事業者との見守り協定 認知症等高齢者の行方不明時に備え、高齢者の写真や特徴等の情報を登録し、警察と情報共有することで、早期発見・早期保護を図った。地域を巡回する機会が多い民間事業所と連携し、高齢者を見守る体制を強化した。 ・高齢者事前登録者数 47人 ・見守り協定締結事業者 23社(事業廃止により1社減) (2) 個人賠償責任保険事業 認知症等が原因での日常生活における偶発的な事故に備え事前登録者のうち希望者を対象に、個人賠償責任保険に加入した。 ・加入者数 12人 (143,162円)
施設福祉サービス事業	1 経済的理由と環境的理由により地域生活が困難な高齢者を、養護老人ホームへ入所措置した。 ・入所者数：38人 2 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」が創設されたことに伴い、支援策として「長野県社会福祉施設等価格高騰対策支援金」の対象外となった「養護老人ホーム和楽荘」及び「ヘルスケアサロンあさがお」に対し県の基準額に準じ負担金を交付した。 ・価格高騰対策支援事業負担金 927,000円 (87,193,935円)

介護保険基盤整備事業	民間事業者が行う介護保険の施設整備等に要する費用を助成する補助金 ・地域医療介護総合確保基金事業(介護施設等整備分)補助金 42,084,000円(補助率 県10/10) (1) 地域密着型サービス等整備等助成事業(施設の創設(開設)の整備) ・小規模多機能型居宅介護事業所 和が家新倉 36,600,000円 (2) 介護施設等の施設開設準備経費等支援事業(定員29名以下の地域密着型施設等の施設開設準備経費等支援) ・小規模多機能型居宅介護事業所和が家新倉(宿泊定員6名) 5,484,000円 (42,084,000円)																													
介護保険事務事業	1 諏訪広域連合で運営する介護保険事業に係る「岡谷市介護保険事務取扱規則」に基づいた事務 (1) 給付申請の受付に関すること ア 低所得者に対する軽減制度の実施 (ア) 介護保険利用者負担額減免措置 ・減免対象者 6人 内訳(要保護者に準ずる者 1人、生活保護受給者 3人、市民税所得割非課税世帯で生計困難に準ずる者 2人) (イ) 介護保険施設等の食費・居住費に係る負担限度額認定 ・申請者合計 446人 内訳(第1段階 12人、第2段階 57人、第3段階① 98人、第3段階② 268人、第4段階 11人) イ 介護保険居宅介護(介護予防)住宅改修費支給申請書数 378件 ※同一申請書による複数の改修申請あり <table><tr><th colspan="5">申請の内訳</th><th rowspan="2">合計 (件)</th></tr><tr><th>手すりの取付け</th><th>段差の 解消</th><th>床材の 変更</th><th>扉の 取替え</th><th>便器の 取替え</th></tr><tr><td>337</td><td>28</td><td>3</td><td>8</td><td>2</td><td>378</td></tr></table> ウ 介護保険居宅介護(支援)福祉用具購入費支給申請書数 226件 ※同一申請書による複数の用具申請あり <table><tr><th colspan="2">申請の内訳</th><th>件数</th></tr><tr><td colspan="2">ポータブルトイレ</td><td>84</td></tr><tr><td colspan="2">入浴補助用具(入浴及び浴槽内いす・入浴台等)</td><td>142</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>226</td></tr></table> (2) 被保険者の異動及び被保険者証の再発行(被保険者証・負担割合証)に係る交付に関すること ・転入者 17名 ・再発行 132件 (3) 認定申請及び資格者証の発行に係る交付に関すること ・認定申請数 2,695件 ・情報提供数 1,489件 (新規727件、更新1,547件、区分変更421件) (4) 訪問調査に関すること ・訪問件数 2,591件(他市町村からの委託調査60件含む。) ・他市町村への委託調査依頼件数 61件 (5) 主治医意見書の依頼に関すること ・介護認定審査会資料主治医意見書依頼件数 2,671件	申請の内訳					合計 (件)	手すりの取付け	段差の 解消	床材の 変更	扉の 取替え	便器の 取替え	337	28	3	8	2	378	申請の内訳		件数	ポータブルトイレ		84	入浴補助用具(入浴及び浴槽内いす・入浴台等)		142	合計		226
申請の内訳					合計 (件)																									
手すりの取付け	段差の 解消	床材の 変更	扉の 取替え	便器の 取替え																										
337	28	3	8	2	378																									
申請の内訳		件数																												
ポータブルトイレ		84																												
入浴補助用具(入浴及び浴槽内いす・入浴台等)		142																												
合計		226																												

	(6) 納入通知書及び納付書の再発行に係る交付並びに収納業務の協力に関すること (7) 介護保険料収納事務の協力（岡谷市民第1号被保険者（65歳以上の者）の督促滞納事務など） ○ 諏訪広域連合 介護保険料収納状況（岡谷市分） ・ 収納予定額 1,073,346,190円 ・ 収納済額 1,060,270,450円 ・ 収入未済額 13,075,740円 ・ 収納率 98.78% ・ 納期限から2年経過した滞納者のうち、納付が見込めないと保険者（諏訪広域連合）が判断し不納欠損処分とした額 2,541,170円 (8) 介護保険事業に関わる相談及び受付に関すること (9) その他介護保険制度の施行に関すること ・ 法改定等についてサービス事業者へ周知 2 介護サービス事業所に関する事務（市内事業所数57事業所） (1) 介護サービス事業者等連絡会 介護サービス提供事業者等を対象に、制度等に関する情報提供、事業者間の情報交換を目的とした連絡会を実施した。 ・ 開催数 3回 (2) 事業所が設置する「介護サービス事業所運営推進会議（24事業所）」への参加及び各介護サービス事業所からの相談等 (3) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入退所状況の把握（事業所間で調整。原則として要介護3以上の方のみが入所できるが要介護1、2の方でもやむを得ない事情（特例入所要件）があれば特例的に入所が可能） ・ 新規入所者数 52人 ・ 退所者数 49人 ・ 入所希望者数 163人 3 各種証明書の発行 ・ 税金の障害者控除に係る控除対象者認定書 171件 ・ 税金の医療費控除に係るおむつ使用確認証 6件 4 介護保険広報啓発事業 (1) 市報、ホームページ等による制度周知 (2) 介護保険制度をわかりやすく説明した「介護保険なんでも読本（岡谷版）」を発刊し窓口等で配布 (3) 被保険者証交付説明会（65歳到達者説明会：対象528人） ・ 開催数 12回（4月～3月） ・ 出席者数 262人（出席率 50.0%） 5 事務費関係負担金 ・ 長野県国民健康保険団体連合会（特別徴収に係る負担金） 令和5年4月末介護保険第1号被保険者数 16,189人 97,134円 (9,088,427円)										
介護保険広域運営事業	諏訪広域連合への負担金 国が3か年計画として実施している介護保険事業計画（第9期2024～2026）の策定に合わせ、保険料の見直しを含めた諏訪広域連合 第9期介護保険事業計画（2024～2026）を策定した。 <table> <tr> <td>1 低所得者保険料軽減負担金</td><td>9,053,812円</td></tr> <tr> <td>2 保険給付費関係負担金</td><td>570,173,575円</td></tr> <tr> <td>3 事務費関係負担金</td><td>68,362,342円</td></tr> <tr> <td>4 高齢者福祉費関係経費負担金</td><td>1,660,316円</td></tr> <tr> <td>5 地域支援事業費関係経費負担金</td><td>45,709,538円</td></tr> </table> (694,959,583円)	1 低所得者保険料軽減負担金	9,053,812円	2 保険給付費関係負担金	570,173,575円	3 事務費関係負担金	68,362,342円	4 高齢者福祉費関係経費負担金	1,660,316円	5 地域支援事業費関係経費負担金	45,709,538円
1 低所得者保険料軽減負担金	9,053,812円										
2 保険給付費関係負担金	570,173,575円										
3 事務費関係負担金	68,362,342円										
4 高齢者福祉費関係経費負担金	1,660,316円										
5 地域支援事業費関係経費負担金	45,709,538円										

介護予防・生活支援サービス事業	介護予防ケアマネジメント事業 要支援者及び事業対象者に対して、課題分析、ケアプランの作成及び相談援助等を行うなど、必要なサービス利用に繋げ、重度化防止に努めた。 ・要支援１・要支援２認定者数：７９４人 ・事業対象者数：６３人 ・介護予防支援・介護予防ケアマネジメント実施者数：５１７人 内、事業所委託数：１３６人 (8,042,901円)
一般介護予防事業	１ 介護予防把握事業 民生児童委員による要援護高齢者台帳整備、訪問活動、地域住民や介護支援専門員等からの情報提供に基づき、支援を必要とする者を把握し、支援につなげた。 ２ 介護予防普及啓発事業 (１) 教室案内・申込受付業務 事業対象者、要支援・要介護認定者、認定申請中者、広域外住所地特例者を除いた第１号被保険者（令和５年度予定者も含む）へ教室案内を送付し、介護予防普及啓発事業の対象者リストの作成を行った。 ・対象者：１３，４４６人 ・希望者：５３４人 (２) 通所型介護予防事業 ねこまぬ先のびんびんキラリ☆教室 運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上、認知症予防のための教室を実施し、介護予防に努めた。 ・実施教室数：６回コース ９教室 １２回コース ２２教室 ・参加者数：３９５人 (３) 介護予防のための学習会 高齢者に薬の適切な管理方法や服薬方法を身に付けてもらうことで、薬の疑問を解決し日頃の健康管理に役立ててもらうために行った。 「薬剤師さんに気軽に聞こう お薬との上手なつきあい方」 ・期日：令和５年７月２１日（金） ・講師：岡谷薬剤師会 ひまわり薬局 管理薬剤師 若田 直樹 氏 ・参加者数：２５人 ・健康ポイント引換券発行数：２５枚 ３ 地域介護予防活動支援事業（生きがいデイサービス事業） 介護予防の一環として地域の支え合いを基本に、地区の公会所等を利用し、家に閉じこもりがちな高齢者の生きがいづくりと心身のリフレッシュを図った。５類感染症移行後は、順次昼食を再開した。 (岡谷市社会福祉協議会に委託) ・実施箇所：２５箇所（２０地区） ・登録者数：５４７人 ・実施回数：１，５６５回 延べ参加者数：８，９８８人 ・健康ポイント引換券発行数：新規６７枚、継続３４０枚 ・引換数：新規３９枚、継続２０５枚

	4 地域リハビリテーション活動支援事業（新規グループ活動支援事業） 地域における介護予防の取り組みを強化するために、住民運営の通いの場にリハビリテーション専門職等の派遣や相談など継続支援を実施した。 〈支援グループ〉 ・参加グループ数：継続 7 グループ、新規 1 グループ 登録人数：77 人 ・健康ポイント引換券 発行数：継続 32 枚、新規 0 枚 引換数：継続 25 枚、新規 0 枚 (36,251,766円)
包括的支援事業	1 包括的・継続的ケアマネジメント事業 (1) ケアマネジメント研究部会 市内を営業拠点とする事業所の介護支援専門員を対象にケアマネジメントの質の向上のための研究・学習を行う研究部会の開催に協力した。内 1 回は主任介護支援専門員更新研修に係る法定外研修として実施。 ・開催数：9 回 参加者数 242 人 (2) サービス事業者等連絡会 介護サービス提供事業者等を対象に、制度等に関する情報提供、事業者間の情報交換を目的とした連絡会を実施した。 ・開催数：3 回（※再掲） 2 権利擁護事業 (1) 高齢者のための司法書士による無料法律相談日 ・毎月 1 回（第 3 水曜日） 相談者 延べ 20 人 (2) 高齢者虐待に関する対応 ・相談件数 延べ 170 件 (実件数 31 件 内、虐待を確認した実件数 15 件) 3 総合相談事業 介護等について広く市民の相談に応じ、適切な支援へつなぐとともに、継続的な見守り等を行うため、戸別訪問等により高齢者や家族の状況等の実態把握に努めた。 ・相談件数：5,548 件 (7,943,504 円)
生活支援・介護予防体制整備事業	地域の支え合いの活動の再発見と推進を図るため、生活支援コーディネーターが中心となり、各地区社協役員を中心に、地域のお宝探し講座（支え合いの実態調査）の取り組みを行った。また、生活課題に対し関係機関とのマッチングや、通いの場等へ訪問し活動のサポートを行った。 1 地域に向けた活動 (1) お宝探し講座活動 ・お宝探し講習会の説明 8 地区（参加者 220 人） ・お宝探し講習会グループワーク開催 3 地区（参加者 43 人） ・お宝探しの活動報告（地区社協会長会議） 1 回 (2) 協議体の開催 ・地域福祉ネットワーク会議（第 1 層）2 回（参加者 80 人） 地域サポートセンターの取り組みについてグループワーク（高齢、子ども、地域づくり、防災、その他について） ・地域サポートセンター（第 2 層） 3 回（参加者 43 人） お宝探し講習会の開催

	(3) 地域への訪問 35回 ・各区、各地区研修会・会議、福祉懇談会への参加 (4) 関係機関・団体の連携・協議 22回 ・介護事業所、通いの場、行政機関、民間事業所、民生委員等 2 生活課題に向けた活動 (1) 相談件数 99件 マッチング総数 205件 (新規4件) ・家事支援、見守り支援など (2) 岡谷市暮らしのサービス紹介の普及 3 介護予防に向けた活動 ・通いの場への訪問・相談件数 88件 - 生きがいデイサービス、高齢者クラブ、いきいきサロン 4 活動の見える化 (広報による活動周知) ・社協だよりゆめ (毎月)、広報おかや特集号 5 研修会への参加 9回 (7,582,319円)								
認知症総合支援事業	1 認知症初期集中支援チーム 認知症が疑われる人・認知症の人やその家族を、医療や介護の専門職であるチーム員が訪問し、医療機関の受診や介護保険サービスの利用などについての相談支援を行った。 ・対応件数：12件 2 認知症地域支援・ケア向上事業 認知症の人ができる限り住み慣れた環境で暮らし続けることができるよう、当事者及びその家族への相談支援を行うとともに、支援体制の強化のため、地域の医療機関・介護サービス事業所等との連携に努めた。 (1) 認知症地域支援推進員の配置3人 (市職員2人、岡谷市社会福祉協議会職員1人) (2) 認知症サポーター養成講座 <table border="0"> <tr> <td>開催数</td><td>19回</td></tr> <tr> <td>参加者数</td><td>310人</td></tr> </table> (3) 認知症ステップアップ講座 <table border="0"> <tr> <td>開催数</td><td>2回</td></tr> <tr> <td>参加者数</td><td>48人</td></tr> </table> (4) VR認知症体験会 認知症の人への支援について理解をしてもらえるよう、VR機器を使用し、認知症の症状について体験できる機会を設けた。 ・VRレンタル期間9月25日～27日 体験者数68人 (12,405,643円)	開催数	19回	参加者数	310人	開催数	2回	参加者数	48人
開催数	19回								
参加者数	310人								
開催数	2回								
参加者数	48人								
地域ケア会議推進事業	1 地域ケア個別会議 (Ⅰ) 地域包括支援センターに寄せられる個別支援に関する相談のうち支援困難事例について、解決に向けての検討を行った。 ・開催数：16回 ・延べ検討事例数：16件 (実件数13件) 2 地域ケア会議 (Ⅱ) 地域ケア個別会議等から把握された地域課題について検討し、地域のネットワーク構築などを行った。 ・開催数：6回 3 地域ケア推進会議 (Ⅲ) 高齢者支援に関わる多職種、多団体が参加し、地域で高齢者を支えるネットワークの構築・強化のための協議を行った。 ・開催数：1回 (34,438円)								

在宅医療・介護連携推進事業	地域の医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の一体的な提供を目指し、各専門部会での協議や書面での情報共有等を行った。 1 代表者部会（部会員：9名） 開催数：1回、書面会議：1回 2 職能部会（部会員：16名） 開催数：2回 3 在宅医療介護連携推進検討委員会（委員：40名） 開催数：1回（令和6年2月14日） 4 その他 ・多職種連携研修会 地域から把握した課題について、医療介護関係者間での情報共有や課題への対応等を学んだ。 開催数：2回 参加延べ人数98名 ・医療介護関係者の既存情報共有ツールについて、市ホームページに掲載し、関係者の活用促進を図った。 ・窓口等で配布している「介護保険なんでも読本（岡谷版）」に、将来の変化への備えとして「もしもの時のために～自分らしく生きるための人生会議～「自分の老後について考えておきましょう！」について新規掲載 ・健康長寿カレンダーの配布 運動・栄養・口腔ケアなど毎日の生活で実践できるポイントを掲載したカレンダーを配布した。 配布部数 4,600部 (1,026,725 円)
家庭介護者支援事業	1 家庭介護者教室 介護者等に対し、介護知識の普及啓発、介護者相互の交流、介護に関する悩み等の相談に応じるなど介護者の支援と福祉の増進を図った。 (1) 介護者教室及び交流会 ・実施事業所 3事業所 ・実施回数 15回 ・参加者数 135人 (2) 個別相談会 ・実施回数 6回 ・参加者数 6人 2 要介護者介護用品購入費支給事業 要介護3以上の要介護者を在宅で介護する家族の支援として、介護用品（紙おむつ・尿取りパット）の購入に係る費用の一部を助成した。 ・要介護3以上で市民税非課税の方の在宅介護者 109人（月額3,000円を限度に助成） ・市民税非課税世帯で要介護4・5の方の在宅介護者 35人（月額6,000円を限度に助成） 3 家庭介護者慰労金 要介護3以上の要介護者を1年間のうち半年以上在宅介護した介護者に慰労金を贈呈した。（年額10万円） ・対象者：介護保険サービス未利用者 5人 (4,039,201 円)

その他事業	1 介護相談員派遣事業 介護保険施設等と利用者の橋渡し役として、介護相談員を派遣して利用者からの苦情や相談に応じ、介護サービスの質の向上に努めた。また、昨年度に引き続き、市内で介護サービス事業所を運営する代表者を講師に迎えた講演会を行い、介護現場の理解に努めた。 その他、諏訪6市町村合同で開催する「第19回諏訪地域介護相談員研修会」の開催市として、任意後見をテーマに講師を迎え、高齢者を取り巻く課題や解決策の理解を深めた。 ・介護相談員 18人 ・訪問対象施設 21施設 ・施設訪問回数 547回 ※運営推進会議含む。 ・講演会日時：令和5年12月8日（金）午後3時00分～ 場所：岡谷市役所9階大会議室 ・第19回諏訪地域介護相談員研修会 日時：令和6年2月5日（月）午後2時00分～ 場所：岡谷市役所9階大会議室
	2 24時間緊急時駆けつけ安心サービス事業 ひとり暮らし高齢者等の緊急事態等における通報手段を確保するため、緊急通報端末を貸与し緊急事態等への対応を図った。 ・利用者数 98人 3 配食サービス事業 食の自立支援事業として、虚弱でひとり暮らしの高齢者等で安否確認が必要な者に対し、配食サービスを行った。 ・1日1食、週7回まで1食200円を上限に助成。物価高騰により7月1日より上限を220円に変更した。 ・利用者 232人 ・配食数 30,281食 (11,336,736円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 高齢者福祉の状況

養護老人ホーム措置状況（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

区 分	4年度末 入所人員	5年度中の増減		5年度末 入所人員
		入 所	退 所	
岡谷和楽荘	28	8	9	27
聖 母 寮	3	2	1	4
寿 和 寮	3	3	2	4
光 の 園	2	0	0	2
松 風 園	1	0	0	1
合 計	37	13	12	38

2 介護保険の状況（諏訪広域連合資料）

（1）被保険者数等の状況

（令和6年3月31日現在）

区 分	諏訪広域連合（人）		岡 谷 市（人）		備 考
	計画数	実績数	計画数	実績数	
第1号被保険者数	63,189	62,948	15,994	16,010	（ ）内の数値は、 第2号被保険者数
要介護・要支援者数	12,056	11,413 (180)	3,035	3,011 (48)	

(2) 要支援・要介護認定の状況

(令和6年3月31日現在)

要介護度	諏訪広域連合		岡谷市	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
要支援1	1,453	12.73	415	13.78
要支援2	1,432	12.54	379	12.59
要介護1	2,950	25.85	776	25.77
要介護2	1,926	16.88	476	15.81
要介護3	1,424	12.48	377	12.52
要介護4	1,295	11.35	339	11.26
要介護5	933	8.17	249	8.27
合 計	11,413	100.00	3,011	100.00

(3) 介護保険料の状況(所得段階別第1号被保険者数)(令和6年3月31日現在)

住民税 本人 世帯	前年の合計所得金額など	保険料段階	諏訪広域連合		岡谷市	
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
●● 非非 課課 税税	老齢福祉年金を受給している方 生活保護を受けている方	第1段階	5,463	8.68	1,302	8.13
●● 非非 課課 税税	前年の合計所得金額から 80万円以下の方	第2段階	5,826	9.26	1,492	9.32
	80万円を超えており120万円以下の方	第3段階	6,007	9.54	1,564	9.77
	120万円を超えている方	第4段階	4,437	7.05	1,113	6.95
	金額と課税年金収入額の合計 80万円以下の方	第5段階(基準値)	12,176	19.34	3,327	20.78
	80万円を超えている方					
● 課 税	前年の合計所得金額 80万円未満の方	第6段階	6,197	9.85	1,394	8.71
	80万円以上125万円未満の方	第7段階	6,241	9.92	1,644	10.27
	125万円以上200万円未満の方	第8段階	7,430	11.80	1,901	11.87
	200万円以上300万円未満の方	第9段階	4,622	7.34	1,150	7.18
	300万円以上400万円未満の方	第10段階	1,902	3.02	471	2.94
	400万円以上600万円未満の方	第11段階	1,331	2.11	324	2.02
	600万円以上1,000万円未満の方	第12段階	685	1.09	164	1.03
	1,000万円以上1,500万円未満の方	第13段階	285	0.45	76	0.48
	1,500万円以上の方	第14段階	346	0.55	88	0.55

(4) 諏訪広域圏内介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）待機者の状況

ア 介護度別の状況（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

区 分	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	富士見町	原村	合 計
要介護1	5	1	6	5	0	1	18
要介護2	13	5	3	11	5	0	37
要介護3	48	40	58	17	13	11	187
要介護4	54	50	43	20	14	3	184
要介護5	43	29	20	14	4	2	112
合 計	163	125	130	67	36	17	538

イ 過去5年の推移（各年度末）

（単位：人）

年度	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	富士見町	原村	合 計
R 元	177	130	154	94	35	19	609
R 2	156	131	130	73	33	28	551
R 3	154	115	120	83	37	16	525
R 4	139	114	126	62	34	22	497
R 5	163	125	130	67	36	17	538

3 地域包括支援センターの状況

(1) 介護予防ケアマネジメント状況（令和6年3月31日現在）（単位：人）

事業対象者	認 定 者		介護予防ケアマネジメント	
	要支援1	要支援2	直営	委託
63	415	379	381	136
	合 計 794		合 計 517	

(2) 総合相談の状況（令和6年3月31日現在）

（単位：件）

訪 問	電 話	窓口等	その他	合 計
763	2,727	470	1,588	5,548

4 任意事業

- ・24時間緊急時駆けつけ安心サービス利用状況

利用者数

（単位：人）

年度	利用者数
H30	122
R 元	107
R 2	107
R 3	106
R 4	89
R 5	98

子 ど も 課

第1 概説

子ども課では、岡谷市子ども・若者育成支援計画及び第2期岡谷市子ども・子育て支援事業計画に基づき、輝く子どもの育成をめざした事業を実施し、計画の推進を図った。

1 児童福祉、子育て支援

子育て支援では、家庭児童相談員による相談業務を実施したほか、岡谷市要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関と連携しながら、児童虐待の防止、早期発見等に努めた。また、子どもとその家庭及び妊産婦に関する支援を一体的に行うため、「子ども家庭総合支援拠点」を中心に、子ども等に対する支援体制を推進し、新たに児童虐待防止等のため心理担当支援員を配置し、心理的支援の充実を図った。

なお、児童福祉法の改正に伴い設置が努力義務化された「こども家庭センター」の令和6年度の設置に向けて、庁内協議、調整を行った。

物価高騰の影響等を踏まえ、低所得の子育て世帯に対して国庫補助及び県補助による生活支援特別給付金を支給したほか、18歳以下の子どもを育てる全ての世帯に対して市独自による価格高騰対策支援給付金を支給した。

2 保育所

子ども・子育て支援新制度のもと、各保育園において通常保育・長時間保育等を実施し、病児・病後児保育など、ニーズに合わせた保育を提供した。

保育園の運営において、使用済みおむつを自園処理するための必要備品を購入し、保護者の負担軽減と保育環境の改善を図った。また、原油価格及び物価高騰等による影響を受けている市内私立保育所等に対して、エネルギーコストの負担軽減のため光熱水費等の一部を負担し、運営支援に努めた。

岡谷市保育園整備計画中期計画の推進では、公立の幼保連携型認定こども園の整備について岡谷市川岸学園整備基本計画の策定を行った。

3 幼稚園

幼稚園教育の充実、振興を図るため、新制度による運営に移行した市内2私立幼稚園に対し、施設型給付費の支出及び運営費等を補助するとともに、未移行の市内1私立幼稚園に対し、運営費等の補助を行った。また、新制度による運営に移行した園には、エネルギーコストの負担軽減のため光熱水費等の一部を保育所等と同様に負担し、運営支援に努めた。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
地域子育て事業	1 子ども食堂等関係団体連絡会設置事業 様々な家庭環境で育つ子どもを支える居場所が地域に広がり、継続した取り組みとなるよう関係団体と行政による連絡会において、連携強化を図るとともに課題の検証等を行い、支援策を検討した。 ・連絡会2回、研修会1回（参加数11団体） 2 病児・病後児保育事業 病気や病気回復期にあり、家庭や保育園での保育が困難な児童を受け入れるため、民間医療機関に委託し、実施した。 9,493,000円 ・利用日数199日 延べ利用者数434人 3 育児ファミリー・サポート・センター事業 児童の預かりに係る相互援助活動の事業を岡谷市社会福祉協議会に委託し、実施した。 1,000,000円 ・依頼会員37人、提供会員22人、依頼・提供会員0人 ・延べ利用回数5回 4 ショートステイ事業 家庭での養育が一時的にできなくなった子どもの宿泊預かり事業を児童養護施設つつじが丘学園・たかずやの里・松本赤十字乳児院に委託して実施した。 57,750円 ・延べ利用者数14人 5 “未来のげんきっず” 応援事業 子育て家庭への支援として、出産時やこどものくに入館時にオカヤペイのポイントをプレゼントし、経済的な支援を行った。 ・出産時（5,000ポイント）：211名 ・こどものくに入館時（5ポイント）：5,115件 6 子育て支援アプリ“げんきっずおかや”事業 子育て世代が最も利用しているスマートフォンの特性を活かして、妊娠、出産、子育てに必要な情報を入手し、パーソナルデータの記録・管理ができる総合的な子育て支援アプリを通じて、情報の提供を行った。 610,200円 ・新規登録件数 115件（総件数 1,128件） 7 児童遊園整備補助事業 各地区管理の児童遊園について、整備にかかる補助金を交付し、児童の健全育成と安全確保に努めた。 57,910円 ・改修1ヶ所 三沢区 コミュニティ下公園ブランコの修理、砂入れ 8 子育て応援協賛店パスポート事業 長野県将来世代応援県民会議事務局と連携・協働し、県内外の協賛店舗での買い物時に各種子育て支援サービスが受けられるパスポートを県外からの転入世帯等に随時配布する事業を実施した。 また、更新時期となったことから対象の子育て家庭の全世帯へカードを送付した。3,649世帯（有効期限令和10年3月31日） 9 子育てパパ・ママリフレッシュ事業 乳児を養育している保護者の心身のリフレッシュ、育児負担の軽減を図るため、満1歳以上2歳未満の保護者へ利用券を配布し、保育所での休日保育、一時保育サービスの提供を行った。 ・利用券配布者数 262人 ・保育サービス利用者数 24人（うち休日利用2人）

	10 第3期岡谷市子ども・子育て支援事業計画策定事業 「第3期岡谷市子ども・子育て支援事業計画」を策定するために保護者を対象としたニーズ調査を実施した。 少子化の現状と将来の動向、子育て支援に関する状況を把握、整理するとともに、保育サービス等の需要と事業量を見込み、今後の地域における子育て支援等に必要なニーズを把握、分析した。 2,145,000円 (16,243,863円)
地域子育て支援センター事業 (子育て支援館「こどものくに」)	1 子育て支援館「こどものくに」運営事業 子育て支援館「こどものくに」において、子育て支援に向けた各種事業を実施した。 年間延べ来館者数 30,936人 (1) 学び、支えあい事業(身近なテーマを取り上げた講座) ・子育て講座(親子運動遊び、ヨガ、フラダンス、リトミック、クリスマス工作など) 計14回開催 延べ参加者 225人 ・NPプログラム 計12回開催 延べ参加者 64人 ・おしゃべりサロン 計2回開催 延べ参加者 11人 (2) 相談事業 ・育児相談(看護師、保育士による常時の育児相談) ・子育て相談(心理相談員による月1回子育て相談) 年間相談総数 計2,085件 (3) 情報提供 ・ホームページ、母子モ・掲示板による情報発信 ・お便り、「こどものくに新聞」、「こころ・からだ」の発行 (4) ひろば事業 親子の触れ合いや交流の場を提供し、育児支援を行った。 ・わくわくタイム 毎日11時・15時2回開催 ・つくっちゃおう 毎月1回開催 延べ参加者 147組 ・クリスマス等の季節行事(「クリスマス」「豆まき」「大きくなったね会」など) 延べ参加者 241人 ・ベビーマッサージ 第3木曜日 延べ参加者 45組 ・おおきなおはなしたまご第3金曜日 延べ参加者 184組 2 地域子育て支援拠点事業 子育て支援センターや地域と連携し、子育て支援を行った。 ・サークルの育成 育児談話室による活動の場の提供と支援、施設管理を行った。 ・子育て相談 保育士・看護師による訪問、相談を行った。 ・地域におけるサークルと指導者の育成 訪問講習(7地区)や体験会、研修会を行った。 ・子育てに関する情報収集と提供を行った。 (13,880,761円)
発達支援事業	1 子ども発達支援センター事業 ・心身の発達に支援を必要とする未就園の児童に対し、機能訓練及び日常生活のための訓練、保護者への家庭における訓練方法の指導、療育に関し相談支援を行った。 利用人数 延べ489人 ・保育園等へ通園中の児童に対して、小集団で遊びながら力を伸ばすための1日療育支援を実施した。

	ほっぷ・すてっぷ・じゃんぷクラス 年少クラス 延べ69人、年中クラス 延べ51人 年長クラス 延べ50人 ・未就学児のことばの訓練教室『ことばの教室』を実施した。 開催日数175日 延べ利用者476人 2 その他発達支援事業 発達障がいや発達特性のある子どもとその保護者に対し、早期段階から支援を行うため、フォローアップ教室を開催した。 ・フォローアップ教室 参加児童数33人 (11,241,067円)
子ども発達支援センター管理事業	イルフ西堀保育園に併設した子ども発達支援センターに専門センター長を置き管理した。 (4,826,528円)
児童手当支給事務	児童手当（令和5年2月～令和6年1月分及び2月、3月随時分） ・支給月額 3歳未満 一律 月 15,000円 3歳以上小学校修了前 第1・2子は月 10,000円、 第3子以降は月 15,000円 中学生 一律 月 10,000円 特例給付 一律 月 5,000円（所得制限限度額以上） ・支給状況 3歳未満 延べ児童数 8,013人 120,195,000円 3歳以上 小学校修了前 " 31,806人 339,520,000円 中学生 " 12,562人 125,620,000円 特例給付 " 2,474人 12,370,000円 合計 " 54,855人 597,705,000円 (599,268,538円)
保育所管理運営事業	1 子育て支援センター事業（にこにこ子育て支援事業） 親子の交流、相談、情報交換の場として、保育園併設の子育て支援センターに相談員を配置し育児支援を行った。 ・あやめ、みなと、川岸保育園 延べ利用者数 2,921人 ・ひまわり保育園 延べ利用者数 566人 2 運営管理 ・一時休園中の若草保育園に関し、引き続き一時休園の継続を決定した。 ・入所申込児童数が減少したつるみね保育園の運営に関し、保護者と協議を行い、転園することにより翌年度からの休園を決定した。 ・入所申込みの無かった夏明保育園について、翌年度からの休園を決定した。 3 保育園健康管理事業 園児の健康管理のため、各種健康診断、検査等を実施したほか、食育推進についての調査、研究や保護者対象の講座、実習などを実施し、園児の健康増進に努めた。 4 保育職員研修事業 多様化する保育ニーズに応えるため、各種職員研修を実施し、保育園職員の資質の向上に努めるとともに、園長会、主査会、栄養士会等を定期的実施して保育内容の充実を図った。 5 ぼくもわたしも おかやっ子事業 岡谷の歴史・文化・地域資源に触れ合う機会として体験型事業を実施した。 ・もろこし収穫体験 8園実施 ・みそ作り体験 7園実施

	6 飛び出せ元気な おかやっ子事業（スケート体験） 年長クラスを対象に伝統スポーツであるスケートに親しむ事業を実施した。 7 世界にタッチ“英語に触れよう”事業 国際交流員により、英語や外国文化に触れる事業を実施した。 8 やってみようキッズエプロン隊事業 季節や旬の食材を活用し、児童が実際に見て、触れて、食べる一連の体験を実施した。（共通食材 春の野草・いも類） 9 価格高騰対策支援事業 物価高騰等による影響を受けている市内2私立保育園及び地域型保育事業所に対して、光熱水費等の一部を負担した。747,000円 10 私立保育園運営費等補助事業 市内2私立保育園及び地域型保育事業所の運営に対する補助を行い、児童の処遇向上と保育内容の充実を図った。 38,682,179円 11 多子世帯副食費支援事業 幼児教育・保育の無償化により施設が保護者から実費徴収する副食費について、多子を養育する世帯に対する減免（第2子50%、第3子以降100%）を実施した。 1,242,000円 12 保育環境改善等事業 使用済みおむつを自園処理するための必要備品を購入し、保護者の負担軽減と保育環境の改善を図った。 公立分 781,605円 私立分 265,860円 (738,924,026円)
保育所整備事業	1 旧東堀保育園解体工事 旧東堀保育園敷地を売却するため、建物の解体工事を実施した。 19,693,300円 2 みなと保育園デッキテント屋根張替工事 経年劣化により腐食し、大きく破れていたテント屋根全部を張り替える抜本的な工事を実施した。 7,700,000円 3 公立保育所移管整備事業 岡谷市保育園整備計画に基づく保育所整備事業により、市が開設した保育所の移管運営法人（学校法人信学会）対し、信学会東堀こども園整備事業にかかる補助を行った。 11,787,009円 (40,178,669円)
認定こども園運営事業	1 価格高騰対策支援事業 物価高騰等による影響を受けている信学会東堀こども園に対し、光熱水費等の一部を負担した。 540,000円 2 運営費等補助事業 信学会東堀こども園の運営に対する補助を行い、児童の処遇向上と保育内容の充実を図った。 8,648,508円 3 多子世帯副食費支援事業 幼児教育・保育の無償化により施設が保護者から実費徴収する副食費について、多子を養育する世帯に対する減免（第2子50%、第3子以降100%）を実施した。 1,977,750円 4 保育環境改善等事業 使用済みおむつを自園処理するための必要備品を購入し、保護者の負担軽減と保育環境の改善を図った。 113,300円 (135,159,078円)

低所得の子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外分)支給事業	食費等の物価高騰の影響を特に受けた、低所得の子育て世帯(ひとり親世帯以外)に対して、生活支援特別給付金を支給した。 ・対象者 147世帯 対象児童 288人 ・支給額 児童一人あたり 50,000円 14,400,000円(国庫補助) (16,718,748円)
子育て世帯生活支援特別給付金(低所得世帯分)支給事業	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、特に家計への影響が大きい子育て世帯のうち、市町村民税所得割非課税世帯等を支援するために生活支援特別給付金を支給した。 ・対象者 27世帯 対象児童 53人 ・支給額 児童一人あたり 30,000円 1,590,000円(県補助) (3,499,291円)
子育て世帯価格高騰対策支援給付金支給事業	価格高騰等に直面する子育て世帯の負担軽減を図るため、18歳以下の子どもを育てる世帯に対して、市単独事業として、子育て世帯価格高騰対策支援給付金支給事業を実施し、給付金を支給した。 ・対象者 3,846世帯 対象児童 6,569人 ・支給額 児童一人あたり 10,000円 65,690,000円 (67,992,954円)
私立幼稚園教育振興事業	1 価格高騰対策支援事業 物価高騰等による影響を受けている市内2私立幼稚園に対して、光熱水費等の一部を負担した。 570,000円 2 私立幼稚園運営費等補助事業 幼児教育の推進、充実支援のため、市内3私立幼稚園に対して運営費等の補助を行った。 3,738,160円 3 多子世帯副食費支援事業 幼児教育・保育の無償化により施設が保護者から実費徴収する副食費について、多子を養育する世帯に対する減免(第2子50%、第3子以降100%)を実施した。 1,348,670円 (87,559,195円)
子ども家庭総合支援拠点事業	子どもが心身ともに健やかに育成されるよう、子どもとその家庭及び妊産婦の福祉に関し、必要な実情の把握に努め、情報の提供を行い、家庭その他からの相談に応じ、調査及び指導を行うとともに、その他の必要な支援を行った。 ・家庭児童相談は、家庭児童相談員により家庭、保育園等における児童に係わる相談、指導を行った。 相談件数 延べ 3,552件 ・要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関の連携を図った。 代表者会議1回、実務者会議4回、研修会1回、 ケース検討会88回 ・児童福祉法の改正に伴い努力義務化された「こども家庭センター」の令和6年度の設置に向けて、庁内協議、調整を行った。 関係課会議9回、庁内会議2回、総合教育会議1回
旧東堀保育園敷地売却事業	旧東堀保育園の土地について、一般競争入札を行い売却した。 ・契約日 令和6年3月28日 ・面積 土地:2,418.81㎡ ・売却額 45,120,000円
子ども・子育て支援審議会	子ども・子育て支援法に基づく審議会として、子育て支援施策に関する審議を行うために会議を開催した。 ・岡谷市川岸学園整備基本計画に関する報告等 審議会 2回開催 94,500円

保育園整備計画の推進	令和4年度に策定した岡谷市保育園整備計画中期計画に基づき、川岸小学校地内に公立の幼保連携型認定こども園を整備することについて、岡谷市川岸学園整備基本計画の策定を行った。

第3 主な統計、行政資料等

1 児童福祉

(1) 児童福祉施設入所状況

施設別	年度当初(5.4.1)	年度末(6.3.31)
保 育 所 等	※きらり、信学会含 人 1,071	人 1,150
乳 児 院	2	2
養 護	17	16
児 童 自 立 支 援	1	0
情 緒 障 が い 児	0	0
里 親	2	1
そ の 他	0	0
計	1,093	1,169

(2) 家庭児童相談状況

種 別	相談件数	種 別	相談件数
養護相談	3,221 件	保健相談	0 件
障がい相談	0	非行相談	0
育成相談	176	その他	155
計			3,552

2 子育て支援館「こどものくに」利用状況

年度	登録組数	利用延べ組数	利用者数
令和5年度(A)	組 1,529	組 12,335	人 30,936
令和4年度(B)	1,160	9,666	22,808
増減(A)-(B)	369	2,669	8,128

3 保育所

(1) 保育所別児童入所状況

区分 保育所			児 童 数			うち広域入所 (受託)児童数 (延べ)
			定 員	延べ人員	月平均人員	
			人	人	人	
市 内 公 立 保 育 所 等	公 立	小口保育園	110	874	73	12
		今井保育園	90	560	47	4
		あやめ保育園	120	1,511	126	
		川岸保育園	90	1,154	96	
		夏明保育園	60	75	6	
		成田保育園	90	681	57	20
		みなと保育園	90	506	42	
		長地保育園	150	1,176	98	
		若草保育園（休園）	90	0	0	
		西堀保育園	120	1,175	98	
		神明保育園	120	1,343	112	
		横川保育園	90	944	78	3
		つるみね保育園	90	108	9	
		計	1,310	10,107	842	39
	私 立	信学会東堀こども園 (2、3号)	120	1,471	122	
		聖ヨゼフ保育園岡谷	80	872	73	23
		ひまわり保育園	60	803	67	2
		きらり岡谷市民病院園	19	142	12	
計		279	3,288	274	25	
合 計		1,589	13,395	1,116	64	
市外保育所等（委託）		－	176	15	－	
総 合 計		－	13,571	1,131	64	

※合計欄の月平均人員は合計延べ人員を12ヶ月で除したものです。

(2) 保育料階層別児童状況

区 分	年間延べ人数			
階層\保育料負担	全額	半額	6,000円減	無料及び無償化
	人	人	人	人
第 1 階 層				12
第 2-1 階 層				538
第 2-2 階 層				350
第 3-1 階 層				245
第 3-2 階 層	70	71		452
第 4 階 層	354	268	77	1,403
第 5 階 層	648	541	176	3,010
第 6 階 層	354	319	128	2,680
第 7 階 層	37	25	36	482
第 8 階 層	39	6	64	452
計	1,502	1,230	481	9,624
合 計	12,837(広域入所及び公立交流保育児童を除く。)			

(3) 特別保育事業

区 分		実施保育所	保育時間
長時間保育	平日	小口、今井、あやめ、川岸、夏明、成田、みなど、長地、西堀、神明、横川、つるみね、信学会東堀こども園、聖ヨゼフ岡谷	7:30～19:30
		ひまわり	7:00～19:30
		きらり岡谷市民病院園	7:30～20:00
	土曜	小口、今井、あやめ、川岸、夏明、成田、みなど、長地、西堀、神明、横川、つるみね	7:30～18:30
		聖ヨゼフ岡谷、信学会東堀こども園	7:30～19:30
		ひまわり	7:00～18:30
		きらり岡谷市民病院園	7:30～20:00
一時保育	あやめ、つるみね、聖ヨゼフ岡谷		8:00～16:00
	ひまわり		7:00～18:30
	きらり岡谷市民病院園		8:00～17:00
休日保育	あやめ		8:00～19:00

4 幼稚園児数及び学級数

(令和5年5月1日現在)

	定 員	学級数	在園児数	うち市内在住者
聖母幼稚園	70	3	65	52
ヤコブ幼稚園	60	3	59	40
瑞穂幼稚園	105	3	10	4
信学会東堀こども園 (1号)	30	- (保育認定と同室)	9	9
計	265	9	143	105

健 康 推 進 課

第1 概説

健康推進課では、「第3次岡谷市健康増進計画」に基づき、福祉、医療との連携を図りながら、総合的な健康づくりを推進した。

岡谷健康福祉施設については、電気・ガス等の価格高騰により、施設管理運営への影響が大きかったことから、物価高騰対策として指定管理者に対し支援を行った。

また、排煙オペレーター装置修繕工事、男女浴槽ろ材交換、配管洗浄等施設機器修繕工事を実施し、安全な施設の維持に努めた。

予防事業では、感染症の予防と蔓延防止を目的とした各種予防接種を実施した。

母子保健事業では、母子保健法に基づく妊婦一般健康診査、産婦健康診査、乳幼児健康診査、産後ケア事業、母子訪問指導及び各種教室等を実施したほか、新たに聴覚障がい早期発見・早期療育を目的として新生児聴覚検査を開始した。

また、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と、妊娠・出産時の関連用品等購入費の助成や子育て支援サービス等の利用者負担軽減を図るための経済的支援「出産・子育て応援給付金」を一体的に実施する「出産・子育て応援給付金事業」を実施し、妊娠・出産・育児に関する知識の普及を図るとともに、安心して子育てのできる環境づくりに努めた。

健康管理事業では、第3次岡谷市健康増進計画に基づく「健活プロジェクト」を展開し生活習慣病予防対策等の強化を図るとともに、事業開始から3年目となる「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業」では、高齢者の多様な課題に対し、個別的支援や通いの場等への関与など、きめ細やかな支援に努めた。

また、各種検診を実施するとともに、検診受診者等に「オカヤペイ」のポイントを付与する「健康ポイント事業」を実施し市民の健康増進に対する意識の啓発を図った。

がん患者の就労や社会参加などを支援するため、治療に伴う補整具等の購入費の一部を助成する「がん治療アピアランスケアサポート事業」を新たに開始した。

岡谷市看護専門学校では、岡谷市病院事業をはじめとする実習受入れ機関の協力のもと、所定のカリキュラムに基づいた教育を行い、地域医療に貢献する看護師の養成に取り組んだ。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
岡谷健康福祉施設管理事業 (ロマネット)	指定管理者に頼やまびこスケートの森を指定し、市民の健康福祉の増進に努めた。 ・利用者数 248,423人 (開館日数313日、1日平均793人) 〔 朝風呂 52,130人 浴室利用 194,800人 無料利用者 1,493人 〕 ・利用料収入 90,643,906円 ・ロマネット設備機器修繕工事 3,971,000円 ・男女浴室シャワーヘッド・ホース修繕工事 418,000円 ・排煙ホーダー修繕工事 770,000円 また、電気・ガス等の価格高騰により、施設の管理運営への影響が大きかったことから、物価高騰対策として支援を行った。 6,309,315円 (12,241,359円)
保健衛生総務管理事務	1 休日在宅当番医制事業 住民の休日における初期救急医療の確保のため、休日在宅当番医制事業を岡谷市医師会へ委託し実施した。 1,758,950円 2 病院群輪番制病院運営事業 住民の夜間、休日における入院治療を必要とする重症救急患者の医療確保のため、諏訪広域連合で諏訪地域の6病院を指定し、病院群輪番制病院運営事業を行った。 8,123,218円 3 諏訪地区小児夜間急病センター運営事業 諏訪広域連合へ岡谷市負担分を支出し、諏訪地区小児夜間急病センターの運営事業を行った。(令和6年3月31日運営終了) 4,623,516円 4 看護師修学支援貸付金 岡谷市看護専門学校对学生に対し、修学支援として貸付金の貸与を行った。 4件 1,200,000円 5 献血事業 医療用血液確保のため、長野県赤十字血液センター(諏訪出張所)、諏訪保健福祉事務所とともに、市内事業所への献血協力依頼や街頭献血等を実施した。年間献血者数 延べ1,221人 (211,072,348円)
保健センター管理事業	各種健(検)診、健康教室、栄養教室等の受診・受講者が安全に利用できるよう、保健センターの管理を行った。 ・岡谷市保健センター外壁防水改修工事他 計8件 3,362,150円 (5,167,852円)
保健委員事業	市民一人ひとりが健康への関心を高め、健康づくりを実践していただけるよう地域で活動する保健委員連合会に対し活動負担金の助成を行うとともに、その活動や会の運営に対して支援を行った。 ・保健委員連合会活動負担金 1,964,106円 ・保健委員連合会役員会 2回 10人 ・保健委員連合会理事会 1回 22人 ・地区保健委員会いきいき健康学習 341回 4,921人

	・保健事務嘱託員研修 3回117人 (4,626,197円)
予防事業	予防接種法及び感染症法による感染症の予防と蔓延防止を目的とした予防接種を実施した。 【個別接種】 麻しん風しん混合（第1期・第2期）、日本脳炎(第1期・第2期・特例)、水痘、子宮頸がん、H i b、小児用肺炎球菌、B型肝炎、四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ）、二種混合（ジフテリア・破傷風）、B C G、ロタウイルス、高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌 ・風しんの追加的対策 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象に、風しん抗体検査及び予防接種を行い、風しんのまん延防止と先天性風しん症候群の発症を予防した。 令和元年度から令和3年度までの3年間の時限措置であったが、令和4年度から更に3年間延長となった。 令和5年度の対象者（昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性）の内未受診者3,348人 抗体検査受診者134人 抗体検査受診者のうち抗体価陰性の方28人 陰性の方のうち予防接種を受けた方23人 919,976円 ・定期予防接種県外接種者給付金 給付実績12人（6ワクチン41回）737,992円 (120,236,520円)
母子保健事業	母性並びに乳幼児の健康の保持増進を図るため、妊産婦、乳幼児及びその家族等に対して、各種教室や相談事業を実施し、妊娠・出産・育児に関する知識の普及を図るとともに、安心して子育てができる環境づくりに努めた。 1 母子健康手帳の交付 妊娠届の受理を行い、母子健康手帳の交付を行った。また、交付の際、マタニティアンケートを実施し、妊婦の健康状態や生活の状況を把握し、必要な保健指導を行った。 母子健康手帳発行数240件 2 相談事業 (1) 保健センター育児相談 ・育児相談毎月2回24回310人 ・栄養相談毎月2回24回199人 ・歯科相談毎月2回24回93人 (2) 随時相談 ・面接相談18件 ・電話相談76件 (3) 女性のための健康相談 妊娠や出産にかかわる相談や思春期から更年期まで女性の健康に関する相談について、助産師が予約制の個別相談を実施した。 2回2件 3 教室関係 ・パパママ教室12回235人 ・離乳食教室34回200人 ・2歳児にこにこ教室15回266人 待ち時間を短縮するため、時間を分けて案内し実施した。 ・ほっこり子育て応援講座0回0人

	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。育児不安等の相談は予約心理相談を案内した。		
	・むし歯予防教室（フッ素塗布）	15回	256人
	・思春期健康教育事業 市内4中学校3年生	5回	388人
4	保育園・学校歯科指導		
	・保育園・幼稚園	29回	692人
	・小・中学校	9回	257人
5	不妊及び不育症治療費助成事業 不妊治療等を行っている夫婦に医療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った。		
	助成件数	48件	1,401,628円
	《内訳》		
	・一般不妊治療	19件	538,700円
	・生殖補助医療	29件	862,928円
6	未熟児養育医療給付事業 養育のために入院が必要な未熟児に対して、その養育に必要な医療費の支給を行った。		
	給付実件数	1件（延べ給付件数1件）	
	給付延べ日数	8日	
	総医療費		97,435円
	※うち公費負担額		84,265円
7	授乳・育児相談等事業 産後の母親を対象に助産師による「乳房マッサージ等乳房管理指導」、「沐浴・授乳等育児指導」を医療機関等に委託し実施した。		
			478,000円
	・委託医療機関 延べ利用回数		232回
	・その他医療機関 延べ利用回数		7回
8	産後ケア事業（短期入所型・通所型） 産後支援を必要とする母子に対して、医療機関等で宿泊等による心身のケアや育児サポート等を行った。		
	・利用者数 短期入所型12人、通所型6人		
	・延べ利用日数 34日		
9	妊婦一般健康診査 母体及び胎児の継続的な健康管理を行うため、妊娠中の健康診査（基本健康診査（14回）・追加検査（5回）・超音波検査（4回）※（）内標準回数）を実施した。		
	○長野県医師会及び長野県助産師会に委託。		
	・受診券交付人数		240人
	・健診受診者実人数		357人
	・基本健診延べ受診回数		2,820回
	・追加検査延べ受診回数		1,106回
	・超音波検査延べ受診回数		905回
	○里帰り等により県外で受診した経費について助成。		
	・助成件数		10件
	・延べ受診回数		41回
	・補助金支給合計額		257,610円
10	産婦健康診査 母体の身体的機能の回復、授乳状況及び精神状態の把握等のため、産後2週間・1か月の産婦に対する健康診査を実施した。		

	○長野県医師会及び長野県助産師会に委託。 ・受診券交付人数 240人 ・健診受診者実人数 226人 ・2週間健診延べ受診回数 169回 ・1か月健診延べ受診回数 204回 ○里帰り等により県外で受診した経費について助成。 ・助成件数 8件 ・延べ受診回数 13回 ・補助金支給合計額 58,120円 1.1 新生児聴覚検査 聴覚障がいによる音声言語発達等への影響を最小限に抑えるため、早期発見・早期療育を目的とする新生児聴覚検査を実施した。 ○長野県医師会及び長野県助産師会に委託。 ・受検票交付人数 369人 ・受検実人数 202人 ○里帰り等により県外で受検した経費について助成。 ・助成件数 6件 ・補助金支給合計額 27,250円 1.2 家庭訪問指導事業 乳幼児のいる家庭に対して訪問を実施し、乳幼児健康診査や予防接種をはじめ育児に関する情報を提供するとともに、産婦及び乳幼児の健康管理を行った。また、必要者には継続的な支援や必要なサービスの提供を行った。 (1) 訪問指導 ・妊産婦訪問 221人(延べ225人) ・乳幼児訪問 236人(延べ285人) (2) 産後ママサポート事業 産後、産婦及び乳児の世話をしている者がいない家庭に、育児・家事等の援助をするために、支援員を派遣した。 3件(延べ回数16回 延べ利用時間26時間) (40,288,360円)
乳幼児健康診査事業	乳幼児の健康の保持増進を図るため、疾病の早期発見のための健康診査を行うとともに、必要な保健指導を行った。 1 乳幼児健康診査 岡谷市医師会及び岡谷下諏訪歯科医師会の協力のもと、乳児(3～4か月児、9～10か月児)、幼児(1歳6か月児、3歳児)を対象に、各健康診査につき毎月1回実施した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時間を分けて案内し、時間短縮で実施した。 2 個別指導 ・母性相談(3～4か月児健康診査時実施) 210人 ・歯科指導(9～10か月児健康診査時実施) 239人 ・離乳食指導(9～10か月児健康診査時実施) 239人 (3,799,140円)
出産・子育て応援給付金事業	妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と、妊娠・出産時の関連用品等購入費の助成や子育て支援サービス等の利用者負担軽減を図るための経済的支援「出産・子育て応援給付金」を一体的に実施した。

	1 伴走型相談支援 (1) 妊娠届出時面談 240件 (2) 妊娠8か月アンケート 223件 (3) 赤ちゃん訪問 216件 2 出産・子育て応援給付金 (1) 出産応援給付金 515件 25,750,000円 (2) 子育て応援給付金 356件 17,800,000円 (50,442,369円)
栄養改善事業	岡谷市食育推進計画に基づき、生涯にわたり健康で心豊かな生活を送ることができるよう、食育情報の発信や栄養相談等、食育の推進に努めた。 1 各種栄養講座、栄養相談 ・おいしくたのしく栄養講座 3回 延べ参加者 43人 ・料理動画を撮影し、シルキーチャンネルで放映した。 5回 ・出前講座・その他の講座等 9回 延べ参加者 369人 ・介護保険証交付説明会栄養ミニ講座 12回 参加者 263人 2 食育の周知啓発 ・食育推進講演会 - 講演「奥原希望の親として～大切にしてきたこと～」 - 期日 令和5年10月31日(火) 参加者 70人 - 場所 岡谷市役所9階大会議室 - 講師 奥原 秀子氏 ・ホームページを活用した食育情報の発信 毎月1回 ・もっと野菜を食べよう！運動の推進 - 野菜レシピの周知・配布(各支所、イベント等) 17箇所 - ホームページを活用した野菜レシピの掲載等 3 食生活改善及び食育推進活動における地区組織の育成支援として、岡谷市食生活改善推進協議会の学習会等を実施した。 23回 延べ参加者 225人 (775,469円)
健康づくり推進事業	第3次岡谷市健康増進計画に基づき、生活習慣病予防をはじめ、健康の保持増進を図るための正しい知識や情報を提供するため、健活プロジェクトとして健康づくり講演会や各種教室、健康相談等を実施し、市民の健康の保持増進のための啓発を行った。また、これまでの取組を検証し、更なる施策の充実をはかることを目的に「第4次岡谷市健康増進計画」を策定した。 1 健康づくり講演会 (1)「ネモケン先生の健康づくりウォーキング」 ・講師 松本大学大学院 健康科学研究科 教授 根本 賢一氏 ・期 日 6月10日(土) ・場 所 岡谷市民総合体育館(スワンドーム) ・参加者 110人 (2)「今日から実践！糖尿病を防ぐ暮らし方」 ・講師 岡谷市民病院 糖尿病センター長兼 糖尿病・内分泌代謝内科部長 佐藤 亜位氏 「簡単に血糖値が下がる！？糖尿病予防エクササイズ」 ・講師 岡谷市民病院 リハビリテーション科 増澤尚樹氏、小口高義氏 ・期 日 10月7日(土) ・場 所 カノラホール小ホール ・参加者 約100人

- 2 口腔衛生推進研修会(公開講座)
「口腔ケアとがん治療の関係について」
 - ・講 師 諏訪赤十字病院 特殊歯科口腔外科部長
宮澤 英樹氏
 - ・期 日 3月9日(土)
 - ・場 所 カノラホール大ホール
 - ・参加者 約300人
- 3 岡谷市民健康づくりのつどい
 - ・期 日 10月7日(土)
 - ・場 所 岡谷市保健センター
 - ・参加者 約250人
 - ・内 容 健康相談、歯科相談、スタンプラリー等
- 4 健康ポイント事業
健診受診者や健康づくりに関する講演会の参加者に「オカヤペイカード」のポイント引換券を配布し、加盟店等でオカヤペイカードにポイントの付与を行うことで、市民の健康づくりや健康増進に対する意識の啓発を図った。(662,564円)
 - ・後期高齢者健診(人間ドック・基本健診・生保健診含む)受診者引換券(200P)発行数 1,234枚 引換数 708枚(57.3%)
 - ・がん検診等の受診者引換券(100P)発行数 6,639枚 引換数 3,759枚(56.6%)
 - ・講演会の参加者引換券(50P)発行数 410枚 引換数 231枚(56.3%)
(健康推進課のほか、医療保険課、介護福祉課で予算計上し実施)
- 5 “未来のげんきっず”応援事業
子育て家庭への経済的負担を軽減するため、子育て関連支援講座の受講時にオカヤペイポイントを贈呈した。(37,818円)
 - ・パパママ教室・離乳食教室受講者引換券(250P)発行数 274枚 引換数 121枚(44.1%)
(健康推進課のほか、子ども課で予算計上し実施)
- 6 健康相談
健康、栄養、歯に関する健康相談等を随時行った。

・一般健康相談	面接 38件	電話 135件
・栄養相談	面接 55件	電話 111件
・歯科相談	面接 5件	電話 3件
・歯っぴー相談(こどものくに)	24回	延べ128人
- 7 訪問指導
 - ・特定健診後の訪問指導 延べ 28件
- 8 第4次岡谷市健康増進計画の策定
次期岡谷市健康増進計画(2024年度～2029年度)を計画策定専門委員会、岡谷市健康づくり推進協議会、関係機関・団体との懇談会、パブリックコメント等において意見聴取を行い策定した。なお、本計画では「自殺対策計画」を包含し策定した。
 - (1) 第4次健康増進計画策定専門委員会の開催 2回
 - (2) 岡谷市健康づくり推進協議会 2回
 - (3) パブリックコメント
 - ・募集期間
令和5年12月4日(月)から12月25日(月)
 - ・計画(案)公表場所
岡谷市HP、市役所情報公開コーナー、健康推進課、市内3支所及び市役所イルフプラザ出張所

9 自殺対策推進事業

岡谷市自殺対策計画に基づき、地域における自殺対策の強化を図った。

(1) ゲートキーパー養成講座

ア 岡谷市民生児童委員協議会

- ・期 日 8月24日(木)
- ・場 所 庁舎9階大会議室
- ・講 師 岡谷市民病院 公認心理師 増田 美奈氏
- ・参加者 66人

イ 岡谷市職員

- ・期 日 1月26日(金)
- ・場 所 庁舎9階大会議室
- ・講 師 岡谷市民病院 公認心理師 増田 美奈氏
- ・参加者 51人

(2) 周知・啓発

ア 啓発リーフレット配布 6,735枚

イ 啓発ティッシュ配布 5,911個

ウ こころの体温計(メンタルヘルスセルフチェックシステム)

市民がうつ病等のメンタル面の問題に対し、携帯電話やパソコンの端末を使って、気軽にチェックを行うことで、心の健康に目を向けるきっかけを作るとともに、相談できる窓口の周知を図った。

・アクセス総数 11,080回

(3) 地域におけるネットワークの強化

ア 岡谷市自殺対策推進本部会議 1回

イ 庁内連携推進会議 1回

10 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業

高齢者の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため、保健事業と介護予防に係る各種事業を実施した。

(1) 高齢者に対する個別的支援

ア 後期高齢者健康診査の結果に基づき、生活習慣病の重症化を予防するため、保健師、管理栄養士が保健指導等を行った。 実施者数97人

イ シニア運動療法教室

糖尿病性腎症の重症化を予防するため、本人及びかかりつけ医の同意が得られた者に対し、運動・栄養指導を行った。

1クール9回の教室を2クール実施 実施者数12人

(2) 通いの場等への関与

ア フレイル予防講座

・実施数 11箇所 回数14回 参加者249人

イ 食を通じた健康づくりパネル展

ライフステージに応じた健康づくりやフレイル予防に関するパネル展を実施するとともに、同期間中の2日間、健康相談を行った。

・期間 令和5年8月18日(金)～8月30日(水)

・場所 諏訪湖ハイツ1階ロビー(健康相談201研修室)

・健康相談 令和5年8月21日(月)、29日(火)

参加者数 37人

11 アピアランスケアサポート事業

がん患者の就労、社会参加の促進等の療養生活の質の維持向上を目的とし、がん治療に伴う補整具の購入費用の一部を助成した。

	・助成件数 20件（頭髮補整具18件、乳房補整具2件） ・助成金支給額 400,000円 (5,360,867円)
健診推進事業	基本健康診査、がん検診（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん）、結核健康診断、成人歯科健康診査、二十歳の歯科健康診査、三十歳の歯科健康診査、妊婦歯科健康診査、緑内障検診、後期高齢者健康診査、ABC検診、肝炎ウイルス検査の各種健診を実施するとともに、後期高齢者人間ドックの助成を行い、疾病の予防、早期発見、早期治療の促進に努めた。 (53,383,530円)
新型コロナウイルス感染症対策	令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更されたことに伴い、令和5年5月7日をもって本市新型コロナウイルス感染症対策本部を廃止するとともに、新たな感染症対策が必要となった際は、直ちに岡谷市対策幹事会を設置し、市民の生命と生活を守るための対策を講じることとした。 （令和5年4月28日本部会議で決定。）
看護専門学校運営事業	《主な学校行事等》 - 入学式 ・期 日：令和5年4月5日（水） ・入学生：26名（10回生） - 岡谷市看護専門学校祭「第10回もりのこだま祭」 ・期 日：令和5年9月30日（土） 地域に根づく学校として地域住民と交流を深めるとともに、学習の成果の発表や次年度の入学試験について説明する場として、学生が運営主体となり開催した。 - 入学試験（11回生） 社会人入学試験 ・期 日：令和5年11月11日（土） ・受験者数：2名 ・合格者数：1名 ・入学者数：1名 一般入学試験 ・期 日：令和6年1月4日（木）・5日（金） ・受験者数：15名 ・合格者数：15名 ・入学者数：15名 - 看護師国家試験 ・期 日：令和6年2月11日（日） 9回生15名、8回生3名が看護師国家試験を受験し、9回生全員が合格した。 - 卒業式 ・期 日：令和6年3月8日（金） ・卒業生数：15名（9回生） - 授業料等免除 ・低所得者世帯の学生に対し、国の基準により減免を実施した。 ・対 象 者 2名 ・減免額計 授業料 △278,000円 入学金 △116,700円 (18,708,494円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 予防接種の内訳

(1) 小児（A類疾病）

区 分			対 象 者	実 施 者 数	備 考
四種混合 ジフテリア 百日せき 破傷風 不活化ポリオ	1 期	初回 3 回	生後 2 か月～7 歳半未満	人 延べ 705	通年 実施医療機関
		追加		262	
二種混合 ジフテリア 破傷風		2 期	11 歳以上 13 歳未満	315	
麻しん風しん混合		1 期	1 歳～2 歳未満	269	
		2 期	5 歳以上 7 歳未満で小学校入学前の 1 年間	293	
B C G			1 歳未満	214	
日本脳炎	1 期	初回 2 回	生後 6 か月～7 歳半未満	延べ 550	
		追加		300	
	2 期		9 歳以上 13 歳未満	358	
	特例措置		20 歳未満	300	
子宮頸がん予防（3 回）			小学 6 年生～高校 1 年生 相当の女子	延べ 342	
			キャッチアップ対象者	延べ 575	
H i b（4 回）			生後 2 か月～5 歳未満	延べ 898	
小児用肺炎球菌（4 回）			生後 2 か月～5 歳未満	延べ 900	
水痘（2 回）			1 歳～3 歳未満	延べ 516	
B 型肝炎（3 回）			1 歳未満	延べ 639	
ロタウイルス（2 回または 3 回）			生後 6 週～生後 24 週及 び生後 32 週	延べ 450	

(2) 定期予防接種県外等接種者

区分	四種混合	H i b	小児用肺炎球菌	B型肝炎	ロタウイルス	子宮頸がん
給付者数	人 2	人 2	人 2	人 2	人 2	人 10
接種回数	回 4	回 4	回 4	回 3	回 3	回 23

(3) 高齢者（B類疾病）

区 分	対 象 者	対 象 数	実 施 数	備 考
インフルエンザ	・ 65 歳以上 ・ 60 歳～65 歳未満で法に定める者	人 16,262	人 8,958	10 月～1 月 実施医療機関
高齢者用肺炎球菌	・ 年度年齢 65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100 歳以上 ・ 60 歳～65 歳未満で法に定める者	2,166	477	通年 実施医療機関

2 母子保健指導事業

(1) 妊娠届出の状況

妊娠届出数			妊娠月数別届出状況				
届出総数	初産婦	経産婦	11 週以内	12～19 週	20～27 週	28 週～分娩まで	分娩後
人 240	人 107	人 133	人 233	人 3	人 3	人 1	人 0

(2) 乳幼児健康診査

区 分	該当 児数	受診 児数	受診 率	異常 なし	所見 あり	所見ありの区分			う 歯 率	1 人当 りう歯 本数
						要観察	要精検・ 要治療	治療 継続		
3～4 か月児	人 220	人 216	% 98.2	人 146	人 70	人 29	人 11	人 30	% —	本 —
9～10 か月児	241	239	99.2	156	83	17	8	58	—	—
1 歳 6 か月児	264	256	97.0	138	118	88	4	26	0.8	0.01
3 歳児	280	268	95.7	153	115	73	37	5	2.2	0.06

3 健康診査

(1) がん検診等

項 目		回数及び 実施期間	受診 者数	結 果 別 人 員				
				異 常 な し	要 精 検 者		要 精 検 者 の 主 な 内 訳	
							が ん で あ っ た 者	未 受 診
胃がん検診（X線）		28 回	人 654	人 599	人 55	% 8.4	人 0	人 6
A B C 検 診			55	48	7	12.7	0	2
肝炎ウイルス検査			57	57	0	0.0	0	0
大腸がん検診			1703	1583	120	7.0	2	25
肺がん検診（X線）			988	957	31	3.1	0	4
肺がん検診（C T）			443	406	37	8.4	2	4
結核健診			149	145	4	2.7	0	0
乳がん検診	超音波	21 回	775	769	6	0.8	2	0
	マンモ	54 回	661	615	46	6.9	1	1
子宮頸がん検診(頸部)		7 月～3 月	1,140	1,125	15	1.3	1	4
子宮頸がん検診(体部)			(再掲) 90	90	0	0	0	0

(2) 成人歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
148 人	8 月～3 月	22 人	27 人	99 人

(3) 二十歳の歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
24 人	8 月～3 月	8 人	6 人	10 人

(4) 三十歳の歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
20 人	8 月～3 月	3 人	4 人	13 人

(5) 妊婦歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
67 人	通年	11 人	20 人	36 人

(6) 緑内障検診

受診者数	実施期間	受診結果	
		異常なし	要精検・有所見
658 人	7 月～10 月	509 人	149 人

(7) 後期高齢者健診

受診者数	実施期間	受診結果			
		異常なし	経過観察	要医療	治療継続
972 人	6 月～11 月	4 人	117 人	464 人	387 人

(8) 後期高齢者人間ドック

受診者数	内訳	
156 人	日帰り	1 泊 2 日
	146 人	10 人

4 看護専門学校学生数

(令和5年5月1日現在)

区分	入学定員	総定員	1年生	2年生	合計
人数	30名	60名	27名	16名	43名

5 看護専門学校講師派遣協力機関及び実習受入れ機関の状況

講師派遣協力機関	飯田短期大学、飯田病院、今井整形外科、牛山医院、浦野歯科医院、岡谷市民病院、岡谷市役所、カタギリ心理面接室、上諏訪病院、栗田病院、公立諏訪東京理科大学、こころの医療センター駒ヶ根、信州大学全学教育センター、信州豊南短期大学、諏訪保健福祉事務所、諏訪湖畔病院、諏訪赤十字病院、はなみずきの郷、林眼科医院、松本歯科大学、松本大学、祐愛病院（五十音順）
実習受入れ機関	エコファおかや、岡谷市病院事業、岡谷市役所、岡谷市訪問看護ステーション、希望の里つばさ、信濃医療福祉センター、市立保育園、諏訪湖畔病院、諏訪マタニティークリニック、ソレイユ、通所介護（デイサービス）さわらび、ひだまり作業所、ひだまりの家、養護老人ホーム岡谷和楽荘（五十音順）

新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス
感 染 症 対 策 室

第1 概説

新型コロナウイルス感染症対策室では、国の指針に基づき、岡谷市医師会や岡谷市民病院など関係機関と連携・協力し、集団接種及び個別接種により、新型コロナウイルスワクチン接種を希望する市民に対して安全且つ迅速にワクチン接種を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更後の基本的感染対策について、ホームページ等により市民に周知するなど、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めた。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
新型コロナウイルスワクチン接種事業	岡谷市医師会や岡谷市民病院等との連携・協力により、令和4年秋開始接種、令和5年春開始接種、令和5年秋開始接種を希望する接種対象者に実施した。 あわせて、乳幼児接種(生後6か月から4歳)、小児接種(5歳から11歳)、初回接種を希望する接種対象者に実施した。 - 令和4年秋開始接種(令和5年5月7日まで) 初回接種を完了した5歳以上の住民を対象に、追加接種としてオミクロン株対応2価ワクチンの接種を実施した。 (1人1回) - 令和5年春開始接種(令和5年9月19日まで) 重症化リスクの高い方(65歳以上の方、12歳から64歳までのうち基礎疾患を有する方、医療従事者・高齢者施設従事者等)を対象に、令和5年春開始接種を実施した。 - 令和5年秋開始接種(令和6年3月末まで) 初回接種を終えたすべての方を対象に、オミクロン XBB.1 系統の株に対応した1価ワクチンの接種を実施した。 - 初回接種(年間) 年間を通し、初回接種が完了していない接種を希望する者に対し接種機会を設け、接種を実施した。 - 乳幼児接種(生後6か月から4歳) 初回接種(1・2・3回目) - 小児接種(5歳から11歳) 初回接種(1・2回目) 12歳以上 初回接種(1・2回目) (187,662,125 円)

產 業 振 興 部

工 業 振 興 課

第1 概説

工業振興課では、「岡谷市工業活性化計画」に基づき、本市の基幹産業である製造業の振興と活性化を図るための企業支援等、さまざまな施策を実施するとともに、令和6年度から令和10年度までを計画期間とした新たな「岡谷市工業活性化計画」を策定した。また、地域未来投資促進法に基づき、令和6年3月22日から令和10年度までを計画期間とした第2期となる「長野県諏訪圏6市町村基本計画」を長野県と諏訪圏6市町村で策定した。そのほか、テクノプラザおかやものづくりフェア2024を開催し、ものづくりへの意識の醸成と市内製造業のPRを図った。

産業政策事業では、市内企業の流出防止及び事業拡張を支援するため、岡谷市商工業振興条例に基づく補助金の承認・交付を行ったほか、先端設備等導入計画の認定事務、地域経済牽引事業に関する課税免除の条例等による、中小企業の設備投資の促進を図った。また、信州大学との連携による小型ロケットをキーとした連携強化事業を実施した。

工業支援事業では、デジタル化の推進、生産性の向上、新技術開発や次世代産業への参入の取組のほか、カーボンニュートラルに向けた温室効果ガスの排出量の把握や削減対策などを実施し、市内企業の成長の後押しや事業の継続を下支えした。また、長野県及び本市の制度資金により円滑な事業資金の確保を支援するとともに、中小企業経営技術相談所では、経営・金融、受発注、加工技術、事業承継など企業の課題解決に向けて、きめ細やかな相談業務を実施した。そのほか、テクノプラザおかやの適正な管理運営を行うとともに、大研修室兼展示場照明LED化更新工事を実施した。

雇用対策事業では、企業の人材確保を後押しするため、大学と連携し企業の就業体験やインターンシップの積極的な活用促進を図った。また、採用活動のオンライン化への取組に対する補助事業や企業の採用力向上に対するセミナー、個別相談を実施したほか、新規学卒者の支援として、就職説明会と合わせて就職活動を支援するセミナーを開催し、地元就職及びUIJターンの促進を図った。中学生及び高校生のキャリア教育支援では、地元企業担当者による講話のほか、市内の高校において合同企業研究会を実施し、意識の醸成及び地元企業への就業促進を図った。そのほか、勤労者福祉推進団体である（一財）諏訪湖勤労者福祉サービスセンターの育成・支援及び指定管理者による勤労者福祉施設の管理運営を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
労務管理事業	1 巡回労働相談 南信労政事務所と連携し、雇用や労働条件及び人事・労務管理に関わる出前相談会を実施した。 ・相談員 南信労政事務所 労働相談員 ・場所 勤労青少年ホーム (0円)
勤労者福祉対策事業	1 勤労者福祉等推進事業団体の育成・支援 (一財)諏訪湖勤労者福祉サービスセンター補助金 ・交付金額 15,282,000円 (15,286,900円)
労働金庫預託金	1 労働金庫預託金 勤労者生活資金融資を行うための貸付原資を労働金庫に預託した。 ・預託金額 30,000,000円 2 勤労者生活資金融資 ・令和5年度新規融資件数 8件 ・年度末融資残高 30,100,074円 (30,000,000円)
若年人材確保事業	1 就業体験・インターンシップの促進 (1) 就業体験・インターンシップ個別相談 ・期 日 5月30日(火)、31日(水) ・場 所 市内企業 ・協 力 (株)シンミドウ ・参加企業 4社 (2) 大学生就業体験・インターンシップ ・期 日 8月21日(月)～25日(金) ・場 所 市内企業、テクノプラザおかや ・参加企業 2社 ・参加学生 2名 2 新入社員・若手社員フォローアップ研修 ・期 日 11月21日(火) ・場 所 テクノプラザおかや ・参加者数 13社 33名 3 採用力向上セミナー ・期 日 4月26日(水) ・場 所 テクノプラザおかや ・講 師 (株)シンミドウ 松村 亮平 氏 ・参加者数 21名 4 採用活動企業 個別相談 ・期 日 6月～8月 5日間 ・場 所 市内企業 ・協 力 (株)シンミドウ ・参加企業 12社 5 大学訪問事業 市内企業の若年人材確保及びU I J ターン就職を促進するため、県内大学及び県外の大学訪問を実施した。 ・県内の大学、短大等 6校、県外の大学、短大等 8校 6 高校生のための岡谷市合同企業研究会 (1) 岡谷東高等学校

	・期 日 5月29日（月） ・参加者数 264名 ・参加企業 63社（うち市内企業22社）
	(2) 岡谷工業高等学校 ・期 日 6月22日（木） ・参加者数 287名 ・参加企業 91社（うち市内企業33社）
7	新入社員激励会 ・期 日 4月6日（木） ・場 所 テクノプラザおかや ・参加者数 31社 126名
8	学校教職員事業所視察会 ・期 日 5月24日（水） ・視 察 先 市内7企業 ・参 加 者 近隣高校の進路指導担当教諭 8校8名
9	諏訪地域高校生の雇用促進連絡会議 ・期 日 5月25日（木） ・場 所 テクノプラザおかや ・参加企業 93社（うち市内企業22社） ・参加教諭 8校8名
10	諏訪地域企業ガイダンス ・期 日 6月～3月 計4回 ・場 所 茅野市民館 ・参加者数 のべ353名 ・参加企業 のべ487社（うち市内企業140社）
11	諏訪地域企業ガイド 6市町村及び諏訪地域労務対策協議会との連携により、企業ガイドブックの作成・配布や就職支援サイト運営事業としてホームページを運営し、新規学卒者及び大学、短大等に対し企業のPRや各種イベントの情報発信を行い、市内企業への就職促進を図った。
12	人結び採用チャレンジ応援補助金 ・交付件数 24社 ・交付金額 4,977,000円
13	中学生キャリア教育支援事業 市内中学生を対象に、市内企業担当者による講話を行い、地元企業の活躍や魅力と職業観の育成や礼儀などを学習した。 ・期 日 5月、6月 ・場 所 岡谷北部中学校、岡谷東部中学校 岡谷西部中学校 ・参加学生 2年生ほか182名 ・参加企業 6社
14	地元企業魅力発見 市内小学校（7校）5年生363人、中学校（4校）2年生377人、市内3高等学校1年生または2年生454人を対象に、諏訪圏工業メッセ見学を行い、企業や地域産業への理解を深め地元就職、Uターン就職の促進を図った。
15	ふるさと回帰情報発信事業 市外へ進学した学生に対して就職イベント等の情報を発信し、ふるさと（岡谷市）への関心を喚起させるとともに、Uターン就職のきっかけを創出した。
	(7,695,950円)

求人・求職対策
事業

- 1 若年者就業支援
 - (1) ミニジョブカフェ

県のジョブカフェ信州と連携した若者の就労に関わる出前相談会

 - ・相談員 ジョブカフェ信州 就業支援アドバイザー
 - ・場所 テクノプラザおかや
 - (2) 夜間休日相談

国が行う若年者地域連携事業による若者の就労に関わる相談会

 - ・相談員 若年者地域連携事業推進センター 相談員
 - ・場所 テクノプラザおかや
- 2 女性の就業支援
 - (1) 女性の就業相談

県の地域就労支援センター運営事業と連携した女性の就労に関わる出前相談会

 - ・相談員 女性就業支援員
 - ・場所 子育て支援館「こどものくに」 ほか
 - (2) 女性の再就職応援セミナー
 - ・期 日 5月25日(木)
 - ・場 所 テクノプラザおかや
 - ・講 師 女性就労支援トータルアドバイザー
堀 綾子 氏
 - ・参加者数 9名
 - ・期 日 2月9日(金)
 - ・場 所 イルフプラザ カルチャーセンター
 - ・講 師 キャリアコンサルタント 増田 綾子 氏
 - ・参加者数 7名
 - (3) ミニ就職説明会
 - ・期 日 6月8日(木)
 - ・場 所 テクノプラザおかや
 - ・参加企業 13社
 - ・参加者数 25名
 - ・期 日 2月16日(金)
 - ・場 所 イルフプラザ カルチャーセンター
 - ・参加企業 14社
 - ・参加者数 24名
- 3 定年準備セミナー
 - ・期 日 2月8日(木)
 - ・場 所 テクノプラザおかや
 - ・講 師 特定社会保険労務士 中村 勝 氏
 - ・参加者数 28名
- 4 転職・移住者就職説明会
 - ・期 日 11月5日(日)
 - ・場 所 諏訪市文化センター
 - ・参加者数 54名
 - ・参加企業 90社(うち市内企業22社)
- 5 諏訪地域年末企業研究会
 - ・期 日 12月28日(木)
 - ・場 所 イルフプラザ カルチャーセンター
 - ・参加者数 57名
 - ・参加企業 85社(うち市内企業27社)
- 6 働きやすい職場づくり応援補助金

	・交付件数 3社 ・交付金額 203,000円 7 障がい者インターンシップ促進補助金 ・交付件数 1社 ・交付金額 20,000円 (919,190円)
勤労会館管理事業	勤労会館は、(一財)諏訪湖勤労者福祉サービスセンターが指定管理者として管理運営を行った。 勤労会館指定管理料 1,925,000円 1 講座の開催 2 講座を開催 ・開催回数 のべ8回 ・参加人数 のべ116名 2 広報活動 PR用チラシにより利用促進を図った。また、各種講座について、利用者増に向け案内チラシ作成等の取組を行った。 3 価格高騰対策支援 電気料金、ガス料金、燃料費の価格高騰に伴う支援金 31,276円 4 勤労会館大会議室西側屋根防水改修工事 雨漏りに伴う屋根防水改修工事 797,500円 (2,759,623円)
勤労青少年ホーム管理事業	勤労青少年ホームは、(一財)諏訪湖勤労者福祉サービスセンターが指定管理者として管理運営を行った。 勤労青少年ホーム指定管理料 11,614,000円 1 講座の開催 春夏秋冬で32講座を開催 ・開催回数 のべ205回 ・参加者数 のべ2,276名 2 サークル等の活動、育成・指導 39サークル等の活動(利用)があった。 ・利用件数 のべ1,077件 ・利用者数 のべ11,104名 3 広報活動 PRチラシにより利用促進を図るとともに、講座やサークル等について、利用者増に向け案内チラシ作成等の取組を行った。 4 価格高騰対策支援 電気料金、ガス料金、燃料費の価格高騰に伴う支援金 266,255円 5 給水管改修工事 老朽化に伴う給水管改修工事 553,300円 (12,442,596円)
ものづくり基盤技術強化事業	1 生産管理総合講座 (1)「実践!品質管理基礎講座」 ・期 日 7月24日(月)、8月1日(火) ・場 所 テクノプラザおかや ・講 師 セイコーエプソン(株)品質教育担当 ・参加者数 14社27名 (2)「市場ニーズを新たな成長へ繋げる自社変革の進め方」 ・期 日 9月13日(水)、20日(水) ・場 所 テクノプラザおかや ・講 師 エムアイマネジメントプラス

	代表 松澤 哲也 氏 元トヨタ自動車(株) エンジニア 西脇 克彦 氏 ・参加者数 13社17名 2 新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業 市内製造業等の新製品、新技術の創出、高度化への研究開発に対し補助金を交付し、事業化に係るフォローアップや県工業技術総合センター等との連携による技術相談を行い、企業の競争力の強化や新事業の創出を支援した。また、GXの推進を図るためグリーン成長分野に係る技術開発（グリーン成長枠）を後押しした。 ・交付件数 一般枠 6件（うちグリーン成長枠4件） 開発試作枠 2件（うちグリーン成長枠1件） ・交付金額 一般枠 10,169,000円 開発試作枠 504,000円 3 DX推進デジタル化ツール導入等支援補助金 市内製造業のデジタル技術を活用した生産性の向上や業務の効率化、受注開拓等の取組に対し補助金を交付し、支援した。 ・交付件数 4件 ・交付金額 968,000円 4 製造業エネルギーコスト削減支援事業補助金（市プラス支援）（令和4年度繰越事業） 原油価格及び電気料金等の高騰によるエネルギーコストの増大等の影響を受けている事業者の再生可能エネルギーの活用や省エネルギー化等の設備投資によるエネルギーコスト削減の取組を支援するため、令和4年度に県中小企業エネルギーコスト削減助成金事業の申請又は採択を受け、令和5年度に事業を完了した取組に対し補助金を交付した。 市プラス支援分（県事業上乗せ支援） ・交付件数 9社 ・交付金額 3,737,000円 5 クリーンエネルギー研究会 今後の活動に向け、参加企業による会員企業の工場見学及び情報交換を行った。 (15,565,507円)
新分野開拓推進事業	1 展示会出展事業 市内中小企業との共同出展により新規受注開拓を支援した。 (1) 諏訪圏工業メッセ2023 ・期 日 10月19日（木）～10月21日（土） ・場 所 岡谷市民総合体育館／テクノプラザおかや ・共同出展 5社1団体 ・来場者数 20,230人 (2) 第1回ものづくりワールド九州 機械要素技術展 ・期 日 11月29日（水）～12月1日（金） ・場 所 マリンメッセ福岡 ・共同出展 12社1団体 ・来場者数 9,575人 (3) 第10回自動車部品&加工EXPO ・期 日 1月24日（水）～1月26日（金） ・場 所 東京ビッグサイト ・共同出展 5社1団体 ・来場者数 77,744人

	2 新規受注開拓推進事業 (1) 展示会出展事業補助金 市内中小企業者の展示会出展による販路開拓を支援するため、補助金を交付した。 ・交付件数 一般 枠 2 件 次世代枠 1 件 ・交付金額 一般 枠 320,000 円 次世代枠 200,000 円 (2) 共同研究活動支援事業 工業会団体による共同研究活動を支援するため、補助金を交付した。 ・交付件数 1 件 ・交付金額 200,000 円 3 受注開拓企業訪問 ・首都圏 21 件 ・中京圏 6 件 ・その他県外 2 件 ・県内 6 社 (12,699,974円)
中小企業経営強化支援事業	1 景気動向調査 (1) 定例実施 ・実施時期 4 月、10 月 ・対象企業 100 社 (2) 随時実施 ・実施時期 9 月、2 月 ・対象企業 30 社 2 新規創業者トータルマネジメントサポート事業 諏訪圏工業メッセに共同出展ブースを設置し、創業者、小規模企業の出展を行い、地元企業や工業メッセに来場する大手企業等への技術PRを行った。(展示会出展事業の実績に含む。) ・出展企業 5 社1 団体 3 5S実践塾おかや 5Sの実践によって卓越した製造体質の確立を図るとともに、お客様から信頼されるオンリーワン企業への革新を目指すことを目的とし活動を行った。また、儲かる5Sへのカイゼンも着眼点とし企業収益への意識付けも行った。 ・期 日 4 月12 日(水)～15 回開催 ・場 所 テクノプラザおかや、会員各社 ・講 師 P&S コンサルティング 牛山 正二 氏 ・参加者数 7 社 先進企業視察研修(20周年記念事業) (1) 第1回 ・期 日 6 月2 日(金)、3 日(土) ・場 所 (株)豊田自動織機長草工場 ほか ・参加者数 21 名 (2) 第2回 ・期 日 10 月12 日(木) ・場 所 タカノ(株)下島工場 ・参加者数 16 名 4 カーボンマネジメント支援事業補助金 脱炭素社会の実現に向け、温室効果ガスの把握及び管理のほか、排出量削減に資する再生可能エネルギーの活用や設備更新等に対し補助金を交付し、社会経済活動における温室効果ガスの排出削減とエネルギーコストの削減の両立による経営基盤

	の強化を支援した。 ・交付件数 11件 ・交付金額 9,226,000円 5 おかやグリーン成長投資促進支援事業 事業者の省エネルギー化と温室効果ガスの排出削減を促進するため、国、県等が実施する省エネ最適化診断やカーボン排出量可視化・削減支援事業の利用促進を図るとともに、省エネ・再エネの設備投資等に対する融資制度により、市内製造業の環境経営を支援した。 ・カーボン排出量可視化・削減支援事業 2社 ・おかやグリーン成長対策資金 7件 48,710千円 (11,514,089円)
ものづくり人材育成支援事業	1 ものづくり体験プログラム 次代を担う子ども達に、ものづくり体験を通じて、職業意識やものづくりの楽しさ、尊さを学ぶきっかけを創出した。 ・期 日 8月2日(水) ・体験場所 fabスペース hana_re/㈱エグロ ・参加者数 24人 (対象：市内小学3年生から6年生まで) 2 信州大学修士・博士課程専門職大学院支援事業 地域製造業の活性化と人材育成を目的として開設した修士・博士課程コース等の支援を行った。 ・修 士 1名 ・博 士 3名 ・スキルアップコース 3名 3 人材育成支援特別課程受講補助金 市内企業が信州大学特別の課程「超微細加工技術社会人スキルアップコース」を受講する際の受講料の一部を支援した。 ・交付件数 4件 ・交付金額 100,000円 4 21経営者研究会 若手経営者や次期経営者候補等の会員間で、自社が抱える課題等を再認識し、企業の成長や発展を目指し、その解決方法を模索するため、地域の先進的な企業等との意見交換や工場見学等を行った。 参加者数 18社18名 (1) 第1回 ・期 日 6月16日(金) ・訪問先 日進精機㈱ 飯田工場 (2) 第2回 ・期 日 9月8日(金) ・訪問先 ㈱ダイヤ精機製作所 (3) 第3回 ・期 日 11月9日(木)～10日(金) ・訪問先 ブラザーテクノロジーセンター デンソーギャラリー ほか (4) 第4回 ・期 日 2月15日(木) ・訪問先 ㈱前田製作所 ㈱鈴木 本社工場 (836,436円)

産業連携・交流 推進事業	1 工業会育成事業 (1) 岡谷市金属工業連合会会員企業数 82社 ・岡谷市機械精密工業会 50社 ・岡谷市電気工業会 10社 ・岡谷市表面処理工業会 16社 ・岡谷市計量器工業会 7社 (2) 評議員会及び総会等の開催 岡谷市金属工業連合会評議員会及び4工業会の総会並びに情報交換会を開催し、市内企業の現状把握と企業間連携を深めた。 (3) 岡谷市金属工業連合会等視察研修 E V 分解展示実地研修（三洋貿易(株)瑞浪展示場） ・期 日 2月5日（月） ・場 所 岐阜県瑞浪市 ・参加者数 6社10名 ファナック(株)本社工場視察研修 ・期 日 2月20日（火） ・場 所 山梨県忍野村 ・参加者数 10社13名 バンコク（タイ）進出企業等視察研修 ・期 日 3月6日（水）～10日（日） ・場 所 Z. KURODA他 ・参加者数 8社8名 2 都市間交流 ものづくり企業が集積する他の市町村の展示会に出展し、中小企業や産業支援機関との情報交換会を行い、連携を深めた。 第27回いたばし産業見本市ー製造と加工技術展2023ー ・期 日 11月9日（木）～10日（金） ・場 所 板橋区立植村記念加賀スポーツセンター (3,585,311円)
中小企業経営技術相談事業（中小企業経営技術相談所）	1 中小企業経営技術相談・指導 （中小企業経営技術相談所、ひと・しごと相談窓口） 工業技術専門官及び経営技術アドバイザーを配置し、市職員との連携により受発注開拓、技術相談指導、経営・金融相談等を通じて市内企業の技術革新や製品開発、経営体質強化等を支援した。また、他団体の研究会や各種会議等に参加し、他市等のアドバイザーとの連携を深めるとともに、情報収集等を行った。そのほか、創業等を希望する方の相談に対応した。 ・経営・技術相談 66件 ・融 資 相 談 244件 ・雇用・就職相談 29件 ・移 住 相 談 1件 ・そ の 他 相 談 19件 2 販路開拓支援 市内外企業からのテクノプラザおかやへの直接加工発注案件及び（公財）長野県産業振興機構を通じての加工発注案件に対し、市内企業とのマッチングを行い、販路の開拓及び拡大を支援した。 ・依 頼 案 件 数 279件 ・マ ッ チ ン グ 数 218件（うち契約成立25件） 3 事業承継支援 事業承継等を検討する事業者に対し適切な支援につながる

	よう、長野県事業承継ネットワークに参画し、県事業承継・引継ぎ支援センターのほか各支援機関との連携を深め、企業からの相談等に対応した。 また、市内中小企業の若手経営者や次期経営者候補等が参加する２１経営者研究会の活動を支援した。 (8,203,581円)
産業振興企画事業	1 岡谷市の産業振興を考える懇談会 中京地区で活躍している岡谷市出身者等の企業経営者・大学教授等に参加いただき、現在の状況や今後の動向について情報交換し、企業誘致や産業振興を図るための懇談会を名古屋で開催した。 ・開催日 7月27日(木) ・出席者 14名 2 在京企業訪問及び情報交換会 今後の経済動向を把握するため、関東圏にある岡谷市に関連する企業に訪問し、また、継続して連携していくため、岡谷市出身者等の企業経営者等との情報交換会を開催した。 (1) 企業訪問 ・訪問日 1月15日(月)、16日(火) ・訪問件数 15社 (2) 情報交換会 ・開催日 1月15日(月) ・出席者 21名 (1,086,806円)
産業活性化推進事業	1 工業活性化計画の策定 市内製造業を対象としたアンケート調査を実施し、本市工業の現状を調査、分析するなかで、課題を抽出し、その課題解決に向けた4の基本戦略と、13の重点施策を定めた。また、目指すべき将来工業都市像として「未来を創造する、高度なものづくりのまち」を掲げ、本市工業の課題を解決し、本市の工業がさらに発展していくための計画を策定した。 2 工業活性化会議の開催 「岡谷市工業活性化計画」の策定及び進捗状況、達成度等の評価や検証に関すること等を所掌事項とし、市内企業代表者等16名で組織する工業活性化会議を5月から2月にかけて4回開催し、実施した事業等を報告するなかで、PDCAサイクルに基づく管理を行うとともに、新たな「岡谷市工業活性化計画」を策定するための協議を行った。 3 商工業振興条例に基づく助成事業 市内企業の流出防止及び企業誘致の推進を図るため、工場等の新設増設を行う事業者に対して土地取得額の一部や工場等にかかる固定資産税相当額を助成し、市内での事業拡大や空き工場等の有効活用を促した。 ・特定地域への工場等新設・増設事業 9件 ・交付金額 45,980,000円 4 諏訪地域創業スクール 創業時に必要な手続や事業計画の作り方だけでなく、マーケティングをはじめとする基礎知識を習得できるスクールを商工会議所と開催した。 ・開催日 9月30日(土)～12月2日(土)計6回 ・出席者 30名 5 創業のまち岡谷実現事業

	市内の独立創業を促進し、創業者の経営基盤の確立及び営業開拓を支援するため補助金を交付した。 ・家賃支援事業 1 件 ・スタートアップ支援事業（備品購入） 1 件 ・スタートアップ支援事業（特定物件等改修） 1 件 ・広告宣伝支援事業 6 件 ・備品等購入支援事業 8 件 ・交付金額 3, 489, 000 円 6 小型ロケットをキーとした信州大学との連携強化事業 諏訪圏サテライトキャンパスを活用し、市内企業の技術相談、新技術創出のためのリカレント教育等を行い、市内産業の活性化と持続的発展を図り、また、若年人材に向けたロケットワークショップを通じてモノづくり意識の醸成を図った。 （1）信州大学諏訪圏サテライトキャンパス公開講座 ・期 日 前期 9 月 1 日（金） ～ 10 月 17 日（火） 計 4 回 後期 12 月 14 日（木）、20 日（水） 計 2 回 ・開催形式 オンライン ・参加者数 のべ 157 名 （2）SUWA 小型ロケットプロジェクトワークショップ ・期 日 10 月 5 日（木）～ 11 月 17 日（金） 計 4 回 ・場 所 小井川小学校、上の原小学校、神明小学校、川岸小学校 ・参加生徒 5、6 年生 336 名 （3）信州大学技術相談 企業が課題としている技術開発について信州大学教授が対応する技術相談会により支援した。 ・企業支援件数：5 社 7 地域未来投資促進法に基づく第 2 期長野県諏訪圏 6 市町村基本計画の策定 地域の特性を生かして、高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する相当の経済的効果を及ぼす「地域経済牽引事業」を促進することで、地域経済の好循環を実現し、地域経済の成長発展の基盤強化を図ることを目的とし、長野県と諏訪圏 6 市町村で第 2 期となる基本計画を策定した。 ・国の同意日 3 月 22 日（金） (63,792,351円)
企業誘致推進事業	1 市内企業の流出防止・企業誘致 産業集積の維持のため市内企業の流出防止や企業誘致を目指し、金融機関、関係機関などとの情報交換を通じ、市内企業の用地等の需要や市内未利用地等の情報の収集を行った。 2 首都圏産業振興活動事業 より一層の産業振興を推進するため、平成 23 年度から平成 25 年度までの 3 年間に亘る、首都圏産業振興活動拠点事業で蓄積した情報・人脈等を活かすとともに、中小企業庁に 1 名の職員を派遣した。 3 先端設備等導入計画の認定 中小企業が設備投資を通じて、労働生産性の向上を図るために策定した先端設備等導入計画に対して、中小企業等経営強化法に基づき認定を行った。

	・新規認定件数 27件 ・変更認定件数 13件 4 企業・関係機関への訪問、情報収集 市内外の企業を訪問し、情報収集と岡谷市のPRに努めた。 5 商工業用地等取得推進事業 岡谷宅地建物取引業協会との協定に基づき、市内における土地の有効活用を促進し、市内企業の市外への流出防止及び企業誘致を推進するため、商工業用地等の取得等を希望する企業に対し、積極的な情報提供を行った。 ・取得等希望企業数 8社 (4,264,276円)
シェアオフィス 管理事業	4月1日に岡谷市中央町アミューズメント施設内に開館した、おかやシェアオフィスの安全な運営のため適切な維持管理・運営を行った。 ・入居者・企業数 8者(社)(令和6年3月31日現在) (2,560,477円)
テクノプラザおかや 管理事業	1 テクノプラザおかや管理事業 産業の振興と地域経済の活性化を促進するための拠点施設であるテクノプラザおかやの適切な維持管理・運営を行った。 施設利用状況 ・専用施設利用件数 945件 ・専用施設利用者数 24,119名 ・共用施設利用者数 891名 ・施設利用料 5,819,670円 2 大研修室兼展示場照明LED化更新工事 ・工期 7月14日(金)～9月28日(木) ・契約金額 6,160,000円 ・請負業者 (株)上條電設工業 (34,346,161円)
テクノプラザおかや 自主事業	テクノプラザおかやものづくりフェア2024 マイコンカーラリー・テクノプラザおかや杯2024 「ものづくり・ひとづくり・ゆめづくり～未来を担うものづくり人材の笑顔のために～」をテーマに、基幹産業であるものづくりの楽しさや難しさを学ぶ中で、ものづくりへの愛着、探求心を深め、本市のものづくりへの興味を増進させることを目的に、市内企業による体験型ワークショップをメインに「テクノプラザおかやものづくりフェア2024」を開催した。 また、中心市街地の公共施設に会場を分散し、同時開催イベントを実施するなど、地域活性化、市内回遊性の向上を図った。 その他、日頃の学習・研究成果を競い合い披露する機会として、県内外の高校生の参加による「マイコンカーラリー・テクノプラザおかや杯2024」を開催した。 ・期 日 2月3日(土) ・開催場所 テクノプラザおかや、イルフプラザ 市立岡谷美術考古館、岡谷蚕糸博物館 イルフ童画館 ・来場者数 のべ2,976人 ・ワークショップ参加企業 26社団体 (1,338,604円)
中小企業金融対 策事業	1 制度資金あっせん事業 制度資金のあっせんにより、市内中小企業の円滑な事業資金調達を支援した。 令和5年度は、前年度に引き続き、原油価格・物価高騰等の

	影響を受ける企業を支援するための「原油価格・物価高騰等対策特別資金」、新型コロナウイルス感染症対策として「特別経営安定資金」を継続し、支援した。 ・融資件数 258件 ・融資金額 2,692,230千円 ・セーフティネット認定件数 155件 2 金融情報交換会 ・期 日 4月24日（月） ・場 所 テクノプラザおかや大研修室 ・参加機関 八十二銀行、長野銀行、諏訪信用金庫 長野県信用組合、長野県信用保証協会 岡谷商工会議所 (493,767,923円)
計量検査事業	1 特定計量器定期検査 取引・証明に使用される特定計量器（質量計）の定期検査を行った。 ・検査戸数 44戸 ・検査個数 151個 ・不合格数 2個 2 商品量目立入検査 スーパーマーケット等において、自店舗で計量販売するパック商品の内容量が正確に計量されているか検査した。 ・検査事業所数 3事業所 ・検査個数 150個 ・不合格数 0個 3 計量記念日 11月1日の計量記念日にあわせ、計量に関する知識普及・思想啓発に関する新聞広告を掲載した。 ・掲載紙 岡谷市民新聞 ・掲載日 11月1日（水） (155,335円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 制度資金

(1) 市制度資金（あっせん資金）

資 金 名	件数	金 額（千円）
振興資金（運転）	2	6,700
振興資金（設備）	0	0
小規模企業資金（運転）	54	139,400
小規模企業資金（設備）	17	57,560
工場用地取得資金	0	0
関連倒産防止資金（運転）	0	0
関連倒産防止資金（設備）	0	0
商店近代化資金	0	0
おかやグリーン成長対策資金（運転）	0	0
おかやグリーン成長対策資金（設備）	7	48,710
経営安定資金（運転）	1	7,500
経営安定資金（借換）	0	0

開業資金（運転）	13	30,650
開業資金（設備）	4	12,750
新分野開拓支援資金（運転）	0	0
新分野開拓支援資金（設備）	0	0
特別経営安定資金	24	117,340
原油価格・物価高騰等対策特別資金	13	149,500
合 計	135	570,110

（２）県制度資金（あっせん資金）

資 金 名	件数	金 額（千円）
小規模企業発展資金（運転）	1	1,900
小規模企業発展資金（設備）	2	6,850
経営健全化支援資金		
経営安定対策（運転）	3	51,500
経営安定対策（設備）	0	0
経営安定対策（運転・借換）	1	15,000
特別経営安定対策（運転）	0	0
特別経営安定対策（設備）	0	0
防災・安全対策向け（運転）	0	0
防災・安全対策向け（設備）	0	0
災害対策（運転）	0	0
災害対策（設備）	0	0
新型コロナウイルス対策（運転）	74	1,629,300
新型コロナウイルス対策（設備）	8	61,130
物価高対策（運転）	1	4,000
物価高対策（設備）	0	0
信州創生推進資金		
創業支援向け（運転）	14	70,550
創業支援向け（設備）	8	59,740
創業支援向け（運転・設備）	1	1,000
事業承継向け（運転）	1	20,000
事業承継向け（設備）	0	0
事業展開向け（運転）	0	0
事業展開向け（設備）	6	151,650
地域活性化向け（運転）	0	0
地域活性化向け（設備）	0	0
企業立地向け（運転）	0	0
企業立地向け（設備）	0	0
ゼロカーボン・次世代産業向け（運転）	0	0
ゼロカーボン・次世代産業向け（設備）	0	0
海外展開向け（運転）	0	0
海外展開向け（設備）	0	0
経営改善サポート資金（運転）	3	49,500
経営改善サポート資金（設備）	0	0
合 計	123	2,122,120

2 勤労青少年ホーム及び勤労会館利用状況

施 設 名	利 用 人 数 (人)		
	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (A) - (B)
勤労青少年ホーム	13,547	15,305	△1,758
勤労会館	11,916	9,487	2,429

3 テクノプラザおかや利用状況

(1) 専用施設

施 設 名	利 用 件 数 (件)		
	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (A) - (B)
大 研 修 室 兼 展 示 場	172	157	15
I T 支 援 室	191	188	3
商 談 室	162	155	7
人材育成研修室 (一括)	140	133	7
人 材 育 成 研 修 室 A	53	54	△1
人 材 育 成 研 修 室 B	18	17	1
異業種交流スペース	139	155	△16
実 習 室	70	86	△16
合 計	945	945	0

(2) 共用施設

施 設 名	利 用 人 数 (人)		
	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (A) - (B)
コワーキングスペース	891	599	292

4 おかやシェアオフィス利用状況 (令和6年3月31日現在)

施 設 名	入居者・企業数		
	個別ブース A	個別ブース B	オフィス
おかやシェアオフィス	4	3	1

商 業 觀 光 課

第1 概説

商業観光課では、市内中小小売業の振興と観光の振興に向け各種事業を展開した。

商業振興事業では、岡谷市商業活性化計画に基づき、市内小売店舗の支援、商店街街路灯電気料や商業会等で運営している駐車場運営費の助成等各種補助事業を行った。

商業等経済対策事業では、エネルギー・食品価格等の物価高騰の影響を受けた市民の生活の下支えや、消費マインドを喚起させるため、プレミアム付き商品券（生活応援商品券）及びオカヤペイギフトカードを販売し生活応援事業に取り組んだ。

中心市街地活性化事業では、岡谷TMOによる中心市街地活性化事業と各商業会等が実施する販売促進活動のほか、施設整備や装飾事業に対する支援を行った。

計画年度が終了となる岡谷市商業活性化計画は、引き続き関係団体、関係者が一体となり商業振興を推進するため、近年の商業環境の動向等に関する調査の結果を踏まえ、第2次岡谷市商業活性化計画を岡谷商工会議所とともに策定した。

シルキーバス運行事業では老朽化した車両を更新したほか、諏訪湖周スワンバス共同運行事業とともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を講じながら運行事業を実施した。また、昨年度まとめた岡谷市の地域公共交通に関する調査結果を踏まえ、岡谷市地域公共交通活性化協議会において岡谷市地域公共交通計画を策定した。

観光振興では、岡谷市観光協会と連携し、岡谷市観光案内所を拠点とした本市の魅力発信と、レンタサイクル事業による観光客の利便性の向上に努めた。また、旧岡谷市役所庁舎がロケ地となった山崎貴監督作品 映画「ゴジラ-1.0」とタイアップし、市内を周遊する謎解きイベントや他県のロケ地と連携したスタンプラリーの開催などにより、誘客と滞在時間の延長を図った。

4年ぶりに開催となった岡谷太鼓まつりをはじめとして、鶴峯公園つつじ祭りや横河川桜祭りなど各種観光イベントを実施し、観光客の誘客を図った。

その他、ワーケーションの受け入れやサイクルツーリズムの実施により、本市の食や歴史・文化等に触れていただくことで、交流人口・関係人口の創出・拡大に努めた。

商業観光関係施設では、駅前自転車駐車場、アミューズメント施設、太鼓道場、イルフプラザ商業活性化センターなどの6施設の管理運営を行った。なお、経年劣化に伴う改修工事として、アミューズメント施設及び中央町駐車場の水切り落下防止工事を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
商業振興事業	市内の商業等の振興を図るため、第2次商業活性化計画策定に関する経費のほか、各種事業に対する補助金、負担金等を支出した。 ・商業活性化計画策定業務委託料 1件 1,500,000円 ・川岸駅前環境整備事業委託料 1件 769,162円 ・岡谷TMO商業活性化事業負担金 1件 3,752,000円 ・オカヤペイポイント発行事業負担金 387件 24,191円 ・地域公共交通活性化協議会負担金 1件 3,940,774円 本協議会では、地域公共交通計画策定事業を業務委託により実施した。 ・川岸駅前環境整備事業負担金 1件 2,265,333円 ・岡谷商工会議所補助金 1件 15,390,000円 ・駐車場運営費補助金 2件 420,000円 ・商業連合会活動事業補助金 1件 1,330,000円 ・商店街街路灯電気料等補助金 6件 265,000円 ・中小小売等店舗活性化事業補助金 30件 7,552,000円 (38,148,327円)
シルキーバス運行事業	公共施設の利用促進、中心市街地の活性化、公共交通空白地の解消を目的として、今井・長地線、長地・今井線、市街地循環西ルート線、やまびこ公園線、市街地循環東ルート線、川岸線、川岸橋原線の7路線で運行した。また、老朽化したバス車両1台を更新した。 (82,380,942円)
諏訪湖周スワンバス共同運行事業	岡谷市、諏訪市、下諏訪町の2市1町による共同運行事業を実施した。 (7,502,446円)
商業等経済対策事業	物価高騰などの影響を受けた市民生活の下支えや消費マインドを喚起させるため、地域経済の活性化を図る事業を行った。 ・生活応援商品券事業負担金 1件 189,731,090円 (250,044,979円)
民間一般乗合バス運行支援事業	民間一般乗合バス運行費等補助金 営業損失が発生しているアルピコ交通(株)岡谷茅野線に対して、沿線3市1町共同で運行費等の補助を行った。 (4,662,000円)
中心市街地活性化事業	岡谷TMO運営事業負担金 商業会を中心とした中小小売店による魅力ある商業活動を支援する岡谷TMOを運営するための負担金を支出した。 (4,399,928円)
観光宣伝事業	・第18回出早公園かたくり祭り 期 間 4月3日(月)～4月16日(日) ・横河川桜祭り 期 間 4月3日(月)～4月16日(日) ・第70回信州岡谷塩嶺小鳥バス 期 間 5月の毎日曜日 計4回 参加者 156名 ・塩嶺小鳥バス70周年記念 子ども探鳥会 日 程 6月18日(日) 参加者 35名(子ども20名、保護者15名)

	・鶴峯公園つつじ祭り 期 間 5月3日（水）～5月14日（日） 来園者 27,000人 ・第17回由布姫あじさい祭り 期 間 6月25日（日）～7月23日（日） ・第54回岡谷太鼓まつり 日 程 8月13日（日）、14日（月） 来場者 140,000人 ・第56回岡谷花火まつり 日 程 8月16日（水） 来場者 3,000人 ・初期中山道ウォーキング・サイクリング 日 程 10月1日（日） 参加者 60名 ・出早公園もみじ祭り 期 間 10月27日（金）～11月10日（金） 来園者 5,600人 ・第43回ふるさとまつり 日 程 2月4日（日） 会場 銀座NAGANO 参加者 92名（第1部61名、第2部31名） ・デジタル田園都市国家構想交付金【地方創生推進タイプ】 「岡谷へ行こう」関係人口等創出・拡大事業 - 観光案内所入場者数 12,081名 - e-バイク貸出件数 544台 - シティサイクル貸出件数 406台 - ワーケーション参加者数 61名 - サイクルツーリズム参加者数（3回） 28名 ・映画「ゴジラ-1.0」プロモーション事業 岡谷市観光協会、市内飲食店や企業、他のロケ地（茨城県、浜松市）などと連携し、タイアップ事業を実施した。 市内周遊謎解きイベント 11月3日（金）～ ロケ地周遊スタンプラリー 11月3日（金）～1月31日（水） 旧岡谷市役所庁舎特別公開 日 程 11月23日（木）、25日（土）、26日（日） 参加者 633名 その他 レイクウォーク岡谷、観光案内所でのパネル展示、 飲食店による期間限定のコラボメニューの提供、企業による土産品等タイアップ商品の販売 (41,080,985円)
岡谷駅前広場管理事業	岡谷駅前広場等の運営管理を指定管理者である株式会社スカイが行った。 (5,476,671円)
自転車駐車場管理事業	岡谷駅前自転車駐車場の運営管理を指定管理者である株式会社スカイが行った。 (12,170,808円)
アミューズメント施設事業	アミューズメント施設の維持管理を行った。また、安全で快適に利用していただけるよう、水切り落下防止工事等を実施した。 (11,197,743円)
中央町駐車場管理事業	中央町駐車場の維持管理を行った。また、安全で快適に利用していただけるよう、水切り落下防止工事等を実施した。 (43,182,532円)

太鼓道場管理事業	・太鼓道場利用者数 8,473人 ・練習室利用時間 1,896時間 (4,264,160 円)
イルフプラザ管理事業	イルフプラザを安全で快適に利用していただけるよう、施設の管理、修繕を行ったほか、円滑な組織運営を図るため、商業活性化センター、地権者店会、生涯学習活動センター等との調整を行った。 (143,643,536 円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 岡谷駅前自家用車整理場利用状況

区 分	令和5年度(A)	令和4年度(B)	増減(A)－(B)
利用台数	125,940 台	107,056 台	18,884 台
1日平均利用台数	344.1 台	293.3 台	50.8 台

2 岡谷駅前自転車駐車場利用状況

区 分		駐車 可能 台数	駐 車 実 績			
			使用区分	※平均利用台数 台/月		
				令和5年度(A)	令和4年度(B)	増減(A)－(B)
自 転 車	定期使用	1,114	通学者	390.8	455.0	△64.2
			一般者	62.1	53.8	8.3
			小 計	452.9	508.8	△55.9
	1日使用	86	1日使用	27.1	24.5	2.6
	合計	1,200	合 計	480.0	533.3	△53.3
バ イ ク	定期使用	17	通学通勤	4.1	5.3	△1.2
	1日使用		1日使用	0.7	0.3	0.4
	合計	17	合 計	4.8	5.6	△0.8

※駐車実績欄中、「定期使用」は毎月1日の利用台数の平均値、「1日使用」は、1日当り平均利用台数を用いてある。

3 中央町駐車場利用状況

区 分	実 績		
	令和5年度(A)	令和4年度(B)	増減(A)－(B)
利用台数	198,780 台	181,361 台	17,419 台
1日平均利用台数	543 台	496 台	47 台

4 シルキーバス利用状況

区 分	令和 5 年度 (A)		令和 4 年度 (B)		増減 (A) - (B)	
	乗車数	1 便当り平均乗車数	乗車数	1 便当り平均乗車数	乗車数	1 便当り平均乗車数
長地・今井線	人 22,010	人/便 7.9	人 22,760	人/便 8.2	人 △750	人/便 △0.3
今井・長地線	21,962	9.1	22,251	9.2	△289	△0.1
川岸線	38,683	8.2	39,963	8.5	△1,280	△0.3
川岸橋原線	2,115	2.9	2,093	2.9	22	0.0
やまびこ公園線	3,416	2.0	3,310	2.0	106	0.0
市街地循環西ルート線	5,099	3.8	4,891	3.7	208	0.1
市街地循環東ルート線	12,050	6.6	11,115	6.1	935	0.5
合 計	105,335	6.8	106,383	6.9	△1,048	△0.1

5 諏訪湖周スワンバス利用状況

区 分	令和 5 年度 (A)		令和 4 年度 (B)		増減 (A) - (B)	
	乗車数	1 便当り平均乗車数	乗車数	1 便当り平均乗車数	乗車数	1 便当り平均乗車数
内回り線	人 38,806	人/便 15.1	人 38,355	人/便 15.1	人 451	人/便 0.0
外回り線	26,678	10.4	26,487	10.4	191	0.0
合 計	65,484	12.7	64,842	12.7	642	0.0

ブ ラ ン ド 推 進 室

第1 概説

ブランド推進室では、岡谷シルク推進事業が3年目を迎え、地域おこし協力隊やシルク関連事業者と協力し、これまでに築いてきた実績をもとに岡谷シルクブランド認証製品の販売促進、首都圏に加え、松本空港、諏訪湖サービスエリアなど近隣の観光客が集まる場所での展示会などを実施し、岡谷シルクブランドの認知度の更なる向上を図り、「岡谷シルク」の地域団体商標を出願するに至った。また、滞在型ワークショップ事業を民間主導の体制にするなど、事業の自走化も図り、岡谷市の地域資源であるシルクを生かしたまちづくりの発展的な体制づくりを進めた。

このほか、おかやブランドプロモーション協議会において、移住検討者向けの交流イベントを実施し、諏訪湖や自然環境、味噌など岡谷の地域資源に触れる体験をしていただくなど、関係交流人口の創出及び移住定住の促進に向けた取り組みを行った。

岡谷蚕糸博物館～シルクファクトおかや～では、適正な施設維持管理と効率的な博物館運営に努めた。また、元気づくり支援金活用による企画展開催のほか、商業観光課、岡谷市観光協会との連携による県内小中学校の修学旅行等の誘致、農林水産課と連携したマルベリー広場活用によるオープンエアマーケット開催などにより入館者数の増加に努めた。更に、教員や児童生徒を対象にした蚕学習の支援等も積極的に行った。

岡谷市文化会館及び日本童画美術館においては、指定管理者による適正な管理運営を行うとともに、新型コロナウイルス感染症が5類へと移行したことを受け、積極的な事業展開に取り組んだ。

岡谷市文化会館では、東京シティフィルハーモニック交響楽団による「交響組曲ドラゴンクエストⅢ」や「東京スカパラダイスオーケストラ ツアーコンサート」、普段コンサートに足を運べない小さな子供などを対象とした「0歳からのファミリーコンサート～あれぐりあ大陸～」など幅広い世代に向けたコンサート等の開催により、市民に質の高い舞台芸術鑑賞の機会を提供した。

日本童画美術館では、開館25周年記念企画展として「かがくいひろしの世界展」や「とびだせ！長谷川義史展」等、人気の絵本作家による企画展により全国から多くの来館者を集めたほか、様々な世代を対象に工夫を凝らしたワークショップを通年で開催した。また、武井の「童画」の精神を継承する、新時代の「武井武雄」の発掘を目的に、「第12回武井武雄記念日本童画大賞」を開催した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
蚕糸業対策事業	1 2023シルクフェア in おかや (シルクフェア実行委員会負担金) ・期 日 4月29日(土・祝) ・場 所 岡谷蚕糸博物館 ほか 新型コロナウイルス感染症の影響により3年間開催を見送っていたため、4年ぶりの開催となった。 当日は、旧岡谷市役所庁舎の見学、初代片倉兼太郎生家の公開、歴史探訪バスツアー、レイクウォーク岡谷でのクラフト展など各種イベントを開催した。 参加者数：2,547人 2 日本絹文化フォーラム2023 (日本絹文化フォーラム負担金) ・期 日 12月9日(土) ・場 所 カノラホール小ホール きものジャーナリスト中谷比佐子氏の基調講演と若手養蚕家とのパネルディスカッションを開催した。 3 岡谷絹工房後継者育成事業補助金 シルク岡谷の歴史と文化を継承し、絹を素材としたクラフト製品の開発研究や後継者の育成を図る岡谷絹工房後継者育成事業に支援した。 (500,000円)
ブランド推進事業	1 岡谷ブランド推進事業 (1) おかやブランドプロモーション協議会 (おかやブランドプロモーション協議会負担金) 官民連携の下、岡谷市の魅力発信並びに移住定住等の促進に資するブランディング及びプロモーションを推進する「おかやブランドプロモーション協議会」に対して事業費を負担した。 ・おかやブランドプロモーション協議会開催(年5回) ・移住、定住促進交流イベントの開催 期日 11月11日(土) 参加者 8名 (2) 岡谷ブランドの推進 市内の保育園児を対象とした、日本童画美術館の見学を行い、幼少期より地域ブランドである武井武雄に触れる機会を創出した。 ・参加園児：432人 (3) オープンエアマーケット(青空市場)事業 農林水産課、ブランド推進室が連携し、岡谷蚕糸博物館のマルベリー広場を活用し、地域の魅力発信や市民の憩い所の創出を行った。 2 岡谷シルク推進事業 (1) 岡谷シルク商標登録事業 岡谷シルクブランド協議会において、文字商標「岡谷シルク」の地域団体商標の出願を行った。 (2) 岡谷シルクHPの構築、運営 岡谷シルク公式ホームページ及びSNSを活用し、岡谷シルクに関する積極的な情報発信を行った。

(3) シルクおかや次世代担い手育成プログラム

岡谷シルク推進事業の一環として、養蚕から製糸、製品化までを体験する担い手育成プログラムを実施。

参加者 8人

- ① 養蚕体験 実施時期 4月～8月 全10回
場 所 三沢区民農園桑園及び蚕室等
- ② 繰糸体験 実施時期 8月 全2回
場 所 宮坂製糸所（上州式繰糸機）
- ③ 機織体験 実施時期 1月～3月 全13回
(整経・染色、機仕掛け・糸巻、機織)
場 所 岡谷絹工房

(4) 博物館版教育プログラムの開発提供事業

- ・博物館ホームページのモバイル化と教育・学習コンテンツ強化を図るためにホームページ改修業務を行った。

委託料 1,230,000円

完了日 令和6年3月31日(日)

- ・市内の小学校から蚕糸博物館への移動手段として貸し切りバスを用意し、蚕糸博物館の見学案内を行った。

6月22日(木) 長地小学校 30人

6月30日(金) 川岸小学校 24人

11月9日(木) 湊小学校 24人

11月13日(月) 神明小学校 61人

11月27日(月) 岡谷田中小学校 57人

(5) 5館共通券施設学芸員プログラム開発

市内の博物館、美術館、文化財施設を巡る際の、子ども向けツール「ごかんノート」販売。

販売促進のためのノベルティキャンペーンを実施。

サコッシュと缶バッジをプレゼント

期間 5月27日(土)～8月20日(日)

- ・5施設における売り上げ数 107冊(年間)

(6) 蚕糸博物館ワークショップ指導者活用事業

まゆちゃん工房でのワークショップ指導補助員として市民ボランティア5人に活動いただいた。

- ・活動数 11回 50人(延べ人数)

(7) 岡谷シルク商品開発促進事業

岡谷シルクブランド協議会にて岡谷シルクブランド認証製品の審査、認証を行うなど、岡谷シルクのブランド推進に向けた取り組みを進めた。また、新たな認証製品の開発に対する補助を行い、認証製品の充実を図った。

- ・承認件数 62件 事業者数 25社

- ・岡谷シルク商品開発促進支援事業補助金

令和5年度 補助件数 5件

補助金総額 213,465円

(8) 展示会等出展事業

オール岡谷産シルクの製品などを首都圏などの展示会等に出展し、岡谷シルクのブランド発信や、販路開拓などを実施した。

- ① 4月14日(金)～6月16日(金)

八十二銀行八王子支店ディスプレイにて岡谷シルクを周知した。

② 4月29日（土・祝）

シルクフェア開催時に旧岡谷市役所庁舎内において「岡谷シルクブランド認証製品」の展示、岡谷蚕糸博物館ミュージアムショップ内において認証製品の販売を開始した。

③ 6月10日（土）

静岡県焼津市SHIDAマルシェに岡谷シルクブランド認証製品の出展をした。

④ 8月18日（金）～9月22日（金）

松本空港ターミナルビル2階多目的ホールにて岡谷シルクの展示、広報を実施した。また、空港内小売店「味蔵」にて岡谷シルクブランド認証製品の販売をした。

⑤ 10月6日（金）～10月7日（土）

横浜シルクサミットにて、岡谷シルクの展示、販売をした。

⑥ 10月20日（金）～10月21日（土）

諏訪圏工業メッセにて、岡谷シルクの展示、広報をした。

⑦ 11月6日（月）～11月7日（火）

諏訪湖サービスエリア（上下線）にて、岡谷シルクの展示、体験、販売をした。

⑧ 12月14日（木）～12月22日（金）

かながわ信用金庫横浜営業部にて岡谷シルクの展示、広報をした。

⑨ 1月9日（火）～1月16日（火）

かながわ信用金庫藤沢営業部にて岡谷シルクの展示をした。

⑩ 1月22日（月）～1月29日（月）

かながわ信用金庫よろず相談承り処（横須賀本店）にて岡谷シルクの展示をした。

⑪ 3月2日（土）

銀座 NAGANO「長野県岡谷市 知って作って使って 岡谷シルクの魅力大発見！」イベントにて、講演会、WSと併せて岡谷シルクブランド認証製品の販売をした。

（9）岡谷産繭買取事業

高品質な岡谷産繭の確保を目的に、岡谷市内で生産された繭を製糸事業者が買い取る際、品質に応じて購入する繭代に対して補助を行った。

・繭の生産量	春 83.5kg	秋 58.3kg
・補助額	248,150円	

（10）養蚕体験事業

① 養蚕体験

岡谷ならではの体験事業として、養蚕の文化や技術に触れられる体験事業を実施した。

・新規採用職員向け

期 日 6月19日（月）～6月20日（火）

参加者 7人

・一般の方向け

春蚕 期 日：6月10日（土）、17日（土）
7月9日（日）シルクハンカチ染め

参加者：15人

秋蚕 期 日：9月9日（土）、16日（土）
10月1日（日）機織り

参加者：8人

・農福連携事業

秋蚕 期 日：9月11日（月）

参加者：2人

② 桑園管理セミナーの実施

市内養蚕体制の拡充などを目的に三沢区民農園の桑園にて、小山朗夫氏（元農研機構研究員、桑の専門家）によるセミナーを実施した。

第1回 期 日：5月27日（土）、28日（日）

参加者：16人

第2回 期 日：令和6年3月16日（土）、17日（日）

参加者：30人

（11）岡谷市桑園等整備事業補助金

良質な繭の生産量の確保及び養蚕文化・技術の伝承を図るため市内養蚕事業者に対し、養蚕、桑園の整備・拡大に係る経費の一部を補助。

・補助件数 1件

・対象事業者 三沢区民農園

・補助額 300,000円

（12）滞在型ワークショップ事業

市外在住者をメインターゲットとした、滞在型のワークショップ開催に対する支援を行った。また機織り体験の学割制度を実施。岡谷の魅力発信、交流人口の増を図った。

① シルクストール草木染・機織り体験

・体験内容：シルクストールの草木染めと機織り

・実施期間：前期 7月1日（土）～7月23日（日）
後期 9月2日（土）～9月24日（日）

・参加者：16人

② 半幅帯機織り体験

・体験内容：半幅帯機織り

・実施期間：6月3日（土）～
7月22日（土）～
9月16日（土）～
11月4日（土）～
1月20日（土）～

上記日程より、各2か月岡谷絹工房開館日に実施

・参加者：5人

③ コースター機織り体験学割制度

・内 容：学生が絹工房においてコースターの機織り体験をする際、費用の一部を岡谷市が補助し、参加者の増加を図る。

・補助内容：体験料1,000円のうち市が500円を負担する。

・利用者：10人

(13) まちあるき事業

まちなか観光の振興を図るため、市内に点在する製糸関連資産や歴史スポットを巡るイベントを実施した。また、楽しみながらまちあるきを実施してもらえようまちあるきスポットにARを導入した。

- ・まちあるき「糸まちゆかりのぶらり旅」

期 日 11月23日(木・祝)

参加者 14人

おもなスポット

旧岡谷市役所庁舎、旧山一林組製糸事務所、丸山タンク、丸十アートコクーン ほか

- ・歴史をさかのぼる、まちあるきポイント設置(AR)

設置場所2箇所

①岡谷蚕糸博物館 カイコガ羽フォトフレーム

②旧山一林組製糸事務所

“エモい”写真が撮れるエフェクト

(14) アーティスト・イン・レジデンス事業

長野県諏訪実業高等学校の服飾科の生徒に岡谷産シルクを提供し、ウェディングドレス4着を製作依頼。完成したドレスの成果発表会が令和6年1月13日(土)に諏訪市文化センターにて開催された。また、博物館企画展「岡谷シルク展」においても展示をした。

- ・岡谷シルク アーティスト・イン・レジデンス事業

岡谷美術考古館で開催された特別企画展出展者である神田さおり氏を招聘し、岡谷シルクのヴェール制作およびキッズワークショップを開催した。

- ・いとまち商業会×岡谷シルク

アーティスト・イン・レジデンス事業

いとまち商業会との協力により、中央通りのカネイチビルを活用した事業を実施。一般公募により採択したアーティストにより「岡谷シルクトレインプロジェクト」として岡谷シルクトレインの制作や岡谷市から旧横浜港駅プラットフォームまでシルクトレインで移動するワークショップなどが行われた。

- ・(株)クリーマ×岡谷シルク

アーティスト・イン・レジデンス事業

(株)クリーマのクリエイターが岡谷市に滞在し、岡谷シルクを用いた製品開発を行った。

3 地域おこし協力隊ブランド推進事業

養蚕から製糸、製品化までを市内で完結できる岡谷市ならではの環境を活かした、「岡谷シルク」のブランド化によるまちづくりの推進に、地域おこし協力隊と地域関係者が連携し取り組んだ。

- ・三沢区民農園桑園整備及び養蚕

配蚕、摘桑、給桑、上簇・営繭環境管理を行ったほか、養蚕セミナーの企画、実施及び養蚕体験事業補助などを行った。

- ・三沢区民農園の基盤強化のため立ち上げた「くわくわ養蚕倶楽部」の運営を行い、三沢区民農園の活性化が図られた。

- ・岡谷シルクブランド認証製品の販売促進のため、ノベルティの制作を行った。

- ・岡谷シルクをSNSにて積極的に発信し、インスタグラムでのフォロワー数を増加させた。

	令和５年度末フォロワー数：１，４４９人 (19,952,508 円)
文化会館管理運営事業	1 指定管理者（公財）おかや文化振興事業団による管理運営 ・指定管理料 155,152,270 円 ・自主事業補助金 9,000,000 円 ・価格高騰対策支援金 7,955,883 円 2 主催公演事業 ・阪田知樹ピアノ・リサイタル、高嶋ちさ子&加羽沢美濃～ゆかいな音楽会～、永井和子メゾソプラノリサイタル～伝える～、カノラウィークエンドコンサート など 3 育成事業 ・カノラオーケストラ定期演奏会、カノラ少年少女合唱団定期演奏会 など 4 独自企画事業 ・0歳からのファミリーコンサート～あれぐりあ大陸～、やまびこ夜景コンサート、新日本フィルハーモニー交響楽団 など (172,251,169 円)
文化会館整備事業	1 文化会館整備事業 (1) 岡谷市文化会館大ホールピンスポットライト更新工事 ・契約金額：14,740,000 円 (2) カノラホール電話設備更新工事 ・契約金額：1,320,000 円 (3) 岡谷市文化会館自動扉開閉装置交換工事 ・契約金額：4,048,000 円 (20,108,000 円)
童画館管理運営事業	1 指定管理者（公財）おかや文化振興事業団による管理運営 ・指定管理料 70,534,068 円 ・価格高騰対策支援金 1,236,838 円 2 企画展示 ・企画展 大人も楽しむ武井武雄展 ・収蔵作品展 モーリス・センダックコレクション展 ・収蔵作品展 大澤コレクション展 ・企画展 日本中の子供たちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展 ・収蔵作品展 テーマ「平和」 ・企画展 とびだせ！長谷川義史展 ・収蔵作品展 武井武雄版画展 3 はらっぱ事業ワークショップ等 専用クレヨンでガラス窓に絵を描くWS、刊本作品の読み語り、かるた大会、武井武雄ビーズ刺繍、ハロウィンパーティグッズをつくろうなど企画展や季節に合わせた様々なイベントを行い、様々な来館者が童画館での時間を有意義に過ごせる施設運営を行った。 4 広域的連携事業等 神奈川近代文学館で開催された企画展「本の芸術家・武井武雄展」への作品貸出し、まつもと市民芸術館で行われた「ローリーの怪奇骨董お話し箱」への作品の画像提供などを行った。 5 第12回武井武雄記念日本童画大賞 フレーベル館（共催）から出版される絵本部門には全国より

	73点、子ども絵本部門には106点、タブロー部門には210点の応募があった。 (71,813,372円)
童画館整備事業	1 童画館整備事業 (1) 日本童画美術館防水改修工事 ・契約金額：1,639,000円 (2) 日本童画美術館パッケージエアコン(PAC-6)更新工事 ・契約金額：6,820,000円 (3) 日本童画美術館電話交換機器取替工事 ・契約金額：770,000円 (9,229,000円)
博物館管理運営事業	岡谷蚕糸博物館の維持管理に必要な光熱水費や動態展示業務を含む、各種委託料等を予算計上し、適切な管理及び運営を行った。また、SNSによる情報発信に努め、フェイスブック、Instagram、エックスを利用して、博物館活動やカイコ、シルクの情報発信を行った。 総入館者数 来館者 21,844人(一日平均73人) 1 マルベリー広場開放イベント開催事業 (1) オープンエアマーケット(農林水産課との連携事業) 農業者の販売機会、販路拡大、地産地消推進のため農林水産課とブランド推進室が協力してオープンエアマーケットを開催。岡谷蚕糸博物館の芝生広場(マルベリー広場)を直売会場とすることで岡谷蚕糸博物館の来館者増につながった。 第1回 ・期 日 6月17日(土) ・来場者 225人 ・参 考 岡谷蚕糸博物館来館者数 169人 第2回 ・期 日 7月15日(土) ・来場者 236人 ・参 考 岡谷蚕糸博物館来館者数 172人 第3回 ・期 日 8月19日(土) ・来場者 272人 ・参 考 岡谷蚕糸博物館来館者数 186人 第4回 ・期 日 10月21日(土) ・来場者 283人 ・参 考 岡谷蚕糸博物館来館者数 153人 (2) 一般利用 民間団体主催「ひなたマルシェ」が開催され、雑貨、飲食等15店が出店し、地域交流とにぎわい創出、岡谷蚕糸博物館の来館者増につながった。 ・期 日 11月11日(土) ・来場者 300人 ・参 考 岡谷蚕糸博物館来館者数 118人 2 蚕の通年飼育 カイコふれあいルームでの蚕通年飼育 3 わくわくふれあいシルクサマーセミナー ・期 日 7月30日(日) ・場 所 ミュージアムエリア、きぬのひろば ・参加人数 10組20人 ・来館者 94人

	4 商業観光課・岡谷市観光協会との連携 商業観光課、岡谷市観光協会と連携し修学旅行等の誘致に努めた結果、4月から12月中旬にかけ小中学校の学習旅行を中心に多くの団体予約を得た。また、シルクの歴史・文化の伝承や、動態展示、新しいシルク文化の発信など、岡谷市ならではの特徴を活かした活動の拠点施設としてワーケーション事業との連携を図った。 5 ミュージアムショップの運営 ミュージアムショップにて、企画展関連商品、みやげ物、岡谷蚕糸博物館図録、紀要、まゆ人形キット、岡谷シルクブランド認証製品等販売 ・岡谷シルクブランド認証製品棚 取り扱い事業者数：14社 商品数：37品目 6 小中学校との連携による学習支援・講演会等 ・市内小中学校を中心に蚕学習による学習支援活動等実施 実施した学校・保育園数 21件（出前講座36回） ・6月～9月に学校等へ蚕を配布した。（10,300頭） ・シルクおかや桑の木情報発信事業の実施 マップの公開 9件 7 法人向け社員研修等 市内企業を中心に新人職員などを対象に社内の人材育成を目的とした研修会やセミナー、講演会などを実施した。 ・実施回数 9回（岡谷市、TPR㈱長野工場、諏訪信用金庫、岡谷市議会、岡谷市民病院、岡谷市看護専門学校、国家公務員、小井川小学校教職員、岡谷工業高校教職員） 8 資料収集・整理 蚕糸関連資料の収集及び収蔵資料の整理 9 体験工房運営 「まゆちゃん工房」にて、小学校団体を中心にまゆ人形作り体験型ワークショップ等を行った。 団体数：22組 人数：681人（うち154人は無償） 金額：159,900円（実費徴収金額） （518人×300円、9人×500円） (40,555,715円)
企画展等開催事業	1 企画展の開催 （1）信州の作家展 Part4 信州草木染友禅作家 木村不二雄の世界 会 期 令和5年3月9日（木）～5月14日（日） 5年度分 （令和5年4月1日（土）～5月14日（日）39日） 来館者 3,643人（一日平均93人） 関連イベント ・木村不二雄ギャラリートーク・草木染体験教室 期 日 5月7日（日） 会 場 企画展示エリア・まゆちゃん工房 参加者 12人 （2）日本茜・日本紫根 染織三人展 （長野県地域発元気づくり支援金活用事業） 会 期 5月18日（木）～8月20日（日） 来館者 8,513人（一日平均81人）

関連イベント

- ・オープニングイベント

期 日 5月18日(木)
会 場 きぬのひろば・企画展示エリア
参加者 24人

- ・トークショー「出雲紫根の世界」

期 日 6月24日(土)
会 場 きぬのひろば・企画展示エリア
参加者 35人

- ・岡谷産シルク京絞りワークショップ

期 日 6月24日(土)
会 場 まゆちゃん工房
参加者 17人

- ・トークショー「日本茜の世界」

期 日 7月16日(日)
会 場 きぬのひろば・企画展示エリア
参加者 44人

- ・日本茜の糸染め実演

期 日 7月16日(日)
会 場 まゆちゃん工房
参加者 23人

- ・シルク墨流し染めワークショップ

期 日 7月17日(月・祝)
会 場 まゆちゃん工房
参加者 17人

- ・ギャラリートーク

期 日 8月20日(日)
会 場 きぬのひろば・企画展示エリア
参加者 35人

(3) 人生の節目と絹に寄せる思い

会 期 8月24日(木)～11月19日(日)

来館者 6,042人(一日平均81人)

関連イベント

- ・ギャラリートーク

期 日 9月16日(土)
会 場 企画展示エリア
参加者 13人

- ・繭の髪飾りワークショップ

期 日 10月7日(土)
参加者 5人

(4) 東京農工大学科学博物館連携展

フランス式・イタリア式 そして諏訪式へ
～VRでよみがえった葵町製糸場～

会 期 令和5年11月23日(木・祝)～
令和6年2月18日(日)

来館者 3,004人(一日平均45人)

関連イベント

- ・足踏み式座繰器 糸取り体験

期 日 令和5年12月2日(土)～
令和6年1月6日(土)

会 場 体験コーナー

参加者 計6人(各日3人)

	・講演会「150年の眠りから目覚める…！ 勸工寮葵町製糸場図面3D復元プロジェクト報告」 東京農工大学科学博物館 齋藤有里加 期 日 令和5年12月23日（土） 会 場 きぬのひろば・企画展示エリア 参加者 17人 （5）岡谷シルク展 会 期 令和6年2月22日（木）～5月12日（日） 5年度分 （令和6年2月22日（木）～3月31日（日）34日） 来館者 1,435人（一日平均42人） 関連イベント ・繭人形「諏訪湖スワン」ワークショップ 期 日 令和6年3月23日（土） 会 場 まゆちゃん工房 参加者 13人 (3,219,204円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 文化会館

(1) 施設別利用状況

区 分	使用可能日数 (A) (日)	使用日数 (B) (日)	使用率 (B)／(A) %
大ホール	264	149	56.4
小ホール	269	159	59.1
リハーサル室	299	156	52.2
第1練習室	299	234	78.3
第2練習室	299	252	84.3
第1会議室	299	147	49.2
第2会議室	267	57	21.3
合 計 (C)	1,996	1,154	57.8
令和4年度合計 (D)	2,043	1,285	62.9
合計比較 (C) - (D)	△47	△131	△5.1

(2) 使用料収入

区 分	件 数 (件)	使用料収入 (円)
大ホール	230	3,462,710
大ホール附属設備等	184	8,799,525
小ホール	236	1,406,207
小ホール附属設備等	163	3,455,345
リハーサル室	174	365,150
リハーサル室附属設備等	4	0
第1練習室	353	113,280
第2練習室	506	332,010
第2練習室附属設備等	47	18,920
第1会議室	223	160,320
第2会議室	80	77,760
合 計 (A)	2,200	18,191,227
令和4年度合計 (B)	2,186	14,272,420
合計比較 (A) - (B)	14	3,918,807

(3) 利用件数・使用料過去5年の推移

年 度	件 数 (件)	使用料収入 (円)
令和元年度	2,024	14,242,187
令和2年度	1,150	4,650,222
令和3年度	1,835	12,502,760
令和4年度	2,186	14,272,420
令和5年度	2,200	18,191,227

2 童画館

(1) 入館者数

区 分	個 人	団 体	割 引	年間入館券	共通入館券	計
	人	人	人	人	人	人
一 般	11,024	265	7,921	72	339	19,621
中 高 校 生	388	9	122	0	5	524
小 学 生	1,326	0	375	0	26	1,727
小 計	12,738	274	8,418	72	370	21,872
1階はらっぱ等						13,615
招待等						7,214
合 計 (A)						42,701
令和4年度合計 (B)						19,338
合計比較 (A) - (B)						23,363

(2) 入館料

区 分	個 人	団 体	割 引	年間入館券	共通入館券	計
	円	円	円	円	円	円
一 般	5,622,240	108,650	3,247,610	110,160	249,740	9,338,400
中 高 校 生	120,280	1,890	25,620	0	1,550	149,340
小 学 生	212,160	0	41,250	0	8,360	261,770
小 計	5,954,680	110,540	3,314,480	110,160	259,650	9,749,510
合 計 (A)						9,749,510
令和4年度合計 (B)						2,944,840
合計比較 (A) - (B)						6,804,670

(3) 入館者数過去5年の推移

年度 \ 区分	有料入館者			小計	1階はらっぱ等	招待・減免等	合計
	一般	中高生	小学生				
令和元年度	人 4,746	人 71	人 250	人 5,067	人 19,299	人 3,736	人 28,102
令和2年度	3,910	77	194	4,181	9,436	1,802	15,419
令和3年度	6,016	131	585	6,732	10,859	3,363	20,954
令和4年度	5,805	123	483	6,411	9,908	3,019	19,338
令和5年度	19,621	524	1,727	21,872	13,615	7,214	42,701

(4) 入館料過去5年の推移

年 度	入館料収入 (円)
令和元年度	2,447,210
令和2年度	2,060,310
令和3年度	3,170,930
令和4年度	2,944,840
令和5年度	9,749,510

3 岡谷蚕糸博物館

(1) 入館者数

区 分	個 人	団 体	年間入館券	共通入館券	計
	人	人	人	人	人
一 般	4,482	5,232	34	303	10,051
中 高 校 生	116	705	0	1	822
小 学 生	276	814	0	8	1,098
小 計	4,874	6,751	34	312	11,971
無料ゾーン					5,998
招 待 等					3,875
合 計（A）					21,844
令和4年度合計（B）					18,112
合計比較（A）－（B）					3,732

(2) 入館料

区 分	個 人	団 体	年間入館券	共通入館券	計
	円	円	円	円	円
一 般	2,285,820	2,145,120	41,480	221,600	4,694,020
中高校生	35,960	148,050	0	310	184,320
小 学 生	44,160	89,540	0	2,530	136,230
小 計	2,365,940	2,382,710	41,480	224,440	5,014,570
合 計 (A)					5,014,570
令和4年度合計 (B)					3,854,530
合計比較 (A) - (B)					1,160,040

(3) 入館者数・入館料過去5年の推移

年 度	入館者数	入館料収入
	人	円
令和元年度	29,492	7,138,940
令和2年度	12,742	2,058,040
令和3年度	15,805	2,846,460
令和4年度	18,112	3,854,530
令和5年度	21,844	5,014,570

農 林 水 産 課

第1 概説

農林水産課では、農地の保全、農林水産業の振興、市有林の整備や分収造林事業、鳥獣保護等に関する業務を執行した。

農業振興では、農業の担い手育成・確保策として、「サポートファーム（栽培指導者付き市民農園）事業」を実施したほか、「岡谷・シルクスweetオーナー事業」では、関係人口の創出を図った。

地産地消の推進では、農産物直売所への支援や学校給食への地元農産物提供の促進を図るとともに、シルクスweetの特産品化に向けた普及活動を行ったほか、「岡谷農業フェスティバル」、「オープンエアマーケット（青空市場）事業」及び「岡谷市収穫祭」の開催により、市内農産物の販売促進、農業振興を図った。

農産物の生産振興の推進では、農作物食害防止対策支援や省エネ農業を推進し、ゼロカーボンシティへの取組を行ったほか、農地保全対策として市民農園の利用促進を図った。

鳥獣被害対策では、被害の多い地域に防護柵の設置や捕獲等に対する支援を行ったほか、ニホンジカを捕獲する鳥獣被害対策実施隊を組織し、農地の保全と農林業被害の軽減に努めた。

水産振興では、諏訪湖の水産振興に向け、魚類放流事業及び外来魚駆除事業を支援した。

農業基盤整備では、用水施設の維持管理や農業用水路の改修等のほか、防災重点農業用ため池の廃止に伴う設計業務及び廃止工事を実施した。

林業関係では、森林環境譲与税を活用し、市有林の間伐や保育事業、森林経営管理制度の運用による民有林の整備推進に努めたほか、松くい虫防除対策では、引き続き早期発見に向けた監視に努めるとともに、枯損木を適切に処理することで拡大防止に努めた。

分収造林事業では、森林研究・整備機構と分収造林契約を結んでいる横川山において保育事業等を実施した。

このほか、令和3年8月大雨災害により被災した林業施設の災害復旧工事が完了した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
市有林管理事業	巡視や倒木処理、境界手入等による維持管理を行った。 (976,132 円)
市有林整備事業	健全な育成管理を図るための事業を実施した。 ・東山パークライン 「山林火災地」 生物害防除、下刈り 0.30ha ・東山樋沢（防火線） 搬出間伐、作業道開設 7.94ha、1,121m ・岡谷小学校跡地 植栽業務 336本 植生シート 1,400m ² 下刈り 2.02ha (10,346,278 円)
農 業 振 興 事 業	1 農業担い手の育成、確保 (1) サポートファーム（栽培指導者付き市民農園）事業 農業に関心のある市民等を対象に農業の基礎を習得する機会を提供し、農業の担い手育成、地産地消の推進を図った。 ・期間 4月から10月まで（14回） ・時間 隔週木曜日午前9時から11時まで ・区画 14区画（5組） (2) 関係補助金 ・環境保全型農業直接支払交付金 1件 240,000 円 2 地産地消の推進 (1) 農産物直売所への支援事業 岡谷市観光案内所内の農産物直売所の運営管理をはじめ、市内に設置されている農産物直売所に対し、補助金による支援を行った。 (2) 学校給食地元農産物利用推進事業 学校側と生産者とのコーディネートに努め、市内小中学校に地元農産物を提供した。 ・生産者 個人22人、団体2団体 ・出荷期間 4月から2月まで ・出荷量 6,246.30kg (3) 岡谷市農業振興連絡協議会事業 ・9月 2日（土）岡谷農業フェスティバル2023 ・11月 3日（金）岡谷市収穫祭 ・2月10日（土）第22回岡谷市農業シンポジウム (4) オープンエアマーケット（青空市場）事業 岡谷蚕糸博物館マルベリー広場を活用し、定期的に開催することで、市内農産物の販売促進、地産地消の推進、農業振興を図った。 ・6月17日（土）出店 8団体 参加者225名 ・7月15日（土）出店13団体 参加者236名 ・8月19日（土）出店16団体 参加者272名 ・10月21日（土）出店15団体 参加者283名 (5) 岡谷市農業技術者連絡協議会事業 11月から2月までの毎月16日を「おかやシルクスイートの日」とし、岡谷市民総合体育館（焼き芋販売用）、

	学校・保育園（給食用）及びおかやシルクスイートフェア 参加店舗（市内飲食店１５店舗）への岡谷産シルクスイ ートの販売を通じて普及活動を行った。		
	3	生産振興の推進	
		・農業活性化事業補助金	1 件 300,000 円
		・農業協同組合指導費補助金	1 件 1,440,000 円
		・農業共済組合育成補助金	2 件 2,038 円
		・生産物直売所活性化事業補助金	3 件 14,000 円
		・農業振興事業補助金	1 1 件 1,295,000 円
		・省エネ農業推進事業補助金	2 件 64,000 円
	4	農地保全対策	
		・市民農園	市管理 1 3 か所 9 6 区画 個人型 9 か所 7 9 区画 計 2 2 か所 1 7 5 区画
		・中山間地域等直接支払交付金	
		栃久保地域資源保全会	995,612 円
		対象面積	6 5 , 3 7 1 m ²
		・多面的機能支払交付金	
		栃久保地域資源保全会	173,400 円
		対象面積	6 6 6 a
		・農作物食害防止事業補助金	5 件 171,000 円
		・鳥獣被害防止総合対策交付金 (現年度事業)	1 件 1,849,000 円
		電気柵設置	
		須門狭間地区	4 6 0 m
		サル防除対策委託	
		くくりわな	1 4 3 基
		箱わな	3 0 基
		(前年度繰越事業)	1 件 1,470,000 円
		電気柵設置	
		小洞沢地区	1 8 0 m
	5	米の生産数量目標及び経営所得安定対策	
		・経営所得安定対策等推進事業費補助金	1 件 391,000 円
		水田戦略作物該当者(大豆、麦、米粉)	3 名
		産地資金該当者(花き、野菜、果樹)	9 名
		(10,045,502 円、前年度繰越事業 1,470,000 円)	
水産振興事業	1	諏訪湖魚類放流事業補助金	1 件 684,000 円
	2	諏訪湖外来魚駆除事業補助金	1 件 256,000 円
			(940,000 円)
農地管理事業		農業用水の安定確保のため、揚水ポンプの維持管理等を実施した。 ・用水施設維持管理業務委託 間下田用水、バイパス関連、小井川沖田用水 (4,840,938 円)	
農道水路維持管理事業	1	農道水路維持修繕	
		・鳴沢汐改修工事他	計 3 8 件
	2	維持補修原材料等	
			(10,485,324 円)
農道水路整備事業	1	1 4 2 号 B P ポンプ更新工事	1 台 (八倉沢 No.2)
	2	防災重点農業用ため池測量設計委託業務	
		・蟹沢下ため池、明王ため池、西除ヶ入ため池	

	3 前年度繰越事業 ・防災重点農業用ため池廃止工事 1 か所 除ヶ入ため池 ・除ヶ入ため池法面整備工事（法面保護） 4 翌年度繰越事業 ・防災重点農業用ため池廃止工事 2 か所 蟹沢下ため池、明王ため池 (32,178,000 円)
分収造林事業 特別会計繰出金	分収造林事業の造林等事業費に対する 2 % 分を負担した。 ・造林等 下刈り、生物害防除、根踏、地拵え、植栽 (393,608 円)
林務管理事業	1 鳥獣による農林業被害軽減のため、岡谷猟友会への委託及び 鳥獣被害対策実施隊を組織し、檻・罠等による捕獲を実施した。 2 大型獣緊急捕獲・放獣事業委託業務（クマ 2 頭） 3 森林経営管理事業による森林整備に向けた事業体との協議 4 地すべり防止施設等管理サポート事業管理業務委託（横川 山：左大坪） (8,799,033 円)
林道等維持管理 事業	1 林道修繕 ・林道横河山線路盤修繕工事他 計 4 件 2 林道補修用材料等 (5,595,367 円)
松くい虫防除対 策事業	松くい虫被害の早期発見のための監視及び枯損木の処理を行っ た。 ・監視員 4 名による市内全域の巡視 4 月～11 月 ・マツノマダラカミキリ発見のための誘引器設置 8 か所（10 基） ・アカマツ枯損木の伐倒・くん蒸処理 16 件 28 本 (2,198,278 円)
林道整備事業	林道常現寺線舗装工事 ・舗装工 L = 58 m A = 174 m² (957,000 円)
水源の森保全事 業	横川山水源かん養林土地借上地の健全な森林育成を行った。 1 水源の森保全事業 ・下刈り 7.0 ha 2 横川山水源かん養林管理事業 ・つる切り 20.0 ha ・除伐 10.0 ha 3 横川山水源かん養林土地借上げ ・横川山 3,771,400 m² ・岡谷区 123,200 m² ・四ヶ区 74,380 m² (8,754,000 円)
林業振興事業	健全な森林づくり推進のため、民有林整備に対し補助を行った。 1 森林環境保全直接支援事業 ・搬出間伐 7 件 87.54 ha ・更新伐 2 件 13.44 ha 2 市単森林造成事業 ・除伐 9 件 11.91 ha

	・下刈り 2 件 3. 3 7 h a (3,362,900 円)
林業施設災害復旧事業（令和 3 年 8 月大雨災害）	大雨により被災した林道等の復旧工事等を実施した。 1 前年度繰越事業 ・業務委託 監督員補助業務（横河山線 1 号・5 号） ・復旧工事 林道横河山線 1 号 L = 8 9. 4 m、橋梁工 林道横河山線 5 号 L = 2 6 4 m 2 事故繰越事業 ・復旧工事 林道横河山線（菅の沢） 路面・路肩復旧工 L = 3 5 8 m 林道仲ノ沢線 根固め工 L = 1 0 m 林業施設 残り 5 か所実施 (補助事業 3 か所、単独事業 2 か所) ※前年度までの実施箇所数 1 4 7 か所のうち、1 4 2 か所実施 (補助事業 3 1 か所、単独事業 1 1 1 か所) (263,239,002 円)
分収造林事業	横川山 ・地拵・植栽・生物害防除 4. 8 9 h a ・根踏、生物害防除 6. 7 9 h a、2 1. 2 1 h a ・下刈り 2 1. 2 1 h a ・生物害防除 2 1. 2 1 h a (20,834,965 円)

第 3 主要な統計、行政資料等

1 有害鳥獣捕獲実績

(単位：頭)

年度	合計	ニホンジカ	イノシシ	ハクビシン	タヌキ	アナグマ	カラス	キツネ	カモシカ	ニホンザル
元	588	515	21	17	20	14	—	—	0	1
2	657	539	11	20	49	7	2	27	0	2
3	654	591	12	6	23	5	0	16	0	1
4	513	422	19	16	27	10	0	18	0	1
5	579	463	37	18	28	21	0	11	0	1

2 岡谷市分収造林事業特別会計

(1) 契約面積

内訳 団地名	契約面積 ha	植栽面積 ha	本年度改植 ha	除 地 ha
横 川 山	484.35	463.66	0	20.69
新 倉 山	56.41	56.41	0	0.00
大 沢 山	103.48	101.14	0	2.34
横川山市有林	13.05	13.05	0	0.00
合 計	657.29	634.26	0	23.03

(2) 契約の内容

団地名	契約番号	契約面積 (ha)	契約 年月日	契約期間	土地所有者
横川山	28 号	426.45	S36.12. 5	契約日から満 160 年間 (R103.12 月)	横川山運営委員会
	601 号	20.55	S45.11.14	" 105 年間 (R57.11 月)	"
	654 号	37.35	S46.12. 2	" 135 年間 (R88.12 月)	"
	小計	484.35			
横川山 市有林	29 号	13.05	S36.10.18	契約日から満 70 年間 (R13.10 月)	岡谷市
大沢山	284 号	97.86	S40. 8. 9	" 満 70 年間 (R17.8 月)	新倉林野組合 三沢区、岡谷区
	888 号	5.62	S51. 3.10	" 55 年間 (R13.3 月)	新倉林野組合
	小計	103.48			
新倉山	1013 号	56.41	S53. 6.27	契約日から満 120 年間 (R80.6 月)	新倉林野組合
合計		657.29			

建設水道部

都 市 計 画 課

第1 概説

都市計画課では、将来を見据えた都市計画業務や都市計画道路等の都市基盤整備のほか、市営住宅の管理、建築確認審査、建築工事の設計・監督、耐震改修促進、空き家対策等の業務を執行した。

- 1 地域幹線道路整備促進事業では、国道20号下諏訪岡谷バイパス（1工区）及び都市計画道路岡谷川岸線整備において、国、県とともに地元対応を行い事業促進を図った。
- 2 諏訪湖スマートインターチェンジ整備事業では、スマートインターチェンジにつながるアプローチ道路築造工事を行った。
- 3 諏訪湖サイクリングロード整備事業では、塚間川から釜口水門までの約600mの区間を整備した。
- 4 市営住宅では、適正管理とサービス向上を図るため、長野県住宅供給公社へ管理代行を行い、市営住宅の管理と長寿命化計画に基づく大規模修繕工事等を実施した。また、管理効率化を図るため、廃止予定団地の入居者を移転誘導する老朽団地住替事業を実施した。このほか、子育て支援事業として、子育て世帯が快適に暮らせるよう住戸を整備するとともに、諏訪東京理科大学との連携による学生居住事業を実施した。
- 5 建築指導では、建築基準法に基づく建築確認等の審査業務を実施した。また、旧岡谷市役所庁舎耐震補強等実施設計業務、市役所庁舎照明設備LED化等更新工事、岡谷田中小学校バリアフリー改修工事等、営繕工事の設計、監督を行った。
- 6 住宅対策事業では、地震災害等による建物被害の軽減を図るため、住宅の無料耐震診断を実施し、耐震改修工事費の一部に補助金を交付した。また、空き家対策では、第2期岡谷市空家等対策計画推進のため、岡谷市空き家対策パンフレットを作成し、空き家ネットワーク@おかやによる相談対応、適正管理指導、老朽危険空き家への解体費の一部に補助金を交付したほか、危険な状態が切迫している空き家に対して条例に基づく緊急安全措置を行った。

このほか、空き家の有効活用のため、銀座NAGANOでの空き家・空き地個別相談会、空き家バンクの運営を行い、家財等の処分及び住宅を購入した移住者に補助金を交付した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
都市計画管理事務	1 諏訪湖総合開発 ・諏訪湖創生ビジョン推進会議（事務局：諏訪地域振興局） 5月25日（木）ほか1回 ・諏訪湖畔における河川空間のオープン化検討会議 10月12日（木） 2 NEXCO中日本による長野自動車道岡谷高架橋改良工事 (3,192,336円)
街路管理事業	1 都市サイン修繕・点検 ・車輛誘導サインの修繕 5か所 (503,000円)
地域幹線道路整備促進事業	1 国道20号下諏訪岡谷バイパス（1工区） （1）関係機関との協議（国・長野県・下諏訪町） ・調整会議 2月14日（水） （2）（仮称）山田トンネル工事 L=485m ・トンネル本坑貫通令和6年1月29日 2 諏訪郡市国道20号改修・バイパス建設促進期成同盟会 国道20号バイパスの建設促進等の要望（国、県等） ・期 日 7月13日（木）、7月26日（水） 3 都市計画道路岡谷川岸線整備 L=870m W=14.0m（川岸小学校～観蜚橋） （1）測量設計 ・電線共同溝予備設計 （2）用地取得 ・全体件数97件のうち契約済み51件 4 （主）下諏訪辰野線整備駒沢区協議 ・長野県及び地元駒沢区と事業実施に向けた意見交換 ・沿線権利者の意向把握 5 県道下諏訪辰野線整備促進期成同盟会 （1）事業促進要望（長野県建設部） ・期 日 11月21日（火） （2）交通量調査 ・期 日 10月5日（木）12時間調査 ・場 所 5か所（岡谷市3か所、辰野町2か所） (44,604,776円)
スマートインターチェンジ整備事業	1 関係機関との協議 ・長野県、諏訪市、NEXCO中日本等との協議 随時 ・諏訪湖スマートIC地区協議会 11月6日（月） 2 地元対応 ・小坂区協議 随時 ・小坂区安全協議会 4月12日（水）ほか11回 ・小坂区対策委員会 4月12日（水）ほか 4回 ・県工事説明会（小坂区） 4月27日（木）ほか 2回 3 工事 ・スマートインターチェンジ整備工事 51,425,000円 4 開通予定時期の変更 ・諏訪湖スマートIC地区協議会において、開通予定時期を令和7年夏頃に変更した。 (51,484,212円)

諏訪湖周サイクリングロード整備事業	1 関係機関との協議 ・諏訪湖周自転車活用推進協議会 12月18日（月）ほか1回 ・関係団体等との協議 随時 2 地元対応 ・県工事説明会（花岡区） 5月24日（水） 3 工事 ・サイクリングロード整備工事 184,987,000円 (184,987,000円)
湖畔若宮地区整備事業	1 民間で進める開発計画について、地区計画の内容と整合を取りながら、事業の推進を図った。 2 岡谷110号線整備の事業実施に向けた地元小井川区及び沿線権利者との協議を行った。 (83,305円)
市営住宅管理総務事務	1 市営住宅管理代行委託業務 116,062,209円 大規模修繕工事 内45,254,000円 ・中村C2外壁等防水改修・中村C1手摺り設置工事 ・小萩Kユニットバス設置工事（子育て世帯支援事業用2戸） ・高尾T量水器交換工事 ・高尾市営住宅解体工事（平屋4棟5戸） 2 老朽団地住替事業に係る移転補償 2件 500,000円 3 市営住宅学生居住事業 入居者1名 (125,738,715円)
建築指導事務	1 確認申請（計画変更含む） 79件 2 位置指定道路等申請 2件 3 長期優良住宅認定（認定の変更含む） 39件 (2,950,426円)
景観形成推進事業	1 屋外広告物設置許可 21件 (156,425円)
住宅対策事業	1 耐震対策 ・個人住宅耐震診断委託 13件 845,000円 ・個人住宅等耐震補強補助 4件 4,000,000円 合計 17件 4,845,000円 2 空き家対策 ・第2期空家等対策計画推進（令和5年度～令和10年度） ・空き家・特定住宅用地情報バンク登録29件 成約14件 ・不良住宅判定委託 15件 272,250円 ・老朽危険空き家対策補助金 9件 2,700,000円 ・移住・田舎ぐらし応援事業補助金 5件 4,490,000円 ・空き家家財等処分事業補助金 2件 200,000円 ・条例に基づく緊急安全措置 4件 ・銀座NAGANO出張相談会 2回 1月27日（土）、2月17日（土） ・空き家ネットワーク@おかや相談取次 8件 ・空家等対策協議会 2回 7月5日（水）、11月29日（水） (12,899,010円)

地域開発事業特別会計事業用地等整理事業	1 事業用地の一部を一般会計へ有償所属換 ・所属換面積 381.67㎡	19,999,508円
	2 保有土地の賃貸収入 ・賃貸件数 5か所	1,808,620円 (21,808,128円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 団地別管理戸数等

(令和6年3月31日現在)

団地名	建設年度		入居戸数	管理戸数		
			R5年度	R5年度	R4年度	増減
出の洞	S29	募集停止	1	4	4	0
橋 詰	S28	募集停止	3	6	6	0
高 尾	S30～	募集停止	0	15	20	▲5
中 村	S35～	募集停止	2	5	5	0
富士見ヶ丘	S39～	募集停止	32	54	54	0
上ノ原	S41～	募集停止	41	102	102	0
加茂A	S45～		88	100	100	0
加茂B	S47～		54	61	61	0
学ヶ丘	S53		28	35	35	0
堂 前	S54		14	18	18	0
中村A	S56		14	24	24	0
高尾T	S57		14	24	24	0
小萩K	S58～		49	64	64	0
中村C	S61～		24	42	42	0
田中線	H15～		13	16	16	0
合 計			377	570	575	▲5

2 地域開発事業特別会計残財産表

(令和6年3月31日現在)

No	箇所名等	面積		筆数	備考
		実測 (㎡)	公簿 (㎡)		
1	東中央通線関連公共事業用地	302.37	299.99	2	塚間町一丁目
2	小井川西町線関連公共事業代替地	44.34	45.00	1	田中町三丁目
3	東堀線関連公共事業代替地	33.68	33.68	1	長地柴宮一丁目
4	東町線関連公共事業用地	246.71	246.71	1	赤羽三丁目
5	湖岸線関連公共事業用地	157.64	170.00	2	湖畔四丁目
6	岡谷川岸線関連公共事業代替地	414.15	414.15	2	川岸東五丁目ほか
7	湖畔公園関連公共事業用地・代替地	1,674.22	1,498.19	6	長地権現町三丁目ほか
8	国道20号バイパス関連公共事業用地・代替地	449.16	480.00	2	長地出早一丁目ほか
9	駅南地区関連公共事業用地	673.51	673.51	5	天竜町一丁目
10	湊三丁目公共事業残地	38.43	38.00	1	湊三丁目
合 計		4,034.21	3,899.23	23	

土 木 課

第 1 概説

土木課では、道路、橋梁、水路、公園等の整備及び維持管理業務を執行した。

- 1 道水路等の整備事業では、各区からの要望や地域活性化と安全でよりよい生活環境の確保のための道路改良や溢水軽減対策工事等を行った。また、国の交付金を受け、道路後退整備事業及び通学路等の安全・安心な通行空間確保を図るため、市内各所において通学路や生活道路の交通安全対策工事を実施した。
- 2 河川改修事業では、一の沢川の改修工事のほか、待張川及び桧山沢川の詳細設計を実施した。また、河川維持事業では、大堀川外 3 河川の堆積土砂等撤去工事のほか、塚間川外 2 河川の維持工事を実施した。
- 3 道水路維持補修事業では、主要幹線道路である 1 2 号線（小井川東町線）等の舗装維持工事を実施した。また、月 3 回の定期パトロールの実施や道路情報投稿アプリなどを活用し、舗装や側溝等の破損箇所の早期発見に努め維持補修を行った。
- 4 冬期の道路管理では、4 業者に委託して凍結防止剤散布を実施した。除排雪業務としては、除雪重機等所有の 4 6 業者と委託契約し、市が指定する除雪路線の部分除雪と雪捨場の整地作業等を実施した。
- 5 橋梁維持補修事業では、鉄道等に跨る橋梁の定期点検を実施した。また、岡谷市橋梁長寿命化修繕計画（第二期）に基づき早期に補修が必要な三沢跨線橋の補修工事を実施した。
- 6 道水路の管理業務では、境界査定、市道の認定と変更事務、道路台帳の補正等整備のほか、道水路管理に必要な事務を行った。また、道水路の占用許可及び自営工事承認に関する事務を行い、占用料の徴収事務等を実施した。
- 7 都市公園管理では 1 9 公園の施設の清掃や樹木等の管理を実施したほか、公園施設の長寿命化と機能の再整備に向けた方向性を盛り込んだ、第 2 期岡谷市公園施設長寿命化計画に基づき整備した、蚕糸公園が竣工した。
- 8 緑化推進では街路樹の剪定、消毒等の樹木管理のほか、ふれあい花壇づくり事業を実施し、住民参加による緑化運動の推進啓発に努めた。
- 9 県事業では、道路や河川の改修、砂防等の事業に係る協議、連絡調整を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
土木管理事務	1 各種負担金 ・治水砂防協会会費 285,000 円 ・河川協会会費 335,000 円 ・長野県地区用地対策連絡協議会会費 500 円 ・急傾斜地崩壊防止事業地元負担金 622,225 円 2 諏訪湖流域治水促進期成同盟会 諏訪湖、天竜川及び諏訪湖に流入する河川等の整備を促進し諏訪地域の治水に寄与することを目的に、諏訪6市町村で構成。 ・総 会 7月13日（木） ・要望活動 7月21日（金）国土交通省中部地方整備局 7月26日（水）国土交通省・財務省 (97,032,396 円)
路線管理事務	・道路台帳補正業務 道路網図等修正一式 業務箇所 岡谷市内一円 3,630,000円 ・道路等占用台帳管理システム賃借料及び利用料 1,628,114円 (10,265,411円)
道路橋梁総務管理事業	・道路橋梁照明等電気料 4,900,988円 (35,351,631円)
道水路維持補修事業	1 請負工事 72件 ・2号線（山の手線）舗装維持工事 舗装工 L=100m A=577m² ・3号線（鳴沢通り線）舗装維持工事 舗装工 L=205m A=1,040m² ・8号線（若宮通り線）外1路線舗装維持工事 舗装工 L=129m A=893m² ・9号線（中道町線）舗装維持工事 舗装工 L=44m A=163m² ・10号線（十五社通り線）側溝維持工事 側溝工（600型） L=34m ・12号線（小井川東町線）舗装維持工事 舗装工 L=764m A=4,400m² ・13号線（辻下線）舗装維持工事 舗装工 L=155m A=831m² ・14号線（横道線）舗装維持工事 舗装工 L=160m A=613m² ・22号線（横川東堀線）舗装維持工事 舗装工 L=189m A=838m² ・24号線（東山田西山田線）舗装維持工事 舗装工 L=210m A=1,190m²

- ・ 107号線（元街道線）舗装維持工事
舗装工 L = 185 m A = 742 m²
- ・ 113号線（長地山の手線）舗装維持工事
舗装工 L = 118 m A = 402 m²
- ・ 115号線（下横町線）舗装維持工事
舗装工 L = 198 m A = 869 m²
- ・ 118号線（神命線）舗装維持工事（その2）
舗装工 L = 301 m A = 1,680 m²
- ・ 岡谷65号線舗装維持工事
舗装工 L = 119 m A = 560 m²
- ・ 岡谷91号線舗装維持工事
舗装工 L = 153 m A = 677 m²
- ・ 岡谷286号線舗装維持工事
舗装工 L = 181 m A = 681 m²
- ・ 岡谷397号線舗装維持工事
舗装工 L = 217 m A = 1,015 m²
- ・ 岡谷761号線舗装維持工事
舗装工 L = 230 m A = 1,390 m²
- ・ 川岸82号線舗装維持工事
舗装工 L = 307 m A = 1,090 m²
- ・ 川岸141号線舗装維持工事
舗装工 L = 150 m A = 537 m²
- ・ 長地144号線舗装維持工事
舗装工 L = 223 m A = 1,230 m²
- ・ その他小規模工事 50件

336,442,700 円

2 施設等修繕

- ・ 道路付属物、交通安全施設、凍結防止剤散布装置、ロータリー除雪自動車等

3,890,713 円

3 委託業務 38件

- ・ 岡谷駅歩道橋昇降機設備保守点検委託業務
保守点検業委託業務 1式
- ・ 舗装路面診断調査業務
路面診断調査業務 1式
- ・ 6号線（天竜川通り線）外1路線路面調査業務
路面調査業務 1式
- ・ その他小規模業務及び単価契約 35件
支障木等伐採、草刈、産業廃棄物処理、除雪車管理、側溝浚渫土砂等運搬

10,624,395 円

- ・ 雪寒業務

除雪路線	87路線	延長	86.3 km
凍結防止剤散布業務	延べ	87回	
除雪業務	延べ	16回	
雪捨て場整地等業務	延べ	31回	

16,802,103 円

4 賃貸借契約 6件

- ・ 公用車両賃貸借契約 N = 3台
- ・ 岡谷市LED道路照明灯賃貸借契約
N = 470灯
- ・ その他 2件

7,655,755 円

	5 直営工事 ・舗装及び側溝等補修、道水路等清掃、草刈伐採、泥上げ、土のう配布、凍結防止剤散布及び配布、焼き砂配布等 6 前年度繰越工事 2件 ・118号線（神命線）舗装維持工事 舗装工 L = 380 m A = 2, 410 m² ・岡谷555号線舗装維持工事 舗装工 L = 408 m A = 2, 650 m² 108,229,000 円 7 前年度繰越委託業務 5件 ・その他小規模業務 5件 1,886,500 円 (514,899,594円)
道水路等整備事業	1 請負工事 24件 ・岡谷764号線支線改良工事 舗装工 A = 317 m² ・18号線（能登舟線）改良工事 道路拡幅改良工 L = 28 m ・岡谷609号線改良工事 側溝工（500型） L = 45 m ・岡谷426号線改良工事 側溝工（300型） L = 60 m ・岡谷618号線支線改良工事 水路工（400型） L = 23 m ・岡谷474号線改良工事 側溝工（300型） L = 39 m ・長地195号線改良工事 側溝工（300型） L = 49 m ・川岸78号線改良工事 側溝工（300型） L = 34 m ・岡谷218号線改良工事 側溝工（300型） L = 66 m ・岡谷22号線改良工事 側溝工（300型） L = 102 m ・32号線（湖岸通り線）支線改良工事 水路工（700型） L = 35 m ・21号線（岡部田線）改良工事 側溝工（300型） L = 71 m ・13号線（辻下線）改良工事 側溝工（400型） L = 49 m ・岡谷38号線改良工事 側溝工（800型） N = 1箇所 ・湊109号線改良工事 側溝工（300型） L = 203 m 舗装工 A = 642 m² ・長地226号線改良工事 側溝工（700型） L = 97 m ・川岸336号線改良工事 舗装工 A = 323 m²

	・岡谷 2 1 5 号線改良工事 側溝工（3 0 0 型）$L = 4 8 \text{ m}$ ・岡谷 6 7 9 号線改良工事 舗装工$A = 2 5 0 \text{ m}^2$ ・長地 6 号線改良工事 止水壁工$L = 6 2 \text{ m}$ ・生活道路安全対策工事 交通安全施設設置 1 式 ・通学路交通安全対策工事 交通安全対策$N = 8$箇所 ・通学路交通安全対策（その 2）工事 交通安全対策$N = 5$箇所 ・その他小規模工事 1 件	147,818,000 円
2	道路後退舗装工事 5 件 ・ 1 0 9 号線（天白西線）道路後退舗装工事 舗装工$A = 2 1 6 \text{ m}^2$ ・岡谷 5 8 6 号線道路後退舗装工事 舗装工$A = 2 2 \text{ m}^2$ ・岡谷 5 5 9 号線道路後退舗装工事 舗装工$A = 2 6 2 \text{ m}^2$ ・その他小規模工事 2 件	22,429,000 円
3	委託業務 1 0 件 ・長地 3 5 号線関連（小清水川）流量検討業務 調査業務 1 式 ・岡谷 6 号線地質調査業務 ボーリング調査 1 式 ・その他小規模業務 8 件	3,571,433 円
4	財産購入 1 0 件 ・長地 3 5 号線整備事業に伴う用地代 1 件 ・岡谷 4 8 5 号線道路後退整備事業に伴う用地代 1 件 ・その他 8 件	1,124,718 円
5	補償 8 件 ・ 1 8 号線（能登舟線）改良工事に係る 電気工作物移転補償料 1 件 ・岡谷 4 8 5 号線道路後退整備事業に伴う補償 2 件 ・その他 5 件	4,218,089 円 (212,271,905 円)
6	翌年度繰越工事 1 件 ・川岸 2 2 3 号線改良工事 底張工$A = 1 9 \text{ m}^2$	6,000,000 円

橋梁維持補修事業	1 委託業務 9件 - 中央本線岡谷・みどり湖間三沢跨線橋補修工事補修工事 橋梁補修工 N = 1 橋 - 中央町一・二丁目歩道橋橋梁補修設計委託業務 橋梁補修設計 N = 1 橋 - 中央本線岡谷構内岡谷駅歩道橋点検作業 橋梁点検 N = 1 橋 - 中央自動車道跨高速道路秋葉山橋外1橋 橋梁定期点検業務 橋梁点検 N = 2 橋 - 塚間湖岸橋外5橋橋梁定期点検業務 橋梁点検 N = 8 橋 - 塚間行屋小路橋外3橋橋梁定期点検業務 橋梁点検 N = 7 橋 - 中央町一・二丁目歩道橋（岡谷746号線）清掃等業務 清掃等委託業務 1 式 - 岡谷駅歩道橋（岡谷749号線）清掃等業務 清掃等委託業務 1 式 - その他 1 件 (90,836,558 円)
河川改修事業	1 請負工事 3件 - 一の沢川改修工事 河川改修工（1, 200×1, 200）L = 26 m - 小洞沢川改修工事 河川改修工（1, 300×1, 300）L = 41 m - 又五郎川改修工事 河川改修工（1, 500×1, 200）L = 60 m 39,633,000円 2 委託業務 6件 - 待張川設計業務 設計業務 1 式 - 桧山沢川設計業務 設計業務 1 式 - その他 4 件 19,987,000円 3 前年度繰越工事 2件 - 小洞沢川改修工事 河川改修工（1, 300×1, 300）L = 36 m - 又五郎川改修工事 河川改修工（1, 500×1, 200）L = 47 m 19,976,000円 (79,596,000円)
河川維持事業	1 請負工事 8件 - 大堀川浚渫工事 堆積土砂撤去工 V = 50 m³ - 本沢川浚渫工事 堆積土砂撤去工 V = 30 m³ - 塚間川浚渫工事 堆積土砂撤去工 V = 131 m³ - 待張川浚渫工事 堆積土砂撤去工 V = 129 m³

	・塚間川河川維持工事 護岸工 $A = 17 \text{ m}^2$ ・その他小規模工事 3 件 (13,923,800 円)
都市公園等管理 事業	1 指定管理者による公園管理 ・鳥居平やまびこ公園、岡谷湖畔公園、蚕糸公園では 新型コロナウイルス感染以前に戻りつつある中で、管理及 び自主事業に努めた。 96,322,072 円 2 直営による公園管理 ・花岡公園外 15 公園 16,017,270 円 3 観光地等魅力向上森林景観整備業務（花岡公園） ・立木伐採 $N = 4$ 本 1,078,000 円 (137,829,352 円)
都市公園整備事 業	1 請負工事 5 件 ・岡谷湖畔公園ジョギングロード整備工事 カラーゴムチップ舗装 $A = 404 \text{ m}^2$ ・岡谷湖畔公園バスケットゴール・コート整備工事 バスケットゴール 1 基 アスファルト舗装 $A = 200 \text{ m}^2$ ・岡谷湖畔公園四阿更新工事 四阿設置工 1 基 インターロッキング復旧工 $A = 36.0 \text{ m}^2$ ・岡谷湖畔公園トイレ改修工事 トイレ洋式化 3 基 扉設置 1 基 ・鳥居平やまびこリフトワイヤー交換工事 リフト整備工 1 式 42,427,000 円 2 前年度繰越工事 2 件 ・岡谷湖畔公園ジョギングロード整備（その 3）工事 カラーゴムチップ舗装 $A = 763 \text{ m}^2$ ・蚕糸公園等整備工事 公園施設整備工 $A = 1,278 \text{ m}^2$ 110,440,000 円 (154,240,000 円) 3 翌年度繰越工事 1 件 ・湖畔公園整備工事 舗装工 $A = 696 \text{ m}^2$ 13,000,000 円
緑化推進事業	1 街路樹等管理 ・塚間川河川公園、31 号線、25 号線の剪定ほか消毒 ・成田公園、鶴嶺公園の危険木伐採 4,926,552 円 2 ふれあい花壇づくり事業 ・プランター貸与、花苗助成 認定団体数 34 団体 586,637 円 (6,053,649 円)

県執行事業	1 河川事業 ・塚間川（貯留施設）（調査・設計・工事） 2 砂防事業 通常分 ・竹の沢川（工事） ・蟹沢（工事） ・中大久保沢（工事） ・大久保沢（工事） 3 急傾斜地崩壊対策事業 ・山手町（工事） ・日吉神社（測量・設計） 4 維持補修事業 ・岡谷下諏訪線（舗装補修工事） ・下諏訪辰野線（歩道改修工事） ・岡谷茅野線（街路樹整備） ・釜口橋（耐震補強工事）

第3 主要な統計、行政資料等

1 道路延長等の状況

	令和5年度	令和4年度	増減
総延長（m）	394,959.2	395,082.2	△123.0
実延長（m）	383,178.7	383,293.5	△114.8
舗装整備率（％）	84.5	84.5	0
道路敷面積（㎡）	1,912,821	1,911,051	1770.0
橋梁総個所数（箇所）	194	197	△3
路線数（本）	1,713	1,713	0

2 有料公園施設の利用状況

施設名	利用者数等			使用料収入 令和5年度
	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (A)－(B)	
鳥居平やまびこ公園	13,592 人	14,844 人	△1,252 人	5,317,180 円
サマーボブスレー	9,268 人	10,037 人	△769 人	4,573,050 円
サイクリング	2,604 人	3,521 人	△917 人	437,460 円
テニスコート	148 人	169 人	△21 人	59,580 円
望遠鏡	1,463 人	973 人	490 人	146,300 円
ロッカー	66 人	55 人	11 人	3,300 円
スポーツ広場	43 件	89 件	△46 件	97,490 円
塩嶺閣	1 件	1 件	0 件	110 円
鶴峯会館	1 件	0 件	1 件	2,640 円

水道課

第1 概説

温泉事業特別会計では、市内施設への給湯、温泉使用料の徴収、温泉スタンド等の施設維持管理及び利用促進事業を行った。

- 1 おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）、岡谷市民水泳プール、岡谷健康福祉施設（ロマネット）、温泉デイサービス湯けむりの4施設への給湯及び温泉スタンドによる温泉の販売を行った。
- 2 源泉ポンプ取替工事を行った。
- 3 温泉スタンドの利用状況は、1日平均30.5件であった。
- 4 温泉給湯収入は、15,129,000円となり、温泉スタンドのメタル販売数は、200リットル（100円）が6,611枚、300リットル（150円）が2,940枚で、その収入は1,102,100円となった。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
温泉施設管理事業	1 温泉給湯事業 - おかや総合福祉センター 100^{リットル}／分 - 岡谷市民水泳プール 15^{リットル}／分（5月～9月） 20^{リットル}／分（10月～3月） ※4月は、市民水泳プール大規模改修工事に伴い、給湯を停止した。 - ロマネット 100^{リットル}／分 - 温泉デイサービス湯けむり 40^{リットル}／分 - 上記4施設に最大260^{リットル}／分を給湯した。 2 温泉スタンド事業 - 温泉スタンド利用件数 200^{リットル} 7,934件 300^{リットル} 3,211件 - 合 計 11,145件 3 主な工事・修繕 ・源泉ポンプ取替工事 1台 6,270,000円 (16,688,274円)

課 計 会

第 1 概説

会計課では、現金・債券及び有価証券並びに物品に関する事務や決算の調製などの会計管理事務を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
会計管理事務	1 現金・債券及び有価証券の出納、保管 (1) 収入、支出関係書類の審査、確認事務 (2) 諸帳簿への記録、管理 (3) 職員に対する会計事務の指導、研修会の開催 (4) 各課手持現金の確認、検査（随時） 2 物品の出納及び保管 (1) 不用物品の売却（車両２台ほか） (2) 共通消耗品の払出（１６５件） 3 決算の調製 (1) 決算数値の確認 (2) 決算関係資料のとりまとめ (3) 決算書及び決算附属書類の作成、市長への提出（７月） (7,631,369円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 支払状況

区 分	支払件数	支払方法	件 数	比 率
一般会計	49,185 件	窓口払	531 件	1.08%
		口座振込等	48,654 件	98.92%
特別会計	5,065 件	窓口払	2 件	0.04%
		口座振込等	5,063 件	99.96%
合 計	54,250 件	窓口払	533 件	0.98%
		口座振込等	53,717 件	99.02%

2 會計別資金運用狀況（定期預金）

会計名	運用回数	運用延金額	運用利子額
	回	円	円
霊園事業特別会計	2	70,000,000	8,417
温泉事業特別会計	2	10,000,000	1,202
湊財産区一般会計	2	16,000,000	1,925
水道事業会計	3	201,000,000	24,069
下水道事業会計	3	600,000,000	101,144
病院事業会計	1	1,000,000	20
歳入歳出外現金	1	10,000,000	200
合 計	14	908,000,000	136,977

教 育 委 員 会

教 育 部

教 育 総 務 課

第1 概説

教育総務課では、岡谷市教育大綱の教育理念の下、学校における子どもたちの基礎的学力を保障し、個性の伸長や社会性の育成をはじめとした、調和ある心身の成長を保障するため、学校教育を中心として各種事業を推進した。

教育委員会全般に関する事項では、市長部局との連携により岡谷市総合教育会議を開催し、「第3期岡谷市教育大綱」を策定したほか、第3期岡谷市教育大綱の基本方針に掲げる重点項目を着実に実現するため、学校教育分野の個別計画として、「岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン後期5か年計画」を策定した。

人事関係では、健康上の理由により、岩本博行教育長が令和5年5月31日をもって退任され、6月1日付で新たに宮坂享教育長が就任された。また、高木千奈美教育委員が令和5年11月30日の任期をもって退任し、12月1日付で新たに轟美緒教育委員が就任された。

新型コロナウイルス感染症については、5月8日から法律上の位置づけが引き下げられたことから、アフターコロナ期を迎えた、活気ある学校運営に努めた。

主要事業では、学びの創生・連携支援室の主幹指導主事及び学力向上アドバイザーを中心に各校の巡回訪問等を行い、豊かな学びや幼保小中の連携を推進した。

教員の働き方改革に関しては、教員本来の時間を確保できるよう、休日部活動の地域移行に向け、関係団体による検討組織を立ち上げたほか、部活動指導員やスクール・サポート・スタッフの配置等を通じて、事務負担の軽減を図った。

施設整備では、学校トイレ洋式化改修工事を岡谷北部中学校で実施したほか、障がいのあるなしに関わらず、児童が安心して就学できるよう岡谷田中小学校にエレベーター及び身障者対応多目的トイレを整備した。

放課後子ども健全育成事業では、放課後時間の児童を受け入れる学童クラブの運営のほか、地域住民の参画による放課後居場所づくり事業や中学生の学習習慣の形成等を目的とした、岡谷子ども未来塾を実施した。

子ども総合相談センターでは、様々な悩みを抱える児童生徒や家庭への相談支援を行ったほか、中間教室等を活用し、長期欠席傾向にある児童生徒への学習支援等を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
教育委員会運営事務	教育委員会会議の運営及び総合教育会議に関わる事項について、協議・調整を行った。 1 教育委員会会議 ・定例教育委員会 12回開催 ・教育委員協議会 6回開催 2 総合教育会議 第3期岡谷市教育大綱の策定に関すること、また、岡谷市川岸学園整備基本計画の策定など、教育行政に関する事項について、協議・調整を行った。 ・開催期日：令和6年2月6日（火） ・構成員：市長、教育委員会 計7人 (4,827,890円)
事務局総務事務	事務局全般に亘る事務及び人事に関わる業務等を執行したほか、教員の働き方改革推進に向けた事業等を実施した。 1 地域に開かれた学校づくり事業 ・学校評議員 11小中学校 65人 委嘱 2 教員働き方改革推進事業 3,651,964円 「岡谷市学校における働き方改革推進のための基本方針」に基づき、多忙な教員が本来の授業づくりや児童生徒の指導に専念できる環境を整えるため、教員の働き方改革を推進した。 ・小中学校への留守番電話、出退勤システムの運用 全11校 ・長期休業中の完全閉庁日の設定 ・スクール・サポート・スタッフの配置 - 市費配置校 湊小、岡谷西部中、岡谷南部中 ・学校家庭通信アプリ「すぐーる」の運用 3 部活動地域移行推進事業 2,665,525円 休日の部活動の地域移行に向け、関係団体による検討会議のほか、部活動指導員の配置、地域移行に係るアンケート調査を行った。 ・中学校への部活動指導員の配置 10名 ・中学校部活動地域移行検討委員会の開催 1回 (6,535,753円)
教育施策事業	教育施策の推進に関わる各種事業を実施した。 1 チーム岡谷による学びの創生・連携推進事業 ・学びの創生・連携推進室の主幹指導主事及び学力向上アドバイザーを中心に、各校を訪問し、教員の授業改善に向けた指導や助言を行った。 ・巡回指導等 79回 ・学力向上を図るため外部講師による教員研修等を実施した。 ・4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の分析を通じて授業改善策を検討し、各校へ指導助言を行った。 2 生徒指導支援 問題行動等に的確に対応し、児童生徒の健全な育成を図るため、生徒指導推進委員会を開催した。年5回開催 ・生徒指導の推進と小中、高校間等の情報交換 ・長期休業中の生徒指導、あいさつ運動の推進 3 教職員研修の充実 教職員の資質向上を図るため、校長会と共催して研修会等を実施したほか、学校訪問を通じて学校経営に関する助言等を行った。 ・5月 新任学校教職員研修会、7月 教職員研修会（悉皆研修）

	4 平和体験研修事業 平和や人権について考え、体験する機会として、4 中学校 2 年生代表を広島市へ派遣した。平和記念式典や被爆体験講話研修、とうろう流しに参加するなど、平和への思いを深めた。 ・ 8 月 5 日～8 月 7 日 生徒 20 名 教員等 9 名 5 岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン後期計画策定事業 岡谷市教育大綱の基本方針に掲げる重点項目を着実に実現するため、学校教育分野の個別計画として、「岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン後期 5 か年計画」を策定した。 ・ 定例教育委員会 6 回（継続協議） (2,850,287円)
児童生徒の安全対策事業	1 学校安全対策の推進 (1) 学校での安全確保の取り組み 災害や不審者等に対応するため、各校が危機管理マニュアルを見直したほか、学校施設・設備の安全点検や避難訓練等を実施した。 (2) 地域との連携 各校が通学路の危険箇所を点検し、「子どもを守る地域安全指導マップ」を作成したほか、警察の「安心の家」との連携、地域ボランティアによる登下校時の見守り、パトロール活動等の取り組みを進めた。 (3) 通学路の交通安全対策 第 4 次「岡谷市通学路交通安全プログラム」の 2 年目として、計画期間中に安全対策を予定した市道の通学路 45 箇所のうち、令和 5 年度は 14 箇所の安全対策を実施した。(土木課による対応) <実施箇所数> 川岸小、小井川小、湊小、上の原小 各 2 箇所、 岡谷田中小 1 箇所、長地小 5 箇所 2 ふれあいたいむの推進 登下校時の子どもたちの見守り活動等を啓発する「ふれあいたいむ推進旬間」を実施し、見守り隊等の激励を行った。 ・ 推進旬間 春季： 5 月 22 日（月）～ 5 月 31 日（水） 秋季： 10 月 18 日（水）～ 10 月 27 日（金）
子ども総合相談センター事業	児童生徒に関わるいじめ対策や不登校対策、就学支援など、小中学校期の子どもと家庭を中心に総合的な相談支援を行った。 1 子ども総合相談センターの運営 (1) 相談業務等 ・ 子育て・子育てに関する総合的な相談・支援を行った。 ・ センター長、子ども教育支援相談員等、計 10 名体制 ・ 相談実人数 655 人 相談延べ人数 1,893 人 ・ 庁内、関係機関とのケース会議 187 回 (2) フレンドリー教室・中学校中間教室の運営 ・ 通室児童生徒数 フレンドリー教室 2 人、中間教室 29 人 ・ 親のまなざしの会(不登校を考える親の会)(年 10 回開催) (3) カウンセリング等の充実 ・ 県費のスクールカウンセラー 3 人の市費兼務及び臨床心理士 1 人を「専門カウンセラー」として配置した。 ・ 教育相談室で専門カウンセラーによる教育相談を実施した。(相談員 1 名、月 2 回実施、相談延べ件数 98 件) ・ 心の教室相談員を 4 中学校に各 1 名配置し、生徒の悩み相談等に対応したほか、校区内の小学校に出向き、児童や保護者の相談支援を行った。

- ・県費スクールソーシャルワーカー２人を市費兼務とし、継続的な長期欠席や学校だけでは対応困難な事例への支援等を図った。
- 2 特別支援教育推進事業
 - (1) 特別支援学級支援
 - ・専門カウンセラーによる専門性の高い発達検査の実施と、保護者や関係者への説明及び助言を行った。
 - ・特別支援教育支援員３４名を小中学校へ配置した。
 - (2) 就学支援委員会
 - ・特別な支援を必要とする園児、児童生徒の適正な就学を進めるため、岡谷市就学支援委員会を開催した。
 - 年６回開催 判断件数８０件
 - ・通級による指導が必要な児童生徒について、小委員会を開催し丁寧な審議した。年４回開催 判断件数２２件
 - (3) 特別支援教育コーディネーター等連絡会（年５回開催）
- 3 子ども教育支援チーム会議
 - 行政担当者や校長会と連携して、「長期欠席」、「いじめ・人権」の２部会に分かれて協議を行った。（全体会の開催 計４回）
 - 「岡谷市いじめ問題対策連絡協議会」との合同会議を２回開催し、地域の関係団体、保護者代表、有識者も参画して実施した。
- 4 いじめ防止対策の推進
 - (1) いじめ防止対策推進委員会
 - ・いじめの防止等の対策の向上に努めた。（年５回開催）
 - ・小中学生による「いじめ根絶子ども会議」の開催
 - ７月２５日（火）参加児童生徒数８０人（高校生含む）
 - (2) 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会
 - 条例に基づく協議会として、年２回開催し、関係機関や団体相互の調整、協議等を行った。任期１年、年２回開催
 - (3) 岡谷市いじめ問題対策調査委員会
 - 重大事案の発生等に備え、条例に基づく「岡谷市いじめ問題対策調査委員会」を開催し、いじめの状況把握等を行った。
 - 任期２年、年１回開催
- 5 子どもの自立支援委員会
 - すべての小・中学校でソーシャルスキルトレーニング（ＳＳＴ）に取り組み、人間関係力や自己肯定感の高揚に努めるとともに、長期欠席児童生徒への対策の充実を図るため、子どもの自立支援委員会を開催した。年５回開催
 - ・ＳＳＳＴの実施、研修会の開催
 - ・Ｑ－Ｕ、アセスの実施
 - ・長期欠席児童生徒への対応事例研究
- 6 聞いて！気づいて！わたしのサイン事業
 - 岡谷市自殺対策計画に基づき、小学４年生、中学１年生を対象に「ＳＯＳの出し方に関する教育」として、悩みを打ち明けることの大切さを学ぶ授業を実施したほか、学校職員を対象とする研修会を実施した。
- 7 おかや絹結プログラムの推進
 - 入学時の環境変化に適応できない小１プロブレムの解消、改善を図るため、おかや絹結プログラム推進委員会を開催し、各園校において、幼保小接続期におけるアプローチ&スタートカリキュラム「おかや絹結プログラム」を実践した。

(59,769,744 円)

活力ある学校づくり推進事業	魅力と活力ある学校づくりの推進に向け、各種事業を実施した。 1 岡谷市スタンダードカリキュラムの推進 地域資源を活用した岡谷ならではの学習スタイル「岡谷スタンダードカリキュラム」の実践を通して、岡谷の「ひと・もの・こと・ところ」に学び郷土を愛する心を育み、ふるさと回帰の教育を推進した。 1,927,688 円 2 小学生夏休みわくわくサマースクール 夏休み中の学習支援活動として、教員による補習の時間、市主催による小学3年生から6年生を対象とした「ものづくり体験プログラム」、小学5年生対象の「岡谷子ども未来塾」の取り組みを一体化した「おかや小学生夏休みわくわくサマースクール」を実施した。 3 魅力ある学校づくり交付金 魅力と活力ある学校づくりを推進するため、小中学校がそれぞれの特色を活かして取り組む総合的な学習の時間の活動に対し、交付金を交付した。 2,815,000 円 (4,742,688円)
教員住宅管理事業	間下教員住宅の維持管理、教職員等への貸付を行った。 1 管理戸数 2棟32戸 2 入居者数 17名 (単身用15名、世帯用2名) 入居率53.1% 3 施設修繕等 23件 (1,982,132円)
学校管理運営事業	小中学校の運営に必要な学校配当予算の令達、執行管理及び給食調理員等市費職員の配置、施設維持に必要な経費等を執行した。 1 小学校の主な修繕工事(50万円以上) ・神明小学校高学年プール排水桝修繕工事 775,500円 ・小井川小学校1階南口ドア取替修繕工事 654,005円 2 中学校の主な修繕工事(50万円以上) ・岡谷北部中学校トイレタイル修繕工事 783,200円 ・岡谷東部中学校第二理科室建具入替修繕工事 638,000円 3 小中学校感染症対策支援事業(学校配当予算の追加) コロナ禍における学習保障及び感染症対策のために必要な物品等の購入のため、国補助金を活用して学校配当予算を追加した。 13,032,209円 (小学校 154,785,977円) (中学校 87,011,838円)
学校教育推進事業	小中学校において学習指導要領に基づくカリキュラムを実践し、学校図書館の運営、英語教育や情報教育の充実等、学校教育を推進するため、各種事業を実施した。 1 学校図書館活用推進事業 児童生徒の読書活動の充実を図り、「豊かな心」と「自ら学ぶ力」の育成を図るため、読書・学習・情報センターとして機能する学校図書館づくりを市立岡谷図書館と連携して推進した。 (1) 学校図書館司書の配置 小中学校全11校に学校図書館司書を配置し、司書教諭等をサポートするとともに、学校図書館の環境づくり及び蔵書の充実を行った。

	2 外国語授業支援事業 小中学校の外国語指導の補助のため、令和5年度からALT（外国語指導助手）を5名から7名に増員し、支援の充実を図った。 小学校 22,108,800円 中学校 12,633,600円 3 保健体育科指導事業 地域伝統のスポーツ文化であるスケートを小学校の授業に取り入れ、児童の健康増進、体力向上に努めた。 【利用者】屋内リンク 596人 屋外リンク 2,154人 合計数 2,750人 4,534,874円 4 情報教育推進事業 国のGIGAスクール構想に基づき、小中学校に配備した1人1台端末を活用し、児童生徒の個別最適化された学びの提供に努めた。 (1) GIGA運営支援業務 児童生徒のGIGA端末の利活用が滞りなく行われるようにGIGAスクールサポーターを配置し支援体制を整えた。 小学校 1,856,400円 中学校 1,060,800円 (2) 情報教育の推進 教職員等に対して、情報教育指導員による情報機器の操作支援、教職員向け研修、授業サポート等を行い、情報教育を推進した。 (3) 情報教育委員会（年2回） 各校の担当教員で構成する情報教育委員会を中心に、児童生徒及び教職員の情報活用能力を高めるための研修等を実施した。 また、情報モラル教育について、実践発表やセキュリティ・モラル対策についての講習会等を実施した。 5 学校・家庭双方向通信アプリ運用 家庭との連絡手段のデジタル化を進め、迅速かつ的確に情報のやりとりができる通信アプリ「すぐる」を運用した。 小学校 676,200円 中学校 386,400円 (小学校 144,654,254円) (中学校 81,659,650円)
健康管理事業	児童生徒および教職員の健康の保持増進を図るため、小中学校に学校医を配置し、健康管理に努めた。 (小学校 15,535,422円) (中学校 9,349,250円)
学校給食事業	児童生徒に安全で安心な給食を提供するため、学校調理員の配置のほか、給食室の設備改修や備品等の更新を行った。 1 小学校の主な購入備品（10万円以上） ・湊小学校 冷凍冷蔵庫1台 479,600円 ・小井川小学校 食器洗浄機1台 2,530,000円 2 食材高騰に伴う学校給食費の支援 学校給食の食材価格の高騰を受け、昨年度に引き続き値上がり分の食材費の公費負担を継続し、支援を行った。12月以降の食材価格上昇により、公費負担を追加した。 小学校 9,380,580円 中学校 7,965,350円 (小学校 16,989,125円) (中学校 10,396,871円)

小中学校整備事業	児童生徒が安全で快適に学べる学校づくりに向け、小中学校の施設整備を推進した。 1 小学校の主な施設整備 - 岡谷田中小学校バリアフリー改修工事（令和4年度繰越事業）53,900,000円 - 小井川小学校昇降口屋根等防水補修工事 6,820,000円 - 上の原小学校昇降口前舗装等改修工事の前倒しに伴う補正予算を行い、令和6年度に3,564千円を繰り越した。 2 中学校の主な施設整備 - 岡谷北部中学校トイレ洋式化改修工事（令和4年度繰越事業）25,300,000円 - 岡谷南部中学校体育館屋根等補修工事の前倒しに伴う補正予算を行い、令和6年度に2,038千円を繰り越した。 - 令和6年度に予定した岡谷東部中学校トイレ洋式化改修工事に係る国補助金の前倒し採択に伴い、補正予算を行い、令和6年度に16,000千円を繰り越した。 （小学校 69,355,000円） （中学校 25,300,000円）																																																
就学援助費	要保護及び準要保護児童生徒の保護者に対し必要な就学援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 また、特別支援学級に入級する児童生徒の保護者に対し、就学等に要する経費に対する奨励費を支給し経済的負担の軽減を図った。 【就学援助費】 小学校:17,105,793円 中学校:17,125,349円 計:34,231,142円 【特別支援教育就学奨励費】 小学校: 3,261,728円 中学校: 2,811,095円 計: 6,072,823円 （小学校 20,367,521円） （中学校 19,936,444円）																																																
放課後子どもの居場所づくり事業	市内全7小学校において、放課後時間に学校施設を活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を提供した。運営に協力いただく地域住民の知識や教養を伝える交流活動等を通じて、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進した。 <table><tr><th rowspan="2">名称</th><th rowspan="2">実施回数</th><th colspan="3">延べ参加児童数</th></tr><tr><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th>増減</th></tr><tr><td>とちっ子ひろば（川岸小）</td><td>17</td><td>927</td><td>702</td><td>225</td></tr><tr><td>神明っ子はばたきラボ（神明小）</td><td>15</td><td>864</td><td>1,125</td><td>△261</td></tr><tr><td>おいかわっこ（小井川小）</td><td>11</td><td>650</td><td>444</td><td>206</td></tr><tr><td>あやめ基地（岡谷田中小）</td><td>14</td><td>1,771</td><td>748</td><td>1,023</td></tr><tr><td>あそぼう日（湊小）</td><td>16</td><td>525</td><td>76</td><td>449</td></tr><tr><td>おさっちあ（長地小）</td><td>11</td><td>2,366</td><td>1,201</td><td>1,165</td></tr><tr><td>うえのはらっぱ（上の原小）</td><td>16</td><td>928</td><td>551</td><td>377</td></tr><tr><td>合計</td><td>100</td><td>8,031</td><td>4,847</td><td>3,184</td></tr></table> （4,289,310円）	名称	実施回数	延べ参加児童数			令和5年度	令和4年度	増減	とちっ子ひろば（川岸小）	17	927	702	225	神明っ子はばたきラボ（神明小）	15	864	1,125	△261	おいかわっこ（小井川小）	11	650	444	206	あやめ基地（岡谷田中小）	14	1,771	748	1,023	あそぼう日（湊小）	16	525	76	449	おさっちあ（長地小）	11	2,366	1,201	1,165	うえのはらっぱ（上の原小）	16	928	551	377	合計	100	8,031	4,847	3,184
名称	実施回数			延べ参加児童数																																													
		令和5年度	令和4年度	増減																																													
とちっ子ひろば（川岸小）	17	927	702	225																																													
神明っ子はばたきラボ（神明小）	15	864	1,125	△261																																													
おいかわっこ（小井川小）	11	650	444	206																																													
あやめ基地（岡谷田中小）	14	1,771	748	1,023																																													
あそぼう日（湊小）	16	525	76	449																																													
おさっちあ（長地小）	11	2,366	1,201	1,165																																													
うえのはらっぱ（上の原小）	16	928	551	377																																													
合計	100	8,031	4,847	3,184																																													

学童クラブ管理 運営事業	就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生を対象に、放課後時間等の適切な遊びと生活の場として、学童クラブを開設した。 1 開設校 小学校7校13クラブ（障がい児学童ひかりクラブ含む） 2 開設日 学校登校日、学校休業日、 土曜日は岡谷田中小学校に集約して開設 3 ボランティア参画 ・夏休み読み聞かせボランティア 期間 7月24日（月）～8月21日（月） 受入 11学童クラブ 延べ133人、127回 ・春休み読み聞かせボランティア 期間 3月18日（月）～29日（金） 受入 13学童クラブ 延べ82人、74回 ・高校生学童クラブ運営ボランティア 受入 3学童クラブ 7人、5回 4 中学生による職場体験「学童WORKWORK体験事業」 期間 7月27日（木）～8月4日（金） 受入 25人（延べ時間119時間）（61,752,756円）																																																				
岡谷子ども未来 塾事業	市内中学校において、苦手科目の解消や学習の習慣付けができるよう、教員OB等が講師となり、中学2年生を対象に英語・数学の学習支援ソフトによる学習や自主学習への学習支援を行った。 <table><tr><th rowspan="3">学校名</th><th colspan="2">実施回数</th><th colspan="4">延べ参加生徒数</th></tr><tr><th rowspan="2">英語</th><th rowspan="2">数学</th><th colspan="2">英語</th><th colspan="2">数学</th></tr><tr><th>5年度</th><th>4年度</th><th>5年度</th><th>4年度</th></tr><tr><td>岡谷西部中</td><td>5</td><td>7</td><td>5</td><td>10</td><td>17</td><td>5</td></tr><tr><td>岡谷北部中</td><td>7</td><td>7</td><td>41</td><td>28</td><td>43</td><td>29</td></tr><tr><td>岡谷南部中</td><td>7</td><td>7</td><td>47</td><td>49</td><td>59</td><td>54</td></tr><tr><td>岡谷東部中</td><td>7</td><td>7</td><td>65</td><td>89</td><td>54</td><td>97</td></tr><tr><td>合計</td><td>26</td><td>28</td><td>158</td><td>176</td><td>173</td><td>185</td></tr></table> （内、英数合同：8回） 小学生夏休みわくわくサマースクールの中で、小学5年生を対象に「岡谷子ども未来塾5年版」を実施し、延べ81名に対し、算数に関わる学習支援を行った。（各校2回実施） （481,013円）	学校名	実施回数		延べ参加生徒数				英語	数学	英語		数学		5年度	4年度	5年度	4年度	岡谷西部中	5	7	5	10	17	5	岡谷北部中	7	7	41	28	43	29	岡谷南部中	7	7	47	49	59	54	岡谷東部中	7	7	65	89	54	97	合計	26	28	158	176	173	185
学校名	実施回数		延べ参加生徒数																																																		
	英語		数学	英語		数学																																															
		5年度		4年度	5年度	4年度																																															
岡谷西部中	5	7	5	10	17	5																																															
岡谷北部中	7	7	41	28	43	29																																															
岡谷南部中	7	7	47	49	59	54																																															
岡谷東部中	7	7	65	89	54	97																																															
合計	26	28	158	176	173	185																																															
岡谷市育英基金 奨学金事業	高校、大学等への進学者に対し、選考委員会による選考の上、岡谷市育英基金による奨学金貸付者を決定し、対象者への貸付及び償還事務等を行った。 ・本年度貸付者 37人（うち新規貸付者7人） （新規貸付者内訳 大学 6人、短期大学1名） ・当年度貸付額 29,682,000円 ・償還免除額 4,314,200円																																																				
新型コロナウイ ルス感染症対策	1 感染症対策・子どもたちの学習保障に対する取組について、国の補助金を活用して学校配当予算を追加した。 〔国基準配当額〕 900千円：小井川小、湊小、上の原小、岡谷西部中、岡谷南部中 1,350千円：川岸小、神明小、岡谷田中小、岡谷北部中、 岡谷東部中 1,800千円：長地小 13,032,209円 2 学童クラブを安全に運営するため、感染症対策に必要な消毒液等の衛生用品を購入した。 308,493円																																																				

第3 主要な統計、行政資料等

1 小学校児童数及び学級数

(令和5年5月1日現在)

区 分	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		特別支援		合 計	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
川岸小	1	人 32	2	人 49	2	人 48	2	人 57	2	人 54	2	人 43	3	人 16	14	人 299
神明小	2	52	2	49	2	45	2	44	2	57	2	55	3	18	15	320
小井川小	2	37	2	42	2	39	2	55	2	47	2	53	3	14	15	287
岡谷田中小	2	57	2	52	2	55	2	54	2	62	2	48	3	16	15	344
湊小	1	16	1	13	1	17	1	17	1	6	1	15	1	5	7	89
長地小	3	84	3	83	3	77	3	71	3	81	3	79	5	33	23	508
上の原小	1	25	1	28	1	20	1	29	1	29	1	29	3	15	9	175
合 計	12	303	13	316	13	301	13	327	13	336	13	322	21	117	98	2,022

2 中学校生徒数及び学級数

(令和5年5月1日現在)

区 分	1 年		2 年		3 年		特別支援		合 計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
西部中	2	人 57	2	人 43	2	人 54	4	人 20	10	人 174
北部中	3	74	4	106	3	102	3	19	13	301
南部中	3	76	3	73	2	68	3	12	11	229
東部中	4	134	4	132	5	160	4	25	17	451
合 計	12	341	13	354	12	384	14	76	51	1,155

3 小中学校児童生徒数及び学級数

(令和5年5月1日現在)

区 分	通常学級		特別支援学級		合 計	
	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数
小学校	77	人 1,905	21	人 117	98	人 2,022
中学校	37	1,079	14	76	51	1,155
合 計	114	2,984	35	193	149	3,177

4 要保護及び準要保護児童生徒就学援助費等の支給状況

(令和6年3月31日現在)

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
学用品費 (A)	247	183	430	241	178	419	230	173	403	236	160	396	230	154	384
新入学学用品費 (1学年)	15	6	21	16	6	22	13	2	15	14	6	20	6	1	7
新入学学用品費 (来入児)	11	-	11	19	-	19	23	-	23	28	-	28	27	-	27
新入学学用品費 (新中1)	-	50	50	-	53	53	-	46	46	-	48	48	-	33	33
学校給食費	247	179	426	240	171	411	230	164	394	236	153	389	226	148	374
校外活動費 (宿泊を伴わないもの)							31	6	37	69	95	164	109	89	198
校外活動費 (宿泊を伴うもの)							0	0	0	18	0	18	27	1	28
医療費	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
修学旅行費	49	57	106	49	46	95	46	62	108	46	45	91	30	52	82
特別支援教育就学 奨励費 (人)	85	49	134	79	52	131	97	60	157	82	58	140	92	50	142
通級指導交通費 (人)	17	-	17	18	-	18	17	-	17	22	-	22	22	-	22
計 (人)	671	524	1,195	693	512	1,205	743	603	1,346	800	560	1,360	783	530	1,313
5月1日現在 児童生徒数 (人) (B)	2,351	1,287	3,638	2,278	1,278	3,556	2,149	1,279	3,428	2,077	1,198	3,275	2,022	1,155	3,177
受給率 (%) (A) / (B)	10.51%	14.22%	11.82%	10.58%	13.93%	11.78%	10.70%	13.53%	11.76%	11.36%	13.36%	12.09%	11.37%	13.33%	12.09%
歳出決算額 (千円)	20,230	22,893	43,123	21,424	21,423	42,847	20,108	20,956	41,064	21,539	20,919	42,458	20,367	19,936	40,303
歳入決算額 (千円)	2,729			2,729			2,737			2,978			2,930		

5 学童クラブ登録児童生徒数

(令和6年3月31日現在)

(1) 学校登校日

単位：人

区 分	児童生徒数			指導員	補助 指導員	備 考
	R5	R4	増減			
川岸小第1学童クラブ	20	27	△7	1	2	教室使用
川岸小第2学童クラブ	15	27	△12	1	1	
神明小第1学童クラブ	37	38	△1	1	2	独立施設
神明小第2学童クラブ	31	34	△3	1	2	教室使用
小井川小第1学童クラブ	24	28	△4	1	2	独立施設
小井川小第2学童クラブ	24	28	△4	1	1	教室使用
岡谷田中小第1学童クラブ	26	25	1	1	2	独立施設
岡谷田中小第2学童クラブ	37	34	3	1	2	
湊小学童クラブ	25	20	5	1	1	独立併用施設
長地小第1学童クラブ	48	44	4	1	3	独立施設
長地小第2学童クラブ	44	42	2	1	3	
上の原小学童クラブ	37	35	2	1	3	教室使用
障がい児学童ひかりクラブ	6	4	2	1	2	独立施設
合 計	374	386	△12	13	26	

(2) 学校休業日

単位：人

区 分	児童生徒数			指導員	補助 指導員	備 考
	R5	R4	増減			
川岸小第1学童クラブ	44	56	△12	1	2	教室使用
川岸小第2学童クラブ	28	46	△18	1	1	
神明小第1学童クラブ	57	52	5	1	2	独立施設
神明小第2学童クラブ	49	52	△3	1	2	教室使用
小井川小第1学童クラブ	32	35	△3	1	2	独立施設
小井川小第2学童クラブ	37	51	△14	1	1	教室使用
岡谷田中小第1学童クラブ	44	39	5	1	2	独立施設
岡谷田中小第2学童クラブ	57	58	△1	1	2	
湊小学童クラブ	31	29	2	1	1	独立併用施設
長地小第1学童クラブ	84	74	10	1	3	独立施設
長地小第2学童クラブ	79	77	2	1	3	
上の原小学童クラブ	63	57	6	1	3	教室使用
障がい児学童ひかりクラブ	6	4	2	1	2	独立施設
合 計	611	630	△19	13	26	

(3) 土曜日

単位：人

区 分	児童生徒数			指導員	補助 指導員	備 考
	R5	R4	増減			
土曜学童クラブ (岡谷田中小で拠点実施)	60	56	4	1	1	

川 岸 学 園 設 立 準 備 室

第1 概説

川岸学園設立準備室では、令和5年2月に策定した「川岸学園構想」に基づき、川岸小学校の大規模改修工事に併せ、隣接する岡谷西部中学校の校舎をつなぎ、市内初の施設一体型の義務教育学校への移行を目指すとともに、校地内に公立の幼保連携型認定こども園を併設し、幼児期から学齢期までを切れ目なくつなぐ「新たな学び舎」の創出に向けた各種検討・調整を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
川岸学園設立準備事業費	川岸学園構想の具現化に向けた各種検討・調整を行った。 1 先進地等視察 (1) 横浜市立義務教育学校 霧が丘学園、緑園学園 - 期 日：5月30日（火） - 視察先：神奈川県横浜市 (2) 信学会東堀こども園 - 期 日：6月14日（水） - 視察先：岡谷市内 (3) 北方町立北学園、北方町立こども園 - 期 日：9月27日（水） - 視察先：岐阜県本巣郡北方町 2 関係機関訪問 文部科学省教育制度改革室 - 期 日：8月30日（水） - 内 容：川岸学園構想の概要を説明し、制度等の助言をいただいた。 3 川岸学園構想等の周知、説明 地域や保護者、学校関係者等を対象に川岸学園構想等の説明会を実施したほか、「準備室NEWS」を発行した。 - 川岸地区健全育成の会 - 内 容：地域で子どもを育むこと～川岸学園構想について～（講話）、地域や保護者との意見交換会（分科会） - 期 日：6月28日（水） - 岡谷市学校事務職員会 - 内 容：令和5年度 設立準備室の取組と今後の予定 - 期 日：9月14日（木） - 諏訪校長会 - 内 容：幼児期から義務教育期を切れ目なくつなぐ学び舎づくりを目指して - 期 日：9月26日（火） - エコーロータリークラブ例会 - 内 容：川岸学園構想について（講話） - 期 日：11月6日（月）

	・川岸小・岡谷西部中合同職員会議 内 容：岡谷市川岸学園整備基本計画について 期 日：2月14日（水）
	4 市校長会との連携 市校長会と連携し、幼保小中の接続や小中一貫教育について年間を通した検討を行ったほか、校長会による県内先進地視察に同行し理解を深めた。 期 日：8月18日（金）～19日（土） 視察先：大町市立八坂小中学校 大町市立美麻小中学校
	5 川岸小学校の設計図電子化業務 川岸学園の整備に向けた設計業務の準備を進めるため、川岸小学校設計図の電子化（PDF化）を行った。 事業費：179,619円
	6 「岡谷市川岸学園整備基本計画」の策定 「川岸学園構想」に掲げる幼保小中がつながる新たな環境づくりの推進に向け、施設整備等に関わる基本的な方針として「岡谷市川岸学園整備基本計画」を策定した。 <経過> ・2月6日（火）岡谷市総合教育会議の協議調整 岡谷市議会全員協議会へ報告 ・2月8日（木）定例教育委員会の策定承認
	(390,084円)

生涯學習課

第1 概説

生涯学習課では、岡谷市学びの紡ぎ応援プラン（第6次岡谷市生涯学習推進計画）に基づき、生涯にわたり学び続け、地域に根ざす『ひと、もの、こと、こころ』の資源を活用しながら、生涯学習活動センター、公民館（湊、川岸、長地）、美術考古館、図書館において生涯学習の推進を図るとともに、青少年健全育成及び文化財保護に関する諸事業を実施した。

生涯学習活動センター及び3公民館では、個人と社会の「ウェルビーイング」の実現に向け「じっくり学習 岡谷学」をはじめとする各種講座を実施した。

美術考古館では、移転開館10周年を記念し、神田さおり展及び天王垣外遺跡の勾玉・管玉展のほか、多くの企画展やワークショップを開催した。

図書館では、子どもの読書習慣の定着を図るため、第4次岡谷市子ども読書活動推進計画を策定した。また、施設等の整備としてレファレンスコーナーエアコン改修工事及び図書館玄関横側溝改修工事を実施した。

文化財保護事業では、旧渡辺家住宅茅葺屋根修繕工事にあたり、設計委託を実施し、茅確保に努めた。遺跡緊急発掘事業では、遺跡内での個人住宅建設等小規模開発事業に伴う試掘及び発掘調査を行い、埋蔵文化財の記録保存を実施した。また、本年度から市史編さん準備室を設置し、新たな岡谷市史編さんの事業化に向けて研究を進めた。

新型コロナウイルス感染症への対応としては、令和5年5月に感染症法上の位置付けが5類に引き下げられたことに伴い、施設の利用制限を解除し、パーティションの撤去を行うなど、コロナ禍以前の利用形態へと戻した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容																
社会教育振興事業	1 社会教育委員の会議 社会教育関連事業について、視察や研修などの研究活動をするなかで協議、検討また意見集約を行い、教育委員会へ提言を行った。 (1) 教育委員会からの諮問 無 (2) 教育委員会へ活動報告 「成長樹（期）子育て実践ポイントの活用について」 ・PR用コマーシャル及びポスターの制作 (3) 会議等 ・全体会議 8回 (4) 研究活動 長野県社会教育研究大会、諏訪・上伊那地区社会教育委員連絡協議会合同研修会等への参加 2 郷土学習館活動支援 郷土の先人に学び、地域から生涯学習活動を発信している特定非営利活動法人郷土学習館運営委員会の活動について助成・支援を行った。 郷土学習館活動支援事業補助金 1,800,000円 (2,160,637円)																
二十歳を祝う会 開催事業	岡谷市で心身を育んだ男女青年が、人生の節目として二十歳を迎えたことを祝うため、1月の第1日曜日に開催した。 ・日 時 令和6年1月7日 午後2時 ・会 場 岡谷市文化会館（カノラホール） ・対象者 平成15年4月2日から平成16年4月1日までの出生者で市内に在住する者及び市内に親等が在住する者 <table><tr><th>区 分</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th>増 減</th></tr><tr><td>対象人数</td><td>472人</td><td>570人</td><td>△98人</td></tr><tr><td>参加人数</td><td>321人</td><td>376人</td><td>△55人</td></tr><tr><td>参 加 率</td><td>68.0%</td><td>66.0%</td><td>2.0%</td></tr></table> (1,028,231円)	区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	対象人数	472人	570人	△98人	参加人数	321人	376人	△55人	参 加 率	68.0%	66.0%	2.0%
区 分	令和5年度	令和4年度	増 減														
対象人数	472人	570人	△98人														
参加人数	321人	376人	△55人														
参 加 率	68.0%	66.0%	2.0%														
生涯学習推進事業	1 「成長樹（期）子育て実践ポイント」活用事業 おかや子育て憲章具現化の取り組みとして、子育てのポイントを年齢期毎にまとめたパンフレット「成長樹（期）子育て実践ポイント」を、母子手帳交付時や子ども課「こんにちは赤ちゃん事業」の訪問時等に配布した。 2 岡谷市職員出前講座（市民と歩むまちづくり講座）開催事業 市民の生涯学習活動を推進するため、職員が地域へ講師として出向き、行政の仕組みや各課の業務内容等について説明した。 ・メニュー 8部門、91講座 ・派遣件数 47件 ・参加延人数 1,602人 3 学びのおかやサポート事業 地域の教育力を学校教育、社会教育、社会体育の場で活用するため、ボランティア保険への加入費用を公費負担し、広くボランティア活動への参画を進めた。 ・加入者数 254人 4 国民のデジタルリテラシー向上事業 文部科学省の情報通信技術講習事業費補助金を利用して、カルチャーセンターと3公民館でIT基礎講座を実施した。 ・「ゼロから始めるスマホ講座」 10講座20回 ・「SNS向け写真講座」 2講座 8回 (182,914円)																

人権教育推進事業	「岡谷市人権に関する基本方針」に基づき、市民一人ひとりがかけがえのない存在として尊重される社会の実現に向けて、各種人権教育講座を実施した。 1 輝く子育て支援学級 2回（カルチャーセンター、長地公民館） 2 いちい学級 4回（カルチャーセンター、湊公民館、川岸公民館、長地公民館） 3 家庭教育学級における人権講座 5回（長地保育園、夏明保育園、つるみね保育園、小井川小学校、岡谷田中小学校） 4 子育て関連団体 放課後子どもの居場所づくりスタッフ研修会 1回 (84,241円)
公民館総務事務	公民館の総務的経費である運営協議会負担金 1 長野県公民館運営協議会負担金 人口 46,630人（令和4年10月1日） 人口約46,600人×1.5円 69,900円 2 諏訪地方公民館連絡協議会負担金 人口 46,630人（令和4年10月1日） 人口約46,600人×0.5＋均等割5,000円 28,300円 (98,200円)
湊公民館管理事業	乳幼児から高齢者までの多くの人が集う、地域の学びの拠点である湊公民館の適正な維持、管理を行った。 1 湊公民館宿日直委託業務 474,596円 2 新型コロナウイルス感染症対応（5月まで、以降は定期的な対応） 感染拡大防止のため各室備品等の消毒を実施 ・感染対策用消耗品購入 21,959円 3 主な修繕等 ・玄関照明器具交換修理 61,600円 ・2階講堂雨漏り修繕 372,900円 (2,086,084円)
湊公民館運営事業	生涯学習を通じて幅広い知識を得られるよう、市民のニーズに即した学習機会を提供し、生涯学習の充実と利用促進を図った。 1 輝く子育て支援学級 16回 参加延人数 153人 2 保育園家庭教育学級 ・みなと保育園 1回 参加人数 55人 3 小学校家庭教育学級 ・湊小学校 1回 参加人数 130人 4 いちい学級 16回 参加延人数 168人 5 生活講座 ・「～スマホ活用力アップ～SNS向け写真講座」 4回 参加延人数 16人 ・「ゆったり太極拳講座」 5回 参加延人数 21人 ・「ゼロから始めるスマホ講座」 2回 参加延人数 19人 ・「きのこ（シイタケ）の菌打ち体験講座」 1回 参加人数 10組11人 6 山っ湖学級 1回 参加人数 11人 7 学習グループ共催講座 ・「実用ペン字講座」 2回 参加延人数 12人 8 花岡・小坂公民館との共催講座 ・「ミニ門松づくり講座」 1回 参加人数 9組16人

	9 読書活動推進事業 登録者数 540人 貸出冊数 2,320冊 10 学習団体育成支援 ・湊公民館学習グループ 13グループ ・岡谷市4館（カルチャーセンター・湊・川岸・長地）合同文化祭 作品展 湊公民館からの参加2団体、3講座 市民伝統音楽芸能祭 湊公民館からの参加2団体 ・湊公民館ロビー作品展 参加 2団体 11 湊コミュニティスクール連携事業 ・公民館体験講座 「陶芸講座～ハロウィンランタン作り～」 湊小学校4学年 19人 引率教諭 1人 作品展（4館合同作品展で展示） (6,531,880円)
川岸公民館管理 事業	乳幼児から高齢者までの多くの人が集う、地域の学びの拠点である 川岸公民館の適正な維持、管理を行った。 1 川岸公民館宿日直委託業務 753,651円 2 新型コロナウイルス感染症対応（5月まで、以降は定期的な対応） 感染拡大防止のため各室備品等の消毒を実施 ・感染対策用消耗品購入 29,877円 3 主な修繕等 ・事務室、玄関、図書室照明器具交換修理 94,600円 (2,143,400円)
川岸公民館運営 事業	生涯学習を通じて幅広い知識を得られるよう、市民のニーズに即した 学習機会を提供し、生涯学習の充実と利用促進を図った。 1 輝く子育て支援学級 16回 参加延人数 154人 2 保育園家庭教育学級 ・川岸保育園ほか2園 3回 参加延人数 121人 3 小学校家庭教育学級 ・川岸小学校 5回 参加延人数 450人 4 子ども学級 ・「夏休み子どもチャレンジ教室」 1回 参加人数 20人 5 いちい学級 16回 参加延人数 425人 6 生活講座 ・「ゼロから始めるスマホ講座」 2回 参加延人数 18人 ・「身体機能向上 健康運動」 3回 参加延人数 57人 ・「ゼロから始めるスマホ講座」2回目 2回 参加延人数 19人 7 読書活動推進事業 登録者数 759人 貸出冊数 2,795冊 8 学習団体育成支援 ・川岸公民館学習グループ 16グループ ・岡谷市4館（カルチャーセンター・湊・川岸・長地）合同文化祭 作品展 川岸公民館からの参加3団体 市民伝統音楽芸能祭 川岸公民館からの参加3団体 ・川岸公民館ロビー作品展 参加1団体 1個人 (3,712,152円)
長地公民館管理 事業	乳幼児から高齢者までの多くの人が集う、地域の学びの拠点である 長地公民館の適正な維持、管理を行った。 1 長地公民館宿日直委託業務 1,014,277円 2 新型コロナウイルス感染症対応（5月まで、以降は定期的な対応） ・感染拡大防止のため各室備品等の消毒を実施 ・感染対策用消耗品購入 4,796円

	3 主な修繕等 ・煙光電式スポット感知器取替 24, 200円 4 長地公民館併設敷地購入 164, 730円 (2,823,833円)
長地公民館運営事業	生涯学習を通じて幅広い知識を得られるよう、市民のニーズに即した学習機会を提供し、生涯学習の充実と利用促進を図った。 1 輝く子育て支援学級 16回 参加延人数 120人 2 保育園・認定こども園家庭教育学級 ・東堀こども園ほか2園 4回 参加延人数 254人 3 小学校家庭教育学級 ・上の原小学校ほか1校 2回 参加延人数 471人 4 子ども学級 ・「長地キッズ☆そろばん講座」 6回 参加延人数 45人 ・「寒天で作ろう！溶けないアイスクャンディー」 1回 参加人数 18人 ・「護身術セミナー」 2回 参加延人数 21人 ・「親子で体験！結晶の秘密と採集！」 1回 参加人数 35人 5 いちい学級 16回 参加延人数 568人 6 生活講座 ・「～スマホ活用力アップ～SNS向け写真講座」 4回 参加延人数 36人 ・「ゼロから始めるスマホ講座」 2回 参加延人数 19人 ・「ゼロから始めるスマホ講座」2回目 2回 参加延人数 20人 ・「お菓子の家作り体験講座」 1回 参加人数 34人 7 読書活動推進事業 登録者数 793人 貸出冊数 2,413冊 8 学習団体育成支援 ・長地公民館学習グループ 31グループ ・岡谷市4館（カルチャーセンター・湊・川岸・長地）合同文化祭作品展 長地公民館からの参加4団体 - 市民伝統音楽芸能祭 長地公民館からの参加2団体 ・長地公民館ロビー作品展 参加4団体 (3,601,277円)
美術考古館管理事業	1 美術考古館の管理・運営及び収蔵作品等の適切な管理を行った。 2 移転開館10周年を記念し、考古展示図録を作成した。 3 オリジナルグッズとして「絵はがき」、「一筆箋」、「クリアファイル」などの販売を行うとともに「土偶バッチ」、「縄文クッキー」など外部作家の作品等の委託販売もあわせて行った。 4 美術考古館の市民ギャラリーや交流ひろば等の貸出を行った。 5 小口雀甫の作品他、美術作品の寄贈を計32点受けた。 6 文化の日に無料公開し53人の入館者があった。 (10,808,216円)
美術考古館学習事業	ワークショップなどを開催し、ものづくりの体験や芸術・文化等に触れる学習活動を推進した。 ・まゆの花を作ろう 参加人数 7人 ・土と炭で「縄文」を描いてみよう（2回） 参加延人数 17人 ・「石膏像」をデッサンしてみよう（3回） 参加延人数 29人 ・カルチャーセンター講座 ペーパークイリングを楽しもう 参加人数 6人

	・勾玉を作ろう 参加人数 11人 ・自分だけの香りのルームスプレーを作ろう 参加人数 6人 ・マーブル模様のうちわを作ろう（2回） 参加延人数 8人 ・テンペラ画を描いてみよう 参加人数 8人 ・偶然の模様を楽しむポーリングアートを作ろう 参加人数 10人 ・湊公民館講座 テクスチャーアート 参加人数 12人 ・クリームみたいなテクスチャーアートを作ろう 参加人数 5人 ・カルチャーセンター講座 勾玉ワークショップ 参加人数 3人 ・ワックスサシェを作ろう 参加人数 4人 ・クリスマス工作講座 参加人数 12人 ・スイーツデコ スフレパンケーキを作ろう 参加人数 10人 ・折り紙で土偶を作ろう 参加人数 5人 ・ハートのリースを作ろう 参加人数 9人 ・切手でしおりを作ろう 参加人数 2人 (121,369円)
美術考古館展示事業	1 収蔵作品展の開催 ・「田中隆夫展」 令和5年3月 9日～ 6月 4日 ・「岡谷美術の巨匠たち」 前半： 6月 8日～10月 1日 後半：10月 5日～12月24日 ・「美術考古館の隠れた名品展」 1月 4日～ 3月 3日 ・「林清登切手コレクション展」 3月 7日～ 5月12日 2 交流ひろば・企画展示室展示 ・「岡谷シルク アート・イン・レジデンス」 令和5年3月19日～ 5月14日 ・「小池健甫作品展」 6月15日～ 6月20日 ・「諏訪美術会小作品展」 9月21日～ 9月24日 ・「岡谷区民作品展」 9月28日～10月 1日 ・「艸展」 1月 8日～ 1月15日 ・「放課後居場所づくり事業展示」 1月29日～ 2月15日 ・「東高展」 2月22日～ 3月15日 3 考古常設展示 ・市内遺跡から出土した縄文から平安時代までの土器・石器類の展示 4 アーティスト育成展 ・小島広大展「色彩躍動」 2月24日～ 3月24日 (266,368円)
美術考古館企画展等開催事業	1 美術特別企画展 ・美術考古館移転開館10周年記念「神田さおり展」 7月15日～ 9月18日 【関連イベント】 - アートライブパフォーマンス&トークショー 7月29日 - ライブペインティング 8月20日 ・「小さくてもいいじゃないかーみんなのミニチュア作品展」 10月26日～12月24日 2 考古特別企画展等 ・「岡谷の大地を知り諏訪盆地の成り立ちを考えよう」 令和5年 1月24日～ 7月 9日 ・美術考古館移転開館10周年記念「天王垣外遺跡の勾玉・管玉～東京国立博物館から115年ぶりの里帰り」 7月15日～ 9月18日

	【関連イベント】 講演会「天王垣外遺跡の玉類が意味するもの」 8月 5日 ・「長野県宝ー信州の特色ある縄文土器展」 3月2日～31日 3 岡谷市内小学校児童版画展 ・第30回岡谷市内小学校児童版画展 小学校巡回展 11月～1月 ・第31回岡谷市内小学校児童版画展 1月21日～ 2月18日 (2,462,341円)
生涯学習館車両管理事務	共用車両の管理費の節減に取り組むとともに、各種法定点検、職員による日常点検を実施し、適正な車両管理と運行に努めた。 (407,364円)
生涯学習館管理事業	乳幼児から高齢者までが集い、学ぶための施設である生涯学習館の維持、管理を行った。 1 生涯学習館施設運営業務委託 11,939,400円 2 新型コロナウイルス感染症対応 ・令和5年5月に感染症法上の位置付けが5類に引き下げられたことに伴い、施設の利用制限を全て解除した。 3 主な修繕等 ・第3、4研修室スライディングウォール修理 49,500円 ・ダンス音楽室床補修工事 121,000円 ・第7研修室網戸交換工事 99,000円 4 情報機器購入 ・貸出用プロジェクター 1台 65,978円 (19,137,320円)
生涯学習館運営事業	生涯学習を通じて幅広い知識を得られるよう、市民のニーズに即した学習機会を提供し、生涯学習の充実と利用促進を図った。 1 輝く子育て支援学級 16回 参加延人数 104人 2 保育園・幼稚園家庭教育学級 ・成田保育園ほか4園（市立） 5回 参加延人数 213人 ・瑞穂幼稚園ほか2園（私立） 3回 参加延人数 98人 3 小学校家庭教育学級 ・岡谷田中小学校 1回 参加人数 54人 4 キッズクラブ（子ども学級） 8回 参加延人数 21人 5 世代間交流講座 ・「かんたん！カラフルな野菜でパーティー料理」 1回 参加人数 20人 6 季節の教養講座 ・「コツコツ骨盤体操講座」 4回 参加延人数 71人 ・「エンジョイ！クラフトテープ雑貨」 3回 参加延人数 36人 ・「バランスボールでエクササイズ！」 3回 参加延人数 20人 ・「はじめての筋膜リリース&バレトン講座」 3回 参加延人数 51人 ・「多肉植物のミニ箱庭作り」 2回 参加延人数 30人 ・「今知りたい、『源氏物語』の世界」 3回 参加延人数 45人 ・「やさしい韓国語講座」 3回 参加延人数 52人 ・「タイルクラフト講座」 3回 参加延人数 29人 7 若者向け講座 ・「知って得するマナー講座」 2回 参加延人数 24人

8	生涯学習大学			
	・「人工知能とつくるミライ」			
	信州大学工学部教授 香山 瑞恵 氏	参加人数	19人	
	・「高度経済成長期の岡谷 竜上高校が果たした役割」			
	山形大学地域教育文化学部教授 安藤 耕己 氏	参加人数	57人	
9	IT講座			
	・「ゼロから始めるスマホ講座」			
	第1回	2回	参加延人数	20人
	第2回	2回	参加延人数	19人
	第3回	2回	参加延人数	18人
	第4回	2回	参加延人数	20人
	第5回	2回	参加延人数	17人
10	いちい学級	16回	参加延人数	358人
11	じっくり学習！岡谷学	9回	参加延人数	195人
12	コレカラ岡谷			
	・A 旧長地村の歴史と文化を訪ねてみよう			
		3回	参加延人数	15人
	・B 旧川岸村の歴史と文化を訪ねてみよう			
		3回	参加延人数	20人
13	共催講座（生涯学習館で活動中のグループ等との共催）			
	・「基本を学ぶペン習字講座」（清風会）	4回	参加延人数	27人
	・「やさしい万葉集講座」（万葉集を楽しむ会）	2回	参加延人数	16人
	・「台湾料理講座」（台湾料理愛好会）	2回	参加延人数	20人
	・「心和むパンフラワー講座」（金洋会）	3回	参加延人数	9人
14	地域共催講座（今井区との共催）			
	・「夏の学び舎」	2回	参加延人数	102人
15	ボランティア講座			
	・「おいしい珈琲の淹れ方講座」（社協との共催）	1回	参加人数	10人
16	ホリデイスクエア事業			
	・オカリナロビーコンサート		来場者人数	110人
	・ベレーザ フラメンコ・ミニライブ		来場者人数	80人
	・あひる Xmas コンサート		来場者人数	110人
	・やまびこ男声合唱団 ロビーコンサート		来場者人数	100人
17	ロビー展事業 5団体参加	各10～15日間	展示	
18	文化祭			
	・市民舞踊祭		来場者延人数	110人
	・4館合同作品展		来館者延人数	786人
	・市民音楽祭		来場者延人数	461人
	・岡谷展		来館者延人数	730人
	・市民伝統音楽芸能祭		来場者延人数	276人
	・おかや演劇祭		来場者延人数	359人
19	学習グループの育成および活性化			
		91グループ	1,061人	(1,905,141円)

青少年活動育成支援事業	1 青少年問題協議会 青少年の指導、育成、保護等に関する総合的施策の検討及び実施のため会議を開催した。 ・協議会 7月6日 参加人数 18人 2 岡谷市子ども会育成連絡協議会 ・市内20地区子ども会育成会組織への支援 ・「子どもの手による子ども会」をめざした活動の実施 ・「子ども会だより」発行 ◎岡谷市リーダーズ倶楽部事業 中学生から高校生の有志で組織するボランティアグループ（登録人数7名） 3 全国子ども会安全共済会負担金 地区子ども会育成会活動及び「放課後子どもの居場所づくり事業」に参加する市内小中学校に通う児童生徒と子ども会育成会役員等の安全を担保するため、全国子ども会安全共済会への加入費用を公費負担した。 加入者数 4,099人 4 夏休み子ども交流事業 東伊豆町の小学5年生と岡谷市の小学5・6年生が、東伊豆町のアニマルキングダムの見学やレクリエーション、花火などを通じ、2日間昼夜を共にし、姉妹都市交流を行った。 ・8月3・4日 東伊豆町交流 参加人数 94人 5 新型コロナウイルス感染症関連の対応 ・県外研修（静岡県焼津市でのリーダーズ倶楽部研修） →中止 ・輝けおかやっ子GOGOチャレンジ事業 わんぱくアドベンチャー →「ぷちキャン」として縮小開催 参加人数 28人 岡谷市少年スポーツ大会 →中止 通学合宿（エンジョイ＆GOSCHOOL） →中止 (1,359,099円)
環境浄化・青少年非行防止活動事業	1 愛護パトロール 少年愛護センターでは、青少年の非行防止を図り、心身ともにたくましく健やかな青少年の育成を目標に、愛護パトロールにより愛護指導を計画的に実施した。 [活動状況] ・実施日数 80日 ・従事委員数 延べ 223人 ・声かけした子どもの数 延べ 35人 ・深夜パトロール 8月10日 午後8時～午後9時 参加人数 9人 2 環境浄化活動 地域ぐるみで青少年を見守り育て非行を防止する環境づくりを推進する店舗を「青少年健全育成協力店」とし、市内店舗に協力依頼を行うとともに、協力店にはステッカーを配布した。 3 街頭啓発活動 「子ども・若者育成支援強調月間」における街頭啓発活動 内閣府の実施する活動の一環で、子ども・若者の育成支援に対する理解を深めるため、啓発物品を配付しながらあいさつを行った。 11月1日 午前7時10分～ (826,444円)
図書館管理事業	人件費等の運営管理及び図書館の施設、設備等の維持管理を行った。 1 主な修繕等 ・図書館玄関横側溝改修工事、レファレンスコーナーエアコン改修工事、廃棄物処理業務委託、車両廃棄物処分委託 (54,500,712円)

図書資料等整備事業	多くの新刊図書が発刊される中、利用者が好む本や、タイムリーな情報を取り入れることなど各分野の特徴を意識した選書に努め、図書資料の整備を行った。 1 図書資料の購入等 ・ 図書 7, 542, 490円 ・ 保育園、幼稚園親子文庫用図書 955, 632円 ・ 紙芝居 1, 463円 ・ 新聞、雑誌 1, 072, 457円 2 視聴覚資料購入 ・ DVD 147, 510円 ・ CD 16, 720円 (10,109,819円)																																																																												
読書普及活動事業	1 第4次岡谷市子ども読書活動推進計画の策定 第4次岡谷市子ども読書活動推進計画策定委員会 5回開催 2 学校図書館との連携 (1) 市立図書館返却ポスト及び物流システム 市立図書館で借りた本を自分の通う学校の図書館へ返却できるため、利用を呼び掛けた。また、教職員が求める図書資料等の相談、検索、資料貸出等のレファレンス機能（リクエスト）も備え事業の充実を図った。 ・ 市内11小中学校図書館返却ポスト設置数 11個 ・ 利用状況 ① 小学校 423冊（返却数：87冊、リクエスト：336冊） ② 中学校 66冊（返却数：12冊、リクエスト：54冊） (内訳) <table><tr><td></td><td>川岸</td><td>神明</td><td>小井川</td><td>岡谷田中</td><td>湊</td><td>長地</td><td>上の原</td><td>計</td></tr><tr><td>返却</td><td>8</td><td>35</td><td>1</td><td>27</td><td>15</td><td>0</td><td>1</td><td>87</td></tr><tr><td>リクエスト</td><td>15</td><td>120</td><td>12</td><td>18</td><td>92</td><td>9</td><td>70</td><td>336</td></tr><tr><td>計</td><td>23</td><td>155</td><td>13</td><td>45</td><td>107</td><td>9</td><td>71</td><td>423</td></tr></table> <table><tr><td></td><td>岡谷西部</td><td>岡谷北部</td><td>岡谷南部</td><td>岡谷東部</td><td>計</td></tr><tr><td>返却</td><td>0</td><td>12</td><td>0</td><td>0</td><td>12</td></tr><tr><td>リクエスト</td><td>1</td><td>0</td><td>7</td><td>46</td><td>54</td></tr><tr><td>計</td><td>1</td><td>12</td><td>7</td><td>46</td><td>66</td></tr></table> (2) 学級文庫「アネックス」 子どもたちが本を身近に感じられる環境を整備するため、小学校1、2年全学級および希望する学校（学級）に、絵本や様々な分野の本を各30冊設置した。 ・ 配架学級数 32学級 ・ 貸出冊数 4,002冊 (内訳) <table><tr><td>川岸</td><td>神明</td><td>小井川</td><td>岡谷田中</td><td>湊</td><td>長地</td><td>上の原</td><td>計</td></tr><tr><td>599</td><td>691</td><td>881</td><td>240</td><td>601</td><td>630</td><td>360</td><td>4,002</td></tr></table> 3 おはなしの森シリーズ ・ おはなしの森 44回 ・ ちいさなおはなしの森 13回 ・ 日曜日のちいさなおはなしの森 4回 ・ おはなしの森 春だよ！スペシャル 参加延人数 665人 ブラックパネルシアター、絵本の読み聞かせ 参加人数 22人 としょかんオリエンテーリング 参加人数 24人		川岸	神明	小井川	岡谷田中	湊	長地	上の原	計	返却	8	35	1	27	15	0	1	87	リクエスト	15	120	12	18	92	9	70	336	計	23	155	13	45	107	9	71	423		岡谷西部	岡谷北部	岡谷南部	岡谷東部	計	返却	0	12	0	0	12	リクエスト	1	0	7	46	54	計	1	12	7	46	66	川岸	神明	小井川	岡谷田中	湊	長地	上の原	計	599	691	881	240	601	630	360	4,002
	川岸	神明	小井川	岡谷田中	湊	長地	上の原	計																																																																					
返却	8	35	1	27	15	0	1	87																																																																					
リクエスト	15	120	12	18	92	9	70	336																																																																					
計	23	155	13	45	107	9	71	423																																																																					
	岡谷西部	岡谷北部	岡谷南部	岡谷東部	計																																																																								
返却	0	12	0	0	12																																																																								
リクエスト	1	0	7	46	54																																																																								
計	1	12	7	46	66																																																																								
川岸	神明	小井川	岡谷田中	湊	長地	上の原	計																																																																						
599	691	881	240	601	630	360	4,002																																																																						

	・夏休み特集おはなしの森 戦争の絵本の読み聞かせ	参加人数	4人
	・こわ〜いおはなしの森 怖い絵本の読み聞かせ	参加人数	38人
	・クリスマス特集おはなしの森 大型絵本の読み聞かせ、ブラック パネルシアター、ハンドベル	参加人数	28人
4	「うち読でエコ読」事業		
	・広報への掲載、うち読本コーナーの設置		
5	ファーストブック事業（9～10か月児検診時配布）	配布数	212冊
6	ファーストチョイスブック事業		
	・3歳児健診時に引換券を配布し、図書館にてオリジナルキャラクター付図書カードをプレゼントした。	引換券配布人数	265人
		カード作成人数	44人
7	子ども工作教室		
	・夏・冬（各1日）	参加延人数	27人
8	としょかんキッズ（1日図書館員）※小学4年生から高校生対象		
	・夏休み・冬休み（各3日間）	参加延人数	14人
9	としょかん子ども読書まつり		
	・関係8団体と協力し2日間開催	参加延人数	356人
10	団体やグループに対する読み聞かせの普及活動		
	・乳幼児学級、乳幼児サークルでの職員による読み聞かせ等	実施回数	7回
		参加延人数	156人
11	ぬいぐるみのおとまり会	参加人数	19人
12	まちかど図書館事業		
	・市内公共施設6か所に設置（諏訪湖ハイツ、生涯学習活動センター、 勤労青少年ホーム、市役所ロビー、市民総合体育館、美術考古館）		
13	図書リサイクル事業（読書サークル協議会との協働事業）		
	・実施日 9月24日	来館者	171人
		リサイクル図書数	1,974冊
14	本の福袋（5日間）		170冊
15	図書館DE講座（兼テーマブックコーナー）		
	・水道週間、食育月間、男女共同参画週間、地球温暖化問題、岡谷 市防災の日、下水道の日、健康増進普及月間・食生活改善普及運 動月間、自殺予防週間、世界アルツハイマー月間、里親月間・里 親の日、児童虐待防止推進月間、自殺対策強化月間		
16	はつらつ来（らい）ぶらり事業		
	・高齢者の方々に本への関心をもっていただくため、いきいきライフ コーナー（大活字本・年金等シニア向けの書棚）を設置した。		
17	「岡谷図書館公式エックス（X）」の運営		
	・SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用し、 新コーナーの紹介やイベントの案内、その他あらゆる情報等を掲 載し、幅広い層へ市立図書館の認知度向上を図った。	閲覧回数	12,698回
18	読み聞かせ活動用機材の貸出		
	・ハンズフリータイプの拡声器を読書活動団体や学校等に貸し 出した。	拡声器貸出件数及び台数	5件
		延べ	10台 (466,235円)

図書館情報ネットワークシステム管理事業	1 諏訪地域公共図書館情報ネットワークシステム「すわズラ〜」の維持管理を行った。 2 信毎データベースを導入し、利用者が望む資料検索時間の短縮や、それに伴う職員の業務の軽減を図った。 3 市町村と県による協働電子図書館サービス「デジとしょ信州」を運用し、住民サービスの向上及びデジタル化社会への対応を図った。 登録者 253人、貸出件数 977件 (4,999,748円)
指定文化財管理事業	1 市管理の指定史跡梨久保遺跡、姥ヶ懐古墳、唐櫃石古墳、スクモ塚古墳、広畑遺跡の草刈、アメシロ駆除等の管理を行った。 2 スクモ塚古墳内の倒木による賠償補償 賠償補償金 66,000円 (157,435円)
旧林家住宅管理事業	1 施設の維持管理、公開を行った。 2 施設を活用した行事を開催した。 ・シルクフェア 来館者数 212人 ・岡谷工業高校茶華道部による発表会 来館者数 67人 ・小原流岡谷の会による伝統文化いけばな親子教室発表会(2日間) 来館者延人数 80人 ・文化の日に無料公開 来館者数 35人 ・雛人形の展示(21日間) (3,391,697円)
旧渡辺家住宅管理事業	1 施設の維持管理、公開を行った。 2 施設を活用した行事を開催した。 ・文化の日に無料公開 来館者数 8人 3 茅葺屋根等改修工事設計業務 履行期間 6月16日～8月31日 委託料 2,530,000円 4 茅葺屋根等改修工事 工期 令和5年11月15日～令和6年10月31日 請負金額 41,250,000円 (内令和5年分5,000,000円) (8,297,656円)
旧山一林組製糸事務所管理事業	1 施設の維持管理を行った。 2 建物1・2階を岡谷絹工房として施設の活用を図った。 (1,601,508円)
有形文化財保護・保全事業	1 岡谷市文化財保護審議会を開催した。 1回開催 2 生涯学習課分室・公用車両の管理を行った。 (6,328,266円)
遺跡緊急発掘事業	個人住宅等小規模開発・公共事業に伴う試掘調査を実施した。 ・調査件数 9件 217.75㎡ (3,099,708円)
市史編さん準備事業	1 岡谷市史編さん準備室の設置 ・イルフプラザ3階生涯学習課内 専任職員2名配置 2 先進地視察 ・上伊那郡南箕輪村、高森町子ども読書支援センター ・和光市、東松山市、ふじみ野市、清瀬市 3 講演会受講 ・信州横断「昭和・現代史」講座 (主催：公益財団法人八十二文化財団) ・シンポジウム「史資料の収集・保存・散逸防止と史誌編さん」 (主催：長野県史料保存活用連絡協議会・信濃史学会)

	4 広報 ・岡谷市史編さん準備室だより「覧古考新」 13回発行、WEB公開（市ホームページ） ・「覧古考新」閲覧・配布コーナーの設置 （イルフプラザ3階、図書館等） 5 既刊岡谷市史デジタル化 ・既刊岡谷市史（上巻・中巻・下巻）PDFデータ作成 (4,983,860円)
塩嶺野外活動センター管理事業	市内唯一の宿泊可能な生涯学習施設として、緑豊かな自然の中での野外活動を通して、利用者の豊かな情操と心身の健全育成を図るため、適切な管理運営を行った。 開設期間 5月1日～10月31日 ◎新型コロナウイルス感染症関連の対応 5月8日からの感染症法上の分類変更に伴う各種規制解除の方針に基づき、準備期間を経て、5月16日からセンターハウスにおける宿泊利用等を再開した。 利用者数 950人 (5,064,331円)

第3 主要な統計、行政資料等（令和6年3月31日現在）

1 生涯学習館・公民館利用状況

区 分		利用件数	うち有料	利用人員	使用料
		件	件	人	円
生涯学習館		5,863	2,651	55,172	4,571,043
湊 公民館		472	1	5,155	148,875
川岸公民館		588	68	5,914	381,050
長地公民館		1,723	533	17,739	1,208,715
合計	令和5年度(A)	8,646	3,253	83,980	6,309,683
	令和4年度(B)	7,424	2,825	70,348	5,686,088
	増 減(A)-(B)	1,222	428	13,632	623,595

2 図書館

(1) 総蔵書冊数等（総蔵書冊数 235,532冊）

分類別蔵書冊数、受入及び除籍冊数

() 内はうち寄贈数

分 類		蔵 書 冊 数		受入冊数		除籍冊数
			構成比	() うち寄贈による受入	構成比	
		冊	%	冊	%	冊
0 総 記		5,099	2.9	124 (13)	2.9	64
1 哲 学		5,934	3.3	134 (32)	3.1	74
2 歴 史		14,852	8.3	349 (51)	8.0	324
3 社会科学		20,987	11.8	465 (99)	10.7	305
4 自然科学		7,521	4.2	275 (39)	6.3	186
5 技 術		7,352	4.1	269 (41)	6.2	320
6 産 業		4,606	2.6	115 (15)	2.6	150
7 芸 術		12,275	6.9	227 (50)	5.2	18
8 言 語		1,790	1.0	42 (6)	1.0	2
9 文 学		43,233	24.3	828 (300)	19.1	780
外 国 語		87	0.1	23 (22)	0.5	0
大 活 字		691	0.4	0 (0)	0.0	0
コ ミ ッ ク		2,965	1.7	282 (248)	6.5	102
児 童		50,537	28.4	1,211 (92)	27.9	311
小 計		177,929	100.0	4,344	100.0	2,636
団体貸出用		4,195		70		55
公民館図書室		20,562		530		838
紙 芝 居		1,272		3 (1)		2
保育園・幼稚園 親子文庫		31,574		705		1,248
合計	令和5年度(A)	235,532		5,652 (1,009)		4,779
	令和4年度(B)	234,659		5,172 (771)		4,594
	増 減(A)-(B)	873		480 (238)		185

再 掲	区 分	蔵 書 冊 数	受入冊数	除籍冊数
	郷 土	17,495	207 (164)	0
	点 字	698	65 (65)	0
	洋 書	1,777	36 (35)	0
	公民館図書室	20,562	530	838
	湊公民館	6,989	176	1
	川岸 〃 長地 〃	5,489 8,084	178 176	537 300

(2) 館外貸出利用状況 (登録者数 35,507人 内児童数 1,735人)

区 分		貸 出 冊 数		利用者別貸出冊数	
			内児童図書	中学生以上	児 童
本 館 計		196,843	76,382	156,922	39,921
個人貸出※1		171,150	70,122	131,229	39,921
団体貸出※2		4,792	1,891	4,792	
相互貸借※3		20,901	4,369	20,901	
湊 公民館		2,320	2,309	801	1,519
川岸公民館		2,795	2,730	1,016	1,779
長地公民館		2,413	2,360	596	1,817
保育園幼稚園 親子文庫		37,172	37,172	6,218	30,954
合 計	令和5年度(A)	241,543	120,953	165,553	75,990
	令和4年度(B)	230,433	119,158	156,306	74,127
	増 減(A)-(B)	11,110	1,795	9,247	1,863

※1 個人貸出の内、視聴覚資料利用数 5,095点

(内訳 ビデオ:24点、カセット:62点 CD:1,686点、DVD:3,323点)

※2 団体貸出:学級文庫、市内施設等への貸出

※3 相互貸借:諏訪5市町村や県内外図書館への貸出

(3) 入館者数 52,001人 (開館日 286日) (単位:人)

1日平均入館者数	令和5年度(A)	181.8
	令和4年度(B)	157.1
	増 減(A)-(B)	24.7

3 美術考古館

(1) 美術考古館入館状況 (開館日数297日)

	個 人		団 体		年間券 (販売)	共通券 (販売)	減 免 割 引 入館者	無 料 入館者	入館者 合 計	入館料 合 計
	高校生 以 上	小 中 学 生	高校生 以 上	小 中 学 生						
令和5年度 (A)	人 2,645	人 100	人 84	人 62	人 232 (14)	人 675 (331)	人 492	人 4,935	人 9,225	円 1,483,730
令和4年度 (B)	2,054	66	113	62	381 (13)	455 (259)	496	4,373	8,000	1,241,650
増減 (A)-(B)	591	34	△29	0	△149 (1)	220 (72)	△4	562	1,225	242,080

(2) 美術考古館利用状況

	企画展示室			交流ひろば			多目的スペース			使用料 合 計
	有料	減免	使用料	有料	減免	使用料	有料	減免	使用料	
令和5年度 (A)	日 32	日 0	円 188,140	日 36	日 34	円 89,820	日 12	日 0	円 28,700	円 306,660
令和4年度 (B)	28	15	158,340	44	89	70,460	0	0	0	228,800
増減 (A)-(B)	4	△15	29,800	△8	△55	19,360	12	0	28,700	77,860

4 旧渡辺家住宅 公開日数 137日(11月4日～3月19日は冬季休館)

年度	入 館 者 数 (人)						合 計
	個 人	団 体	減 免 入館者	小中 高校生 無料	共通入館券		
					共通 入館券購 入者	他館での 購入者	
令和 5 年度 (A)	44	0	113	1	2	50	210
令和 4 年度 (B)	35	4	97	110	2	40	288
増 減 (A) - (B)	9	△ 4	16	△ 109	0	10	△ 78

(円)

年度	入館料	会場使用料			入館料・ 使用料合計
	合 計	部分使用	全館使用	合 計	
令和5年度(A)	15,320	0	0	0	15,320
令和4年度(B)	13,400	0	0	0	13,400
増 減(A)-(B)	1,920	0	0	0	1,920

5 旧林家住宅 公開日数 231日(11月4日～3月31日の平日は休館)

年度	入 館 者 数 (人)						合 計
	個 人	団 体	減 免 入館者	小中 高校生 無料	共通入館券		
					共通 入館券 購入者	他館での 購入者	
令和5年度(A)	727	123	660	63	184	290	2,047
令和4年度(B)	403	237	316	111	130	243	1,440
増 減(A)-(B)	324	△114	344	△48	54	47	607

(円)

年度	入館料	会場使用料			入館料・使用 料合計
	合 計	部分使用	全館使用	合 計	
令和5年度(A)	525,920	3,150	0	0	529,070
令和4年度(B)	402,730	3,150	0	0	405,880
増 減(A)-(B)	123,190	0	0	0	123,190

6 塩嶺野外活動センター利用状況

(1) センターハウス(宿泊)

市 内			市 外			減免	人数計	使用料 合 計
無 料	有 料	使用料	有 料		使用料			
高校生 以 下	一般		高校生 以 下	一般				
人 178	人 18	円 28,260	人 109	人 78	円 334,930	人 30	人 413	円 363,190

(2) センターハウス (日帰り)

市 内			市 外			減 免	人 数 計	使用料 合 計
無 料	有 料	使用料	有 料		使用料			
高 校 生 以 下	一 般		高 校 生 以 下	一 般				
人 163	人 0	円 0	人 0	人 0	円 0	人 67	人 230	円 0

(3) キャンプ場 (日帰り)

単 位						利用人数	使用料
使用料/人数	1～10 人	11～20 人	21～30 人	31～40 人	41 人～		
	組	組	組	組	組	人	円
有 料	7	3	3	0	0	158	11,440
減 免	0	1	0	0	0	20	0

(4) キャンプ場 (宿泊)

テント数				利用人数		
有 料		減 免	使用料	有 料	減 免	計
貸 出	持 込					
張 0	張 81	張 0	円 63,180	人 129	人 0	人 129

(5) センターハウス及びキャンプ場の利用人数等合計

年度/人数・使用料	利用人数	センターハウス等使用料
令和5年度 (A)	人 950	円 437,810
令和4年度 (B)	354	88,400
増 減 (A) - (B)	596	349,410

ス ポ ー ツ 振 興 課

第1 概説

スポーツ振興課では、第2次岡谷市スポーツ推進計画「はつらつ岡谷スポーツプラン」の主な取り組みである「市民ひとり1スポーツの実現」、「競技力の向上」、「子どものスポーツ機会の充実」、「スポーツ環境の整備・充実」の4つを柱に、すべての市民が「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で積極的にスポーツに参加できるよう、公益財団法人岡谷市スポーツ協会をはじめとする関係スポーツ団体等と連携を図り、各種事業を実施した。

市民ひとり1スポーツの実現に向けて、スポーツ教室や大会をはじめとする、多様なスポーツ機会の充実に取り組むとともに、老若男女だれでも気軽に楽しむことができる岡谷市民ニュースポーツフェスティバルを開催し、健康づくりやニュースポーツの普及促進を図った。

スポーツ施設の整備、充実においては、岡谷市民水泳プールの長寿命化を図るため、令和4年度から2ヵ年事業で進めてきた大規模改修工事が4月に竣工し、5月にリニューアルオープンした。

また、令和5年度末で、岡谷市民総合体育館などの6つのスポーツ施設の指定管理期間が満了することから、令和6年度からの指定管理者の再選定を行った。

岡谷市民総合体育館の長寿命化と2028年（令和10年）第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の内定競技である卓球競技の開催を見据え、大規模改修工事に向けた劣化調査及び改修計画策定業務を実施した。

第82回国民スポーツ大会冬季大会のアイスホッケー競技が、本市で開催されることが内定した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員（13人）によるニュースポーツの普及や市民のスポーツ推進のための行事や事業への協力に努めた。 ・諏訪地方ヘルスバレーボール大会 6月 ・市民ボッチャ体験会 8月 ・体力、運動能力調査 9月 ・市民ニュースポーツフェスティバル 9月 ・市民ボッチャ大会 11月 (840,915円)
陸上競技場管理事業	市営陸上競技場の利用者が、安全で快適に利用できるよう施設の適正な管理を行った。 ・市営陸上競技場修繕工事 225,500円 (405,000円)

やまびこ国際スケートセンター管理事業	岡谷市やまびこ国際スケートセンターの管理を株式会社やまびこスケートの森に指定管理者として業務委託を行うとともに、原油・原材料価格の高騰や円安の進行に伴う物価高騰等に対する支援を行った。 ・指定管理委託業務 85,448,000 円 (89,888,184 円)
学校体育施設開放管理事業	学校体育施設の利用者が、安全で快適に利用できるよう適正な管理運営を行った。 ・市内小中学校体育館、校庭 (713,335 円)
スポーツ施設管理事業	市営岡谷球場、岡谷市民湖畔広場、岡谷市民川岸スポーツ広場、岡谷市民総合体育館、岡谷市宮庭球場、岡谷市民水泳プールの管理をシンコースポーツ株式会社に指定管理者として業務委託を行うとともに、原油・原材料価格の高騰や円安の進行に伴う物価高騰等に対する支援を行った。 市民水泳プール大規模改修工事が4月に竣工したことから、5月3日にリニューアルオープニングセレモニーを開催し、当日はサービスデーとして施設を無料開放した。 市民総合体育館柔道場、剣道場を新型コロナウイルスワクチン接種会場として、8月まで開放した。 やまびこアイスアリーナは、利用者が安全で快適に利用できるよう施設の適正な管理を行った。 ・市民総合体育館劣化調査及び改修計画策定業務 4,851,000 円 ・スポーツ施設指定管理委託業務 115,017,000 円 ・市民水泳プール大規模改修工事監理委託業務（5年度分） 1,645,000 円 ・市民水泳プール大規模改修工事（建築、機械設備）（5年度分） 82,200,000 円 ・市民水泳プール大規模改修工事（電気設備）（5年度分） 14,900,000 円 ・市営岡谷球場受変電設備更新工事 2,024,000 円 ・東体育館屋内消火栓設備改修工事（前年度から繰越） 9,075,000 円 ・東体育館非常用発電機改修工事設計業務（翌年度へ繰越） 1,067,000 円 ・アイスアリーナ床面改修工事 4,730,000 円 ・備品購入(卓球台5台) 979,000 円 (227,162,966 円)

スポーツ振興事業	岡谷市教育委員会主催大会、各種スポーツ教室を公益財団法人岡谷市スポーツ協会や専門トレーナーを有する株式会社やまびこスケートの森に委託し、子どもから一般までを対象に、多様なスポーツの機会の充実と競技力向上を図った。 長野県エースドッジボール協会の解散に伴い、当協会主催の大会が終了となった。 1 スポーツ大会（主催大会等） 58大会 2,209,731円 ・各区対抗体育大会 11大会 参加者908人 ・市民スポーツ普及大会 38大会（うち11大会中止） 参加者4,255人 ・競技力向上大会 9大会 参加者1,626人 合計6,789人 2 おかやファミリースポーツプログラム 611,061円 ・体験型スポーツイベント 5回 3 スポーツ教室（主催教室） 2,474,099円 ・少年スポーツ教室 10種目 11教室 ・女性スポーツ教室 2種目 2教室 ・一般スポーツ教室 1種目 1教室 ・市民全般スポーツ教室 3種目 3教室（うち1教室中止） ・託児付きスポーツ教室 1種目 1教室 4 大人のためのランニング教室 6回 207,000円 5 おかやキッズ体育塾 816,000円 前期2クラス、後期2クラス 各10回 6 ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室 10回 181,000円 7 かがやけおかやキッズ体力アッププログラム 1,280,000円 ・小学1、2年生 25クラス 各6回 ・指導者講習会 新任学校教職員研修会にて実施 5月 8 スポーツ&健康 高齢者運動促進事業 ・元気いきいき岡谷シニアスポーツデー 4回 参加者114人 9 スケート振興事業 2,768,000円 ・多種目スケート教室 3種目 3教室 ・おかやスピードスケートトータルサポートクラブ 初心者～上級者コース 30回 アスリートコース 50回 ・親子で氷上運動会 1回 ・ファミリースケートデー 1回 入場者75人 10 岡谷市バレーボールのまちづくり実行委員会 234,669円 ・第22回岡谷カップ・フレンドシップバレーボール大会 4大会 参加者776人 ・中学生男子バレーボール教室 参加者14人 ・中学生女子バレーボール教室 参加者18人 ・VC長野トライデンツ小中学生バレーボールクリニック 参加者81人 ・男子小中学生バレーボールクリニック 参加者41人 11 市民ニュースポーツフェスティバル 8種目 参加者36人 (14,546,376円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 市営岡谷球場利用状況

	専用使用					照明施設						
	有料		減免		使用料	有料			減免			使用料
	全面	半面	全面	半面		野球	ソフト全面	ソフト半面	野球	ソフト全面	ソフト半面	
5年度(A)	377.0 ^h	4.0 ^h	222.5 ^h	0.0 ^h	477,540 ^円	178.0 ^h	0.0 ^h	0.0 ^h	0.0 ^h	0.0 ^h	0.0 ^h	405,840 ^円
4年度(B)	389.0	3.5	284.0	10.0	492,345	138.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	322,080
増減(A)-(B)	△ 12.0	0.5	△ 61.5	△ 10.0	△ 14,805	40.0	△ 4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83,760

	放送施設		用具		施設使用料 合 計	行政財産 使 用 料	使用料合計	利用者合計
	件数	使用料	件数	使用料				
5年度(A)	18 ^件	37,800 ^円	4 ^件	440 ^円	921,620 ^円	14,520 ^円	936,140 ^円	8,983 ^人
4年度(B)	34	71,400	1	110	885,935	94,920	980,855	7,680
増減(A)-(B)	△ 16	△ 33,600	3	330	35,685	△ 80,400	△ 44,715	1,303

2 岡谷市営庭球場利用状況

	開場 日数	専用使用			個人使用			
		有料	減免	使用料	小中学生	一般	市内小中 (無料)	使用料
5年度(A)	331 ^日	2,948.0 ^h	825.0 ^h	2,299,440 ^円	495 ^人	2,737 ^人	763 ^人	656,590 ^円
4年度(B)	323	2,339.0	1,620.0	1,824,420	570	2,471	1,114	606,320
増減(A)-(B)	8	609.0	△ 795.0	475,020	△ 75	266	△ 351	50,270

	通年使用			回数券			照明施設				
	小中 学生	一般	使用料	小中 学生	一般	使用料	有 料		減 免		使用料
							300Lx	500Lx	300Lx	500Lx	
5年度(A)	3 ^件	168 ^件	1,861,200 ^円	1 ^件	105 ^件	232,100 ^円	884.0 ^h	364.0 ^h	76.0 ^h	0.0 ^h	745,680 ^円
4年度(B)	1	171	1,885,400	5	113	254,100	651.0	261.0	116.0	0.0	544,620
増減(A)-(B)	2	△ 3	△ 24,200	△ 4	△ 8	△ 22,000	233.0	103.0	△ 40.0	0.0	201,060

	用 具		施設使用料 合 計	行政財産 使 用 料	使用料 合 計	利用者 合 計
	件数	使用料				
5年度(A)	9 ^件	990 ^円	5,796,000 ^円	21,780 ^円	5,817,780 ^円	32,843 ^人
4年度(B)	10	1,100	5,115,960	21,780	5,137,740	34,021
増減(A)-(B)	△ 1	△ 110	680,040	0	680,040	△ 1,178

3 岡谷市民湖畔広場利用状況

	専用使用					用 具		施設使用料 合 計	行政 財産 使用料	使用料 合 計	利用者 合 計
	有 料		減 免		使用料	件数	使用料				
	全面	半面	全面	半面							
5年度(A)	h 68.0	h 255.0	h 184.0	h 35.5	円 164,220	件 2	円 220	円 164,440	円 81,900	円 246,340	人 9,078
4年度(B)	88.5	255.0	180.5	172.0	181,440	4	440	181,880	0	181,880	4,429
増 減 (A)-(B)	△ 20.5	0.0	3.5	△ 136.5	△ 17,220	△ 2	△ 220	△ 17,440	81,900	64,460	4,649

4 岡谷市民川岸スポーツ広場利用状況

	専用使用					照明施設			
	有 料		減 免		使用料	有 料			使用料
	全面	半面	全面	半面		ソフト全面	ソフト半面	サッカー	
5年度(A)	142.0	66.5	101.0	5.0	164,735	20.0	22.0	13.0	71,220
4年度(B)	86.5	138.5	122.5	128.0	146,405	30.0	2.0	18.0	66,620
増 減 (A)-(B)	55.5	△ 72.0	△ 21.5	△ 123.0	18,330	△ 10.0	20.0	△ 5.0	4,600

	用 具		施設使用料 合 計	行政財産 使 用 料	使用料 合 計	利用者 合 計
	件数	使用料				
5年度(A)	1	110	236,065	3,000	239,065	3,238
4年度(B)	1	110	213,135	1,400	214,535	2,187
増 減 (A)-(B)	0	0	22,930	1,600	24,530	1,051

5 岡谷市やまびこ国際スケートセンター利用状況

(1) 使用料収入状況

	1 回 券				回 数 券			
	一般	高校生	中学生以下	使用料	一般	高校生	中学生以下	使用料
5年度(A)	978	182	630	1,473,880	52	3	51	400,750
4年度(B)	924	97	662	1,356,760	59	20	44	496,250
増 減 (A)-(B)	54	85	△ 32	117,120	△ 7	△ 17	7	△ 95,500

	シーズン券				入 場 券			
	一般	高校生	中学生以下	使用料	シーズン券	回数券	1回券	使用料
5年度(A)	4	14	35	472,500	12	54	471	229,020
4年度(B)	2	16	45	553,375	17	36	438	229,460
増 減 (A)-(B)	2	△ 2	△ 10	△ 80,875	△ 5	18	33	△ 440

	専用使用	貸 靴	ロッカー等	施設使用料合計	行政財産使用料	使用料合計
5年度(A)	400,800	2,023,010	17,000	5,016,960	1,196,470	6,213,430
4年度(B)	748,160	1,892,630	14,300	5,290,935	1,163,340	6,454,275
増 減 (A)-(B)	△ 347,360	130,380	2,700	△ 273,975	33,130	△ 240,845

(2) 利用者数等状況

	開場 日数	一般	高校生	中学生 以 下	学校授業		入場者	大会等	利用者 合 計	うち無料 (小中学生)
					市内	市外				
5年度(A)	83	1,978	481	2,830	3,621	0	1,415	3,378	13,703	1,250
4年度(B)	84	2,061	595	3,166	3,881	109	1,643	3,245	14,700	1,315
増 減 (A)-(B)	△ 1	△ 83	△ 114	△ 336	△ 260	△ 109	△ 228	133	△ 997	△ 65

6 岡谷市学校体育施設利用状況

(1) 使用料収入状況

	体育館			校 庭			施設使用料合計		
	小学校	中学校	合 計	小学校	中学校	合 計	小学校	中学校	合 計
	円	円	円	円	円	円	円	円	円
5年度(A)	680,205	1,513,915	2,194,120	132,610	2,860	135,470	812,815	1,516,775	2,329,590
4年度(B)	456,270	1,148,590	1,604,860	80,380	0	80,380	536,650	1,148,590	1,685,240
増 減 (A)-(B)	223,935	365,325	589,260	52,230	2,860	55,090	276,165	368,185	644,350

(2) 利用時間等状況

・ 体育館

	専用使用				照明施設				利用者 合 計
	有 料	減 免	合 計	使用料	有 料	減 免	合 計	使用料	
	h	h	h	円	h	h	h	円	人
小学校	854.0	5,074.0	5,928.0	365,200	2,597.5	3,330.5	5,928.0	315,005	47,108
中学校	3,434.0	1,347.0	4,781.0	920,470	3,888.0	893.0	4,781.0	593,445	32,292
5年度(A)	4,288.0	6,421.0	10,709.0	1,285,670	6,485.5	4,223.5	10,709.0	908,450	79,400
4年度(B)	3,000.5	5,860.5	8,861.0	919,790	4,702.5	4,158.5	8,861.0	685,070	52,017
増 減 (A)-(B)	1,287.5	560.5	1,848.0	365,880	1,783.0	65.0	1,848.0	223,380	27,383

・ 校 庭

	専用使用				照明施設				利用者 合 計
	有 料	減 免	合 計	使用料	有 料	減 免	合 計	使用料	
	h	h	h	円	h	h	h	円	人
小学校	60.5	5,822.5	5,883.0	26,620	178.5	194.5	373.0	105,990	18,871
中学校	6.5	11.5	18.0	2,860	0.0	0.0	0.0	0	270
5年度(A)	67.0	5,834.0	5,901.0	29,480	178.5	194.5	373.0	105,990	19,141
4年度(B)	20.5	4,840.0	4,860.5	9,020	115.0	130.0	245.0	71,360	18,546
増 減 (A)-(B)	46.5	994.0	1,040.5	20,460	63.5	64.5	128.0	34,630	595

7 岡谷市民総合体育館利用状況

(1) 使用料収入状況

	開館 日数	専用使用			個人使用			
		有料	減免	使用料	有 料		無 料	
					小中学生	一般	市内小中	その他
	日	h	h	円	人	人	人	人
5年度(A)	336	13,539.5	2,569.0	7,668,875	328	9,087	1,370	1,934
4年度(B)	334	12,046.5	2,235.5	6,431,675	546	8,215	1,374	1,611
増 減 (A)-(B)	2	1,493.0	333.5	1,237,200	△ 218	872	△ 4	323

	回数券			照明施設			設備		用具	
	小中学生	一般	使用料	有 料	減 免	使用料	件数	使用料	件数	使用料
	件	件	円	h	h	円	件	円	件	円
5年度(A)	0	539	1,185,800	7,333.0	513.0	2,162,940	2,053	1,289,180	1,209	132,990
4年度(B)	0	487	1,071,400	6,802.0	544.0	1,787,250	1,382	719,120	1,012	111,320
増 減 (A)-(B)	0	52	114,400	531.0	△ 31.0	375,690	671	570,060	197	21,670

	施設使用料合計	行政財産使用料	使用料合計
	円	円	円
5年度(A)	14,475,005	243,730	14,718,735
4年度(B)	11,988,125	268,570	12,256,695
増 減 (A)-(B)	2,486,880	△ 24,840	2,462,040

(2) 利用者数等状況

	専用使用		個人使用				回数券			利用者 合 計
	件 数	人 数	小中学生	一 般	無 料	合 計	小中学生	一 般	合 計	
5年度(A)	5,628	139,662	328	9,087	3,304	12,719	7	5,824	5,831	158,212
4年度(B)	5,492	104,065	546	8,215	2,985	11,746	0	5,138	5,138	120,949
増 減 (A)-(B)	136	35,597	△ 218	872	319	973	7	686	693	37,263

8 岡谷市民水泳プール利用状況

	開場 日数	コース専用使用			個人使用					回数券		
		有料	減免	使用料	小中 学生	一般	市内 小中 (無料)	その他 無料	使用料	小中 学生	一般	使用料
5年度(A)	276	2,405.5	484.5	5,051,550	1,028	3,167	1,578	557	1,766,050	7	291	1,386,600
4年度(B)	221	2,041.0	167.0	4,286,100	975	2,326	1,345	275	1,356,470	9	197	950,200
増 減 (A)-(B)	55	364.5	317.5	765,450	53	841	233	282	409,580	△ 2	94	436,400

	学校授業等 (無料)		施設使用料合計	行政財産使用料	使用料合計	利用者合計
	日 h	人	円	円	円	人
5年度(A)	32.0	277	8,204,200	76,505	8,280,705	33,319
4年度(B)	0.0	0	6,592,770	43,700	6,636,470	26,927
増 減 (A)-(B)	32.0	277	1,611,430	32,805	1,644,235	6,392

9 スポーツ教室等

(1) スポーツ教室

○少年スポーツ教室

教 室 名	日 程	回数	5年度		4年度		受講者増減 (A)-(C)	延人数増減 (B)-(D)
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)		
多種目スポーツ教室	4～5月	5	14	54	10	42	4	12
バスケットボール	5～7月	8	16	91	18	111	△ 2	△ 20
バレーボール	5～6月	5	12	48	3	13	9	35
テニス	5～7月	8	15	96	17	106	△ 2	△ 10
フットサル	1～2月	8	11	78	20	134	△ 9	△ 56
水泳（1回目）	5～7月	7	18	109	—	—	18	109
水泳（2回目）	6月	7	31	187	—	—	31	187
剣道	5～7月	8	9	52	13	93	△ 4	△ 41
バドミントン	9～10月	8	17	105	30	191	△ 13	△ 86
ソフトテニス	7月	8	15	97	21	160	△ 6	△ 63
新体操	11～12月	5	16	68	9	38	7	30
合 計		77	174	985	141	888	33	97

○女性スポーツ教室

教 室 名	日 程	回数	5年度		4年度		受講者増減 (A)-(C)	延人数増減 (B)-(D)
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)		
ヨガ	8～10月	8	17	104	7	46	10	58
キックボクシングエクササイズ	10～11月	8	18	116	22	141	△ 4	△ 25
合 計		16	35	220	29	187	6	33

○一般スポーツ教室

教 室 名	日 程	回数	5年度		4年度		受講者増減 (A)-(C)	延人数増減 (B)-(D)
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)		
ゴルフ	5～7月	10	22	192	22	209	0	△ 17

○市民全般スポーツ教室

教 室 名	日 程	回数	5年度		4年度		受講者増減 (A)-(C)	延人数増減 (B)-(D)
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)		
柔道	6月	0	—	—	—	—	—	—
卓球	9～11月	8	14	93	17	114	△ 3	△ 21
ソフトバレーボール	11～1月	8	16	109	20	127	△ 4	△ 18
合 計		16	30	202	37	241	△ 7	△ 39

※柔剣道場が、新型コロナウイルスワクチン接種会場となっていたため、柔道教室を中止とした。

○託児付きスポーツ教室

教 室 名	日 程	回数	5年度		4年度		受講者増減 (A)-(C)	延人数増減 (B)-(D)
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)		
ママスポ広場託児付きヨガ	1～2月	8	10	62	9	57	1	5

(2) 大人のためのランニング教室

教室名	日程	回数	5年度		4年度		受講者増減 (A)-(C)	延人数増減 (B)-(D)
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)		
概ね35～60歳	5～10月	6回	15人	76人	15人	57人	0人	19人

(3) おかやキッズ体育塾

教室名	日程	回数	5年度		4年度		受講者増減 (A)-(C)	延人数増減 (B)-(D)
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)		
前期2クラス(1～3年生)	5～7月	20回	33人	261人	41人	342人	△ 8人	△ 81人
後期2クラス(年長～3年生)	10～12月	20	43	311	36	268	7	43
合 計		40	76	572	77	610	△ 1	△ 38

(4) ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室

教室名	日程	回数	5年度		4年度		受講者増減 (A)-(C)	延人数増減 (B)-(D)
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)		
小学生4～6年生	11～1月	10回	13人	113人	20人	210人	△ 7人	△ 97人

(5) おかやファミリースポーツプログラム

教室名	日程	回数	5年度		4年度		参加組数増減 (A)-(C)	人数増減 (B)-(D)
			参加組数(A)	人数(B)	参加組数(C)	人数(D)		
親子でバスケット(小学生)	6月18日	1回	31組+6人	68人	28組+4人	60人	3組	8人
親子でバドミントン(小学生)	7月15日	1	22組+8人	52	—	—	22	52
親子でナイター野球(小学生)	9月30日	1	25組+4人	54	28組+5人	61	△ 3	△ 7
親子でサッカー(年長～小学生)	10月1日	1	11組+1人	23	8組+1人	17	3	6
親子で卓球(小学生)	2月18日	1	11組+2人	24	23組+3人	49	△ 12	△ 25
合 計		5	100組+21人	221	87組+13人	187	13	34

(6) スケート教室

○多種目スケート教室

教室名	日程	回数	5年度		4年度		受講者増減 (A)-(C)	延人数増減 (B)-(D)
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)		
初心者スケート(市民全般)	10～11月	4回	9人	24人	29人	91人	△ 20人	△ 67人
アイスホッケー(小中学生)	12月	2	19	34	16	31	3	3
カーリング(市民全般)	11～1月	3	16	38	24	60	△ 8	△ 22
合 計		9	44	96	69	182	△ 25	△ 86

○おかやスピードスケートトータルサポートクラブ

教室名	日程	回数	5年度		4年度		受講者増減 (A)-(C)	延人数増減 (B)-(D)
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)		
初心者～上級者コース(小学生)	7～2月	30回	12人	300人	22人	451人	△ 10人	△ 151人
アスリートコース(小中学生)	6～2月	50	20	737	19	672	1	65
合 計		80	32	1,037	41	1,123	△ 9	△ 86

○親子で氷上運動会

教室名	日程	回数	5年度		4年度		参加組数増減 (A)-(C)	人数増減 (B)-(D)
			参加組数(A)	人数(B)	参加組数(C)	人数(D)		
年少～小学3年生と保護者	11月3日	1回	25組+6人	56人	20組+4人	44人	5組	12人

選 挙 管 理 委 員 会

第 1 概説

選挙管理委員会では、長野県議会議員一般選挙、岡谷市議会議員一般選挙、岡谷市長選挙及び岡谷市議会議員再選挙の執行のほか、選挙人名簿の調製、明るい選挙推進協議会と協力した選挙啓発事業を行った。また、昨年度市議会より提出された「選挙公営に関する要望書」を受け、議論・検討を重ね、現在未実施分の選挙公営について導入するとの結論を出し、１２月１日に市議会議長に対して回答した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
選挙管理委員会 運営事務	1 選挙管理委員会定例会 月 1 回開催 2 永久選挙人名簿の調製 6、9、12、3月各月の1日を基準日として選挙人名簿の定時登録を行った。 3 在外選挙人名簿の調製 海外在住の有権者の名簿管理を行った。 4 検察審査員候補者予定者の選定 松本検察審査会から本市割当人員27人の通知を受け、所定の方法、手続きにより該当者を抽出し報告した。 5 裁判員候補者予定者の選定 長野地方裁判所松本支部から本市割当人員55人の通知を受け、所定の方法、手続きにより該当者を抽出し報告した。 (2,811,748円)
明るい選挙推進 事業	1 明るい選挙推進協議会 (1) 総会 ・期日 6月26日 ・場所 保健センター研修室 ・参加者 推進委員、参与 ・内容 令和4年度事業報告、令和5年度事業計画(案)、選挙公営、期日前投票立会及び街頭啓発 (2) 会議 ・期日 7月14日 ・場所 9階大会議室 ・参加者 推進委員、参与 ・内容 選挙公営 2 啓発活動 (1) 令和5年度明るい選挙啓発ポスター作品募集・選考 5月8日から8月24日の募集期間中に、小・中学校の児童、生徒から112点の応募があり、市の審査において10点の入選作品を決定し、表彰状と記念品を贈呈した。また、全応募作品をレイクウォーク岡谷に展示した。 県の地方審査(第1次審査)では、小学校の部で2点が入選した。 (2) 選挙啓発カードの発送 4月の統一地方選挙後から年度末までに新たに有権者となった18歳に対し、投票手順を示した選挙啓発カードを発送した。 発送数 410通

	(3) 選挙物品の貸し出し 児童会・生徒会役員選挙に際し、投票箱・記載台を貸し出した。 貸出学校数 小学校4校、中学校4校、高等学校3校 (4) 選挙時啓発 ・9月24日執行の岡谷市長選挙・岡谷市議会議員再選挙に向け、市内大型商業施設において街頭啓発を行った。 場所：西友岡谷南店、西友岡谷北店、オギノ岡谷店、レイクウォーク岡谷、フォレストモール岡谷、いちやまマート岡谷店 ・9月24日執行の岡谷市長選挙・岡谷市議会議員再選挙に向け、市内企業を訪問し啓発を行った。 訪問先：諏訪信用金庫、TPR(株)、京セラ(株)長野岡谷工場、(株)ダイヤ精機製作所、(株)エグロ、マルヤス機械(株) (84,410円)
長野県議会議員選挙執行事務	4月9日に長野県議会議員一般選挙を執行した。 告示日 3月31日 執行日 4月9日 定数 2 候補者 もうり 栄子 (毛利 栄子) 日本共産党 共田 たけふみ (共田 武史) 自由民主党 立候補の届出が定数を超えなかったため、無投票当選となった。 (927,205円)
岡谷市議会議員選挙執行事務	1 4月23日に岡谷市議会議員一般選挙を執行した。 告示日 4月16日 執行日 4月23日 定数 18 候補者 山崎 仁 無所属 さかい 和彦 (酒井 和彦) 無所属 中島 ひであき (中島 秀明) 無所属 小松 たけし (小松 壮) 無所属 吉田 ひろし (吉田 浩) 無所属 上田 すみこ (上田 澄子) 日本共産党 秋山 よしはる (秋山 良治) 参政党 田村 みどり 無所属 早出 すみ子 日本共産党 うの 香二 (宇野 香二) 公明党 今井 やすよし (今井 康善) 無所属 わたなべ 太郎 (渡辺 太郎) 公明党 笠原 征三郎 日本共産党 ふじもり 弘 (藤森 弘) 無所属 花岡 けん一郎 (花岡 健一郎) 無所属 今井 浩一 無所属 土橋 学 無所属 立候補の届出が定数を超えなかったため、無投票当選となった。 2 4月23日執行岡谷市議会議員一般選挙における当選人の不足を補うため、9月24日の岡谷市長選挙に併せ、岡谷市議会議員再選挙を執行した。 告示日 9月17日 執行日 9月24日 欠員数 1 [投票結果] 当日の有権者数 男19,357人 女20,575人 計39,932人 投票者数 男10,118人 女11,109人 計21,227人

	投票率 男 52.27% 女 53.99% 計 53.16% 候補者得票数（得票順） 丸山 よしゆき（丸山 善行） 無所属 11,361票（当選） 中島 一郎 無所属 8,743票 (7,821,719円)
岡谷市長選挙執行事務	9月24日に岡谷市長選挙を執行した。 告示日 9月17日 執行日 9月24日 [投票結果] 当日の有権者数 男 19,357人 女 20,575人 計 39,932人 投票者数 男 10,123人 女 11,112人 計 21,235人 投票率 男 52.30% 女 54.01% 計 53.18% 候補者得票数（得票順） 早出 かずま （早出 一真） 無所属 9,408票（当選） 武井 とものり（武井 友則） 無所属 7,257票 中島 やすあき（中島 保明） 無所属 4,226票 (13,405,210円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 永久選挙人名簿登録人員

区分	6月1日	9月1日	12月1日	3月1日
男	19,573人	19,506人	19,482人	19,412人
女	20,850	20,732	20,643	20,611
計	40,423	40,238	40,125	40,023

2 在外選挙人名簿登録人員(令和6年3月1日現在)

区 分	人 員
男	10人
女	22
計	32

3 選挙管理委員会委員及び補充員

選任区分	氏名	選任年月日	任期
委員長	中島 弘雄	令和2年2月8日	令和6年2月7日
同職務代理者	小口 啓子		
委員	山田 一彦		
委員	小口 喜視		
補充員	松下 正樹		
補充員	濱 道夫		
補充員	高林あつ子		
補充員	小坂 勝樹		
委員長	松下 正樹	令和6年2月8日	令和10年2月7日
同職務代理者	高林あつ子		
委員	濱 道夫		
委員	花岡 浩臣		
補充員	花岡 則秀		
補充員	小口 恭子		
補充員	林 恒夫		
補充員	濱 和男		

監 查 委 員

第1 概説

関係法令等に基づき、定例監査、行政監査、財政援助団体等に対する監査、例月出納検査、決算審査及び財政健全化判断比率等審査を実施した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
監査事務	1 監査 (1) 定例監査 財務に関する事務の執行と経営に係る事業の管理について実施した。 ・一般会計（学校、保育園含む。）、特別会計、基金、企業会計 11日間 (2) 行政監査 テーマを「業務等マニュアルの整備及び活用状況について」とし、定例監査と同時に実施した。 (3) 財政援助団体等に関する監査 株式会社やまびこスケートの森を対象に実施した。 1日間 2 例月出納検査 会計管理者（企業出納員）の行う現金（歳入歳出外現金及び基金に属する現金を含む。）の出納事務について、毎月例日を定め検査を実施した。 月1回 3 決算審査 市長から提出された決算書及び関係書類の審査を実施した。 ・一般会計、特別会計、基金 7日間 ・企業会計 1日間 4 財政健全化判断比率等審査 市長から提出された実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率及び資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類について、決算審査と同時に実施した。 (4,494,974円)

* 監査結果等については、公告するとともに岡谷市ホームページに掲載した。

第3 主要な統計、行政資料等

監査委員

選任区分	氏名	選任年月日	任期
識見監査委員 (代表監査委員)	山岸 徹	令和 3年 6月 1日	令和 7年 5月31日 (1期目)
識見監査委員	宮坂 正志	令和元年 6月 1日	令和 5年 5月31日 (1期)
〃	竹花 直子	令和 5年 6月 1日	令和 9年 5月31日 (1期目)
議会選出監査委員	藤森 博文	令和 3年 5月18日	令和 5年 4月30日
〃	中島 秀明	令和 5年 5月17日	議員の任期

公 平 委 員 会

第1 概説

公平委員会では、職員団体登録事項変更届に関する審査を行った。また、職員からの勤務環境に関する悩みについて相談に応じた。このほか、人事行政の運営等の状況に係る公平委員会報告事項について、報告を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
公平委員会事務	1 公平委員会開催 3回 2 職員団体登録事項変更 本委員会に登録のある団体は、岡谷市職員労働組合、岡谷市公立学校教職員組合の2組合である。 ・5月11日に岡谷市公立学校教職員組合から登録事項変更届が提出され、5月15日の委員会において受理した。 ・6月2日に岡谷市職員労働組合から役員変更届が提出され、6月7日の委員会において受理した。更に8月7日に役員変更届出があり8月17日に受理した。 (290,989円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 業務の状況

(1) 勤務条件に関する措置の要求の状況

令和4年度末 現在係属件数	令和5年度中 措置要求件数	令和5年度中 処理件数	翌年度係属件数
0件	0件	0件	0件

(2) 不利益処分に関する審査請求の状況

令和4年度末 現在係属件数	令和5年度中 審査請求件数	令和5年度中 処理件数	翌年度係属件数
0件	0件	0件	0件

(3) 苦情相談の状況

令和4年度末 現在係属件数	令和5年度中 苦情相談件数	令和5年度中 処理件数	翌年度係属件数
0件	1件	1件	0件

2 公平委員会委員

選任区分	氏名	選任年月日	任期
委員長	林 和子	令和3年4月1日	令和7年3月31日(2期目)
同職務代理者	宮坂 大吾	令和2年4月1日	令和6年3月31日(1期)
委員	牛越 弘彰	令和4年4月1日	令和8年3月31日(1期目)

農 業 委 員 会

第1 概説

農業委員会では、農地法（以下「法」という。）に基づく権利の許可関係事務のほか、農地利用の調整、農業振興に関する調査、研究等を行った。

令和5年度は、岡谷市農業委員会の委員等に関する条例等に基づき、7月に任期満了となった農業委員8名、農地利用最適化推進委員3名を新たに選任し、新体制で第26期岡谷市農業委員としての活動を開始した。

農地等の利用の最適化の推進については、農地の利用状況調査及び意向調査により農地の状況を把握し、貸したい農地と耕作希望者をマッチングする貸し借り相談会を開催するとともに、農地の貸出し希望者には、農地バンクへの登録を勧め、農地の有効利用及び遊休農地の発生抑制、解消を図った。

また、地域の協議により将来の農地利用の姿を明確にする「地域計画」の策定に向け、対象地区の湊栃久保集落耕作者組合と座談会を重ね、10年後の耕作者について農地所有者等と意見交換を行い、「目標地図」の素案の作成に取り組んだ。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
農業委員会事務	1 法各条処理 (1) 農地権利移転関係（法第3条） 12件 (2) 権利移転のない転用関係（法第4条） 3件 (3) 権利移転の伴う転用関係（法第5条） 54件 (4) 貸付地の解約関係（法第18条） 1件 (5) 農地転用許可後の計画変更 0件 (6) 許可取り消し関係 0件 (7) 許可不要事案 0件 2 調停・あっせん・啓発・答申等 (1) 農業に関する啓発 4回 (2) 農業委員会委員研修 7回 (3) 農業者年金関係説明会 2回 (4) 農業団体との懇談会 4回 (5) 農地相談事業 36件 3 諸証明 (1) 法に基づく証明 0件 (2) その他の証明 22件 4 会議関係・その他 (1) 農業委員会等開催状況 (ア) 農地調整、農業振興関係総会 13回 (イ) 地区別現地調査 12回 (2) 農産物振興対策部会 10回 (8,437,721円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 農地権利移転関係（法第3条）状況

区 分			受理	処理		許 可			取り 消し
権利別						田	畑	計	
所有権 移 転	自作地	有償	件 10	件 10	件 10	m ² 265.00	m ² 5,885.33	m ² 6,150.33	件 0
		無償	2	2	2	0.00	246.00	246.00	0
	貸付地		0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	小 計		12	12	12	265.00	6,131.33	6,396.33	0
	賃借権	設定		0	0	0	0.00	0.00	0.00
移転		0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	
小 計		0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	
使 用 貸借権	設定		0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	移転		0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	小 計		0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
合 計			12	12	12	265.00	6,131.33	6,396.33	0

2 農地転用関係（法第4条及び第5条）状況

区 分		受理	処理	許 可			取り 消し	
目的別				田	畑	計		
地方公共団体		件 0	件 0	件 0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00	件 0
	宅地造成	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	その他	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
地方公共団体以外		57	57	57	17,679.00	21,950.00	39,629.00	0
	宅地造成	12	12	12	7,574.00	6,226.00	13,800.00	0
	住宅	16	16	16	937.00	4,289.00	5,226.00	0
	工員・社員社宅	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	その他の住宅	1	1	1	0.00	612.00	612.00	0
	工場・その他	4	4	4	1,440.00	1,236.00	2,676.00	0
	その他の建物	1	1	1	695.00	0.00	695.00	0
	道水路	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	その他の施設	18	18	18	7,033.00	6,842.00	13,875.00	0
	植林	5	5	5	0.00	2,745.00	2,745.00	0
合 計		57	57	57	17,679.00	21,950.00	39,629.00	0

3 貸付地の解約関係（法第18条）状況

区 分		受理	処理	許 可				取り 消し
目的別					田	畑	計	
許可		件	件	件	m ²	m ²	m ²	件
	耕作目的	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	転用目的	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
通知	耕作目的	1	1	1	1,483.00	247.00	1,730.00	0
	転用目的	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
合 計		1	1	1	1,483.00	247.00	1,730.00	0

4 農地転用許可後の計画変更

許可別 区 分	受理	処理	許 可			
				田	畑	計
法第4条	件 0	件 0	件 0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00
法第5条	0	0	0	0.00	0.00	0.00
合 計	0	0	0	0.00	0.00	0.00

5 許可不要事案（うち、法施行規則第29条第1号の届出）処理状況

目的別 区 分	受 理	処 理			
			田	畑	計
農業用施設	件 0	件 0	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00

6 農地転用状況（法第4条、第5条関係分のみ）

年度別 区 分	件 数	面 積		
		田	畑	計
平成26年度	件 80	m ² 9,513.56	m ² 22,269.57	m ² 31,783.13
平成27年度	62	10,060.37	16,814.87	26,875.24
平成28年度	64	7,797.06	22,300.23	30,097.29
平成29年度	68	7,459.00	22,616.09	30,075.09
平成30年度	59	9,252.66	20,058.97	29,311.63
令和元年度	59	17,232.25	22,726.47	39,958.72
令和2年度	80	15,716.41	29,370.53	45,086.94
令和3年度	89	15,083.91	38,157.61	53,241.52
令和4年度	79	22,018.11	26,280.13	48,298.24
令和5年度	57	17,679.00	21,950.00	39,629.00

7 農業委員会の構成

（令和6年3月31日現在）

選 出 区 分	定数	現在数	備 考
農業委員	人 8	人 8	うち女性3名
農地利用最適化推進委員	3	3	
計	11	11	

（注）第26期農業委員会 会長：宮澤淑 会長代理：高林敬子

